

# 朗読聖書の 緒言

PRAENOTANDA  
ORDINIS  
LECTIONUM MISSAE

カトリック中央協議会



## 再版にあたつて

第一バチカン公会議の典礼刷新を受けて一九六九年に発表された新しい「ミサの朗読配分」(Ordo lectionum Missae)が用いられるようになってから、間もなく三十年がたとうとしている。この間、この朗読配分は一九八一年に改訂された際に内容が豊かにされ、カトリック教会だけでなく、他のキリスト教諸教会の礼拝における聖書朗読にも大きな影響を与えるものとなつた。わが国ではこの「ミサの朗読配分」の中から、ミサのことばの典礼と聖書朗読の意義や朗読配分の構造などについて述べた部分が、典礼省『ミサの聖書朗読指針』として一九八八年に発行され、司祭はもちろん典礼奉仕に携わる多くのかたがたの研究資料として用いられてきた。

このたび、しばらく品切れとなつていたこの『指針』を再版するにあたり、若干の変更を行つた。まず、表題を『朗読聖書の緒言』と改めた。これは、本書が、典礼省が発表した指針ではなく、ミサの朗読配分の「緒言」(Praenotanda)であることを明示するとともに、単にミサの朗読配分の緒言にとどまらず、朗読聖書全体の緒言として位置づけることがふさわしいと思われたからである。内容の点では、全面的な翻訳の改訂は行っていないが、初版の誤記や誤植の訂正、若干の用語や表現の修正と統一を行つた。さらに、使用者の便宜を考えて、初版の付表と事項索引のほかに、ラテン語規範版に基づいて聖書朗読箇所索引、ならびに聖人の記念(共通)・他の儀式を伴うミサ・種々の機会のミサ・信心ミサ・死者のためのミサの聖書朗読箇所等一覧を巻末に追加してある。本書の初版が、司祭や修道者の養成の場だけでなく信徒の典礼奉仕のための勉強会などでも広く用いられてきたように、今後もより多くの皆さんのが典礼理解と奉仕のために役立てていただければ幸いである。

一九九八年五月三十一日

日本カトリック典礼委員会委員長 地主敏夫

## 初版のすすめの」とば

第一バチカン公会議は、一九六二年の十二月に発布された『典礼憲章』の第51条で、「神のことばの食卓が、より豊かに信者に備えられるために、聖書の宝庫が、より広く開かなければならない。そのため、幾年かを一定の周期として、聖書の主要な部分が会衆に向かつて朗読されるべきである」と述べ、聖書朗読配分の改定を促しました。パウロ六世は、直ちに翌年一月「典礼憲章実施評議会」を発足させ、朗読配分改定の仕事もその緒に就き、一九六九年には、ようやく「ミサの朗読配分」(Ordo lectionum Missae)が二十五項の「緒言」とともに発行されました。さらに一九八一年には、全教会での十年以上の経験をもとに、改定増補されたのですが、その「緒言」は全面的に改編されて、ちょうど五倍に及ぶ百一十五項からなる豊かな『ミサの聖書朗読指針』となりました。

この「緒言」は、すでに分冊で発行されつづある『朗読聖書』の「緒言」にもなるべきもので、福音朗誦は別としても、聖書朗誦は、信徒に属する典礼奉仕の務めですから、信徒の皆さんが、早く手に取つて学び、典礼奉仕の実践に生かす」とができるようだ、『ミサの聖書朗読指針』として発行されることは、非常に有意義なことであると思います。

なお、『ミサ典礼書』認可の際、司教協議会によつて決定され、使徒座の認証を受けた日本の教会固有の典礼法規が全国に徹底するよう、それは「」括弧に囲んで、すべての該当箇所に挿入されています。『ミサ典礼書の總則』同様、典礼奉仕のための勉強会などに役立てられることをおすすめします。

一九八七年十月三十一日

典礼委員会委員長 深堀 敏

## 目次

前文	.....							
再版にあたって	.....							
初版のすすめのことば	.....							
典礼聖省教令	.....							
秘跡典礼聖省教令(規範版第二版)	.....							
		8	7	2				
第一章 神のことばの典礼祭儀について的一般原則	.....							
一 前書き	11							
二 神のことばの典礼祭儀	12							
三 「契約」の民の生活における神のことば	14							
第一部 ミサの祭儀における神のことば	.....							
第二章 ミサにおけることばの典礼	.....							
一 ことばの典礼の要素と儀式	17							
二 ことばの典礼をよく行うために役立つこと	23							
		17	17	11	11	8	7	2
								1

第三章 ミサのことばの典礼における務めと役務	25
一 ことばの典礼における司式者の役割	25
二 ことばの典礼における信者の務め	
三 ことばの典礼における種々の役務	
28 26	25

## 第二部 ミサの朗読配分の構造

31	31
----	----

### 第四章 ミサの朗読配分一般

31

一 ミサの朗読配分の司牧上の目的	31
二 ミサの朗読配分作成の原則	33
三 朗読配分を使用する際の原則	38

### 第五章 朗読配分の概要

31

一 待降節	44
二 降誕節	45
三 四旬節	46
四 聖なる過越の三日間と復活節	48
五 年間	50

## 第六章 朗読配分の適応と国語訳および朗読の補助手段

25

一 適応と国語訳
----------

54

注.....

付表.....

移動主日・祝祭日表(二〇〇五年～二〇一〇年)／聖書朗読法一覧／主日と祝祭日の聖書朗読箇所一覧表／  
準継続朗読配分一覧表

聖人の記念(共通)・他の儀式を伴うミサ・種々の機会のミサ・  
信心ミサ・死者のためのミサの聖書朗読箇所等一覧.....

聖書朗読箇所索引.....

事項索引.....

裝  
幀

道  
吉

剛

『典礼憲章』は、神のことばの食卓がより豊かに信者に備えられるために、聖書の宝庫がより広く開かれ、幾年かを一定の周期として、聖書の主要な部分が会衆に向かつて朗読されるよう指示した(『典礼憲章』第51条)。この指示にこたえて、典礼憲章実施評議会はミサで用いる聖書朗読配分を準備し、教皇パウロ六世は一九六九年四月二日付の使徒憲章『ミサレ・ロマーヌム』によつてこれを認証した。

したがつて、典礼聖省は、教皇の特別の命に従い、一九六九年十一月三十日の待降節第一主日から使用し始めるよう定めて、この「ミサの朗読配分」を公布する。そこで、一九七〇年の典礼暦から、主日の朗読はB年、年間週日の第一朗読は第二年のものが適用される。

この朗読配分ではそれぞれの朗読箇所のみが示されているので、典礼憲章実施評議会による一九六九年一月二十五日付の典礼文の翻訳に関する指針で指示されている基準に従つて国語による完全な本文を準備するのは、司教協議会の責任である。国語の本文は、それぞれの地域のためにすでに正式に認可され、使徒座の認証を受けた聖書の翻訳から取られるか、あるいは新たな翻訳を作成するなら、認証を受けるため本聖省に提出されなければならない。

どのような反対事項も妨げにはならない。

一九六九年五月二十五日 聖靈降臨の主日

典礼聖省にて  
長官 ベンノ・グート枢機卿  
秘書 A・ブニーニ

「ミサの朗読配分」は、『典礼憲章』の基準に従つて、その規範版の初版が一九六九年に作成され、同年五月一十五日、教皇パウロ六世の特別の命に従つて公布された。それは、国語の朗読聖書が各地域において出版されるよう、司教協議会に対してミサの祭儀における一つ一つの朗読箇所を指摘するためであつた。

その初版には、一九六九年五月以降に公布された秘跡や諸儀式のための聖書朗読箇所の指摘は載せられてない。さらに、聖書の新ウルガタ版の完成後、一九七九年四月二十五日付の使徒憲章『スクリプトゥラールム・テサウルス(聖書の宝庫)』によつて、典礼における聖書の使用には、今後、規範として新ウルガタ版の聖書本文を用いることが定められた。

規範版の初版はすでに絶版となつてゐるため、第二版を用意するのは時宜にかなうものと考えられた。この版は初版と比べて次の特徴を備えている。

- 1 緒言の本文が増補された。
- 2 使徒憲章『スクリプトゥラールム・テサウルス』の基準に合わせて、聖書の箇所を指示するには新ウルガタ版の聖書が用いられている。
- 3 「ミサの朗読配分」の初版後に公刊された、秘跡と準秘跡の儀式のための朗読聖書に掲載すべき聖書の箇所もすべて収録されている。
- 4 一部の「種々の機会のミサ」における朗読のため、および一九七五年の『ローマ・ミサ典礼書』第二版に初めて採用されたミサにおける朗読のための聖書の箇所も付け加えられた。

聖家族、主の洗礼、主の昇天、聖靈降臨の祭儀に関しては、「任意に」選ぶことのできる朗読箇所が付け加えられた。こうして、主日と祝日用の朗読聖書の中にA、B、C年の周期で配分されている聖書の箇所が前述の祭儀のためにもすべて出そろうことになる。

教皇ヨハネ・パウロ二世は、「ミサの朗読配分」の第二版をその権限によつて認可し、秘跡典礼聖省は今これを公布し規範版として宣言する。

司教協議会は、この第二版の変更事項を国語の朗読聖書に取り入れるよう配慮されたい。  
どのような反対事項も妨げにはならない。

一九八一年一月二十一日

秘跡典礼聖省にて

長官 ヤコブ・R・ノックス枢機卿

副秘書 ヴエルジリオ・ノエー



## 第一章 神のことばの典礼祭儀について的一般原則

### 一 前置き

#### a 典礼祭儀における神のことばの重要性

1 神のことばの重要性と、すべての典礼祭儀における聖書の使用を刷新することについては、第二バチカン公会議においても、諸教皇の教導においても、同公会議後に使徒座によつて公布された種々の文書においても、すでに多くのことが明らかに述べられている。重要性の大きい若干の原則については、さらに、一九六九年に出版された「ミサの朗読配分」の緒言において適宜取り上げられ、簡潔に注釈されている。<sup>(4)</sup>

「ミサの朗読配分」のこの新版が出る機会に、これらの原則をさらに詳しく述してほしいという要望がほうぼうから寄せられたため、緒言は大幅に増補され、さらによく整理された。すなわち、まず第一に、神のことばと典礼行為との密接な関係を一般的に述べた後、とくにミサの祭儀における神のことばについて取り扱い、最後に朗読配分の具体的な構造が示される。

b 神のことばを示す用語

2 以下に取り扱う内容が真に明瞭なものとなるためには、当然、種々の用語をある程度限定しておかなければならぬ。しかし、本緒言においては、公会議中、あるいは公会議後に出て公文書の中で用いられている用語をそのまま使うことにした。また、ことばの上からも実際上からも混同が生じない限り、聖霊の息吹によって記された書物のことを区別なしに、聖書、あるいは神のことばと呼ぶことにする。<sup>(6)</sup>

c 典礼における神のことばの意味

3 一つの神のことばが持つ多様な豊かさは、さまざまな祭儀において、またその祭儀に参加する信者の種々の集会においてみごとに表れてくる。それは、キリストの秘義が一年の周期で展開する中で想起され、あるいは教会の秘跡や準秘跡が行われ、また聖霊の内面的な働きかけにおののの信者が答えるときに起こるのである。<sup>(7)</sup> そのときこそ、何よりも神のことばに依存し、支えられている典礼祭儀そのものが新しい出来事となり、新しい解釈と新しい効力によって、ことばそのものが豊かになるのである。このようにして、典礼において教会は、キリスト自身が用いたのと同じ方法に忠実に従つて聖書を読み、解釈する。キリストは、「自身の出来事の「この日」<sup>(8)</sup>から、聖書全体を詳しく調べるよう」励ますのである。

## 二 神のことばの典礼祭儀

a 典礼行為における神のことばの特徴

4 神のことばは、典礼祭儀においてただ一つの方法によってのみ告げられるのではなく、また聞く人の心につねに同じ影響力を及ぼすのでもない。キリストはそのことばの中につねに現存し、救いの秘義を実現しつつ、

人々を聖化し、父に完全な礼拝をささげるのである。<sup>(1)</sup>

実際に、救いの働きは、神のことばによつて絶え間なく新たにされ、拡充されるのであるが、それは典礼行為において完全な意味を持つものとなる。こうして、典礼祭儀は、神のことばそのものをたえず、完全に、力あるものとして示すものとなるのである。

したがつて、典礼において絶え間なく提供される神のことばは、聖靈の力によつてつねに生きたもの、効果のあるものであり、また、人々に実りをもたらすために欠けることのない父の愛が働いていることを表しているのである。

#### b 救いの働きにおける神のことば

5 教会は、典礼祭儀において旧約聖書と新約聖書を朗読するとき、同じ一つのキリストの秘義を告げ知らせる。

それは、旧約の中には新約が隠れており、新約において旧約が明らかになるからである。<sup>(2)</sup> キリストが典礼祭儀全体の中心であり充满であるように、キリストはやはり聖書全体の中心であり充满である。<sup>(3)</sup> それゆえ、救いと生命を求める者はだれでも、その泉から水をくまなければならぬ。

そのうえ、典礼祭儀をより深く理解するほど、神のことばの重要性もより高く評価できる。その逆もまた真実である。双方ともキリストの秘義を記念するとともに、それぞれ固有のしかたで永続させるからである。

#### c 神のことばと信者の典礼参加

6 神と人類との仲介者キリストは、その血を流して、ただ一度、聖靈において神による新しい契約を結ぶため、「アーメン」ということばを用いられた。教会は典礼行為において忠実に、この「アーメン」を使って答える。<sup>(4)</sup>

神はそのことばを伝えるとき、つねに答えを待つておられる。その答えとは、神のことばを聞くことであり、

「靈と真理をもつて」(ヨハネ4・23)礼拝することである。聖靈がこの答えを力強いものとし、典礼行為において聞くことが、生活において生かされるようになる。「みことばを行ふ人になりなさい。……聞くだけで終わる者になつてはいけません」(ヤコブ1・22)。

典礼行為を表現し、信者の参加を表す体の姿勢、動作、およびことばは、人間の経験からだけではなく、神のことばと救いの計画からも意味を持つものとなる。それゆえ、典礼の中で述べられる神のことばを聞き、キリストにおいて人となつた神のみことばそのものに一致しようと励むほど、信者は典礼行為に参加することになる。こうして、彼らは典礼において執り行うこと生活の中に生かすように、また、自分の生活中で行うことを見習儀に移すよう努めるのである。<sup>(15)</sup>

### 三 「契約」の民の生活における神のことば

#### a 教会生活における神のことば

7 教会は神のことばを聞くことによってたてられ、成長していく。救いの歴史の中で、かつて神が多くの方方法で行われた不思議な出来事は、典礼祭儀のしるしによって神秘的に実際に再現される。また、典礼を執り行う信者の集会をとおして、神はそのことばが早く広まり、あがめられ、その名が諸国民の中でおほめたたえられるようになりますのである。<sup>(17)</sup>

したがつて、聖靈によって典礼祭儀のために集められた教会は、神のことばを告げ知らせ、のべ伝えるたびに、自らが新しい民であること、それによって、かつて結ばれた契約が成就し完成されることを悟るのである。すべてのキリスト信者は、靈による洗礼と堅信によって神のことばの使者となり、それを聞く恵みを受け、同じ神のことばを、少なくとも生活のあかしによって、教会と世界の中で告げ知らせなければならないのである。

救いの秘義の祭儀においてのべ伝えられる神のことばは、その時その場の状況と関係があるばかりでなく、過去を振り返り、未来を見通している。そして、その未来をどれほど大きな期待をもつて待ち望むべきかを示し、わたしたちの希望を強めてくれる。こうして、<sup>(19)</sup> 移り変わる世界の中であって、真の喜びがあるところにわたしたちの心が向けられるのである。

#### b 教会によって宣教される神のことば

8 キリスト自身の意志により、新しい神の民はすばらしい多様性を持つメンバーから成り立っているので、神のことばに関して各自に与えられている務めと役割も異なっている。信者は神のことばを聞いて黙想するが、神のことばを公式にのべることは、聖なる叙階によつて教導の役割を与えられた者、または同じ役務を果たすよう委任された者だけがこれを行うのである。

このように、教えと生活と礼拝の中に、教会は自らのすべてと信じるすべてのことを永続させ、あらゆる世代に伝えていく。こうして、時代の推移に伴い、<sup>(20)</sup> 教会における神のことばの実現を目指して、神の真理の満ち満ちた状態に達しようとしたえず努めるのである。

#### c 宣言された神のことばと聖霊の働きとの密接な関係

9 人の耳に響く神のことばが実際に心の中に効果を上げるには、聖霊の働きかけが必要である。聖霊の息吹と助けによって、神のことばは典礼行為の基礎となり、また生活全体の規範と支えになる。

したがつて、聖霊の働きは、あらゆる典礼行為に先立ち、それに伴い、その後に続くばかりでなく、神のことばの宣言において信者の集会全体に向かつて告げられるすべてのことを、一人ひとりの心に思い起こさせ、<sup>(21)</sup> 皆の一致を固めると同時に、たまもの多様性を促進し、その種々の働きを高揚するのである。

d 神のことばと聖体の深い関係

10 神のことばと聖体に対し、礼拝のしかたは異なつても、教会は同じ尊敬を表し、いつでもどこでも同じ尊敬をささげることを望み、またそのように定めた。すなわち創立者にならい、主の過越秘義を執り行うことを決してやめなかつた教会は、その際一つに集まつて、「聖書全体にわたり、ご自分について書かれていること」（ルカ24・27）を読み、主の記念祭儀と秘跡によつて救いのわざを実現するのである。「ことばの宣教は諸秘跡の役務のために必要である。諸秘跡は信仰の秘跡であり、信仰はことばから生まれ、ことばによつて養われるものだからである。<sup>(22)</sup>」

二つの食卓によつて教会は靈的に養われ<sup>(23)</sup>、さらに教え導かれるとともに、ますます聖なるものとなつていく。神のことばにおいて神の契約が告げ知られ、感謝の典礼において新しい永遠の契約そのものが更新されるのである。神のことばにおいて救いの歴史がことばの響きによつて思い起こされ、感謝の典礼において同じ救いの歴史が典礼という秘跡のしるしによつて示されるのである。

それゆえ、次のことをつねに念頭に置くべきである。典礼において教会が朗読し、告げ知らせる神のことばの目的は、いわば契約のいけにえであり、恩恵の会食である感謝の典礼へ導くことなのである。したがつて、神のことばを聞き、感謝の奉獻を行い、聖体を拝領することからなるミサの祭儀は、一つの礼拝行為であり、それによつて神には賛美のいけにえがささげられ、人間には完全な救いが与えられるのである。

## 第二章 ミサにおけることばの典礼

### 一 ことばの典礼の要素と儀式

11 「<sup>(24)</sup>ことばの典礼の主要な部分を構成するのは、聖書からとった朗誦と、朗誦の間にある歌である。説教、信仰宣言、および共同祈願すなわち信者の祈りは、それを展開し、結ぶものである」。

#### a 聖書朗誦

12 聖書朗誦および聖書からの歌が、ミサの祭儀に欠けていたり少なくされたり、まして聖書以外の朗誦と置き換えられたりすることは許されない。<sup>(25)</sup>なぜなら、書かれたものとして伝えられた神のことばそのものによつて、今もなお「神はその民に語る」のであり、聖書を長く使い続けることによつて神の民は信仰の光のもとで聖靈に心を開かれ、その生き方によつて、人々の前でキリストに対する自らのあかしを立てるができるようになるからである。

13 福音朗読はことばの典礼の頂点である。他の朗読は、伝統に従つて旧約聖書から新約聖書へ移ることによつて、集会を準備していく。

14 聞き取れる声で、はつきりと、味わえるように読む朗読者の読み方が、何より、朗読によって神のことばを集会に正しく伝えることになる。朗読は認可された聖書で行われ、種々の言語の特性に従つて歌うことができる。しかし、曲はことばを覆い隠すのではなく、むしろ引き立てるものでなければならない。朗読をラテン語で歌う場合には、『オルド・カントウス・ミセ(ミサの典礼聖歌)』に従う。<sup>(29)</sup>

15 ことばの典礼において、朗読の前、とくに第一朗読の前に、短くその場にかなつた解説をすることができる。このような解説には、導入としての性格のあることに注意しなければならない。すなわち、簡潔で聖書本文に忠実なもの、短くよく準備されたもの、本文を紹介するために種々のしかたで適応されたものでなければならぬ。<sup>(30)</sup>

16 会衆の参加するミサの祭儀においては、朗読は必ず朗読台で行う。<sup>(31)</sup>

17 ことばの典礼の儀式の中で、福音朗読に対し払われる尊敬に注意すべきである。<sup>(32)</sup> 朗読福音書があれば、開祭のときに助祭または朗読者が行列して奉持する。<sup>(33)</sup> 助祭(助祭が不在の場合は司祭)が福音書を祭壇から取り、朗読台へ持つて行くことが勧められる。その際、火をともしたろうそくと香、あるいは習慣のある所では他の崇敬のしるしを奉持する奉仕者が先に行く。信者は起立し、主を喜び迎える歌(応唱)を歌い、福音書に敬意を表す。福音を告げる助祭は、司式者の前に行つて頭を下げて祝福を願い、祝福を受ける。助祭がない場合、司祭は祭壇の前で頭を下げて、「主の福音をふさわしく……」<sup>(34)</sup> を沈黙のうちに祈る。

福音をのべ伝える者は、朗読台で、起立している会衆にあいさつし、朗読の表題を告げ、自分の額、口、胸と

福音書に十字架のしるしをし、香が用いられる場合には献香をしてから福音をのべる。福音が終わると、福音書に接吻し、定められたことばを黙つて唱える（日本では、額と口と胸の十字架のしるしは省かれ、福音書に十字架のしるしをしながら「〇〇〇による福音」と唱える。福音朗誦後は、福音書を押しいただいて「キリストに賛美」と歌い、会衆も「キリストに賛美」と応唱する）。

あいさつのことば、「〇〇〇による福音」という表題の告知、および終わりの“Verbum Domini”（日本では「キリストに賛美」）はなるべく歌うことが望ましい。それは会衆も同じように歌つて応唱できるためで、福音は歌わないでただ朗誦する場合にもそうすることが望ましい。<sup>35)</sup> として福音朗誦の重要性が明らかにされ、聴衆の信仰が活気づけられる。

18 朗誦の終わりの結びの「ハゲ “Verbum Domini”（日本では「キリストに賛美」）は、朗誦を行つた朗誦者は別の歌唱者が歌うことでもでき、一同は応唱する。<sup>36)</sup> として、集まつた会衆は信仰と感謝の念をもつて受け入れた神のことばに對して、讃れを帰するのである。

#### b 答唱詩編

19 昇階唱とも呼ばれていた答唱詩編は、「」ことばの典礼に欠くことのできない部分<sup>36)</sup>であり、典礼の面からも司牧の面からも確かに重要な意義を持つている。そのため、信者は詩編の中で語られる神のことばを理解する方法と、その同じ詩編を教会の祈りに転じる方法をたえず教えられなければならない。このことは、「典礼において歌われる意味内容に従つて、詩編をより深く理解するよう教役者が熱心に努め、適切な教説によつてすべての信者にそれを分かつようすれば、それだけ容易に実現される」ことは確かである。

詩編と答唱句が選択された根拠を示し、それらと朗誦との調和を指摘する短い解説をすることも、そのために役立てることができる。

20 答唱詩編は通常歌われる。第一朗讀後の詩編の歌い方には答唱形式と単唱形式の二つの歌い方がある。答唱句をはさんで歌う答唱形式は、できる限り優先させるべきで、詩編唱者すなわち詩編の歌唱者が詩編の詩句を歌い、全会衆が答唱句を歌って参加する。答唱句を省いて詩編だけを一挙に歌う単唱形式の場合、一人の詩編唱者すなわち詩編の歌唱者が詩編を歌い、会衆は聞くだけにするか、皆でともに歌うようとする（日本の『典礼聖歌』は単唱形式のために作られたものではない）。

21 詩編が歌われること、あるいは答唱句が一つでも歌われることは、詩編の靈的な意味をつかみ、また詩編を黙想するのに非常に役に立つ。

それぞれの文化圏で、会衆の歌を育てるために役立つあらゆる手段を用いるべきである。とくに、「ミサの朗讀配分」の中で、種々の典礼季節の答唱句に関して、そのために配慮されている自由を用いるようとする。

22 朗讀後の詩編は、歌わない場合には、神のことばを默想するのによりふさわしい方法で朗唱する。<sup>(39)</sup>

答唱詩編は、朗讀台において、詩編唱者または歌唱者が歌うかまたは唱える。<sup>(40)</sup>

#### c 福音朗讀前の応唱（アレルヤ唱・詠唱）

23 「アレルヤ」、または典礼季節に従つて唱えられる福音朗讀前の唱句（詠唱）は「それ自体独立した儀式、または行為」<sup>(41)</sup>であり、これによつて、信者の集会は自らに語りかける主を迎えてあいさつし、自らの信仰を歌によつて表明する。

「アレルヤ」および福音朗讀前の唱句（詠唱）は、一同起立して歌う。しかも先唱する歌唱者または聖歌隊だけで歌うのではなく、全会衆が齊唱する。<sup>(42)</sup>

24 説教は、典礼暦年の流れに沿い、聖書に基づいて信仰の秘義とキリスト者の生活の諸基準を説明するものであって、ことばの典礼の一部として、しばしば、また第二バチカン公会議の『典礼憲章』以来とくに奨励される場合には命じられている。ミサの祭儀における説教は、通常、司式者自身が行うべきものであり、告げ知られた神のことばが、感謝の典礼とともに「救いの歴史」またはキリストの秘義における神のすばらしいわざを告げ知らせるもの<sup>(45)</sup>となることを目指している。朗読と説教によって告げ知らされるキリストの過越秘義は、ミサの奉獻によって実現する。<sup>(46)</sup>キリストは、自らの教会の宣教につねに現存し、働いているのである。

したがつて、説教は朗読された聖書のことば、あるいは他の典礼文を説明するもので、信者の共同体が行動的に感謝の祭儀を行うように導かなければならない。それは、「信仰によって知ったことを生活によって保つ」ことができるためである。このような生き生きとした説明によって、朗読される神のことばと、執り行われる教会の祭儀はより大きな成果が得られる。そのため説教は、真に默想の実りであり、よく準備され、長すぎることも短すぎることもなく、子供や教育を受けていない人も含めて参集者全員に心を配るものでなければならない。<sup>(47)</sup>

共同司式ミサにおいては、説教は通常、主司式司祭または共同司式司祭のうちの一人が行う。

25 定められた日、すなわち主日と守るべき祝日には、ミサが前日の晩に行われる場合にも、会衆の参集のもとに祝われるすべてのミサにおいて、説教が行われなければならない。<sup>(48)</sup>子どもとともにさきげるミサや特定の集会において行われるミサでも、説教がなければならない。<sup>(49)</sup>

待降節、四旬節および復活節の週日には、ミサの祭儀に繰り返し参加する信者のために、さらに他の祝日および会衆が比較的多く教会に参集する機会にも説教をすることが大いに勧められる。<sup>(50)</sup>

26 司式司祭は説教を、座席で立つかまたは座つて行うか、あるいは朗読台で行う。<sup>(51)</sup>

27 会衆に伝えなければならない短いお知らせがある場合には、拝領祈願の後にそのための時間をとるべきであつて、説教とははつきり区別しなければならない。

e 沈黙

28 ことばの典礼は、默想を助けるように行わなければならない。したがつて、内省を妨げるような落ち着きのない行動はいつさい避けなければならない。聖靈に促され神と人の対話が行われるためには、集まつた会衆に合わせて短い沈黙のひとときをとる必要がある。それによつて神のことばを中心で受けとめ、祈りをとおして応答を用意することができる。

この沈黙のひとときは、ことばの典礼の中で、たとえば、ことばの典礼そのものが始まる前、第一朗読と第二朗読の後、また説教が終わつてから適宜とることができる。<sup>(55)</sup>

f 信仰宣言

29 信条、すなわち信仰宣言は、典礼注記に従つて行われ、ミサの祭儀の中では次のことを目指している。それは、集まつた会衆が朗読と説教において聞いた神のことばに共鳴して答えるもので、感謝の典礼において信仰の神祕を祝う前に、教会によつて承認された定式文によつて信仰の基準を心に思い起こすためである。

g 共同祈願すなわち信者の祈り

30 信者の集会は、神のことばに照らされ、共同祈願においていわばそれに答えるのである。通常は、全教会と地方共同体の必要のため、世界の救いのため、また種々の困難にあつて苦しむ人々のため、その他の人々の集団のために祈る。

司式司祭自身の導入のもとに、適宜、助祭または奉仕者、あるいは信者のうちのだれかが、よく考えて自由に

作った短い嘆願の祈りを会衆に向かって述べる。これに対して「会衆は、自分の祭司職の役割を実行して、すべての人のために祈る」。<sup>(59)</sup>こうして、ことばの典礼の実りは共同祈願の中で成熟したものとなり、よりよく感謝の典礼に移っていくことができるのである。

31 共同祈願は、司式司祭が座席で先導し、意向は朗読台で述べられる。<sup>(60)</sup>

集まつた会衆は起立して祈りに参加する。意向が述べられた後、共同の呼唱を唱えるか、または歌い、あるいは沈黙のうちに祈る。<sup>(61)</sup>

## 一一 ことばの典礼をよく行うために役立つこと

### a 神のことばを告げ知らせる場所

32 教会堂の中には、的確に配置され、固定された、ふさわしい高貴さを持つ高められた場を設ける。それは神のことばの尊厳にふさわしいものであり、同時に、ミサには神のことばの食卓とキリストのからだの食卓が用意されていることを信者にはつきりと意識させるようなものでなければならない。また、ことばの典礼の間、信者がよく聞き取ることができ、注意を払えるような場が必要である。それゆえ、それぞれの教会堂の構造を考えて、朗読台と祭壇との的確な組み合わせを工夫する。

33 この朗読台は、その構造を考慮して適宜、永続的に、または少なくとも盛儀の日などに一時的に、控え目な装飾を施すとよい。

朗読台は、神のことばが奉仕者をとおして告げ知らされる場であるから、朗読台の使用は本来、朗読、答唱詩

編および復活賛歌に限られる。ただし、説教と信者の祈りは、ことばの典礼全体と深いつながりがあるので朗読台で行うことができる。その他の者、たとえば解説者、歌唱者、歌の指揮者などは朗読台に立たないほうがよい。<sup>(65)</sup>

34 朗読台は、種々の祭儀に役立つよう、ときには幾人かの奉仕者がそこに立つこともあるから、幅の広いものにする。さらに、朗読者が朗読台で読むために、十分な照明を配慮する。また、信者が容易に聞き取ることができるよう、必要に応じて現代の拡声装置を用いることができる。

b 祭儀において神のことばを告げ知らせるために用いる朗読聖書

35 神のことばの朗読に用いる本は、奉仕者、動作、場所、その他のことがらと相まって、自らの民に語りかける神の現存を聴衆に思い起こさせるものである。それゆえ、典礼行為において天上のもののしるしとも象徴となる朗読聖書は、真に品位のある、立派な、美しいものであるように配慮する。<sup>(64)</sup>

36 福音の告知は、つねにことばの典礼そのものの頂点であるから、その朗読書も東西両典礼の伝統の中で、いつも他の朗読書との間に区別がつけられるようになった。朗読福音書は、細心の注意を払って製本され、装飾が施され、他の朗読書よりも丁重に取り扱われてきた。したがって、現代においても、司教座聖堂や少なくとも人々のよく集まる大きな小教区や教会堂においては、朗読福音書は美しく装丁され、他の朗読書と区別することが大きいに勧められる。この本は、助祭叙階式の中で助祭に授与され、また司教叙階式において被選司教の頭上に置かれ、開いたまま支えられる。<sup>(65)</sup>

37 祭儀で用いられる朗読聖書は、神のことばの尊厳のゆえに、司牧的な他の補助資料、たとえば朗読の準備や個人的な默想のために作られた信者用の印刷物などで代用することがあつてはならない。

### 第三章 ミサのことばの典礼における務めと役務

#### 一 ことばの典礼における司式者の役割

38 ことばの典礼の司式者は、とくに説教において、神のことばに含まれた心の糧を信者と分かち合う。司式者は、他の者によつてのべ伝えられる神のことばを聞くだけの場合も、つねに神のことばを告げ知らせる役割をゆだねられた第一の者なのである。自分でするにせよ、他の者をとおしてするにせよ、神のことばがふさわしくのべ伝えられるように配慮する。信者がより注意深く聞くよう朗読について短い解説をすること、また、信者が神のことばを理解してより豊かな実りを結ぶよう促すために、とくに説教をすることは、通常、司式者にゆだねられている。

39 第一に、祭儀の司式を務める者は、信者の心に実を結ばせることができるように、朗読配分の構造を熟知しておく必要がある。さらに、朗読配分によつてキリストの秘義とその救いのわざを正しくとらえるために、祈りと研究をもつてことばの典礼のさまざまな聖書本文相互の調和と関連を十分理解しておく必要がある。

40 司式者は、朗読、答唱句、答唱詩編、福音朗読前の応唱(アレルヤ唱・詠唱)に関して朗読聖書に提示され

て いる種々の裁量の自由を進んで用いるべきである。<sup>(65)</sup> ただし、関係のあるすべての人の間で一致の精神をもつて<sup>(66)</sup>、信者に関係することがらは信者の意見も聞いたうえで行わなければならぬ。

41 説教を行うときにも、司式者は神のことばについて固有の役割と役務を果たすのである。<sup>(67)</sup> なぜなら、説教によつて司式者は、その兄弟たちが聖書を味わい深く理解するように導き、神の不思議なわざについて感謝するよう に信者の心を開かせ、この祭儀の中で聖霊によつて目に見えるしるしなつた神のことばに対する信者の信仰を養い、そして実り豊かな交わりに向けて彼らの心を準備させ、キリスト者の生活に求められていることを受け入れるように彼らを招くからである。

42 朗読が行われる前に、ある場合には解説をして、信者をことばの典礼に導くことは司式者にゆだねられている。<sup>(68)</sup> このような解説は集まつた会衆にとつて確かに役立つもので、それによって神のことばによりよく耳を傾けるようになり、信仰と善意が駆り立てられる。この役割は他の者をとおして、たとえば助祭または解説者によつて果たすことができる。<sup>(69)</sup>

43 司式者は共同祈願を指導するにあたつて、できるだけ、招きのことば(前文)と結びの祈り(後文)をその祭儀の朗読と説教に合わせて行い、信者を感謝の典礼に導く。<sup>(70)</sup>

## 二 ことばの典礼における信者の務め

44 キリストのことばによつて神の民は集められ、成長し、養われる。「このことはとりわけミサの祭儀におけ

ることばの典礼に当てはまる。そこでは、主の死と復活を告げ知らせること、それを聞く民の応答、そしてキリストがその血によって結んだ新しい契約の奉獻そのものが分かれ難く結ばれており、信者は祈りと秘跡の拝領によつてその奉獻とともにあずかるのである。<sup>(23)</sup>すなわち、「わたしたちの教訓として書かれたこと」（ローマ15・4）が朗読されるときだけでなく、教会が祈り、歌い、行うときには、参加者の信仰が養われ、心は神に上げられる。こうして人々は靈的な礼拝を神にささげ、神の恩恵をいつそう豊かに受けるのである<sup>(24)</sup>。

45 ことばの典礼において信仰をもつて聞くことによつて、今日、キリスト信者の集会も契約のことばを神から受ける。日増しに、ますます新しい契約の民となるように、そのことばに対しても同じ信仰をもつて答えなければならない。

神の民には、神のことばの靈的な財宝を豊かに受ける権利がある。それは、ミサの朗讀配分の使用、説教、司牧活動によつても満たされるのである。

信者はミサの祭儀において、神のことばを内的にも外的にも尊敬を込めて聞き、それによつて靈的生活は日増しに豊かになり、祝われる秘義の中へより深く導き入れられる。

46 はつらつとした心で主の記念祭儀を祝うことができるよう、「聖書が教会で朗讀されるとき、キリスト自身が語るのであるから」、「とくに、聖体の両形態のもとに」<sup>(25)</sup>現存するキリストと同一のキリストが、神のことばにおいても現存することを信者として意識しなければならない。

47 神のことばが受け入れられ、キリスト信者の生活の中に生かされるためには、生きた信仰が求められる。<sup>(26)</sup>このような信仰は、たえずのべ伝えられる神のことばを聞くことから呼び起こされる。なぜなら、聖書は、何よりも典礼の中でのべ伝えられるとき、生命と力の泉となるからである。使徒パウロが

証言しているとおり、福音は信じるすべての人にとって救いをもたらす力なのである。<sup>(78)</sup> したがって、聖書に親しむことによって神の民全体は力づけられ、新たにされるのである。それゆえ、すべてのキリスト信者は神のことばを喜んで聞くように自分をよく整えなければならない。<sup>(89)</sup> 神のことばは、教会によって告げ知らされ、生活の中で実行に移されるとき、聖靈の働きによって信者を照らし、キリストの秘義全体へと導く。<sup>(90)</sup> 忠実に受け入れられた神のことばは、その人の心を回心へ向かわせ、卓越した共同体的な信仰に照らし出された生活へと駆り立てる。<sup>(91)</sup> 神のことばはキリスト者の生活の食物であり、全教会の祈りの泉だからである。

48 ミサの祭儀におけることばの典礼と感謝の典礼の密接な関係は、信者が祭儀の初めから列席するように導くとともに、<sup>(84)</sup> 注意深く参加し、とくにすでに得た聖書の知識を深めることによって、できる限り神のことばを聞く用意を整えるようとする。それはまた、朗読される聖書本文の典礼における意味を理解しようとすると、歌によって答えるとする気持ちを起させる。<sup>(85)</sup>

このように神のことばを聞き、默想によって考察するとき、キリスト信者は、祈りと自己奉獻によつて、それも祭儀の中だけでなく自己のキリスト者の生活全体の中で、信仰と希望と愛に満ちた行動的な応答をすることができる。

### 三 ことばの典礼における種々の役務

49 典礼の伝統は、ミサの祭儀において聖書朗読を行う役割を、奉仕者、すなわち朗読奉仕者と助祭に割り当てている。助祭または他の司祭がない場合は、司式司祭が自ら福音を朗読する。その他の朗読者もいない場合には、司式司祭がすべての朗読を行う。<sup>(87)</sup>

50 ミサのことばの典礼における助祭の役割は、福音を告げること、適当ならばある場合に説教を行うこと、会衆に向かって共同祈願の意向を述べることである。

51 「朗読奉仕者は、感謝の祭儀において固有の役割をもつていて。この役割は、朗読奉仕者自らが果たさなければならない」<sup>(88)</sup>。典礼儀式によつて授与される朗読奉仕者の役務は尊重されなければならない。選任された朗読奉仕者がいる場合、少なくとも主日と祝日に、とくに主要な祭儀において固有の役割を果たす。ことばの典礼を整えるにあたつて、朗読奉仕者に補佐の務めを任せることができる。また必要があれば、臨時に任命を受けてミサの祭儀中に朗読を行う他の信者たちの準備を手伝う務めをゆだねることができる。

52 朗読奉仕者に選任された者でなくとも、典礼集会には朗読者が必要である。したがつて、信徒で、この役割を果たすために準備のできたふさわしい人たちを確保するよう配慮すべきである<sup>(89)</sup>。朗読者が何人かいて、いくつかの朗読を行う場合、朗読をそれぞれに割り当てるといい。

53 助祭がいないミサにおいて、共同祈願の意向を述べる役目は、とくに歌う場合には歌唱者、あるいは朗読奉仕者または他の者にゆだねる。<sup>(90)</sup>

54 他の司祭、助祭、および選任された朗読奉仕者が、会衆の参加するミサの祭儀の中で神のことばを朗読するために朗読台に立つときには、それぞれの役割に固有の祭服を用いる。しかし、臨時に、あるいは普段から朗読者の役務を果たす者は、ふつうの服装で朗読台に立つことができる。ただし、各地方の習慣を重んじなければならない。

55 「信者が神のことばの朗読を聞いて、聖書の快い生き生きとした感銘を心に受けるよう、この役務を果たす朗読者は、たとえ選任を受けた者でなくとも、真にふさわしい者であり、よく準備のできた者でなければならぬ」。

この準備は、まず第一に靈的なものでなければならないが、技術的と呼ばれる準備も必要である。靈的な準備は、少なくとも聖書と典礼に関する養成を前提とする。聖書に関する養成は、朗読者が朗読箇所を本来の文脈において把握すること、および啓示の訪れの中心を信仰の光によって理解することができるようになることを目指さなければならない。典礼に関する養成は、ことばの典礼の意味と構造、およびことばの典礼と感謝の典礼の関係の根柢を知る能力を朗読者に与えるものでなければならない。技術的な準備は、朗読者が肉声または最近の拡声装置の助けを借りて、会衆の前で読む力を日増しに身につけるものでなければならない。

56 詩編唱者すなわち詩編の歌唱者の役割は、答唱形式で、または一挙に続ける単唱形式で、詩編、または他の聖書贊歌、昇階唱および「アレルヤ」または朗読の間のその他の歌(詠唱)を歌うことである。「アレルヤ」とその唱句は、詩編唱者が適宜先唱することができる。

詩編唱者のこの役割を果たすために、それぞれの教会共同体に、詩編歌唱の技術と、ことばを正しく発音して唱える能力を備えた信徒がいることは非常に望ましいことである。朗読者の養成について今まで述べたことは、詩編の歌唱者にも当てはまる。

57 信者の集会に向かつて、ふさわしい場所から適切な説明や注意を与える解説者も、真に典礼上の役務を果たすのである。<sup>(55)</sup> その説明や注意は、明確で、簡潔明瞭、正確に準備され、通常書き物にして司式司祭の事前の承認を得たものでなければならない。

## 第四章 ミサの朗読配分一般

### 一 ミサの朗読配分の司牧上の目的

58 『ローマ・ミサ典礼書』の朗読聖書が示す朗読配分は、第二バチカン公会議の意図に従つて、とくに司牧上の目的をもつて作成されている。この目的を達成するために、新しい朗読配分の基礎となつてゐる諸原理だけではなく、後に掲げる聖書の箇所の一覧についても、聖書釈義、典礼、教話、司牧の各分野における全世界の非常に多くの学識経験者の協力によつて繰り返し検討され、磨き上げられた。この朗読配分はそのような共同作業の実りなのである。

感謝の祭儀の中でこの朗読配分に基づく聖書の朗読と説明がキリストを信じる民に長期間続けられ、第二バチカン公会議によつて繰り返し提示された目的の達成に大きな効果の上がることが期待される。<sup>(97)</sup>

59 この刷新においては、内容豊かですべてにわたり、第一バチカン公会議の趣旨と諸規定に合致した、ただ一

つの朗読配分を編集し作成することが意図された。同時に、部分教会および祭儀集会での必要と使用に応じて、それぞれの形で適応することができるよう考へられた。そのため、この刷新の作業に従事した人々は、ローマ典礼様式の伝統を維持するよう留意した。また他の典礼様式や、部分教会における聖書朗読のあらゆる形の選択、配列、および慣用の効果を高く評価し、試みによつて実証されたことを取り入れ、また同時にこれまで伝えられてきた形の中で欠陥のあるものは避けるよう意を用いた。

60 したがつて、このミサの朗読配分は、聖書の朗読箇所を配列したもので、適切な説明によつて、キリスト信者に神のすべてのことばの知識を与えるものである。典礼暦年全体をとおして、またとくに復活節、四旬節および待降節には、朗読箇所の選択やその配分は、キリスト信者がその公言する信仰と救いの歴史の知識を徐々に深めるようになることを目指している。<sup>(99)</sup> この意味で、朗読配分はキリストを信じる民の必要と熱意にこたえるものである。

61 典礼行為は、それ自体としては教話の形をとるものではない。とはいへ、それは『ローマ・ミサ典礼書』の朗読聖書にも表れているように教育的な意義を含んでいる。<sup>(99)</sup> したがつて、当然、教話を促進するための教育手段となる。

実際にミサの朗読配分は、救いの歴史の主要な出来事のことばを聖書から適切な方法で提供する。こうして、多くの時代の多くの出来事からなつてゐる救いの歴史そのものが、ことばの典礼において一步一歩想起され、感謝の祭儀によつて祝われるキリストの過越秘義の現在化のうちに現実に継続しているものとして信者たちに現れるのである。

62 ローマ典礼様式におけるミサの朗読聖書の朗読配分はただ一つである。これが司牧上有益であることは他の

面からもよく理解できる。すなわち、すべての信者が、とくに多くの理由で同一の集会に必ずしも参加できない場合、一定の日、一定の季節に、どこにおいても同じ朗読を聞き、具体的な事情に適応した默想をすることができる。これは、司祭不在の所で、助祭、または司教から委任された者が、神のことばの祭儀を司会する場合にもいえることである。<sup>(18)</sup>

63 司牧者が、その集会固有の問題に対して神のことばから特別な答えを与えようとする場合には、自らが何よりもキリストの秘義と福音全体の宣布者でなければならないことを思い起こして、ミサの朗読配分自体に指示されているものの中から適宜選択することができる。他の儀式を伴うミサ、信心ミサ、聖人を祝うミサ、あるいは種々の機会のミサが行われる機会にはとくにそうである。特定の集会のためのミサの祭儀における神のことばの朗読に関しては、一般基準に留意したうえで特殊な権限が与えられる。<sup>(19)</sup>

## 二 ミサの朗読配分作成の原則

64 ミサの朗読配分の目的を達成するために、各部分は、典礼季節の流れか、あるいは現代の釈義学が理解し、明らかなるものと認める聖書解釈の原理のいずれかを考慮して選択され、配列されている。

したがつて、ミサの朗読配分作成にあたって守られた原則を、ここで公にすることは有益なことと思われる。

### a 朗読箇所の選択

65 「季節の部」における朗読は次のように割り振られている。すなわち、主日と祝祭日には聖書のより重要な箇所があげられている。それは、神のことばのおもな部分が適当な期間内に、信者の集会に向かつて読まれるた

めである。祝祭日に説き明かされた救いの訪れをある程度補うための聖書の箇所のもう一つの系列は、週日に提供される。しかし、朗読配分におけるこれらの主要な部分の系列は、互いに依存するものではない。すなわち、主日・祝祭日の系列と週日の系列とは互いに独立している。そればかりでなく、主日・祝祭日用朗読配分は三年間で展開されるのに対し、週日用は一年間で展開される。したがつて、主日・祝祭日用朗読配分と週日用のものは別々に進展する。

朗読配分のその他の部分の朗読——聖人の祝祭、他の儀式を伴うミサ、種々の機会のミサ、信心ミサ、死者のためのミサの朗読系列——は独自の規則に従う。

#### b 主日・祝祭日用朗読配分

##### 66 主日・祝祭日用朗読配分の特徴

- ① どのミサにも三つの朗読が示されている。第一朗読は旧約聖書から、第二朗読は使徒書(すなわち、各季節に応じて書簡もしくは黙示録)から、第三の朗読は福音書からのものである。このように配列することによって、旧約と新約、および救いの歴史の一貫性が明らかになる。救いの歴史の中心は、その過越秘義において記念されるキリストなのである。
- ② 主日と祝祭日における聖書朗読がいつそう変化に富み、より豊かなものであることは、これが三年周期のものとして提供されていることによる。すなわち、聖書の同じ箇所は、四年目ごとにしか朗読されないのである。<sup>(註)</sup>
- ③ 主日・祝祭日用朗読配分の原理は、「主題の調和」と呼ばれるものと「準継続朗読」と呼ばれるものである。各季節と典礼季節ごとの特有の性格に応じて、この二つの原理のいずれかが用いられている。

が示される場合、すなわち、新約聖書の箇所に述べられる教えや出来事が旧約聖書の教えや出来事と多少にかかわらずはつきりした関係を持つてゐる場合である。この朗読配分の中に選ばれてゐる旧約聖書の箇所は、何よりも、同じミサで朗読される新約聖書の箇所、とくに福音との符合に基づいてゐる。

それぞれのミサの朗読箇所の間に見られるもう一つの組み合わせ方は、待降節、四旬節、復活節、すなわち固有の意義と特徴を持つ季節に見いだされる。

これに對して、格別特徴のない「年間」の主日には、使徒書の朗読と福音朗読の箇所はいずれも準継続朗読の順序に従つて配列され、旧約聖書の朗読は福音と調和するように組み合わされている。

68 前述の季節に適切であつたことを年間の主日にまで広げて、主日の説教が容易になるように、体系的にある種の主題の組み合わせを行うことはすべきではないと考えられた。なぜなら、そのような組み合わせは典礼行為そのものの本来の考え方と矛盾している。典礼行為はつねにキリストの秘義の祭儀であつて、神のことばを固有の伝統に基づいて用いる。それは、単に合理的あるいは外的な動機によつてではなく、福音を告げ、信じる者をあらゆる真理へ導く配慮によるものなのである。

#### c 週日用朗読配分

69 週日のための朗読配分は次の基準に基づく。

- ① ドのミサにも二つの朗読がある。第一朗読は旧約聖書または使徒書(すなわち、書簡もしくは默示録)から、ただし復活節には使徒言行録からで、第二の朗読は福音書からである。
- ② 四旬節は、その季節の特色、すなわち洗礼と回心という特質と関連する固有の原理に従つて一年周期で割り振られている。
- ③ 待降節、降誕節、復活節の週日も、同じように一年周期である。したがつて、朗読箇所は毎年変わらない。

④ 「年間」三十四週間の週日のためには、福音朗読は一年の周期で割り振られ、毎年繰り返される。第一朗読は一年周期で割り振られ、隔年に朗読される。第一年は奇数の年、第二年は偶数の年に用いられる。主日・祝祭日用のように週日用朗読配分においても、とくに独自の特徴を持つ季節の場合、主題の調和と準続続朗読の原則が同じように用いられている。

#### d 聖人の祝祭用の朗読

70 聖人の祝祭用には二つの朗読系列がある。

- ① 一つは祭日、祝日または記念日、とくにそれぞれの祭儀に固有の箇所がある場合のためで、固有の部に収録されている。しかし、共通の部にあるものの中から、より適した箇所を優先させるよう指示されている場合もある。
- ② 他の一つは、より広範囲なもので、聖人共通の部に収録されている。そこでは、まず種々の部類の聖人（殉教者、司牧者、おとめなど）のために特定の箇所が掲げられ、次に聖性一般に関する多くの箇所があげられている。これは、朗読について共通の部から選ぶことが許されている場合に、任意に使用することができる。

71 この部分の聖書の箇所の順序は、朗読される順番に従つて一括して掲載されている。すなわち、まず旧約聖書の箇所、次に使徒書の箇所、さらに朗読の間に唱えられる詩編(答唱詩編)と唱句(アレルヤ唱・詠唱)、最後に福音の箇所が掲げられている。これは、祭儀に参加する会衆の必要を司牧の面から考えて、司式司祭が任意に選択できるように配置されているのである。ただし、はつきりと別の注記がある場合はここの限りではない。

e 他の儀式を伴うミサ、種々の機会のミサ、信心ミサ、死者のためのミサの朗読

72 他の儀式を伴うミサ、種々の機会のミサ、信心ミサ、死者のためのミサの朗読箇所は上記と同じように配列されている。すなわち、聖人共通の部と同様に、多くの箇所が一括して列挙されている。

f 朗読箇所の選択および配分のおもな基準

73 朗読配分の各部分における朗読の配列を規定する前述の諸原則に加えて、次のようないくつかの基準をあげることができる。

i 特定の典礼季節に割り当てられる書

74 聖書朗読自体の意義と典礼の伝統に基づいて、この朗読配分においては、聖書のある書が特定の典礼季節に割り当てられている。たとえば、使徒言行録を復活節に朗読する西方の伝統(アンブロジオ様式、イスパニア様式)と東方の伝統が生かされている。このことによつて、教会生活全体が過越秘義に始まることが如実に示される。同様に、四旬節の終わりの週と復活節にヨハネ福音書を朗読する東西の伝統が守られている。

イザヤ書、とくにその第一部の朗読は、伝統的に待降節に割り当てられている。ただし、同じイザヤ書の若干の箇所は降誕節に朗読される。ヨハネの第一の手紙もこの季節に割り当てられている。

□ 朗読箇所の長さ

75 朗読箇所の長さについては中庸が保たれている。ある程度の長さが必要であるが、信者が通常注意して聞くことができる物語と、深い意味を持った教えるために長くは傾聴できない箇所とは区別された。

相当長い箇所の場合には、必要に応じて、長いものと短いものと二通り用意されている。この種の短縮を行うにあたっては最大の注意が払われた。

76 難解な聖書の箇所、すなわち、文学、批判学、釈義の立場から客観的に難問を含んでいる場合、あるいは、少なくとも信者にとってある程度理解しにくい場合は、司牧上の理由から主日と祭日の朗読から除外された。しかし、信者に理解し難いという理由で、いろいろな箇所に含まれている靈的な富を信者に隠すようなことはできなかつた。それは、理解し難いという理由が、実は、信者であれ司牧者であれ、ぜひとも身に着けておくべきキリスト教の教養や聖書の教養が不足していることに起因している場合があるからである。難解な朗読も、同じミサの他の朗読と組み合わせることによって、理解しやすくなるということもたびたびあるのである。

## 二 節の省略

77 ローマ典礼も含めて多くの典礼の伝統には、聖書朗読の際、時としてある節を省略する習わしがある。いうまでもなく、この種の省略を行う場合、聖書本文の意味やその精神、またある程度文体も損なわないよう慎重にすべきである。しかし、司牧上の理由から、聖書本文の意味が実質上完全に保たれるように注意深く配慮したうえで、この朗読配分においても前述の伝統が守られることになった。そうでなければ、長すぎる箇所ができたり、あるいは、信者にとって少なからず、また時には豊かな靈的利益をもたらす朗読であるにもかかわらず、司牧的見地からいつてさほど有益でないか、もしくは実際にあまりにも大きな難問のある一、二の節があるというだけで全部を省かなければならなくなる。

## 三 朗読配分を使用する際の原則

### a 聖書の箇所を選択する自由

78 朗読配分には、二箇所のうちどちらかを選んで朗読する自由や、同一の朗読のために一括して掲げられる多くのものの中から一つの箇所を選ぶ自由が、司式司祭に与えられている場合がある。典礼季節に固有の色彩が失せたり、ある書の準継続朗読が不適に中断されたりすることがないようにするため、このことは主日、祭日、祝日にはまれにしか起こらない。これに対してこの種の自由は、聖人の祝祭、他の儀式を伴うミサ、種々の機会のミサ、信心ミサ、死者のためのミサにおいてはより大幅に与えられている。

こうした自由には、「ローマ・ミサ典礼書の總則」や、『オルド・カントウス・ミセ(ミサの典礼聖歌)』に指示されているのと同様に<sup>(註)</sup>、司牧上の目的がある。したがつて、司祭はことばの典礼を準備するとき、「自分の好みよりはむしろ神の民の靈的共通善に心を用いるものとする。さらに、このようなミサの式文の選択は、信者に接関係のあることについては決して信者を無視することなく、祭儀において役割を果たす他の人々と協調して行わなければならないということを忘れてはならない」。

#### イ 福音朗読前に行われる二つの朗読

79 三つの朗読が用意されているミサにおいては、実際に三つの朗読が行われるべきである。しかし、司教協議会が司牧上の理由のために、ある所で二つの朗読だけを行うことを認める場合には、初めの二つの朗読のうちから選択を行うにあたって、信者に救いの秘義をより豊かに教えるようにとの勧めが無意味なものにならないようにならなければならない。したがつて、その箇所に別の注記がない限り、初めの二つの朗読のうちから福音とよく調和するほう、または前述の勧めに従つて一定期間にわたり一貫した教話をを行うのに役に立つほう、あるいはある書の準継続朗読ができるほうを選ぶようにする。

#### □ 長短二種類の本文

80 同じ朗読箇所に長短二種類の本文が用意されている場合、どちらを選択するかは司牧上の基準によらなければ

ばならない。その場合、長短いすれの朗読が信者の聞く力からみていつそう実り豊かなものとなるか、また説教によつて説明される長文の箇所を聞く力があるかどうかといふ点に留意しなければならない。

#### ハ 二つの箇所がある場合

81 既定の二つの朗読箇所のうちいすれかを選ぶ自由が与えられている場合、または任意に選ぶことができる場合、参加者の利益を考慮すべきである。すなわち、使用する朗読箇所についてはどちらが分かりやすいか、あるいは集まつた会衆にどちらがよく合つてゐるかを考える。同じ箇所を繰り返して用いるか、または後日のために取つておくかについては、その箇所がある祭儀に固有のものとして指示されているのか、あるいは司牧上有益なので任意にそれを用いるのかを考えるべきである。

このようなことが起るのは、会衆が聖書のある箇所に困難を感じることが懸念されるか、もしくは同一の箇所を、主日と次の週の週日のように近日中にもう一度朗読しなければならない場合である。

#### ニ 週日の朗読

82 週日用朗読配分には、一年の全周期にわたつて各週のそれぞれの日のために朗読箇所が示されている。したがつて、固有の朗読が行われる祭日、祝日、記念日を除いて、それらの朗読はほとんどすべて定められたその日に行われる。<sup>(略)</sup>

週日用朗読配分の使用にあたつては、その週に行われる祭儀のため同じ書の一、二の朗読を省く必要があるかを調べておく。その場合、司祭はその週全体の朗読配分を念頭に置いて、重要性が少ないため省く箇所はどこか、また全体の展望を示すために有益な場合、同じ箇所を他の箇所といふに適切に組み合わせることができるかを、前もつて考えておかなければならぬ。

## ホ 聖人の祝祭

83 聖人自身について、またはそのミサで祝われる秘義について述べている固有の朗読が実際に聖書の中にある場合には、聖人の祝祭のためにそれらが用意されている。このような朗読は、記念日の場合でも、当日の週日の朗読の代わりに読まれる。記念日にこのような朗読が行われる場合には、本朗読配分においてその都度明確に指示されている。

時には、聖人に適用して朗読される朗読箇所がある。それは聖人の靈的生活や活動の特別な側面を照らし出すものである。その場合、司牧上の理由によつて真にそれが必要であるとき以外、そのような朗読を用いることは義務づけられないと思われる。しかし、選択が容易に行われるよう、ほとんどの場合、共通の部に掲げられた朗読箇所が指示されている。ただしそれは勧めであつて、適用された朗読または提示された朗読の代わりに、共通の部で指示されているものの中からどの朗読を選ぶこともできる。

会衆とともに司式する司祭は、まず信者の靈的善を求め、自分自身の傾向を信者に押し付けないように注意しなければならない。週日用朗読聖書にそれぞれの日のために割り当てられている朗読を、たびたび、しかも十分な理由なしに省くことがないようとくに配慮しなければならない。教会は、神のことばの食卓がより豊かに信者のために備えられるよう望んでいるからである。<sup>(註)</sup>

そのほかの共通の朗読箇所には、ある部類の聖人(たとえば殉教者、おとめ、司牧者)のため、もしくは聖人一般のため共通の部に載せられているものがある。この場合には、同一の朗読のために複数の箇所が掲げられてるので、聴衆により適した箇所を選ぶのは司式司祭の責任である。朗読箇所は、すべての祭儀において、つねに共通の部からそれとの場合に選ぶことができるほか、特別な理由があればいつでも、聖人と聖女の共通の部から選ぶことができる。

84 聖人の祝祭のためには、さらに次の諸点に留意しなければならない。

① 祭日と祝日には、いつも聖人固有の部と聖人共通の部にある朗読を用いる。一般暦の祭儀のためには、つねに固有の朗読が指示されている。

② 特殊暦の祭日には、三つの朗読を行う。第一朗読は旧約聖書から（復活節には使徒言行録または默示録から）、第二朗読は使徒書から、第三の朗読は福音書から行う。ただし、司教協議会が朗読を二つに定めた場合はこの限りではない。<sup>(1)</sup>

③ 二つの朗読だけが行われる祝日と記念日には、第一朗読は旧約聖書もしくは使徒書から選ぶことができる。もう一つの朗読は福音書から行う。しかし、復活節には教会に伝わっている習慣に従って、第一朗読は使徒書から、もう一つの朗読はできる限りヨハネ福音書から選ぶ。

#### 朗読配分のその他の部分

85 他の儀式を伴うミサの朗読配分においては、すでに公刊された各儀式書に指示されているのと同じ箇所が指示されている。もちろん、ミサ中に行われない祭儀のための朗読箇所は省かれている。<sup>(2)</sup>

86 種々の機会のミサ、信心ミサ、死者のためのミサの朗読配分には、多くの箇所が示されている。それは参加者のグループの種々の関心や問題や事情に、その祭儀を適合させるために適当な助けとなる。

87 他の儀式を伴うミサ、種々の機会のミサ、信心ミサ、死者のためのミサにおいて、同一の朗読のために複数の箇所が用意されているので、その選択は、聖人共通の部から朗読を選ぶために記されているのと同じ基準によって行う。

88 他の儀式を伴うミサが禁じられている場合でも、各儀式が指示する規則に合わせて、他の儀式を伴うミサの

ための朗読箇所の中から一つをとることができる。その際、参加者の靈的共通善を考慮する<sup>(12)</sup>。

b 答唱詩編と福音朗読前の応唱(アレルヤ唱・詠唱)

89 これらの歌の中で重要なものは、第一朗読に続く詩編である。通常その朗読箇所に指示されている詩編を用いる。しかし、聖人共通の部、他の儀式を伴うミサ、種々の機会のミサ、信心ミサ、死者のためのミサの朗読については、その選択は司式司祭に委任され、司祭は参會者の司牧上の利益の原則に基づいて選ぶ。

しかし、会衆が詩編形式の答唱を容易に行うことができるよう、詩編を歌う場合には、朗読箇所に対応する詩句の代わりに、朗読配分に示されている一年の種々の季節もしくはさまざまな部類の聖人のための詩編と答唱<sup>(13)</sup>の詩句を用いることができる。

90 第一朗読の後、福音の前に歌われるもう一つの歌は、一つ一つのミサのために定められ、福音と組み合わされているものと、季節または共通の部の共通する系列の中から選ぶことになっているものとがある。

91 四旬節には、適当であれば、後に掲げる応唱のうちの一つを〔本書では省略〕、福音朗読前の唱句の前後に付けて用いることができる。<sup>(14)</sup>

## 第五章 朗読配分の概要

92 朗読配分の構造を司牧者が理解するのを助けることによって、朗読配分が活用され、キリスト信者がそこから豊かな実りを得ることができるよう、少なくとも主要な祭儀と典礼暦年の種々の季節について、朗読配分の概要を簡潔に説明するのは有益なことと考えられる。これらのこと留意し、前述の規則に従つて朗読箇所が選ばれているのである。

### 一 待降節

#### a 主日

93 主日の福音朗読には次のような特徴がある。第一主日は時の終わりにおける主の来臨、第二主日と第三主日は洗礼者ヨハネ、第四主日は主の誕誕の直前の準備となつた出来事に関連している。

旧約聖書の朗読は、救い主（メシア）とその時代に関する預言で、とくにイザヤ書からのものである。使徒書の朗読は、この季節の種々の特徴にそつて告げ知らせ、勧め励ますものである。

b 週日

94 二つの朗読系列がある。一つは第一月曜日から十一月十六日まで、もう一つは十七日から二十四日まで用いられる。

待降節の初めの部分はイザヤ書の朗読で、同書の順序に従つて行われる。その中には主日にも朗読される重要な箇所が入つていてもある。この期間の福音は第一朗読との関連で選ばれている。

第一週の木曜日からは洗礼者ヨハネについての福音朗読が始まる。しかし、第一朗読にはイザヤ書の続き、または福音と関連して選ばれた箇所が読まれる。

主の降誕前の最後の週には、マタイ福音書の第一章とルカ福音書の第一章から主の降誕を直接準備する出来事が読まれる。第一朗読においては、旧約聖書の種々の書から福音と関連した箇所が選ばれており、その中にはいくつかの重要なメシア預言が含まれている。

## 二 降誕節

### a 祭日・祝日・主日

95 主の降誕の前晩と三つのミサには、預言書の朗読とローマの伝統から選ばれた他の朗読が行われる。

降誕の八日間中の主日、すなわち聖家族の祝日には、福音はイエスの幼年時代についてであり、他の朗読は家庭生活の諸徳に関するものである。

降誕の八日目、すなわち神の母聖マリアの祭日には、神の母おとめマリアとイエスの命名に関する朗読が行われる。

降誕後第二主日には、朗読は受肉の秘義を扱っている〔日本では主の公現の祭日となる〕。

主の公現には、旧約聖書と福音朗読はローマの伝統を守っている。使徒書の朗読では諸国民が救いに招かれる箇所が読まれる。

主の洗礼の祝日には、その秘義に関する箇所が選ばれている。

b 週日

96 十二月二十九日以降、ヨハネの第一の手紙全体の継続朗読が行われる。これは、十二月二十七日の聖ヨハネの祝日とその翌日の幼子殉教者の祝日にすでに読み始められるものである。福音は主の種々の顯現と関係している。すなわち、ルカ福音書からイエスの幼年時代の出来事（十二月二十九日と三十日）、ヨハネ福音書の第一章（十二月三十一日から一月五日まで）、そして四つの福音書から主のおもな顯現（一月七日から十二月まで）が朗読される。

### 三 四旬節

a 主日

97 福音朗読は次のように配分されている。

第一主日と第二主日には主の試みと変容の記事が保存されている。しかし、これは三つの共観福音書によつて朗読される。

続く三つの主日には、A年のためにはサマリアの婦人、生来の盲人、ラザロの復活についての福音が復興された。これらの福音はキリスト教入信にとって重要であるから、とくに洗礼志願者がいる場合には、B年とC年にも用いることができる。

しかし、B年とC年には他の箇所も用意されている。すなわち、B年には十字架と復活によるキリストの未来の栄光についてのヨハネ福音書の箇所で、C年には回心についてのルカ福音書の箇所である。

「主の受難・枝の主日」には、行列のために主の盛大なエルサレム入城に関する箇所が三つの共観福音書から選ばれている。ミサには主の受難の記事が朗読される。

旧約聖書の朗読は、四旬節の教話の固有の題材の一つである救いの歴史に関連している。毎年、その歴史の起

こりから新しい契約の約束に至るまでのおもな要点を含む一連の箇所が朗読される。

使徒書の朗読は、福音朗読と旧約聖書の朗読に呼応し、できる限り相互による深いつながりが保てるよう選ばれている。

#### b 週日

福音と旧約聖書からの朗読は相互に関係のあるものが選ばれ、この季節の靈的意味に適応して四旬節の教話に固有な種々の題材を扱っている。第四週の月曜日以降、ヨハネ福音書の準継続朗読が行われ、四旬節の特徴にいつそうよく合致する福音が朗読される。

サマリアの婦人、生来の盲人、そしてラザロの復活についての朗読は、現在主日に行われ、しかもA年に限られているので(他の年は任意)、週日にも採用することができるよう考慮されている。したがって、第三週、第四週、第五週の初めに、これらの朗読箇所を含む「任意のミサ」(Missa ad libitum)が挿入される。このミサの朗読箇所は、当日の朗読箇所の代わりにその週のどの週日にも用いることができる。

聖週間の初めの日々には、朗読は受難の秘義と関連している。聖香油のミサの朗読は、キリストの救い主(メシア)としての使命と、その使命が教会において秘跡をとおして継続されていることを明らかにする。

## 四 聖なる過越の三日間と復活節

### a 聖なる過越の三日間

99 主の晩さんの木曜日の夕べのミサにおける出エジプトに先立つ食事の記念は、弟子たちの足を洗うキリストの模範と、主の晩さんにおけるキリスト者の過越祭の制定についてのパウロのことばに特別な光を与えている。

主の受難の金曜日の典礼行為は、イザヤ書で主のしもべとして告げ知られ、自らを父に奉獻して実際に唯一の祭司となられたかたの受難がヨハネ福音書から読まるるときに頂点に達する。

復活徹夜祭の聖なる夜には、旧約聖書から七つの朗読が用意されている。それは救いの歴史における神の不思議なわざを思い起こすものである。新約聖書からは二つの朗読、すなわち、三つの共観福音書による復活の告知と、キリストの復活の秘跡としてのキリスト者の洗礼について使徒書の朗読がある。

復活祭の日中のミサのための福音朗読は、空になつた墓についてのヨハネ福音書からの箇所である。しかし、聖なる夜のために掲げられている福音の箇所、あるいは夕刻のミサが行われるときにはエマオに行く弟子たちへの出現についてのルカ福音書の記事を任意に読むこともできる。第一朗読は使徒言行録からとられる。使徒言行録は復活節中、旧約聖書の朗読の代わりに用いられる。使徒書からの朗読は、過越秘義を教会の中で生きることに関するものである。

### b 主日

100 復活節第三主日まで、福音朗読は復活したキリストの出現を述べている。よい牧者についての朗読は復活節第四主日に定められている。復活節第五主日、第六主日、第七主日（日本では、この主日は「主の昇天」の祭日になる）には、最後の晩さんの後に主が行われた説教と祈りの一部が朗読される。

第一朗読は使徒言行録からとられ、三年周期で並行して発展していくようになっている。こうして、毎年、初

代教会の生活から始まって、あかしと発展の跡をたどるのである。

使徒書の朗読については、A年にはペトロの第一の手紙が、B年にはヨハネの第一の手紙が、C年には黙示録が朗読される。これらの箇所は、この季節独特の喜ばしい信仰と搖るぎない希望の精神に非常によく調和している。

#### c 週日

101 第一朗読は主日と同じくほぼ継続して使徒言行録からとられている。福音については、復活の八日間中は主の出現の記事が朗読される。その後、ヨハネ福音書の準継続朗読が行われるが、ここではどちらかというと復活の色彩の濃い箇所がとり上げられ、こうしてすでに四旬節に行われた同書の朗読が完成する。この復活の朗読においては、最後の晩さんの後の主の説教と祈りが大半を占めている。

#### d 昇天と聖霊降臨の祭日

102 昇天の祭日には、第一朗読として使徒言行録による昇天の出来事の叙述が保持されている。この箇所は、父の右に上げられたキリストについての使徒書の朗読によって補完される。福音朗読には、各周期の年のために福音記者の異なるそれぞれ固有の箇所が用意されている。

聖霊降臨の前晩のミサには、この祭日の多様な意味を明らかにするために旧約聖書の四つの箇所が掲げられているが、そのうちの一つが任意に選ばれる。使徒書の朗読は現に教会の中で働く聖霊の役割を示している。福音朗読は、栄光を受ける前にキリストがなさつた聖霊の約束を思い起こさせる。

当日のミサにおいては、第一朗読のために聖霊降臨の偉大な出来事に関する使徒言行録による叙述が伝統的に採用されている。使徒書の箇所は、教会生活における聖霊の働きの効果を示している。福音朗読は、イエスが復活の日の夕方、弟子たちに聖霊を受けたことを思い起こさせる。任意に用いることのできる他の箇所は、弟子た

ちと教会に対する聖靈の働きについて扱つてゐる。

## 五 年間

### a 聖書の箇所の配列と選択

103 「年間」は一月六日直後の主日の翌日の月曜日に始まり、四旬節直前の火曜日(その日も含む)まで続く。また、聖靈降臨の主日直後の月曜日に再び始まり、待降節第一主日の前晩の祈りの直前まで展開される。

朗読配分には三十四の主日とそれに続く週のための朗読が示されている。しかし年間の週が三十三しかない場合もある。その中で他の季節に属する主日もあれば(主の洗礼の祝日が行われる主日、聖靈降臨の主日)、祭日に当たるので行われない主日(たとえば三位一体、王であるキリスト)もある。

104 年間用に定められている朗読箇所を正しく用いるためには、次のことがらを守らなければならない。

① 主の洗礼の祝日に当たる主日は年間第一主日の代わりとなる。したがつて、第一週の朗読は一月六日直後の主日の翌日の月曜日から始められる。主の洗礼の祝日が公現の祝われた主日後の月曜日に祝われる場合には、第一週の朗読は火曜日から始められる。

② 主の洗礼の祝日に続く主日は年間第二主日となる。その後は四旬節の始まる前の主日まで順に一つずつ数えていく。灰の水曜日の週の朗読は、その前日(火曜日)までで、それ以降の分は打ち切られる。

③ 年間の朗読が聖靈降臨の主日後に再開されるときには次のように行う。

・年間主日が三十四ある場合、四旬節の始まる週の直後の週の分から続ける。<sup>(註)</sup>

・年間主日が三十三ある場合、聖靈降臨後採用するはずであった最初の週の分を省く。それは、最後の一

週間に割り当てられている終末に関する箇所を年の終わりに確保するためである。<sup>116</sup>

## b 主日の朗読 イ 福音朗読

105 年間第二主日の福音は、伝統的なカナの婚宴の箇所と、同じヨハネ福音書の他の二つの箇所によって、公現の祭日に祝つた主の顯現との関連が保たれている。

第三主日からは、三つの共観福音書の進続朗読が始まる。この朗読は、主の生涯と宣教を展開しながら、各福音書に固有な教えを示すよう編成されている。

さらに、このような配分によつて、各福音書の思想と典礼暦年の展開との間に、ある種の調和が得られるようになつてゐる。事実、公現後、主の宣教の初めが朗読されるが、これはキリストの洗礼とその最初の顯現とに非常によく関連している。また典礼暦年の終わりのほうの主日は、固有の終末の主題におのずとたどり着くようになつてゐる。福音の箇所は受難の記事に先立つ箇所であつて、この主題について比較的詳しく扱つてゐる。

B年には、第十六主日の後にヨハネ福音書の第六章からとられた五つの朗読箇所(いのちのパンについての説教)がごく自然に插入されている。それは、ヨハネ福音書のパンの増加がマルコ福音書の同じ記事の代わりになつてゐるからである。C年のルカ福音書の進続朗読において、最初の箇所として(すなわち第三主日に)作者の意図をきわめて美しく述べている同福音書の序文が朗読される。それは他に適當な場がなかつたことにもよる。

## ロ 旧約聖書の朗読

106 旧約聖書の朗読は、福音の箇所との関連で選ばれている。それは、各ミサにおける朗読があまりにも異なつたものとならないようにするためであり、またとくに新約と旧約の一貫性を表すためである。同じミサの朗読相互の関係は、入念に選択されて各朗読の前に付けられた主題句によつて示されている。

朗読箇所はなるべく短く、また理解しやすいものが選択されている。しかし同時に、旧約聖書の中からもつとも重要な箇所ができるだけ多く主日に朗読されるよう配慮された。これらの箇所は、福音朗読を中心にしてこれに合わせて、すなわち論理的な順序に従わないで配分されている。しかし、主日のミサの参加者は皆、旧約聖書の主要な部分のほとんどすべてを聞くことができるよう、神のことばの宝庫は開かれているのである。

#### ハ 使徒書の朗読

107 使徒書からは、パウロとヤコブの手紙の準継続朗読が行われる（ペトロとヨハネの手紙は復活節と降誕節に朗読される）。

コリントの教会への第一の手紙はかなり長文であり、種々の問題を扱っているので、三年周期に分けて、「年間」の初めに朗読される。同じくへブライ人への手紙も二つに分割するのが適当と考えられ、一つはB年に、もう一つはC年に朗読される。

なお、信者が理解できるように、あまり難しくない、短い朗読箇所だけが選ばれている。

後に掲げる第II表<sup>(1)</sup>に、三年周期の年間主日の使徒書の配分が示されている。

#### c 年間の主の祭日のための朗読箇所

108 三位一体、キリストの聖体、イエスのみ心の祭日には、祭儀のおもな特徴に合った箇所が選ばれている。

第三十四主日、すなわち年間最後の主日の朗読は、ダビデにかたどられ、受難と十字架のへりくだりのうちに宣言され、教会の中で支配し、時の終わりに再び来られる宇宙の王であるキリストを祝うものである。

#### d 週日の朗読

109 福音は、最初にマルコ福音書（第一週から第九週まで）、次にマタイ福音書（第十週から第二十一週まで）、

最後にルカ福音書(第二十二週から第三十四週まで)が朗読されるように配分されている。マルコ福音書の第一章から第十二章までは全部朗読される。ただし、他の季節の週日に朗読される第六章の二箇所は除かれる。マタイ福音書とルカ福音書は、マルコ福音書に収録されていない箇所が全部朗読される。それぞれの福音書にとつてまったく独特の性格を持つているか、あるいは福音書の展開をよく理解するのに必要な箇所はすべて、二回か三回朗読される。ルカ福音書の、終末に関する説教は全部、典礼暦年の終わりに朗読される。

110 第一朗読は、旧約か新約のどちらかの朗読が、その書の長さに応じて何週間か続けて行われる。

新約聖書の諸書は、各手紙の中心的な内容がほぼ全部把握できるよう、かなり多くの部分が朗読される。

旧約聖書については、なるべく各書の特徴を示す箇所が選ばれている。歴史書は主の受肉以前の救いの歴史が展望できるように選ばれている。しかし、あまりにも長い記事はほとんど採用できないので、朗読がそれほど長くなりすぎないような節が選ばれている場合もある。さらに、歴史上の出来事の宗教的な意味が明らかになるように、知恵の書の場合、ある箇所を歴史的叙述に前文または後文として附加したところもある。

旧約聖書のほとんどすべての書は、季節の部の週日用朗読配分に入っている。省かれたのはごく短い預言書(オバデヤ、ゼファニアヤ)および詩書(雅歌)だけである。教訓のために書かれた物語で理解するにはかなり長い朗読が必要なものの中からは、トビト記とルツ記が読まれ、他の書(エステル記、ユディト記)は省かれている。これらの書の中のある箇所は、他の季節の主日もしくは週日に朗読される。

後に掲げる第III表によつて、年間週日のために新約と旧約の二年周期の配分が示されている。

典礼暦年の終わりには、この時期の終末的性格に合う書物、すなわちダニエル書と默示録が朗読される。

## 第六章 朗読配分の適応と国語訳および朗読の補助手段

### 一 適応と国語訳

111 典礼集会における神のことばの告知は、つねに現行の規定に従い<sup>(1)</sup>、使徒座によつて準備されたラテン語本文か、または司教協議会によつて承認された典礼用の国語訳によらなければならぬ。

112 ミサの朗読聖書全体は、そのすべての部分にわたつて、緒言も省略することなく翻訳しなければならない。司教協議会が何らかの必要かつ適當な適応を行うことを決めた場合には、使徒座の認証を得たうえでそれを実行に移すものとする。<sup>(2)</sup>

113 朗読聖書はその分量が多いために出版は分冊にしなければならないが、その区分については何ら規定されていない。ただし、どの分冊にも、その部分の構造と目的が説明されている解説文を掲載するものとする。福音朗読のための本(朗読福音書)を、その他の旧約聖書と新約聖書の朗読のための本とは別に出版するという古くからの慣習を守ることが勧められる。

しかし、主日用朗読聖書——その中には聖人の部からの適当な抜粋も含めることもできる——と、週日用朗読聖書を別々に出版することもできる。主日用は、それぞれの年のために全部続けて掲載する方法で、三年周期に従つて適当に分割することもできる。

なお、他の編集方法が工夫され、司牧の面からそれを用いることが適切と思われるならば、任意にそれを用いることができる。

114 歌の本文はつねに朗読と一つに組み合わせるものとする。しかし、歌だけを載せた本を別に作ることもできる。歌詞を印刷する際には節に分けることが勧められる。

115 朗読箇所が種々の部分から成り立っている場合にはいつも、その箇所の構造が印刷の割り付けにおいてはつきりと分かるようにする。また、詩ではない箇所も段落に分けて印刷し、朗読が容易になるようにする。

116 長短二種類の本文がある場合、読みやすくなるように双方を別々に掲載する。しかし、そのように分けることが不適當と思われる場合には、双方の箇所を誤りなく読むことができる方法を考える。

117 国語訳においては、聖書本文とともに主題句を掲げる。また主題句とともに、適當と思われるならば、その箇所の一般的な意味をより平易に説明する解説を加えることができる。その場合には、適當なしのしを付けるか、または活字を区別して、任意に扱われるものであることがはつきり分かるよう<sup>(14)</sup>にする。

118 各巻には、本書に収められているのと同数の聖書の箇所の索引<sup>(15)</sup>を適宜加えることが望ましい。それによつてミサの朗読聖書の中から、何かの機会に必要なまたは有益な箇所を容易に見つけることができるためである。

## 二 朗読の補助手段

本書には一つ一つの朗読のために、その箇所の指示、主題句、および冒頭句があげてある。それについては次の諸点に留意すべきである。

### a 聖書の箇所の指示

119 聖書の箇所の指示(すなわち章と節)は、詩編を除いて<sup>(14)</sup>、つねに新ウルガタ版によつてゐる。ただし、原文と相違する場合には原文(ヘブライ語、またはアラマイ語、またはギリシア語)による別の指示も付け加えられている。国語訳の場合は、それぞれの国語を用いる権限ある権威者の決定により、同権威者によつて典礼に用いることが認められた訳文に対応する数え方を守ることができる。章と節は必ず正確に指示し、またそれを適宜、聖書本文または欄外に示さなければならぬ。

120 この指示から明らかなどおり、典礼書においては祭儀中に読まなければならない本文の「表題」を掲載しなければならない。これはこの朗読配分においては省略されている。このことについては次の規定に従う。ただし、地方もしくは言語の習慣や特性に応じて、権限ある権威者の決定により、変更することができる。

121 表題はつねに「〇〇書の朗読」、または「手紙の朗読」、「福音の朗読」などと言い、(適當と思われる特別な場合は別として)「序文」とか「続き」などとは言わない〔日本では、預言書は「〇〇〇〇の預言」、福音書は「〇〇〇〇による福音」、一定の共同体または個人あての手紙は「使徒パウロの〇〇〇〇への手紙」、公同書簡は「使徒〇〇〇〇の手紙」、默示録は「ヨハネの默示」。いずれの場合も「……の朗読」は付けない〕。

書名は次のものを除き、伝統的な使い方を守るものとする。

- (a) 同じ名称の書が二つある場合、旧約聖書では、「上」・「下」（たとえば、「列王記上」、「列王記下」）、旧約聖書続編では、「一」・「二」（「マカバイ記」・「マカバイ記二」）、新約聖書の手紙は、「一」・「二」（たとえば、「……への手紙」・「……への手紙二」、「……の手紙」・「……の手紙二」と呼ぶ）。
- (b) 次の書については現代ふつうに用いられている名称を用いる。

「サムエル記上・下」と呼び、「列王記第一・第二」とは言わない。

「列王記上・下」と呼び、「列王記第三・第四」とは言わない。

「歴代誌上・下」と呼び、「歴代史略第一・第二」とは言わない。

「エズラ記」・「エゼキエル記」と呼び、「エズラ書第一・第二」とは言わない。

- (c) 知恵文学は次の名称で区別する。すなわち、ヨブ記、箴言、伝道の書またはコヘレトのことば、雅歌、知恵の書、集会の書またはシラ書。

- (d) 新ウルガタ版において預言書の中に数えられている書については、たとえそれらを真の預言書と認めない人がいる場合にもすべて「イザヤ書、エレミヤ書、バルク書」・「エゼキエル書、ダニエル書、ホセア書、マラキ書」などと呼ぶ。

- (e) 「哀歌」および「ヘブライ人への手紙」は、エレミヤのとかパウロのとかを付けずにそのまま呼ぶ。

### b 主題句

- 123 主題句は（たいていの場合その箇所に出てくることばかり）注意深く選んで、それぞれの箇所に付けられる。それは、その朗読の中心主題を示すとともに、必要であれば、同じミサの朗読相互の関係をその主題句によって表すことを目的としている。

#### c 冒頭句

124 冒頭句には、まず通常の導入のことばが含まれる。すなわち、「そのとき」、「その日」、「兄弟の皆さん」、「愛する皆さん」、「主は仰せになる」など。ただし、本文に、時あるいは人物について十分な指示がある場合や、聖書本文の内容からいつて冒頭句が適当でない場合には省かれる。それぞれの国語訳に際しては、権限ある権威者の決定によってそのような定句を変更することも省略することもできる。

これらの冒頭句の後に、朗読箇所の聖書本文が始まるが、文脈から切り離された聖書本文の理解に必要な場合には、若干のことばを削除するか補う。同様に朗読箇所の節が続いていない場合、そのために改変が必要なときは適当な指示を行う。

#### d 終わりの応唱

125 朗読の終わりには、会衆の応唱を容易にするために朗読者が“Verbum Domini”と言ふか、または地域の習慣に従つて、同種の別の表現が用いられる〔日本では、朗読に立ち合ふ奉仕者がいれば静かに「神に感謝」と唱え、会衆は直ちに沈黙に入る。福音朗読後の応唱については17—18番参照〕。

## 第一章

- (1) ヒュー、第一バチカン公会議『典礼憲章』7、24、33、35、48、51、52、56(*Sacrosanctum Concilium*)、同『啓示憲章』1、21、25、26(*Dei Verbum*)、同『教会の宣教活動に関する教令』18(*Presbyterorum ordinis*)参照。
- (2) 諸教皇によつて口頭または書面で述べられたもののうち、へゝは次のものを参照。教皇ペウロ六世使徒的書簡『ミスチリア・クエダム(一九七一年八月十五日)』►(*Ministeria quadam*: AAS 64 [1972] 532)、同使徒的勸告『マリアーリス・クルトゥスー聖マリアーの禮拝』(一九七四年一月一日)、<sup>12</sup>(*Marialis cultus*: AAS 66 [1974] 125-126)、同使徒的勸告『福音宣教(一九七五年十一月八日)』<sup>28</sup>、43、47(*Evangelii nuntiandi*: AAS 68 [1976] 24-25, 33-34, 36-37)、教皇ハネ・ペウロ一世使徒憲章『スクリチナ・チャーレム・ホヤカルベ(一九七六年四月二十一日)』(*Scripturarum thesaurus*: *Nova Vulgata Biblia*、*Sacrum editio*, Typ. Polyglottis Vaticanae, 1979, V-VIII; AAS 71 [1979] 557-559)、同使徒的勸告『聖母教育(一九七九年十月十六日)』<sup>27</sup>、48(*Catechesi tradendae*: AAS 71 [1979] 1296-1297, 1298-1299, 1316)、回書簡『聖体の秘義と礼拝』(一九八〇年一月二十一日)、<sup>10</sup>(*Dominicæ cenae*: AAS 72 [1980] 134-137)。
- (3) たゞやば次のものも参照。教皇庁礼部聖省『聖体祭儀指針(一九六七年五月一十五日)』<sup>10</sup>(*Eucharisticum Mysterium*: AAS 59 [1967] 547-548)、教皇庁典礼聖省指針『ハレウルジチヨ・イン・スタウラ・イオネス(一九七〇年六月廿五日)』≈(*Liturgiae instauraciones*: AAS 62 [1970] 695-696)、教皇庁聖職者聖省『ハレンク・ヘラウム・カテキスティカム・シニ・ホネハーノ(一九七一年四月十一日)』<sup>10-12</sup>、<sup>25</sup>(*Directorium catechisticum generale*: AAS 64 [1972] 106-107, 114)、教皇庁典礼聖省『ローマ・ミサ典籍書の總則』<sup>29</sup>、<sup>31</sup>、<sup>46</sup>、<sup>55</sup>、<sup>93</sup>、<sup>95-97</sup>、<sup>98</sup>、<sup>99</sup>、教皇庁教育聖省『司祭養成における典礼教育指針(一九七九年六月三日)』<sup>11</sup>、<sup>52</sup>、<sup>99</sup>(*In ecclesiasticam*: N 15 [1979] 530, 545, 554)、教皇庁秘跡典礼聖省指針『イノリベ

トーマス・シムズ(一九八〇年四月廿四日)』<sup>1</sup>、<sup>2</sup>、<sup>3</sup> (*Inestimabile Domum : AAS 72 [1980] 333-334*)。

(4) 「ミサの朗読配分(初版)」<sup>4</sup>—<sup>5</sup> (総編) (*Ordo lectionum Missae, Typis Polyglottis Vaticani, 1969*)、「ミサの朗読配分」を公布する「教令」(AAS 61 [1969] 548-549) 参照。

(5) 第二バチカン公会議『典礼憲章』<sup>35</sup>、<sup>36</sup>、教皇ペトロ大世使徒的勧告『福音宣教』<sup>28</sup>、<sup>47</sup> (AAS 68 [1976] 24-25、36-37)、教皇ヨハネ・パウロ一世書簡『聖体の秘義と礼拝について』<sup>10</sup>、<sup>11</sup>、<sup>12</sup> (AAS 72 [1980] 134-146) 参照。

(6) たゞえば、「神のいみせ」、「聖書」、「旧約と新約」、「神のいみせの朗読」、「聖書朗読」、「神のいみせの祭儀」など。

(7) それゆえ、同一の聖書の箇所を、異なった観点から教会の典礼暦年の種々の機会と祭儀のために朗読し、用ひねりがである。このことは、説教、司牧的な聖書講話、教説において想起されなければならぬ。これらは本朗読配分の索引の中や、たゞえばローマの信徒への手紙第六章あるいは第八章などを、典礼暦年の異なる季節や種々の秘跡、進秘跡の祭儀において使用することから明らかである。

(8) ルカ 4・16—21、24・25—35、44—49 参照。

(9) たゞえば、ミサの祭儀において告げ知らせることや朗読(「ローマ・ミサ典礼書の總則」<sup>43</sup>、<sup>45</sup>、<sup>134</sup>、<sup>175</sup>、<sup>191</sup>、<sup>275</sup>、<sup>276</sup>)などを参照。なお、第二バチカン公会議の決定に基づいて刷新された『ローマ司教典礼書』、「ローマ儀式書」、「時課の典礼(教会の祈り)」における神のことばの祭儀も同様。

(10) 第二バチカン公会議『典礼憲章』<sup>7</sup>、<sup>33</sup>、マルコ 16・19—20、マタイ 28・20、聖アウグスチヌス『説教』の「キリストの口は福音です。キリストは天に座しておられます、地上で語るのをやめないことはありません」(S. Augustinus, *Sermo* 85, 1: PL 38, 520; Ibid, *In Io. Eu. Tract.* XXX, 1: PL 35, 1632; CCL 36, 289 も参照)、「ローマ・ゲルマニア司教典礼書」の次の箇所、「福音が朗読されね。いいださ、キリストが皿の衆に語りかね、……おたかみキリスト自身が衆衆に語るかのやへど、教会の中で福音を思い起しやせぬ」(*Pontificale Romanum et Germanicum*: V. Vogel-R. Elze, ed. *Le Pontifical Romano-germanique du dixième siècle. Le Texte*, I. Città del Vaticano 1963/XCIV, 18, 334)、あたは「キリスト自身’やだねや福音

音がそばに来いへだわるのや、わたしたちは杖を捨ておず。人間の助けはもう必要ないからや」(ob. cit., XCV, 23, 335) 参照。

- (11) 第一バチカン公会議『典礼憲章』7 参照。
- (12) ヘブライ4・12 参照。
- (13) 聖トマス・ア・クレラス「七書の諸問題」(S. Augustinus, *Quæstionum in Heptateuchum liber 2*, 73: PL 34, 623; CCL 33, 106) 第一バチカン公会議『典礼憲章』16 参照。
- (14) 聖ヒエロニモ『イザヤ書注解』の「使徒ペテロが『神はよほ（）ココハムー・24』」キリストが神の力であり、神の知恵であるとすれば、聖書を知らない者は神の力と神の知恵を知らないことになる。実際、聖書を知らないことは、キリストを知らないことである」(S. Hieronymus, *Commentarii in Isaiam prophetam*, *Prologus*: PL 24, 17A; CCL 73, 1) 第一バチカン公会議『典礼憲章』25 参照。
- (15) ||ココハムー1・20—22 参照。
- (16) 第一バチカン公会議『典礼憲章』10 参照。
- (17) ||トキロリケ3・1 参照。
- (18) 「ローマ・〃サ典礼書」の教会のための〃サの集会祭題(*Missale Romanum*, Typis Polyglottis Vaticanis 1975, 786, 787, 790)、聖チプリアノ『主の祈り』(S. Cyprianus, *De oratione dominica* 23: PL 4, 553; CSEL 3/2, 285; CCL 3A, 105)、聖トマス・ア・クレラス「福音」(S. Augustinus, *Sermo* 71, 20, 33: PL 38, 463s.) 参照。
- (19) 『ローマ・〃サ典礼書』の年間第111番目の〃サの集会祭題(*Missale Romanum*, [1975] 360) 参照。
- (20) 第一バチカン公会議『典礼憲章』8 参照。
- (21) ヨハネ14・15—17、25—26、15・26～16、15 参照。
- (22) 第一バチカン公会議『同祭の役務と生活に関する教令』4。
- (23) 第一バチカン公会議『典礼憲章』51、同『同祭の役務と生活に関する教令』18、同『典礼憲章』21、同『教会の宣教活動に関する教令』6、「ローマ・〃サ典礼書の總則」28 参照。

(24) 第二バチカン公会議『典礼憲章』 56。

## 第二章

(25) 「ローマ・ミサ典礼書の総則」 55。

(26) 教皇庁典礼聖省指針『リトウルジチ・インベタウラシヤオネバ』<sup>25</sup> (AAS 62 [1970] 695-696)、教皇モハネ・パウロ二世書簡『聖体の秘義と礼拝』<sup>26</sup> (AAS 72 [1980] 134-137)、教皇庁秘跡典礼聖省指針『インエステイヤン』<sup>27</sup>・ズベイ<sup>28</sup> (AAS 72 [1980] 333) 参照。

(27) 第二バチカン公会議『典礼憲章』 33。

本緒言<sup>29</sup>参照。

(29) 『オルム・カントウス・ミセ（規範版初版）』 総則<sup>30</sup> 6' 10 (Ordo cantus Missae, ed. typ. 1972) 参照。

(30) 「ローマ・ミサ典礼書の総則」 31 参照。

(31) 同30、本緒言32—34 参照。

(32) 「ローマ・ミサ典礼書の総則」 60' 134 参照。

(33) 同20—122 参照。

(34) 同133' 175 参照。

(35) 「信衆の参加するミサの式次第」 11 (Missale Romanum, [1975] 388) 参照。

(36) 「ローマ・ミサ典礼書の総則」 61。

(37) 教皇パウロ六世使徒憲章『ラディカニカム・カントマクム』 (Laudis canticum : Liturgia Horarum, Typis Polyglottis Vaticanae 1971; AAS 63 [1971] 527-535)。また、第1バチカン公会議『典礼憲章』<sup>24</sup> 90' 教皇庁礼部聖省『典礼音楽に関する指針（一九六七年三月五日）』<sup>29</sup> (Musicam Sacram : AAS 59 [1967] 311)、「教会の祈りの総則」<sup>30</sup> 109、教皇庁教育聖省「基本要綱」<sup>31</sup> 53 参照。

(38) 本緒言<sup>29</sup>—90 参照。

(39) 「ローマ・ミサ典礼書の総則」 38' 61 参照。

- (40) 同39、本緒言32以下参照。
- (41) 「ローマ・ミサ典礼書の總則」37参照。
- (42) 同62、63、「オルド・カントウス・ミサ」緒言7-9、「タルヌカトーネ・ロマーナ」緒言~(Graduale Romanum, 1974)、『タルヌカトーネ・シハナックス』緒言16(Graduale simplex, ed. typ. altera 1975)参照。
- (43) 第二バチカン公会議『典礼憲章』52。教皇庁礼部聖省『典礼憲章実施に関する一般指針(一九六四年九月)』十六日)』<sup>54</sup>(*Inter Oecumenici: AAS* 56 [1964] 890)参照。
- (44) 「ローマ・ミサ典礼書の總則」<sup>66</sup>参照。
- (45) 第二バチカン公会議『典礼憲章』35・2。
- (46) 同6、47参照。
- (47) 教皇パウロ六世回勅『ミスナリヤム・トイディー聖体の教義と崇敬』(一九六五年九月三日)『Mysterium fidei: AAS 57 [1965] 753)、第一バチカン公会議『教会の宣教活動に関する教令』9、教皇パウロ六世使徒的勅告『福音宣教』43(*AAS* 69 [1976] 33-34)参照。
- (48) 第二バチカン公会議『典礼憲章』35・2、「ローマ・ミサ典礼書の總則」<sup>65</sup>参照。
- (49) 第二バチカン公会議『典礼憲章』10。
- (50) 教皇ヨハネ・パウロ一世使徒的勅告『要理教育』48(*AAS* 71 [1979] 1316)参照。
- (51) 「ローマ・ミサ典礼書の總則」<sup>213</sup>参照。
- (52) 同66、教皇庁礼部聖省『聖体祭儀指針』28(*AAS* 59 [1967] 556-557)参照。
- (53) 教皇庁典礼聖省指針『アクツィオ・ペストラーリス(一九六九年五月十五日)』68(*Actio pastoralis: AAS* 61 [1969] 809)、同『タルヌカトーネ・ミサの指針(一九七三年十一月一日)』<sup>69</sup>(*Directorium de Missis cum pueris: AAS* 66 [1974] 44)参照。
- (54) 「ローマ・ミサ典礼書の總則」66、38、カトリック儀式書『結婚式』71、139、<sup>148</sup>(*Ordo celebrandi Matrimonium*)、カトリック儀式書『葬儀』110、121、133、167、234、299、317、340(*Ordo Exequiarum*)参照。

- (55) 「ローマ・マサ典礼書の総則」 136 参照。
- (56) 同 14 参照。
- (57) 同 45 参照。
- (58) 同 67 参照。
- (59) 同 69 参照。
- (60) 同 138 参照。
- (61) 同 71 参照。
- (62) 前記注(23)参照。
- (63) 「ローマ・マサ典礼書の総則」 309 参照。

(64) 第二バチカン公会議『典礼憲章』 12 参照。

- (65) 『助祭・司祭・司教叙階式規範版初版』 (*De Ordinatione Diaconi, Presbyteri et Episcopi*, p. 28, n. 24; p. 58, n. 21; p. 85, n. 74; p. 70, n. 25; p. 110, n. 25, Typis Polyglottis Vaticanis 1968) 参照。

### 第三章

- (66) 本緒言 78—91 参照。
- (67) 「ローマ・マサ典礼書の総則」 357—360、362、367 参照。
- (68) 同 352 参照。
- (69) 同 66、教皇庁秘跡典礼聖省指針『イノエスティラム・マヌス』 ≈ (AAS 72 [1980] 334) 参照。
- (70) 「ローマ・マサ典礼書の総則」 31 参照。
- (71) 同 105 参照。
- (72) 同 56、71 参照。
- (73) 第二バチカン公会議『司祭の役務と生活に関する教令』 4<sup>o</sup>。
- (74) 同『典礼憲章』 33<sup>o</sup>。

- (75) 「ローマ・ニサ典礼書の総則」 29 参照。
- (76) 第二バチカン公会議『典礼憲章』 7。
- (77) 同9参照。
- (78) ローマ1・16参照。
- (79) 第二バチカン公会議『啓示憲章』 21 参照。
- (80) 同21で引用。
- (81) ヨハネ14・15—26、15・26～16・4、5—15 参照。
- (82) 第二バチカン公会議『教会の宣教活動に関する教令』 6、15、同『啓示憲章』 26 参照。
- (83) 同『典礼憲章』 24、教皇厅聖職者聖省『ディレクトリウム・カテキスティクム・ジエネラーレ』 5 (AAS 64 [1972] 114) 参照。
- (84) 第二バチカン公会議『典礼憲章』 56、教皇厅秘跡典礼聖省指針『インエスティマム・ヌメラム』 1 (AAS 72 [1980] 333—334) 参照。
- (85) 第二バチカン公会議『典礼憲章』 24、35 参照。
- (86) 「ローマ・ニサ典礼書の総則」 59 参照。
- (87) 同135参照。
- (88) 同71、94、17、教皇厅秘跡典礼聖省指針『インエスティマム・ヌメラム』 5 (AAS 72 [1980] 334) 参照。
- (89) 「ローマ・ニサ典礼書の総則」 99。
- (90) 教皇バウロ六世使徒的書簡『ミミステリア・クエダム』 7 (AAS 64 [1972] 532) 参照。
- (91) 教皇厅秘跡典礼聖省指針『インエスティマム・ヌメラム』 2、19 (AAS 72 [1980] 334)、教皇厅典礼聖省『子ノモトノモニヤセバガルニサの指針』 22、24、27 (AAS 66 [1974] 43) 参照。
- (92) 「ローマ・ニサ典礼書の総則」 71、99、197、典礼憲章実施評議会『ル・オラチオネ・ロハベーニ・セウ・フイ・コウム』 8 (De oratione communis seu fidelium: Città del Vaticano 1966) 参照。
- (93) 「ローマ・ニサ典礼書の総則」 10。

(94) 同62a、102参照。  
(95) 同105参照。

#### 第四章

(96) たとえば、教皇パウロ六世使徒憲章『ミサレ・ロマースム』の「以上の」とはすべて、新約の民が聖靈の導きのもとに、完全な教会の一一致にかりたてられるような神のことばに対する飢えを、キリスト信者がますます感じるよう整えられたものです。このような仕組みによつて、同祭も信徒もみな、主の晚さんのために心を清く整えるとともに、聖書をいつそう深く默想し、主のことばに曰「一日と豊かに養われることと深く確信して」います。いへして、その結果、第二バチカン公会議の念願どおり、聖書が万人にとって、靈的生活のいわば尽きない源泉、キリストの教えを伝えるための主要な論拠、やるに、あらゆる神学研究の神髄となる「ミサレ・ロマースム」(Missale Romanum : Missale Romanum, [1975] 15)参照。

(97) 第二バチカン公会議『典礼憲章』35、51参照。

(98) 教皇パウロ六世使徒憲章『ミサレ・ロマースム』の「救いの神秘の継続的進展が、神の啓示のことばに裏づけられて、その中核から、かつそう明らかに照らし出されり」(op. cit., 15)参照。

(99) 第二バチカン公会議『典礼憲章』9、33、教皇厅礼部聖省『典礼憲章実施に関する一般指針』7(AAS 56 [1964] 878)、教皇ヨハネ・パウロ二世使徒的勧告『要理教育』23(AAS 71 [1979] 1296-1297)参照。

(100) 第二バチカン公会議『典礼憲章』35・4、教皇厅礼部聖省『典礼憲章実施に関する一般指針』37-38(AAS 56 [1964] 884)参照。

(101) 教皇厅典礼聖省指針『アクト・ペブルーリカ』6(AAS 61 [1969] 809)、同『子どもとともにやさげるミサの指針』41-47(AAS 66 [1974] 43)、教皇パウロ六世使徒的勧告『マリアーリス・クルトゥス』12(AAS 66 [1974] 125-126)参照。

(102) それぞれの年はA、B、Cの文字で示される。どの年がAまたはBまたはCの年であるかを定めるには、次の手順による。年数が三で割り切れる年をCの文字で表す。それは周期がキリスト紀元第一年に始まつたと

想定するためである。すなわち、紀元第一年はA年、第二年はB年、第三年はC年、第六年、第九年、第十二年…もまたC年であったと考える。したがつて、たとえば一九八〇年はC年、翌年すなわち一九八一年はA年、一九八二年はB年、一九八三年はまたC年となる。以下同様に続く。ただし、それぞれの周期が典礼暦年の流れに従うことはいうまでもない。すなわち、待降節の第一週から始まるが、それは公用暦年の前年に当たる。

それぞれの周期の年は、「年間」の準継続朗誦に用ひられる共観福音書のおもな特色の影響を受けている。

そこで、周期の第一年はマタイを読む年として「マタイの年」と呼ばれ、二年田と三四年田はそれぞれ「マルコの年」、「ルカの年」と呼ばれる。

(103) 「ローマ・〃サ典礼書の總則」 61—64、『オルム・カントウス・〃ヤ』 59—69 参照。

(104) 「ローマ・〃サ典礼書の總則」 352。

(105) 同357、教皇庁秘跡典礼聖省指針『インエスティマム』・〃ヌム』 1-(AAS 72 [1980] 333-334)。

(106) たとえば、四旬節には、旧約聖書の朗誦は救いの歴史の展開に従つて継続して行われるようになつてゐる。また「年間」の主日には、ある書簡の準継続朗誦が行われるようになつてゐる。そこで、司牧者は調和のとれた教説の計画を立てるために、統くいくつかの主日にわたりて計画的に第一朗誦か第二朗誦を選ぶのが望ましい。後に続く聖書の箇所と調和のとれた脈絡なしに、あるときは旧約聖書を、あるときは使徒の書簡を読むとふうのは決してふさわしいことではない。

(107) 「ローマ・〃サ典礼書の總則」 358 参照。

(108) 同355、第二バチカン公会議『典礼憲章』 51 参照。

(109) 同357 参照。

(110) カトリック儀式書『ゆるしの秘跡(規範版)』緒言13(*Ordo paenitentiae*: Typis Polyglottis Vaticanis 1974) 参照。

(111) 「ローマ・〃サ典礼書の總則」 358 参照。

(112) 同357 参照。

- (13) 「ミサの朗誦配分(規範版第一版)」 173—174 参照。  
(14) 同上参照。

## 第五章

- (15) たとえば、四旬節前に六週間あつた場合には、聖霊降臨後の月曜日には第七週を始める。三位一体の祭日は「年間」の主日との代わりとなる。  
(16) 四旬節の始まる週が、たとえば第五週であつた場合、聖霊降臨後の月曜日には、第六週を省いて第七週から始める。

- (17) 本書付表「年間の主日の一朗誦」(76 ページ)参照。  
(18) 本書付表「年間の週日の一朗誦」(72 ページ)参照。

## 第六章

- (19) 典礼憲章実施評議会『典礼文の翻訳に関する指針(一九六九年一月一十五日)』(*De popularibus interpretationibus conficiendis*: N 5 [1969] 3-12)、同『典礼文の暫定訳に関する訓解(一九六九年三月)』(*Declaratio circa interpretationes textuum liturgicorum ad interim paratas*: N 5 [1969] 68)、教皇庁典礼聖省「新」典礼文の国語訳に関する訓解(一九六九年九月十五日) (*Declaratio de interpretationibus popularibus novorum textuum liturgicorum*: N 5 [1969] 333-334, N 9 [1973] 153-154)、『疑義に対する解答』(參照)、同『典礼文の国語訳は一種類である』(一九七〇年一月十五日) (*De unica interpretatione populari textuum liturgicorum*: N 6 [1970] 84-85)、教皇庁秘跡典礼聖省「典礼に用ひられる國語に関する教協議会会長への手紙(一九七六年六月五日)」(*Epistola ad Praesides Conferentiarum Episcopatuum de linguis vulgaribus in S. Liturgiam induendis*: N 12 [1976] 300-302)參照。  
教皇庁典礼聖省指針『ミサカムサチ・インベタウラシヤセベ』(AAS 62 [1970] 702-703)、「ローマ・ミサ典礼書の翻訳」(參照)。

(121) 「ローマ・パサ典禮書の綱則」 31, 50, 105, 106, 107 参照。

(122) パサの語説配分(規範版第1版) 43—48 参照。

(123) 誕遷の翻訳が、教皇庇立新ウルガタ聖書委員会編『ラベル・パサルヤルム』 (*Liber Psalmorum*: Typis Polyglottis Vaticanis 1969) の順序に従つて示せば、

翻訳

AAS *Acta Apostolicae Sedis*

CCL *Corpus Christianorum series Latina*

CSEL *Corpus Scriptorum Ecclesiasticorum Latinorum*

N *Notitiae*

PG *Patrologia Graeca*

PL *Patrologia Latina*

\*改訂版第1刷より、「ローマ・パサ典禮書の綱則」の翻訳が、1100回年に発行された日本語暫定版の該当する翻訳を記載  
されています。



## 9 年間の週日の福音朗誦

	月	火	水	木	金	土
第1週	マルコ 1・14-20	1・21b-28	1・29-39	1・40-45	2・1-12	2・13-17
第2週	2・18-22	2・23-28	3・1-6	3・7-12	3・13-19	3・20-21
第3週	3・22-30	3・31-35	4・1-20	4・21-25	4・26-34	4・35-41
第4週	5・1-20	5・21-43	6・1-6	6・7-13	6・14-29	6・30-34
第5週	6・53-56	7・1-13	7・14-23	7・24-30	7・31-37	8・1-10
第6週	8・11-13	8・14-21	8・22-26	8・27-33	8・34~9・1	9・2-13
第7週	9・14-29	9・30-37	9・38-40	9・41-50	10・1-12	10・13-16
第8週	10・17-27	10・28-31	10・32-45	10・46-52	11・11-26	11・27-33
第9週	12・1-12	12・13-17	12・18-27	12・28b-34	12・35-37	12・38-44
第10週	マタイ 5・1-12	5・13-16	5・17-19	5・20-26	5・27-32	5・33-37
第11週	5・38-42	5・43-48	6・1-6, 16-18	6・7-15	6・19-23	6・24-34
第12週	7・1-5	7・6, 12-14	7・15-20	7・21-29	8・1-4	8・5-17
第13週	8・18-22	8・23-27	8・28-34	9・1-8	9・9-13	9・14-17
第14週	9・18-26	9・32-38	10・1-7	10・7-15	10・16-23	10・24-33
第15週	10・34~11・1	11・20-24	11・25-27	11・28-30	12・1-8	12・14-21
第16週	12・38-42	12・46-50	13・1-9	13・10-17	13・18-23	13・24-30
第17週	13・31-35	13・36-43	13・44-46	13・47-53	13・54-58	14・1-12
第18週	14・13-21	14・22-36	15・21-28	16・13-23	16・24-28	17・14-20
第19週	17・22-27	18・1-5, 10, 12-14	18・15-20	18・21~19・1	19・3-12	19・13-15
第20週	19・16-22	19・23-30	20・1-16	22・1-14	22・34-40	23・1-12
第21週	23・13-22	23・23-26	23・27-32	24・42-51	25・1-13	25・14-30
第22週	ルカ 4・16-30	4・31-37	4・38-44	5・1-11	5・33-39	6・1-5
第23週	6・6-11	6・12-19	6・20-26	6・27-38	6・39-42	6・43-49
第24週	7・1-10	7・11-17	7・31-35	7・36-50	8・1-3	8・4-15
第25週	8・16-18	8・19-21	9・1-6	9・7-9	9・18-22	9・43b-45
第26週	9・46-50	9・51-56	9・57-62	10・1-12	10・13-16	10・17-24
第27週	10・25-37	10・38-42	11・1-4	11・5-13	11・15-26	11・27-28
第28週	11・29-32	11・37-41	11・42-46	11・47-54	12・1-7	12・8-12
第29週	12・13-21	12・35-38	12・39-48	12・49-53	12・54-59	13・1-9
第30週	13・10-17	13・18-21	13・22-30	13・31-35	14・1-6	14・1, 7-11
第31週	14・12-14	14・15-24	14・25-33	15・1-10	16・1-8	16・9-15
第32週	17・1-6	17・7-10	17・11-19	17・20-25	17・26-37	18・1-8
第33週	18・35-43	19・1-10	19・11-28	19・41-44	19・45-48	20・27-40
第34週	21・1-4	21・5-11	21・12-19	21・20-28	21・29-33	21・34-36

## 8 年間の週日の第一朗読

(数字は各書の章配分の概略を示す)

	第一年	第二年
第1週	ヘブライ 1~4	サムエル上 1, 3, 4, 8, 9
第2週	ヘブライ 5~9	サムエル上 15~18, 24 サムエル下 1
第3週	ヘブライ 9~11	サムエル下 5~7, 11, 12
第4週	ヘブライ 11~13	サムエル下 15, 18, 24 列王記上 2, 3 シラ 47
第5週	創世記 1~3	列王記上 8, 10~12
第6週	創世記 4, 6~9, 11 ヘブライ 11	ヤコブ 1~3
第7週	シラ 1, 2, 4~6, 17	ヤコブ 3~5
第8週	シラ 17, 35, 36, 42, 44, 51	一ペトロ 1, 2, 4 ユダ
第9週	トビト 1~3, 6, 11, 12	二ペトロ 1, 3 ニテモテ 1~4
第10週	ニコリント 1, 3~5	列王記上 17~19
第11週	ニコリント 6, 8, 9, 11, 12	列王記上 21 列王記下 2, 11 歴代誌下 24 シラ 48
第12週	創世記 12, 13, 15~18	列王記下 17, 19, 22, 24, 25 哀歌 2
第13週	創世記 18, 19, 21~23, 27	アモス 2~5, 7~9
第14週	創世記 28, 32, 41, 42, 44, 46, 49, 50	ホセア 2, 8, 10, 11, 14 イザヤ 6
第15週	出エジプト 1~3, 11, 12	イザヤ 1, 7, 10, 26, 38 ミカ 2
第16週	出エジプト 14~16, 19, 20, 24	ミカ 6, 7 エレミヤ 1~3, 7
第17週	出エジプト 32~34, 40 レビ 23, 25	エレミヤ 13~15, 18, 26
第18週	民数記 11~13, 20 申命記 4, 6	エレミヤ 28, 30, 31 ナホム 2, 3 ハバクク 1, 2
第19週	申命記 10, 31, 34 ヨシュア 3, 24	エゼキエル 1~3, 9, 10, 12, 16, 18
第20週	士師記 2, 6, 9, 11 ルツ 1~2	エゼキエル 24, 28, 34, 36, 37, 43
第21週	一テサロニケ 1~4	ニテサロニケ 1~3 一コリント 1
第22週	一テサロニケ 4, 5 コロサイ 1	一コリント 2~4
第23週	コロサイ 1~3 一テモテ 1	一コリント 5~10
第24週	一テモテ 2~4, 6	一コリント 11~13, 15
第25週	エズラ 1, 6, 9 ハガイ 1 ゼカリヤ 2	箴言 3, 21, 30 コヘレト 1, 3, 11, 12
第26週	ゼカリヤ 8 ネヘミヤ 2, 8 バルク 1, 4	ヨブ 1, 3, 9, 19, 38, 40, 42
第27週	ヨナ 1~4 マラキ 3 ヨエル 1, 2, 4	ガラテヤ 1~3
第28週	ローマ 1~4	ガラテヤ 4, 5 エフェソ 1
第29週	ローマ 4~8	エフェソ 2~4
第30週	ローマ 8~9, 11	エフェソ 4~6 フィリピ 1
第31週	ローマ 11~16	フィリピ 2~4
第32週	知恵 1~3, 6~8, 13, 18	テトス 1~3 フィレモン ニヨハネ 三ヨハネ
第33週	一マカバイ 1, 2, 4, 6 二マカバイ 6, 7	黙示録 1~5, 10, 11
第34週	ダニエル 1, 2, 5, 6, 7	黙示録 14, 15, 18~22

## 6 復活節の週日の第一朗読

	月	火	水	木	金	土
第1週	使徒言行録 2・14, 22-33	2・36-41	3・1-10	3・11-26	4・1-12	4・13-21
第2週	4・23-31	4・32-37	5・17-26	5・27-33	5・34-42	6・1-7
第3週	6・8-15	7・51-8・1a	8・1b-8	8・26-40	9・1-20	9・31-42
第4週	11・1-18	11・19-26	12・24～13・5a	13・13-25	13・26-33	13・44-52
第5週	14・5-18	14・19-28	15・1-6	15・7-21	15・22-31	16・1-10
第6週	16・11-15	16・22-34	17・15, 22～18・1	18・1-8	18・9-18	18・23-28
第7週	19・1-8	20・17-27	22・28-38	22・30; 23・6-11	25・13-21	28・16-20, 30-31

## 7 四旬節・復活節の週日の福音朗読

	月	火	水	木	金	土
四旬節第4週	ヨハネ 4・43-54	5・1-3a, 5-16	5・17-30	5・31-47	7・1-2, 10, 25-30	7・40-53
第5週	8・1-11 (C年 8・12-20)	8・21-30	8・31-42	8・51-59	10・31-42	11・45-56
聖週間	12・1-11	13・21-33, 36-38				
復活の8日間		20・11-18			21・1-14	
復活節第2週	3・1-8	3・7a, 8-15	3・16-21	3・31-36	6・1-15	6・16-21
第3週	6・22-29	6・30-35	6・35-40	6・44-51	6・52-59	6・60-69
第4週	10・1-10 (A年 10・11-18)	10・22-30	12・44-50	13・16-20	14・1-6	14・7-14
第5週	14・21-26	14・27-31a	15・1-8	15・9-11	15・12-17	15・18-21
第6週	15・26～16・4a	16・5-11	16・12-15	16・16-20	16・20-23a	16・23b-28
第7週	16・29-33	17・1-11a	17・11b-19	17・20-26	21・15-19	21・20-25

## 5 降誕節の週日の第一朗読

	主の公現の前日まで	主の公現の翌日から
12月27日 聖ヨハネ使徒福音記者(祝日)	一ヨハネ 1・1-4	
12月28日 幼子殉教者(祝日)	1・5～2・2	
12月29日 主の降誕第5日	2・3-11	
12月30日 主の降誕第6日	2・12-17	
12月31日 主の降誕第7日	2・18-21	
1月2日	2・22-28	
1月3日	2・29～3・6	
1月4日	3・7-10	
1月5日	3・11-21	
1月6日	5・5-13	
1月7日	5・14-21	
公現後の月曜日		一ヨハネ 3・22～4・6
公現後の火曜日		4・7-10
公現後の水曜日		4・11-18
公現後の木曜日		4・19～5・4
公現後の金曜日		5・5-13
公現後の土曜日		5・14-21

#### 4 年間の主日の福音朗読

	A 年	B 年	C 年
第2主日	ヨハネ 1・29-34	ヨハネ 1・35-42	ヨハネ 2・1-11
第3主日	マタイ 4・12-23	マルコ 1・14-20	ルカ 1・1-4; 4・14-21
第4主日	5・1-12a	1・21-28	4・21-30
第5主日	5・13-16	1・29-39	5・1-11
第6主日	5・17-37	1・40-45	6・17, 20-26
第7主日	5・38-48	2・1-12	6・27-38
第8主日	6・24-34	2・18-22	6・39-45
第9主日	7・21-27	2・23～3・6	7・1-10
第10主日	9・9-13	3・20-35	7・11-17
第11主日	9・36～10・8	4・26-34	7・36～8・3
第12主日	10・26-33	4・35-41	9・18-24
第13主日	10・37-42	5・21-43	9・51-62
第14主日	11・25-30	6・1-6	10・1-12, 17-20
第15主日	13・1-23	6・7-13	10・25-37
第16主日	13・24-43	6・30-34	10・38-42
第17主日	13・44-52	ヨハネ 6・1-15	11・1-13
第18主日	14・13-21	6・24-35	12・13-21
第19主日	14・22-33	6・41-51	12・32-48
第20主日	15・21-28	6・51-58	12・49-53
第21主日	16・13-20	6・60-69	13・22-30
第22主日	16・21-27	マルコ 7・1-8, 14-15, 21-23	14・1, 7-14
第23主日	18・15-20	7・31-37	14・25-33
第24主日	18・21-35	8・27-35	15・1-32
第25主日	20・1-16	9・30-37	16・1-13
第26主日	21・28-32	9・38-43, 45, 47-48	16・19-31
第27主日	21・33-43	10・2-16	17・5-10
第28主日	22・1-14	10・17-30	17・11-19
第29主日	22・15-21	10・35-45	18・1-8
第30主日	22・34-40	10・46-52	18・9-14
第31主日	23・1-12	12・28b-34	19・1-10
第32主日	25・1-13	12・38-44	20・27-38
第33主日	25・14-30	13・24-32	21・5-19

### 3 年間の主日の第二朗読

	A 年	B 年	C 年
第2主日	一コリント 1・1-3	一コリント 6・13c-15a, 17-20	一コリント 12・4-11
第3主日	1・10-13, 17	7・29-31	12・12-30
第4主日	1・26-31	7・32-35	12・31-13・13
第5主日	2・1-5	9・16-19, 22-23	15・1-11
第6主日	2・6-10	10・31～11・1	15・12, 16-20
第7主日	3・16-23	ニコリント 1・18-22	15・45-49
第8主日	4・1-5	3・1b-6	15・54-58
第9主日	ローマ 3・21-25a, 28	4・6-11	ガラテヤ 1・1-2, 6-10
第10主日	4・18-25	4・13～5・1	1・11-19
第11主日	5・6-11	5・6-10	2・16, 19-21
第12主日	5・12-15	5・14-17	3・26-29
第13主日	6・3-4, 8-11	8・7, 9, 13-15	5・1, 13-18
第14主日	8・9, 11-13	12・7b-10	6・14-18
第15主日	8・18-23	エフェソ 1・3-14	コロサイ 1・15-20
第16主日	8・26-27	2・13-18	1・24-28
第17主日	8・28-30	4・1-6	2・12-14
第18主日	8・35, 37-39	4・17, 20-24	3・1-5, 9-11
第19主日	9・1-5	4・30～5・2	ヘブライ 11・1-2, 8-19
第20主日	11・13-15, 29-32	5・15-20	12・1-4
第21主日	11・33-36	5・21-32	12・5-7, 11-13
第22主日	12・1-2	ヤコブ 1・17-18, 21b-22, 27	12・18-19, 22-24a
第23主日	13・8-10	2・1-5	フィレモン 9b-10, 12-17
第24主日	14・7-9	2・14-18	一テモテ 1・12-17
第25主日	フィリピ 1・20c-24, 27a	3・16～4・3	2・1-8
第26主日	2・1-11	5・1-6	6・11-16
第27主日	4・6-9	ヘブライ 2・9-11	二テモテ 1・6-8, 13-14
第28主日	4・12-14, 19-20	4・12-13	2・8-13
第29主日	一テサロニケ 1・1-5b	4・14-16	3・14-4・2
第30主日	1・5c-10	5・1-6	4・6-8, 16-18
第31主日	2・7b-9, 13	7・23-28	二テサロニケ 1・11-2・2
第32主日	4・13-18	9・24-28	2・16-3・5
第33主日	5・1-6	10・11-14, 18	3・7-12

## 準継続朗読配分一覧表

### 1 復活節の主日の第一朗読

	A 年	B 年	C 年
復活の主日	使徒言行録 10・34a, 37-43	◎	◎
第2主日	2・42-47	使徒言行録 4・32-35	使徒言行録 5・12-16
第3主日	2・14, 22-33	3・13-15, 17-19	5・27b-32, 40b-41
第4主日	2・14a, 36-41	4・8-12	13・14, 43-52
第5主日	6・1-7	9・26-31	14・21b-27
第6主日	8・5-8, 14-17	10・25-26, 34-35, 44-48	15・1-2, 22-29
主の昇天	1・1-11	◎	◎
聖靈降臨	2・1-11	◎	◎

### 2 復活節の主日の第二朗読

	A 年	B 年	C 年
第2主日	一ペトロ 1・3-9	一ヨハネ 5・1-6	黙示録 1・9-11a, 12-13, 17-19
第3主日	1・17-21	2・1-5a	5・11-14
第4主日	2・20b-25	3・1-2	7・9, 14b-17
第5主日	2・4-9	3・18-24	21・1-5a
第6主日	3・15-18	4・7-10	21・10-14, 22-23

祝祭日・記念日	第一朗読	第二朗読	福音朗読
9月15日 悲しみの聖母(記念日)	ヘブライ 5・7-9		ヨハネ 19・25-27 マルカ 2・33-35
9月21日 聖マタイ使徒福音記者(祝日)	エフェソ 4・1-7, 11-13		マタイ 9・9-13
9月29日 聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル大天使(祝日)	ダニエル 7・9-10, 13-14	△黙示録 12・7-12a	ヨハネ 1・47-51
10月2日 守護の天使(記念日)	出エジプト 23・20-23		マタイ 18・1-5, 10
10月18日 聖ルカ福音記者(祝日)	二テモテ 4・10-17a		ルカ 10・1-9
10月28日 聖シモン 聖ユダ使徒(祝日)	エフェソ 2・19-22		ルカ 6・12-19
11月1日 諸聖人(祭日)	黙示録 7・2-4, 9-14	一ヨハネ 3・1-3	マタイ 5・1-12a
	死者のためのミサの朗読箇所から選ぶ。たとえば下記を参照。		
11月2日 死者の日	知恵 3・1-6, 9	ローマ 8・31b-35, 37-39	ヨハネ 6・37-40
11月9日 ラテラン教会の献堂(祝日)	エゼキエル 47・1-2, 8-9, 12	一コリント 3・9c-11, 16-17	ヨハネ 2・13-22
11月30日 聖アンデレ使徒(祝日)	ローマ 10・9-18		マタイ 4・18-22
12月3日 聖フランシスコ・ザビエル司祭(祝日)	一コリント 9・16-19, 22-23		マルコ 16・15-20
12月8日 無原罪の聖マリア(祭日)	創世記 3・9-15, 20	エフェソ 1・3-6, 11-12	ルカ 1・26-38
12月26日 聖ステファノ殉教者(祝日)	使徒言行録 6・8-10 ; 7・54-59		マタイ 10・17-22
12月27日 聖ヨハネ使徒福音記者(祝日)	一ヨハネ 1・1-4		ヨハネ 20・2-8
12月28日 幼子殉教者(祝日)	一ヨハネ 1・5~2・2		マタイ 2・13-18
聖靈降臨後第2主日後の土曜日 聖母のみ心(記念日)	イザヤ 61・9-11		ルカ 2・41-51

## 6 祝祭日・記念日固有の聖書朗読箇所

祝祭日・記念日	第一朗読	第二朗読	福音朗読
1月1日 神の母聖マリア(祭日)	民数記 6・22-27	ガラテヤ 4・4-7	ルカ 2・16-21
1月25日 聖パウロの回心(祝日)	使徒言行録 22・3-16 △9・1-22		マルコ 16・15-18
1月26日 聖テモテ 聖テトス司教(記念日)	ニテモテ 1・1-8 △テトス 1・1-5		ルカ 10・1-9
2月2日 主の奉獻(祝日)	マラキ 3・1-4	ヘブライ 2・14-18	ルカ 2・22-40
2月5日 日本二十六聖人殉教者(祝日)	ガラテヤ 2・19-20		マタイ 28・16-20
2月22日 聖ペトロの使徒座(祝日)	一ペトロ 5・1-4		マタイ 16・13-19
3月19日 聖ヨセフ(祭日)	サムエル下 7・4-5a, 12-14a, 16	ローマ 4・13, 16-18, 22	マタイ 1・16, 18-21, 24a ルカ 2・41-51a
3月25日 神のお告げ(祭日)	イザヤ 7・10-14 ; 8・ 10c	ヘブライ 10・4-10	ルカ 1・26-38
4月25日 聖マルコ福音記者(祝日)	一ペトロ 5・5b-14		マルコ 16・15-20
5月3日 聖フィリポ 聖ヤコブ使徒(祝日)	一コリント 15・1-8		ヨハネ 14・6-14
5月14日 聖マチア使徒(祝日)	使徒言行録 1・15-17, 20-26		ヨハネ 15・9-17
5月31日 聖母の訪問(祝日)	ゼファニヤ 3・14-18 △ローマ 12・9-16b		ルカ 1・39-56
6月11日 聖バルナバ使徒(記念日)	使徒言行録 11・21b-26 ; 13・1-3		マタイ 10・7-13
6月24日 洗礼者聖ヨハネの誕生(祭日)	イザヤ 49・1-6	使徒言行録 13・22-26	ルカ 1・57-66, 80
6月29日 聖ペトロ 聖パウロ使徒(祭日)	使徒言行録 12・1-11	ニテモテ 4・6-8, 17- 18	マタイ 16・13-19
7月3日 聖トマ使徒(祝日)	エフェソ 2・19-22		ヨハネ 20・24-29
7月22日 聖マリア(マグダラ)(記念日)	雅歌 3・1-4a △ニコリント 5・14-17		ヨハネ 20・1-2, 11-18
7月25日 聖ヤコブ使徒(祝日)	ニコリント 4・7-15		マタイ 20・20-28
7月29日 聖マルタ(記念日)	一ヨハネ 4・7-16		ヨハネ 11・19-27 △ルカ 10・38-42
8月6日 主の変容(祝日)	ダニエル 7・9-10, 13- 14	二ペトロ 1・16-19	A年 マタイ 17・1-9 B年 マルコ 9・2-10 C年 ルカ 9・28b-36
8月10日 聖ラウレンチオ助祭殉教者(祝日)	ニコリント 9・6-10		ヨハネ 12・24-26
8月15日 聖母の被昇天(祭日)	黙示録 11・19a ; 12・1- 6, 10ab	一コリント 15・20- 27a	ルカ 1・39-56
8月24日 聖パルトロマイ使徒(祝日)	黙示録 21・9b-14		ヨハネ 1・45-51
8月29日 洗礼者聖ヨハネの殉教(記念日)	エレミヤ 1・17-19		マルコ 6・17-29
9月8日 聖マリアの誕生(祝日)	ミカ 5・1-4a △ローマ 8・28-30		マタイ 1・1-16, 18-23
9月14日 十字架称賛(祝日)	民数記 21・4b-9	フィリピ 2・6-11	ヨハネ 3・13-17

	A 年			B 年			C 年		
	第一朗読	第二朗読	福音朗読	第一朗読	第二朗読	福音朗読	第一朗読	第二朗読	福音朗読
第18主日	イザヤ 55・1-3	ローマ 8・35, 37-39	マタイ 14・13-21	出エジプト 16・2-4, 12-15	エフェソ 4・17, 20-24	ヨハネ 6・24-35	コヘレト 1・2; 2・21-23	コロサイ 3・1-5, 9-11	ルカ 12・13-21
第19主日	列王記上 19・9a, 11-13a	ローマ 9・1-5	マタイ 14・22-33	列王記上 19・4-8	エフェソ 4・30~5・2	ヨハネ 6・41-51	知恵 18・6-9	ヘブライ 11・1-2, 8-19	ルカ 12・32-48
第20主日	イザヤ 56・1, 6-7	ローマ 11・13-15, 29-32	マタイ 15・21-28	箴言 9・1-6	エフェソ 5・15-20	ヨハネ 6・51-58	エレミヤ 38・4-6, 8-10	ヘブライ 12・1-4	ルカ 12・49-53
第21主日	イザヤ 22・19-23	ローマ 11・33-36	マタイ 16・13-20	ヨシュア 24・1-2a; 15・17, 18b	エフェソ 5・21-32	ヨハネ 6・60-69	イザヤ 66・18-21	ヘブライ 12・5-7, 11-13	ルカ 13・22-30
第22主日	エレミヤ 20・7-9	ローマ 12・1-2	マタイ 16・21-27	申命記 4・1-2, 6-8	ヤコブ 1・17-18, 21b-22, 27	マルコ 7・1-8, 14-15, 21, 22-23	シラ 3・17-18, 20, 28-29	ヘブライ 12・18-19, 22-24a	ルカ 14・1, 7-14
第23主日	エゼキエル 33・7-9	ローマ 13・8-10	マタイ 18・15-20	イザヤ 35・4-7a	ヤコブ 2・1-5	マルコ 7・31-37	知恵 9・13-18	フィレモン 9b-10, 12-17	ルカ 14・25-33
第24主日	シラ 27・30~28・7	ローマ 14・7-9	マタイ 18・21-35	イザヤ 50・5-9a	ヤコブ 2・14-18	マルコ 8・27-35	出エジプト 32・7-11, 13-14	一テモテ 1・12-17	ルカ 15・1-32
第25主日	イザヤ 55・6-9	フィリピ 1・20c-24, 27a	マタイ 20・1-16	知恵 2・12, 17-20	ヤコブ 3・16~4・3	マルコ 9・30-37	アモス 8・4-7	一テモテ 2・1-8	ルカ 16・1-13
第26主日	エゼキエル 18・25-28	フィリピ 2・1-11	マタイ 21・28-32	民数記 11・25-29	ヤコブ 5・1-6	マルコ 9・38-43, 45, 47-48	アモス 6・1a, 4-7	一テモテ 6・11-16	ルカ 16・19-31
第27主日	イザヤ 5・1-7	フィリピ 4・6-9	マタイ 21・33-43	創世記 2・18-24	ヘブライ 2・9-11	マルコ 10・2-16	ハバクク 1・2-3; 2・2-4	二テモテ 1・6-8, 13-14	ルカ 17・5-10
第28主日	イザヤ 25・6-10a	フィリピ 4・12-14, 19-20	マタイ 22・1-14	知恵 7・7-11	ヘブライ 4・12-13	マルコ 10・17-30	列王記下 5・14-17	二テモテ 2・8-13	ルカ 17・11-19
第29主日	イザヤ 45・1, 4-6	一テサロニケ 1・1-5b	マタイ 22・15-21	イザヤ 53・10-11	ヘブライ 4・14-16	マルコ 10・35-45	出エジプト 17・8-13	二テモテ 3・14~4・2	ルカ 18・1-8
第30主日	出エジプト 22・20-26	一テサロニケ 1・5c-10	マタイ 22・34-40	エレミヤ 31・7-9	ヘブライ 5・1-6	マルコ 10・46-52	シラ 35・15b-17, 20-22a	二テモテ 4・6-8, 16-18	ルカ 18・9-14
第31主日	マラキ 1・14b~2・2b, 8-10	一テサロニケ 2・7b-9, 13	マタイ 23・1-12	申命記 6・2-6	ヘブライ 7・23-28	マルコ 12・28b-34	知恵 11・22~12・2	二テサロニケ 1・11~2・2	ルカ 19・1-10
第32主日	知恵 6・12-16	一テサロニケ 4・13-18	マタイ 25・1-13	列王記上 17・10-16	ヘブライ 9・24-28	マルコ 12・38-44	二マカバイ 7・1-2, 9-14	二テサロニケ 2・16~3・5	ルカ 20・27-38
第33主日	箴言 31・10-13, 19-20, 30-31	一テサロニケ 5・1-6	マタイ 25・14-30	ダニエル 12・1-3	ヘブライ 10・11-14, 18	マルコ 13・24-32	マラキ 3・19-20a	二テサロニケ 3・7-12	ルカ 21・5-19

## 5 年間の主日

	A 年			B 年			C 年		
	第一朗誦	第二朗誦	福音朗誦	第一朗誦	第二朗誦	福音朗誦	第一朗誦	第二朗誦	福音朗誦
第2主日	イザヤ 49・3, 5-6	一コリント 1・1-3	ヨハネ 1・29-34	サムエル上 3・3b-10, 19	一コリント 6・13c-15a, 17-20	ヨハネ 1・35-42	イザヤ 62・1-5	一コリント 12・4-11	ヨハネ 2・1-11
第3主日	イザヤ 8・23b～ 9・3	一コリント 1・10-13, 17	マタイ 4・12-23	ヨナ 3・1-5, 10	一コリント 7・29-31	マルコ 1・14-20	ネヘミヤ 8・2-4a, 5-6, 8-10	一コリント 12・12-30	ルカ 1・1-4; 4・ 14-21
第4主日	ゼファニヤ 2・3; 3・12- 13	一コリント 1・26-31	マタイ 5・1-12a	申命記 18・15-20	一コリント 7・32-35	マルコ 1・21-28	エレミヤ 1・4-5, 17- 19	一コリント 12・31～ 13・13	ルカ 4・21-30
第5主日	イザヤ 58・7-10	一コリント 2・1-5	マタイ 5・13-16	ヨブ 7・1-4, 6-7	一コリント 9・16-19, 22-23	マルコ 1・29-39	イザヤ 6・1-2a, 3-8	一コリント 15・1-11	ルカ 5・1-11
第6主日	シラ 15・15-20	一コリント 2・6-10	マタイ 5・17-37	創世記 3・16-19	一コリント 10・31～ 11・1	マルコ 1・40-45	エレミヤ 17・5-8	一コリント 15・12, 16- 20	ルカ 6・17, 20- 26
第7主日	レビ 19・1-2, 17-18	一コリント 3・16-23	マタイ 5・38-48	イザヤ 43・18-19, 21-22, 24b-25	ニコリント 1・18-22	マルコ 2・1-12	サムエル上 26・2, 7-9, 12-13, 22-23	一コリント 15・45-49	ルカ 6・27-38
第8主日	イザヤ 49・14-15	一コリント 4・1-5	マタイ 6・24-34	ホセア 2・16b, 17, 21-22	ニコリント 3・1b-6	マルコ 2・18-22	シラ 27・4-7	一コリント 15・54-58	ルカ 6・39-45
第9主日	申命記 11・18, 26- 28, 32	ローマ 3・21-25a, 28	マタイ 7・21-27	申命記 5・12-15	ニコリント 4・6-11	マルコ 2・23～ 3・6	列王記上 8・41-43	ガラテヤ 1・1-2, 6- 10	ルカ 7・1-10
第10主日	ホセア 6・3-6	ローマ 4・18-25	マタイ 9・9-13	創世記 3・9-15	ニコリント 4・13～5・1	マルコ 3・20-35	列王記上 17・17-24	ガラテヤ 1・11-19	ルカ 7・11-17
第11主日	出エジプト 19・2-6a	ローマ 5・6-11	マタイ 9・36～ 10・8	エゼキエル 17・22-24	ニコリント 5・6-10	マルコ 4・26-34	サムエル下 12・7-10, 13	ガラテヤ 2・16, 19- 21	ルカ 7・36～ 8・3
第12主日	エレミヤ 20・10-13	ローマ 5・12-15	マタイ 10・26-33	ヨブ 38・1, 8-11	ニコリント 5・14-17	マルコ 4・35-41	ゼカリヤ 12・10-11; 13・1	ガラテヤ 3・26-29	ルカ 9・18-24
第13主日	列王記下 4・8-11, 14-16a	ローマ 6・3-4, 8- 11	マタイ 10・37-42	知恵 1・13-15; 2・23-24	ニコリント 8・7, 9, 13- 15	マルコ 5・21-43	列王記上 19・16b, 19-21	ガラテヤ 5・1, 13- 18	ルカ 9・51-62
第14主日	ゼカリヤ 9・9-10	ローマ 8・9, 11- 13	マタイ 11・25-30	エゼキエル 2・2-5	ニコリント 12・7b-10	マルコ 6・1-6	イザヤ 66・10-14c	ガラテヤ 6・14-18	ルカ 10・1-12, 17-20
第15主日	イザヤ 55・10-11	ローマ 8・18-23	マタイ 13・1-23	アモス 7・12-15	エフェソ 1・3-14	マルコ 6・7-13	申命記 30・10-14	コロサイ 1・15-20	ルカ 10・25-37
第16主日	知恵 12・13, 16- 19	ローマ 8・26-27	マタイ 13・24-43	エレミヤ 23・1-6	エフェソ 2・13-18	マルコ 6・30-34	創世記 18・1-10a	コロサイ 1・24-28	ルカ 10・38-42
第17主日	列王記上 3・5, 7-12	ローマ 8・28-30	マタイ 13・44-52	列王記下 4・42-44	エフェソ 4・1-6	ヨハネ 6・1-15	創世記 18・20-32	コロサイ 2・12-14	ルカ 11・1-13

#### 4 四旬節・年間の主の祝祭日

	A 年			B 年			C 年		
	第一朗読	第二朗誦	福音朗誦	第一朗誦	第二朗誦	福音朗誦	第一朗誦	第二朗誦	福音朗誦
主の奉獻 (2月2日)	マラキ 3・1-4	ヘブライ 2・14-18	ルカ 2・22-40	◎	◎	◎	◎	◎	◎
神のお告げ (3月25日)	イザヤ 7・10-14; 8・10c	ヘブライ 10・4-10	ルカ 1・26-38	◎	◎	◎	◎	◎	◎
三位一体 (聖靈降臨後第1主日)	出エジプト 34・4b-6, 8-9	ニコリント 13・11-13	ヨハネ 3・16-18	申命記 4・32-34, 39-40	ローマ 8・14-17	マタイ 28・16-20	箴言 8・22-31	ローマ 5・1-5	ヨハネ 16・12-15
キリストの聖体 (聖靈降臨後第2主日)	申命記 8・2-3, 14b-16a	一コリント 10・16-17	ヨハネ 6・51-58	出エジプト 24・3-8	ヘブライ 9・11-15	マルコ 14・12-16, 22-26	創世記 14・18-20	一コリント 11・23-26	ルカ 9・11b-17
イエスのみ心 (聖靈降臨後第2主日後の金曜日)	申命記 7・6-11	一ヨハネ 4・7-16	マタイ 11・25-30	ホセア 11・1,3-4, 8c-9	エフェソ 3・8-12, 14-19	ヨハネ 19・31-37	エゼキエル 34・11-16	ローマ 5・5b-11	ルカ 15・3-7
主の変容 (8月6日)	ダニエル 7・9-10, 13-14	二ペトロ 1・16-19	マタイ 17・1-9	◎	◎	マルコ 9・2-10	◎	◎	ルカ 9・28b-36
十字架称賛 (9月14日)	民数記 21・4b-9	フィリピ 2・6-11	ヨハネ 3・13-17	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ラテラン教会の 獻堂 (11月9日)	エゼキエル 47・1-2, 8-9,12	一コリント 3・9c-11, 16-17	ヨハネ 2・13-22	◎	◎	◎	◎	◎	◎
王であるキリスト (年間最後の主日)	エゼキエル 34・11-12, 15-17	一コリント 15・20-26, 28	マタイ 25・31-46	ダニエル 7・13-14	黙示録 1・5-8	ヨハネ 18・33b-37	サムエル下 5・1-3	コロサイ 1・12-20	ルカ 23・35-43

### 3 復活節の主日と主の祝祭日

		A 年			B 年			C 年		
		第一朗読	第二朗読	福音朗誦	第一朗読	第二朗読	福音朗誦	第一朗読	第二朗読	福音朗誦
復活節	復活の主日	使徒言行録 10・34a, 37-43	コロサイ 3・1-4 △コリント 5・6b-8	ヨハネ 20・1-9 ルカ 24・13-35 (夕刻のミサ)	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	第2主日	使徒言行録 2・42-47	ペトロ 1・3-9	ヨハネ 20・19-31	使徒言行録 4・32-35	ヨハネ 5・1-6	◎	使徒言行録 5・12-16	黙示録 1・9-11a, 12-13, 17-19	◎
	第3主日	使徒言行録 2・14, 22-33	ペトロ 1・17-21	ルカ 24・13-35	使徒言行録 3・13-15, 17-19	ヨハネ 2・1-5a	ルカ 24・35-48	使徒言行録 5・27b-32, 40b-41	黙示録 5・11-14	ヨハネ 21・1-19
	第4主日	使徒言行録 2・14a, 36-41	ペトロ 2・20b-25	ヨハネ 10・1-10	使徒言行録 4・8-12	ヨハネ 3・1-2	ヨハネ 10・11-18	使徒言行録 13・14, 43-52	黙示録 7・9, 14b-17	ヨハネ 10・27-30
	第5主日	使徒言行録 6・1-7	ペトロ 2・4-9	ヨハネ 14・1-12	使徒言行録 9・26-31	ヨハネ 18・24	ヨハネ 15・1-8	使徒言行録 14・21b-27	黙示録 21・1-5a	ヨハネ 13・31-33a, 34-35
	第6主日	使徒言行録 8・5-8, 14-17	ペトロ 3・15-18 △ペトロ 4・13-16	ヨハネ 14・15-21 △ヨハネ 17・1-11a	使徒言行録 10・25-26, 34-35, 44-48	ヨハネ 4・7-10 △ヨハネ 4・11-16	ヨハネ 15・9-17 △ヨハネ 17・11b-19	使徒言行録 15・1-2, 22-29	黙示録 21・10-14, 22-23 △黙示録 22・12-14, 16-17, 20	ヨハネ 14・23-29 △ヨハネ 17・20-26
	主の昇天	使徒言行録 1・1-11	エフェソ 1・17-23	マタイ 28・16-20	◎	△エフェソ 4・1-13	マルコ 16・15-20	◎	△ヘブライ 9・24-28; 10・19-23	ルカ 24・46-53
	聖靈降臨	使徒言行録 2・1-11	コリント 12・3b-7, 12-13	ヨハネ 20・19-23	◎	△ガラテヤ 5・16-25	△ヨハネ 15・26-27; 16・12-15	◎	△ローマ 8・8-17	△ヨハネ 14・15-16, 23b-26

## 2 四旬節の主日と聖なる過越の三日間

		A 年			B 年			C 年		
		第一朗読	第二朗読	福音朗読	第一朗読	第二朗読	福音朗読	第一朗読	第二朗読	福音朗読
四 旬 節	第1主日	創世記 2・7-9; 3・1-7	ローマ 5・12-19	マタイ 4・1-11	創世記 9・8-15	ペトロ 3・18-22	マルコ 1・12-15	申命記 26・4-10	ローマ 10・8-13	ルカ 4・1-13
	第2主日	創世記 12・1-4a	ニテモテ 1・8b-10	マタイ 17・1-9	創世記 22・1-2,9a, 10-13,15-18	ローマ 8・31b-34	マルコ 9・2-10	創世記 15・5-12, 17-18	フィリピ 3・17~ 4・1	ルカ 9・28b-36
	第3主日	出エジプト 17・3-7	ローマ 5・1-2,5-8	ヨハネ 4・5-42	出エジプト 20・1-17	コリント 1・22-25	ヨハネ 2・13-25	出エジプト 3・1-8a, 13-15	コリント 10・1-6, 10-12	ルカ 13・1-9
	第4主日	サムエル上 16・1b,6- 7,10-13a	エフェソ 5・8-14	ヨハネ 9・1-41	歴代誌下 36・14-16, 19-23	エフェソ 2・4-10	ヨハネ 3・14-21	ヨシュア 5・9a,10- 12	コリント 5・17-21	ルカ 15・1-3, 11-32
	第5主日	エゼキエル 37・12-14	ローマ 8・8-11	ヨハネ 11・1-45	エレミヤ 31・31-34	ヘブライ 5・7-9	ヨハネ 12・20-33	イザヤ 43・16-21	フィリピ 3・8-14	ヨハネ 8・1-11
	受難の主日	枝の行列		マタイ 21・1-11			マルコ 11・1-10 △ヨハネ 12・12-16			ルカ 19・28-40
聖 木 曜 日	ミサ	イザヤ 50・4-7	フィリピ 2・6-11	マタイ 26・14~ 27・66	◎	◎	マルコ 14・1~ 15・47	◎	◎	ルカ 22・14~ 23・56
	聖香油のミサ	イザヤ 61・1-3a, 6a,8b-9	黙示録 1・5-8	ルカ 4・16-21	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	主の晩さん	出エジプト 12・1-8, 11-14	コリント 11・23-26	ヨハネ 13・1-15	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	聖金曜日 主の受難	イザヤ 52・13~ 53・12	ヘブライ 4・14-16; 5・7-9	ヨハネ 18・1~ 19・42	◎	◎	◎	◎	◎	◎
聖 なる 過 越 の 三 日 間	復活徹夜祭	△①創世記 △②創世記 △③出エジプト △④イザヤ △⑤イザヤ △⑥パルク 1・1-2・2 ; 22・1-18 14・15~15・1a 54・5-14 55・1-11 3・9-15, 32~4・4 36・16-17a, 18-28			△⑦エゼキエル 36・16-17a, 18-28					
	復活の主日	ローマ 6・3-11	マタイ 28・1-10	◎	◎	マルコ 16・1-7	◎	◎	ルカ 24・1-12	
	日中	使徒言行録 10・34a, 37-43	コロサイ 3・1-4 △コリント 5・6b-8	ヨハネ 20・1-9 ----- ルカ 24・13-35 (夕刻のミサ)	◎	◎	◎	◎	◎	

## 主日と祝祭日の聖書朗読箇所一覧表

### 1 待降節・降誕節の主日と主の祝祭日

		A 年			B 年			C 年		
		第一朗読	第二朗読	福音朗読	第一朗読	第二朗読	福音朗読	第一朗読	第二朗読	福音朗読
待 降 節	第1主日	イザヤ 2・1-5	ローマ 13・11-14a	マタイ 24・37-44	イザヤ 63・16b-17, 19b; 64・2b-7	コリント 1・3-9	マルコ 13・33-37	エレミヤ 33・14-16	サロニケ 3・12～ 4・2	ルカ 21・25-28, 34-36
	第2主日	イザヤ 11・1-10	ローマ 15・4-9	マタイ 3・1-12	イザヤ 40・1-5, 9-11	ペトロ 3・8-14	マルコ 1・1-8	パウロ 5・1-9	フィリピ 1・4-6, 8- 11	ルカ 3・1-6
	第3主日	イザヤ 35・1-6a, 10	ヤコブ 5・7-10	マタイ 11・2-11	イザヤ 61・1-2a, 10-11	サロニケ 5・16-24	ヨハネ 1・6-8, 19- 28	ゼファニヤ 3・14-17	フィリピ 4・4-7	ルカ 3・10-18
	第4主日	イザヤ 7・10-14	ローマ 1・1-7	マタイ 1・18-24	サムエル下 7・1-5, 8b- 12, 14a, 16	ローマ 16・25-27	ルカ 1・26-38	ミカ 5・1-4a	ヘブライ 10・5-10	ルカ 1・39-45
降 誕 節	前晩	イザヤ 62・1-5	使徒言行録 13・16-17, 22-25	マタイ 1・1-25	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	夜半	イザヤ 9・1-6	テトス 2・11-14	ルカ 2・1-14	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	早朝	イザヤ 62・11-12	テトス 3・4-7	ルカ 2・15-20	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	日中	イザヤ 52・7-10	ヘブライ 1・1-6	ヨハネ 1・1-18	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	聖家族	シラ 3・2-6, 12- 14	コロサイ 3・12-21	マタイ 2・13-15, 19-23	△創世記 15・1-6; 21・1-3	△ヘブライ 11・8, 11- 12, 17-19	ルカ 2・22-40	△サムエル上 1・20-22, 24-28	△ヨハネ 3・1-2, 21- 24	ルカ 2・41-52
	神の母 聖マリア (1月1日)	民数記 6・22-27	ガラテヤ 4・4-7	ルカ 2・16-21	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	主の公現	イザヤ 60・1-6	エフェソ 3・2, 3b, 5-6	マタイ 2・1-12	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	主の洗礼	イザヤ 42・1-4, 6-7	使徒言行録 10・34-38	マタイ 3・13-17	△イザヤ 55・1-11	△ヨハネ 5・1-9	マルコ 1・7-11	△イザヤ 40・1-5, 9-11	△テトス 2・11-14; 3・4-7	ルカ 3・15-16, 21-22

◎はA年の朗読箇所と同じことを表す。△はA年の箇所以外に選択できる箇所、あるいは「または」の意味。長短二種類の本文がある場合は長文のほうを掲げる。

## 聖書朗読法一覧

		朗読順	朗読法	選択の原則	朗読書
主日のミサ 三年周期	季節	第一朗読	主題の調和	福音の秘義の予型として	旧約諸書
			準継続朗読	聖書の記載順に	使徒言行録(復活節)
		第二朗読	主題の調和	福音の秘義の対型として	使徒の手紙
			準継続並行朗読	聖書の記載順に	ペトロの手紙一(復活節) ヨハネの手紙一(復活節) 黙示録(復活節)
	年間	福音朗読			マタイ(ABC年) マルコ(B年) ルカ(ABC年) ヨハネ(ABC年)
			選択秘義朗読	キリストの秘義(生涯のお金な出来事)の順に	
		第一朗読	主題の調和	福音の秘義の予型として	旧約諸書
			準継続並行朗読	聖書の記載順に	使徒の手紙
		福音朗読	準継続秘義朗読	キリストの秘義(公生活の出来事)を福音書の記載順に	マタイ(A年) マルコ(B年) ルカ(C年) ヨハネ(ABC年)
週日のミサ 二年周期	季節	第一朗読	主題の調和	福音の秘義の予型として (一年周期)	旧約諸書
			準継続並行朗読	聖書の記載順に (一年周期)	ヨハネの手紙一(降誕節) 使徒言行録(復活節)
		福音朗読	選択秘義朗読	キリストの秘義の順に (一年周期)	四福音書
			準継続秘義朗読	キリストの秘義を福音書の記載順に (一年周期)	ヨハネ(四旬節・復活節)
	年間	第一朗読	準継続並行朗読	聖書の記載順に (二年周期)	旧約諸書・使徒の手紙・ 黙示録
			福音朗読	キリストの秘義を福音書の記載順に (一年周期)	マルコ(第1~9週) マタイ(第10~21週) ルカ(第22~34週)
	教会の祈りの「読書」第一朗読		準継続朗読	聖書の記載順に (二年周期)	旧約諸書(詩編を除く) 新約諸書(福音書を除く)

付表

移動主日・祝祭日表(2005年～2020年)

年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
主日の周年 週日の周年	A I	B II	C I	A II	B I	C II	A I	B II
主の公現	1. 2	1. 8	1. 7	1. 6	1. 4	1. 3	1. 2	1. 8
主の洗礼	1. 9	1. 9*	1. 8*	1.13	1.11	1.10	1. 9	1. 9*
灰の水曜日	2. 9	3. 1	2.21	2. 6	2.25	2.17	3. 9	2.22
四旬節第Ⅰ主日	2.13	3. 5	2.25	2.10	3. 1	2.21	3.13	2.26
復活の主日	3.27	4.16	4. 8	3.23	4.12	4. 4	4.24	4. 8
聖靈降臨	5.15	6. 4	5.27	5.11	5.31	5.23	6.12	5.27
聖靈降臨後月曜日	第7週	第9週	第8週	第6週	第9週	第8週	第11週	第8週
キリストの聖体	5.29	6.18	6.10	5.25	6.14	6. 6	6.26	6.10
待降節第Ⅰ主日	11.27	12. 3	12. 2	11.30	11.29	11.28	11.27	12. 2
聖家族	12.30**	12.31	12.30	12.28	12.27	12.26	12.30**	12.30

年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
主日の周年 週日の周年	C I	A II	B I	C II	A I	B II	C I	A II
主の公現	1. 6	1. 5	1. 4	1. 3	1. 8	1. 7	1. 6	1. 5
主の洗礼	1.13	1.12	1.11	1.10	1. 9*	1. 8*	1.13	1.12
灰の水曜日	2.13	3. 5	2.18	2.10	3. 1	2.14	3. 6	2.26
四旬節第Ⅰ主日	2.17	3. 9	2.22	2.14	3. 5	2.18	3.10	3. 1
復活の主日	3.31	4.20	4. 5	3.27	4.16	4. 1	4.21	4.12
聖靈降臨	5.19	6. 8	5.24	5.15	6. 4	5.20	6. 9	5.31
聖靈降臨後月曜日	第7週	第10週	第8週	第7週	第9週	第7週	第10週	第9週
キリストの聖体	6. 2	6.22	6. 7	5.29	6.18	6. 3	6.23	6.14
待降節第Ⅰ主日	12. 1	11.30	11.29	11.27	12. 3	12. 2	12. 1	11.29
聖家族	12.29	12.28	12.27	12.30**	12.31	12.30	12.29	12.27

\* 主の洗礼の祝日は通常、主の公現の祭日の次の主日に祝われるが、2006年、2007年、2012年、2017年、2018年には主の公現の祭日の翌日の月曜日に祝われる。

\*\* 聖家族の祝日は通常、主の降誕の祭日後の主日に祝われるが、2005年、2011年、2016年には金曜日に祝われる。

- (11) ヨハネ5・24-29
- (12) ヨハネ6・37-40
- (13) ヨハネ6・51-58
- (14) ヨハネ11・17-27  
  または ヨハネ11・21-27
- (15) ヨハネ11・32-45
- (16) ヨハネ12・23-28  
  または ヨハネ12・23-26
- (17) ヨハネ14・1-6
- (18) ヨハネ17・24-26
- (19) ヨハネ19・17-18, 25-39

## 2 洗礼を受けた幼子の葬儀

### 第一朗読(旧約聖書)

- (1) イザヤ25・6a, 7-9
- (2) 哀歌3・22-26

[復活節中に旧約聖書の代わりに]

- (3) 黙示録7・9-10, 15-17
- (4) 默示録21・1a, 3-5a

### 答唱詩編

- (1) 詩編23・1-3, 4, 5, 6
- (2) 詩編25・4bc-5ab, 6+7bc, 20-21
- (3) 詩編42・2, 3, 5bcd; 43・3, 4, 5
- (4) 詩編148・1-2, 11-13ab, 13c-14

### 第二朗読(新約聖書)

- (1) ローマ6・3-4, 8-9
- (2) ローマ14・7-9
- (3) 一コリント15・20-23
- (4) エフェソ1・3-5
- (5) 一テサロニケ4・13-14

### アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) マタイ11・25参照
- (2) ヨハネ6・39
- (3) 二コリント1・3b-4a

### 福音朗誦

- (1) マタイ11・25-30
- (2) ヨハネ6・37-40  
  または ヨハネ6・37-39
- (3) ヨハネ6・51-58
- (4) ヨハネ11・32-38, 40
- (5) ヨハネ19・25-30

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>アーレルヤ唱(詠唱)</li> <li>(1) ニコリント1・3b-4a</li> <li>(2) 黙示録1・5a, 6b</li> </ul> | <p>福音朗誦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) マタイ11・25-30</li> <li>(2) マルコ15・33-46</li> <li>(3) ヨハネ19・25-30</li> </ul> |
|---|---|

## 3 洗礼を受けていない幼子の葬儀

### 第一朗読(旧約聖書)

- (1) イザヤ25・6a, 7-8b
- (2) 哀歌3・22-26

### 答唱詩編

詩編25・4bc-5ab, 6+7bc, 17+20

## 16 すべての聖人

諸聖人の祭日(11月1日)の朗誦を用いる。

## 17 神のいつくしみ

第一朗誦(新約聖書)

一ペトロ1・3-9

答唱詩編

詩編118・2-4, 13-15, 22-24

アーレルヤ唱(詠唱)

詩編145・9参照

福音朗誦

(1) マタイ20・25-28

(2) ヨハネ15・9-14

イエスの御血の信心ミサ、イエスのみ心の信心ミサ  
(91ページ参照)の朗誦を用いることもできる。

## 死者のためのミサ

### 1 葬儀ミサ

第一朗誦(旧約聖書)

(1) ヨブ19・1, 23-27a

(2) イザヤ25・6a, 7-9

(3) 哀歌3・17-26

(4) ダニエル12・1-3

(5) ニマカバイ12・43-46

(6) 知恵3・1-9

または 知恵3・1-6, 9

(7) 知恵4・7-15

[復活節中に旧約聖書の代わりに]

(1) 使徒言行録10・34-43

または 使徒言行録10・34-36, 42-43

(2) 黙示録14・13

(3) 黙示録20・11～21・1

(4) 默示録21・1-5a, 6b-7

答唱詩編

(1) 詩編23・1-3, 4, 5, 6

(2) 詩編25・6-7bc, 17-18, 20-21

(3) 詩編27・1, 4, 7+8b+9a, 13-14

(4) 詩編42・2, 3, 5bcd; 43・3, 4, 5

(5) 詩編63・2, 3-4, 5-6, 8-9

(6) 詩編103・8+10, 13-14, 15-16, 17-18

(7) 詩編115・5, 6; 116-10-11, 15-16ac

(8) 詩編122・1-2, 4-5, 6-7, 8-9

(9) 詩編130・1-2, 3-4, 5-6a, 6b-7, 8

(10) 詩編143・1-2, 5-6, 7ab+8ab, 10

第二朗誦(新約聖書)

(1) ローマ5・5-11

(2) ローマ5・17-21

(3) ローマ6・3-9

または ローマ6・3-4, 8-9

(4) ローマ8・14-23

(5) ローマ8・31b-35, 37-39

(6) ローマ14・7-9, 10c-12

(7) 一コリント15・20-24a, 25-28

または 一コリント15・20-23

(8) 一コリント15・51-57

(9) ニコリント4・14～5・1

(10) ニコリント5・1, 6-10

(11) フィリピ3・20-21

(12) 一テサロニケ4・13-18

(13) ニテモテ2・8-13

(14) 一ヨハネ3・1-2

(15) 一ヨハネ3・14-16

アーレルヤ唱(詠唱)

(1) マタイ11・25参照

(2) マタイ25・34

(3) ヨハネ3・16

(4) ヨハネ6・39

(5) ヨハネ6・40

(6) ヨハネ6・51

(7) ヨハネ11・25a, 26

(8) フィリピ3・20参照

(9) ニテモテ2・11-12a

(10) 默示録1・5a, 6b

(11) 默示録14・13

福音朗誦

(1) マタイ5・1-12a

(2) マタイ11・25-30

(3) マタイ25・1-13

(4) マタイ25・31-46

(5) マルコ15・33-39; 16・1-6

または マルコ15・33-39

(6) ルカ7・11-17

(7) ルカ12・35-40

(8) ルカ23・33, 39-43

(9) ルカ23・44-46, 50, 52-53; 24・1-6a

または ルカ23・44-46, 50, 52-53

(10) ルカ24・13-35

または ルカ24・13-16, 28-35

- (2) 詩編23・1-3, 4, 5, 6
- (3) 詩編25・4bc-5ab, 6-7bc, 8-9, 10+14
- (4) 詩編33・1-2, 4-5, 11-12, 18-19, 20-21
- (5) 詩編34・2-3, 4-5, 6-7, 8-9, 17-18, 19+23
- (6) 詩編103・1-2, 3-4, 6-7, 8+10

#### 第二朗読(新約聖書)

- (1) ローマ5・5-11
  - (2) エフェソ1・3-10
  - (3) エフェソ3・8-12
  - (4) エフェソ3・14-19
  - (5) フィリピ1・8-11
  - (6) 一ヨハネ4・7-16
- アレルヤ唱(詠唱)
- (1) マタイ11・25参照
  - (2) マタイ11・28
  - (3) マタイ11・29ab
  - (4) ヨハネ10・14
  - (5) ヨハネ15・9
  - (6) 一ヨハネ4・10b

#### 福音朗読

- (1) マタイ11・25-30
- (2) ルカ15・1-10
- (3) ルカ15・1-3, 11-32
- (4) ヨハネ10・11-18
- (5) ヨハネ15・1-8
- (6) ヨハネ15・9-17
- (7) ヨハネ17・20-26
- (8) ヨハネ19・31-37

### 7 聖靈

聖靈降臨の主日あるいは堅信式の朗読(105ページ参照)を用いることができる。

### 8 聖母マリア

聖母マリア共通の朗読(111ページ参照)を用いることができる。

#### ■教会の母聖マリア■

##### 第一朗読

創世記3・9-15, 20

または 使徒言行録1・12-14

##### 答唱詩編

ユディト13・18bcde, 19

アレルヤ唱(詠唱)

しあわせなかた、おとめマリア、あなたはあらゆる賛美にふさわしい。正義の太陽であるわたしたちの主キリストはあなたからお生まれになった。

##### 福音朗読

ヨハネ19・25-27

#### ■マリアのみ名■

##### 第一朗読

ガラテヤ4・4-7

または エフェソ1・3-6, 11-12

##### 答唱詩編

ルカ1・46-47, 48-49, 50-51, 52-53, 54-55

アレルヤ唱(詠唱)

ルカ1・45参照

##### 福音朗読

ルカ1・39-47

### 9 天使

聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル大天使の祝日(9月29日)、あるいは守護の天使の記念日(10月2日)の朗読を用いる。

### 10 聖ヨセフ

聖ヨセフの祭日(3月19日)、あるいは労働者聖ヨセフの記念日(5月1日)の朗読を用いる。

### 11 すべての使徒

聖シモン 聖ユダ使徒の祝日(10月28日)の朗読を用いる。

### 12 聖ペトロ 聖パウロ使徒

聖ペトロ教会と聖パウロ教会の献堂の記念日(11月18日)の朗読を用いる。

### 13 聖ペトロ

聖ペトロの使徒座の祝日(2月22日)の朗読を用いる。

### 14 聖パウロ

聖パウロの回心の祝日(1月25日)の朗読を用いる。

### 15 一人の使徒

祝う当日の朗読を用いる。他の使徒とともに祝われ、ミサの朗読がその使徒に合わない場合は、聖シモン 聖ユダ使徒の祝日(10月28日)の朗読を用いる。

- (2) 一コリント11・23-26
- (3) ヘブライ9・11-15
- (4) ヘブライ12・18-19, 22-24
- (5) 一ペトロ1・17-21
- (6) 一ヨハネ5・4-8
- アレルヤ唱(詠唱)
  - (1) ヨハネ6・51
  - (2) ヨハネ6・56
  - (3) ヨハネ6・57
- (4) 黙示録1・5ab参照
- (5) 默示録5・9
- 福音朗誦
  - (1) マルコ14・12-16, 22-26
  - (2) マルコ15・16-20
  - (3) ルカ9・11b-17
  - (4) ルカ22・39-44
  - (5) ルカ24・13-35
  - または ルカ24・13-16, 28-35
  - (6) ヨハネ6・1-15
  - (7) ヨハネ6・24-35
  - (8) ヨハネ6・41-51
  - (9) ヨハネ6・51-58
  - (10) ヨハネ19・31-37
  - (11) ヨハネ21・1-14

#### ■永遠の大祭司イエス・キリスト■

- 第一朗誦  
イザヤ52・13～53・12  
または ヘブライ10・12-23
- 答唱詩編  
詩編40・6ab, 9bc, 10, 11ab  
アレルヤ唱(詠唱)  
イザヤ42・1
- 福音朗誦  
ルカ22・14-20

#### 4 イエスのみ名

- 第一朗誦(旧約聖書)
  - (1) 出エジプト3・11-15
  - (2) シラ51・8-12
  - [復活節中に旧約聖書の代わりに]
    - (1) 使徒言行録3・1-10
    - (2) 使徒言行録4・8-12
    - (3) 使徒言行録5・27b-32, 40b-42
  - 答唱詩編
    - (1) イザヤ12・2-3, 4bcd, 5-6
    - (2) 詩編113・1-2, 3-4, 5-6
  - 第二朗誦(新約聖書)
    - (1) 一コリント1・1-3

- (2) フィリピ2・6-11
- (3) コロサイ3・12-17
- アレルヤ唱(詠唱)
  - (1) 詩編96・2
  - (2) ダニエル3・52b
- 福音朗誦
  - (1) マタイ1・18-25
  - (2) ルカ2・16-21
  - (3) ヨハネ14・6-14

#### 5 イエスの御血

- 第一朗誦(旧約聖書)
  - (1) 出エジプト12・21-27
  - (2) 出エジプト24・3-8
  - [復活節中に旧約聖書の代わりに]
    - (1) 默示録1・5-8
    - (2) 默示録7・9-14
  - 答唱詩編
    - (1) 詩編40・2+4ab, 7-8a, 8b-9, 10
    - (2) 詩編116・12-13, 15-16bc, 17-18
  - 第二朗誦(新約聖書)
    - (1) ヘブライ9・11-15
    - (2) ヘブライ12・18-19, 22-24
    - (3) 一ペトロ1・17-21
    - (4) 一ヨハネ5・4-8
  - アレルヤ唱(詠唱)
    - (1) 默示録1・5ab参照
    - (2) 默示録5・9
  - 福音朗誦
    - (1) マルコ14・12-16, 22-26
    - (2) マルコ15・16-20
    - (3) ルカ22・39-44
    - (4) ヨハネ19・31-37

#### 6 イエスのみ心

- 第一朗誦(旧約聖書)
  - (1) 出エジプト34・4b-6, 8-9
  - (2) 申命記7・6-11
  - (3) 申命記10・12-22
  - (4) イザヤ49・13-15
  - (5) エレミヤ31・1-4
  - (6) エゼキエル34・11-16
  - (7) ホセア11・1, 3-4, 8c-9
  - [復活節中に旧約聖書の代わりに]
    - (1) 默示録3・14b, 20-22
    - (2) 默示録5・6-12
  - 答唱詩編
    - (1) イザヤ12・2-3, 4bcd, 5-6

## 新約聖書

ローマ14・7-9, 10c-12

## 答唱詩編

詩編31・2+6, 8bc-9, 15-16, 17+25

アレルヤ唱(詠唱)

(1) マタイ24・42a, 44

(2) ルカ21・36

(3) ヨハネ13・1

(4) 黙示録2・10c

## 福音朗誦

(1) マタイ25・1-13

(2) ルカ12・35-40

(3) ルカ21・34-36

(4) ルカ23・39-46

## 信心ミサ

### 1 三位一体

三位一体の祭日の朗誦を用いる。

### 2 十字架

#### 第一朗誦(旧約聖書)

(1) 出エジプト12・1-8, 11-14

(2) イザヤ50・4-9a

(3) イザヤ52・13-53・12

(4) ゼカリヤ12・10-11; 13・6-7

(5) 知恵2・1a, 12-22

[復活節中に旧約聖書の代わりに]

(1) 使徒言行録10・34-43

(2) 使徒言行録13・26-33

(3) 默示録1・5-8

(4) 默示録5・6-12

## 答唱詩編

(1) 詩編22・8-9, 17-18a, 19-20, 23-24

(2) 詩編31・2+6, 12-13, 15-16, 17+25

(3) 詩編55・5-6, 13, 14-15, 17-18, 23

(4) 詩編69・8-10, 15-16, 17-19, 20-21, 22+27,  
31+33-34

(5) 詩編118・16ab-18, 19-21, 22-24

#### 第二朗誦(新約聖書)

(1) 一コリント1・18-25

(2) エフェソ2・13-18

(3) フィリピ2・6-11

(4) フィリピ3・8-14

(5) ヘブライ5・7-9

アレルヤ唱(詠唱)

(1) フィリピ2・8-9

(2) キリストよ、あなたを拝み、たたえよう。主は十字架によって世をあがなわれた。

## 福音朗誦

(1) マルコ8・31-34

(2) マルコ12・1-12

(3) ルカ24・35-48

(4) ヨハネ12・31-36a

[主の受難物語から]

(1) マタイ26・47-56

(2) マタイ27・33-50

(3) マルコ14・32-41

(4) マルコ14・55-65

(5) マルコ15・1-15

(6) マルコ15・16-20

(7) マルコ15・33-39; 16・1-6

(8) ルカ23・33-34, 39-46

(9) ヨハネ19・28-37

### 3 聖体

#### 第一朗誦(旧約聖書)

(1) 創世記14・18-20

(2) 出エジプト12・21-27

(3) 出エジプト16・2-4, 12-15

(4) 出エジプト24・3-8

(5) 申命記8・2-3, 14b-16a

(6) 列王記上19・4-8

(7) 箴言9・1-6

[復活節中に旧約聖書の代わりに]

(1) 使徒言行録2・42-47

(2) 使徒言行録10・34a, 37-43

(3) 默示録1・5-8

(4) 默示録7・9-14

## 答唱詩編

(1) 詩編23・1-3, 4, 5, 6

(2) 詩編34・2-3, 4-5, 6-7, 8-9, 10-11

(3) 詩編40・2+4ab, 7-8a, 8b-9, 10

(4) 詩編78・3+4a+7ab, 23-24, 25+54

(5) 詩編110・1, 2, 3, 4

(6) 詩編116・12-13, 15+16bc, 17-18

(7) 詩編145・10-11, 15-16, 17-18

(8) 詩編147・12-13, 14-15, 19-20

#### 第二朗誦(新約聖書)

(1) 一コリント10・16-17

### 新約聖書

- (1) 一コリント1・3-9
- (2) エフェソ1・3-14
- (3) コロサイ3・12-17

### 答唱詩編

- (1) 歴代誌上29・10bc, 11, 12
- (2) 詩編113・1-2, 3-4, 5-6, 7-8
- (3) 詩編138・1-2a, 2bc-3, 4-5
- (4) 詩編145・2-3, 4-5, 6-7, 8-9, 10-11

### アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) 詩編66・16
- (2) 詩編138・1bc
- (3) マタイ11・25参照
- (4) ルカ1・49
- (5) ヨハネ15・11
- (6) エフェソ1・3
- (7) 一テサロニケ5・18
- (8) あなたを神とほめたたえ、万物の主とあがめる。けだかい殉教者の群れもあなたをたたえて歌う。

### 福音朗読

- (1) マタイ7・7-11
- (2) マタイ11・25-30
- (3) マルコ5・18-20
- (4) ルカ1・39-55
- (5) ルカ10・17-24
- (6) ルカ17・11-19
- (7) ヨハネ15・9-17
- (8) ヨハネ16・20-22

## IV 個人の必要

### 27 罪のゆるしを願って

#### 旧約聖書

- (1) イザヤ55・6-9
- (2) エゼキエル18・21-23, 30-32
- (3) ヨエル2・12-18
- (4) ヨナ3・1-10

#### 新約聖書

- (1) ローマ6・2-14
- (2) 一ヨハネ1・5-2・2

#### 答唱詩編

- (1) 詩編51・3-4, 5-6a, 12-13, 14+17
- (2) 詩編103・1-2, 3-4, 8-9, 11-12
- (3) 詩編130・1-2, 3-4, 5-6a, 6b-7, 8

#### アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) エゼキエル33・11
- (2) マルコ1・15
- (3) 黙示録1・5ab参照

### 福音朗読

- (1) マタイ9・1-8
- (2) マルコ1・1-8, 14-15
- (3) ルカ7・36-50
- (4) ルカ15・1-3, 11-32
- (5) ルカ24・46-48

### 28 愛を願って・一致を深めるため・親戚や友人のため

#### 新約聖書

- (1) ローマ12・3-13
- (2) 一コリント12・31～13・13
- (3) 一ヨハネ3・14-18

#### 答唱詩編

- (1) 詩編85・7-8, 9, 11-12
- (2) 詩編100・2, 3, 4, 5

#### アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) 詩編133・1
- (2) ヨハネ15・12

### 福音朗読

- (1) マタイ18・15-20
- (2) ヨハネ15・12-17

### 29 家庭のため

聖家族の祝日、あるいは上記の親戚や友人のためのミサの朗読を用いることができる。

### 30 敵対する人のため

#### 旧約聖書

- (1) サムエル上26・2, 7-9, 12-13, 22-23
- (2) イザヤ50・4-9a

#### 新約聖書

- (1) 使徒言行録7・55-60
- (2) コロサイ3・12-15

#### 答唱詩編

- (1) 詩編86・1-2, 3-4, 5-6, 14, 17
- (2) 詩編103・1-2, 3-4, 8-9, 11-12

#### アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) マタイ5・9
- (2) ヨハネ13・34

### 福音朗読

- (1) マタイ5・38-48
- (2) ルカ6・27-38

### 31 よい死を願って

#### 旧約聖書

- イザヤ25・6-10a

- (2) ニコリント8・1・5, 9・15
- (3) ニコリント9・6・15
- 答唱詩編**
  - (1) 詩編22・23・24, 26・27, 28+31・32
  - (2) 詩編107・2・3, 4・5, 6・7, 8・9
  - (3) 詩編112・1・2, 3・4, 5・7a, 7bc・8, 9
- アレルヤ唱(詠唱)
  - (1) マタイ25・34
  - (2) ニコリント8・9
- 福音朗読**
  - (1) マタイ25・31・46
  - (2) マルコ6・34・44
  - (3) ルカ14・12・14
  - (4) ルカ16・19・31

## 22 難民のため

### 旧約聖書

- (1) 申命記10・17・19
- (2) 申命記24・17・22

### 新約聖書

- (1) ローマ12・9・16b
- (2) ヘブライ11・13・16
- (3) ヘブライ13・1・3, 14・16

### 答唱詩編

- (1) トビト13・2, 3・4, 6, 7, 8
- (2) 詩編107・33・34, 35・36, 41・42
- (3) 詩編121・1・2, 3・4, 5・6, 7・8

### アレルヤ唱(詠唱)

- (1) ニコリント1・3b・4a
- (2) ヘブライ13・14

### 福音朗読

- (1) マタイ2・13・15, 19・23
- (2) マタイ25・31・46
- (3) ルカ10・25・37

## 23 自由を奪われた人のため・投獄された人のため

マタイ25・31・46とともに、下記の困難のときのミサの朗読を用いることもできる。

## 24 病者のため

### 旧約聖書

- (1) 列王記下20・1・6
- (2) イザヤ53・1・5, 10・11

### 新約聖書

- (1) 使徒言行録28・7・10
- (2) ニコリント4・10・18
- (3) ニコリント12・7b・10

- (4) ヤコブ5・13・16
- 答唱詩編**
  - (1) イザヤ38・10, 11, 12abcd, 16
  - (2) 詩編102・2・3, 24・25, 19・21
- アレルヤ唱(詠唱)
  - (1) マタイ8・17
  - (2) ニコリント1・3b・4a
  - (3) コロサイ1・24b
- 福音朗読**
  - (1) マタイ8・14・17
  - (2) マルコ16・15・20
  - (3) ルカ22・39・43
  - (4) ヨハネ15・1・8

死に直面する人の場合は、病者と死に直面する人のための秘跡の朗読(103ページ参照)を用いることができる。

## 25 地震のとき・雨を願って・晴天を願って・嵐や台風のとき・困難のとき

### 旧約聖書

- (1) 哀歌3・17・26
- (2) ダニエル補遺・アザルヤ2, 11・20
- (3) エステル(ギ)C・1・4, 8・10

### 新約聖書

- (1) ローマ8・18・30
- (2) ローマ8・31b・39
- (3) ヤコブ1・2・4, 12
- (4) 黙示録21・1・5a, 6b・7

### 答唱詩編

- (1) 詩編80・2ac+3b, 5・7
- (2) 詩編85・2・4, 5・6, 7・8
- (3) 詩編123・1・2a, 2bcd

### アレルヤ唱(詠唱)

- (1) 詩編33・22
- (2) ニコリント1・3b・4a
- (3) ヤコブ1・12

### 福音朗読

- (1) マタイ7・7・11
- (2) マルコ4・35・41
- (3) ルカ18・1・8

## 26 感謝のため

### 旧約聖書

- (1) 列王記上8・55・61
- (2) イザヤ63・7・9
- (3) ゼファニヤ3・14・15
- (4) シラ50・22・24

### アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) マタイ5・9
  - (2) ニコリント1・3b-4a
  - (3) ヨハネ13・34
- 福音朗誦
- (1) マタイ5・20-24
  - (2) ヨハネ15・9-12

平和と正義のためのミサの朗誦(96ページ参照)を用いることもできる。

## III 社会の種々の状況

### 17 年の初め

#### 旧約聖書

- (1) 創世記1・14-18
- (2) 民数記6・22-27

#### 新約聖書

- (1) 一コリント7・29-31
- (2) ヤコブ4・13-15

#### 答唱詩編

- (1) 詩編8・4-5, 6-7a, 7b-9
- (2) 詩編49・2-3, 6-7, 8-10, 11, 17-18
- (3) 詩編90・2, 3-4, 5-6, 12-13, 15+16

#### アーレルヤ唱(詠唱)

- 歴代誌上29・10b, 11b
- 福音朗誦
- (1) マタイ6・31-34
  - (2) ルカ12・35-40

### 18 労働の祝福

#### 旧約聖書

- (1) 創世記1・26～2・3
- (2) 創世記2・4b-9, 15

#### 新約聖書

- (1) 一テサロニケ4・1b-2, 9-12
- (2) 二テサロニケ3・6-12, 16

#### 答唱詩編

- (1) 詩編90・2, 3-4, 12-13, 14+16
- (2) 詩編127・1, 2

#### アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) 詩編68・20
- (2) マタイ11・28

#### 福音朗誦

- (1) マタイ6・31-34
- (2) マタイ25・14-30

### 19 種まきのときに

#### 旧約聖書

- (1) 創世記1・11-12
- (2) イザヤ55・6-13

#### 新約聖書

- (1) ニコリント9・8-11
- (2) ヤコブ5・7-8, 16c-18

#### 答唱詩編

- (1) 詩編65・10, 11-12, 13-14
- (2) 詩編104・1-2a, 14-15, 24, 27-28
- (3) 詩編107・35-36, 37-38, 41-42

#### アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) 詩編85・13
- (2) 詩編126・5

#### 福音朗誦

- (1) マタイ13・1-9
- (2) マルコ4・26-29

上記の労働の祝福のためのミサの朗誦を用いることもできる。

### 20 収穫の感謝

#### 旧約聖書

- (1) 申命記8・7-18
- (2) ヨエル2・21-24, 26-27

#### 新約聖書

- (1) 一コリント3・6-10
- (2) 一テモテ6・6-11, 17-19

#### 答唱詩編

- (1) 詩編67・2-3, 5, 7-8
- (2) 詩編126・2b-3, 4-5, 6-7

#### アーレルヤ唱(詠唱)

#### 詩編126・5

#### 福音朗誦

- (1) ルカ12・15-21
- (2) ルカ17・11-19

感謝のためのミサの朗誦(94ページ参照)を用いることもできる。

### 21 飢餓のときあるいは飢えに苦しむ人々のため

#### 旧約聖書

- (1) 申命記24・17-22
- (2) ヨブ31・16-20, 24-25, 31-32
- (3) イザヤ58・6-11

#### 新約聖書

- (1) 使徒言行録11・27-30

(3) ニコリント8・1-5,9-15

(4) ニコリント9・6-15

(5) ガラテヤ5・17-26

(6) エフェソ4・30～5・2

(7) コロサイ3・9b-17

(8) 一テモテ6・6-11,17-19

(9) ヤコブ3・13-18

(10) ヤコブ4・1-10

#### 答唱詩編

(1) 詩編8・4-5,6-7a,7b-9

(2) 詩編80・2ac+3b,5-7

(3) 詩編85・9ab-10,11-12,13-14

(4) 詩編100・2,3,4,5

(5) 詩編107・2-3,4-5,6-7,8-9

(6) 詩編112・1-2,3-4,5-7a,7bc-8,9

(7) 詩編122・1-2,4-5,6-7,8-9

(8) 詩編123・1-2a,2bcd

(9) 詩編127・1,2

#### アレルヤ唱(詠唱)

(1) 歴代誌上29・10b,11b

(2) 詩編126・5

(3) マタイ5・9

(4) マタイ25・34

(5) ルカ21・36

(6) ヨハネ8・12

(7) ヨハネ12・26

(8) ヨハネ13・34

(9) ニコリント8・9

#### 福音朗誦

(1) マタイ5・1-12a

(2) マタイ5・20-24

(3) マタイ5・38-48

(4) マタイ22・15-21

(5) マタイ25・14-30

(6) マタイ25・31-46

(7) ルカ12・15-21

(8) ルカ12・35-40

(9) ルカ14・12-14

(10) ルカ16・19-31

(11) ルカ22・24-30

(12) ヨハネ15・9-12

### 14 平和と正義のため

#### 旧約聖書

(1) イザヤ9・1-6

(2) イザヤ32・15-18

(3) イザヤ57・15-19

#### 新約聖書

(1) フィリピ4・6-9

(2) コロサイ3・12-15

(3) ヤコブ3・13-18

#### 答唱詩編

(1) 詩編72・2,3-4ab,7-8,12-13,17

(2) 詩編85・9ab-10,11-12,13-14

(3) 詩編122・1-2,4-5,6-7,8-9

#### アレルヤ唱(詠唱)

(1) マタイ5・9

(2) ヨハネ14・27

#### 福音朗誦

(1) マタイ5・1-12a

(2) マタイ5・38-48

(3) ヨハネ14・23-29

(4) ヨハネ20・19-23

### 15 和解のため

#### 旧約聖書

(1) イザヤ55・1-3,6-9

(2) エレミヤ31・31-34

(3) アモス5・4,14-15,21-24

#### 新約聖書

(1) 使徒言行録3・13-15,17-19

(2) ニコリント5・17～6・2

(3) ヨハネ2・1-5

#### 答唱詩編

(1) 詩編51・3-4,12-13,14-15

(2) 詩編130・1-2,3-4ab,4c-6,7-8

#### アレルヤ唱(詠唱)

(1) エゼキエル33・11

(2) マタイ5・9

(3) マルコ1・15

#### 福音朗誦

(1) マタイ5・1-12a

(2) ルカ3・7-18

(3) ルカ15・1-3,11-32

### 16 戦争や紛争のとき

#### 旧約聖書

(1) 創世記4・3-10

(2) ミカ4・1-4

(3) ゼカリヤ9・9-10

#### 新約聖書

(1) ガラテヤ5・17-26

(2) エフェソ4・30～5・2

(3) ヤコブ4・1-10

#### 答唱詩編

(1) 詩編72・2,3-4ab,7-8,12-13,17

(2) 詩編85・9ab-10,11-12,13-14

- (4) 詩編118・22-23, 25-26, 28
- (5) 詩編122・1-2, 4-5, 6-7, 8-9
- アレルヤ唱(詠唱)
  - (1) ヨハネ17・21
  - (2) エフェソ4・5, 6a
  - (3) コロサイ3・15
- 福音朗誦
  - (1) マタイ18・19-22
  - (2) ルカ9・49-56
  - (3) ヨハネ10・11-16
  - (4) ヨハネ11・45-52
  - (5) ヨハネ13・1-15
  - (6) ヨハネ17・1-11a
  - (7) ヨハネ17・11b-19
  - (8) ヨハネ17・20-26

## 11 福音宣教のため

### 旧約聖書

- (1) イザヤ2・1-5
- (2) イザヤ56・1-6-7
- (3) イザヤ60・1-6
- (4) ヨナ3・10~4・11
- (5) ゼカリヤ8・20-23

### 新約聖書

- (1) 使徒言行録1・3-8
- (2) 使徒言行録11・19-26
- (3) 使徒言行録13・46-49
- (4) ローマ10・9-18
- (5) エフェソ3・2-12
- (6) 一テモテ2・1-8

### 答唱詩編

- (1) 詩編19・2-3, 4-5
- (2) 詩編67・2-3, 5, 7-8
- (3) 詩編96・1-2a, 2b-3, 7-8a, 9-10a
- (4) 詩編98・1, 2-3ab, 3c-4, 5-6
- (5) 詩編117・1, 2

### アレルヤ唱(詠唱)

- (1) マタイ28・19a, 20b
- (2) マルコ16・15
- (3) ヨハネ3・16

### 福音朗誦

- (1) マタイ28・16-20
- (2) マルコ16・15-20
- (3) ルカ24・44-53
- (4) ヨハネ11・45-52
- (5) ヨハネ17・11b, 17-23

## 12 迫害されるキリスト者のため

### 旧約聖書

- (1) イザヤ41・8-10, 13-14
- (2) ダニエル3・25, 34-43
- (3) エステル(ギ)C・1-4, 8-10
- (4) 一マカバイ2・49-52, 57-64

### 新約聖書

- (1) 使徒言行録4・1-5, 18-21
- (2) 使徒言行録4・23-31
- (3) 使徒言行録5・27b-32, 40b-42
- (4) フィリピ1・27-30
- (5) ヘブライ12・2-13
- (6) 一ペトロ1・3-9
- (7) 黙示録7・9-10, 14b-17

### 答唱詩編

- (1) 詩編2・1-3, 4-6, 10-11
- (2) 詩編27・1, 2, 3, 5
- (3) 詩編123・1, 2
- (4) 詩編124・2-3, 4-5, 7b-8

### アレルヤ唱(詠唱)

- (1) マタイ5・10
- (2) ニコリント1・3b-4a
- (3) ヤコブ1・12
- (4) 一ペトロ4・14

### 福音朗誦

- (1) マタイ5・1-12a
- (2) マタイ10・17-22
- (3) マタイ10・26-33
- (4) ヨハネ15・18-21, 26~16・4
- (5) ヨハネ17・11b-19

## II 国や社会

### 13 祖国のために・政治に携わる人のため・国際的会合のため・国家元首のため・諸民族の発展のため

### 旧約聖書

- (1) 創世記1・26~2・3
- (2) 創世記2・4b-9, 15
- (3) 創世記4・3-10
- (4) 民数記6・22-27
- (5) 列王記上3・11-14
- (6) ヨブ31・16-20, 24-25, 31-32
- (7) イザヤ32・15-18
- (8) イザヤ58・6-11
- (9) エゼキエル3・16-21
- (10) エステル(ギ)C・1-4, 8-10

### 新約聖書

- (1) 使徒言行録11・27-30
- (2) ローマ8・18-30

(5) ヨハネ15・9b,5b

#### 福音朗読

- (1) マタイ11・25-30
- (2) マタイ16・24-27
- (3) マタイ19・3-12
- (4) マルコ3・31-35
- (5) ルカ10・38-42
- (6) ヨハネ15・1-8

### 8 司祭あるいは修道生活への召命のため

#### 旧約聖書

- (1) 創世記12・1-4a
- (2) 出エジプト3・1-6,9-12
- (3) サムエル上3・1-10
- (4) 列王記上19・16b,19-21
- (5) イザヤ6・1,6-8
- (6) エレミヤ1・4-9
- (7) エレミヤ20・7-9

#### 新約聖書

- (1) ニコリント5・14-20(司祭への召命)
- (2) フィリピ3・8-14
- (3) ヘブライ5・1-10(司祭への召命)

#### 答唱詩編

- (1) 詩編16・1-2a+5,7-8,11
- (2) 詩編27・1,4,5,8b-9ab,9cd+11
- (3) 詩編40・2+4ab,7-8a,8b-9,10,12
- (4) 詩編84・3-4,6+8a,11

#### アーレヤ唱(詠唱)

- (1) マルコ1・17
- (2) ヨハネ15・5
- (3) ヨハネ15・16参照
- (4) フィリピ3・8-9

#### 福音朗読

- (1) マタイ9・35-38
- (2) マルコ10・17-27
- (3) マルコ10・28-30
- (4) ルカ5・1-11
- (5) ルカ9・57-62
- (6) ルカ14・25-33
- (7) ヨハネ1・35-51  
または ヨハネ1・35-42
- (8) ヨハネ15・9-17

### 9 信徒のため

#### 旧約聖書

- (1) エゼキエル36・24-28
- (2) ヨエル3・1b-5

#### 新約聖書

(1) 使徒言行録2・1-11

(2) ローマ6・2-4,12-14

(3) ローマ8・31b-39

(4) ローマ12・1-13

(5) 一コリント12・3b-7,12-13

(6) エフェソ1・3-14

(7) エフェソ4・1-6

(8) 一ペトロ2・4-10

#### 答唱詩編

(1) 詩編85・2-4,5-6,7-8

(2) 詩編100・2,3,4,5

(3) 詩編103・1-2,3-4,8-9,11-12

(4) 詩編113・1-3,4-6,7-8

#### アーレヤ唱(詠唱)

(1) マタイ5・9

(2) ヨハネ8・12

(3) ヨハネ15・4a,5b

(4) ヨハネ15・16参照

(5) ヤコブ1・12

(6) 種は神のことば、まく人はキリスト。キリストを見  
いだす人は永遠に生きる。

#### 福音朗読

(1) マタイ5・1-12a

(2) マタイ16・24-27

(3) マタイ25・14-30

(4) マルコ3・31-35

(5) マルコ4・1-9

(6) ヨハネ15・1-8

(7) ヨハネ15・18-21

### 10 キリスト者の一致のため

#### 旧約聖書

(1) 申命記30・1-4

(2) エゼキエル36・24-28

(3) エゼキエル37・15-19,21b-22,26-28

(4) ゼファニヤ3・16-20

#### 新約聖書

(1) 一コリント1・10-13

(2) エフェソ2・19-22

(3) エフェソ4・1-6

(4) エフェソ4・30-5・2

(5) フィリピ2・1-13

(6) コロサイ3・9b-17

(7) 一テモテ2・5-8

(8) 一ヨハネ4・9-15

#### 答唱詩編

(1) エレミヤ31・10,11-12ab,13-14

(2) 詩編23・1-3,4,5,6

(3) 詩編100・2,3,4,5

- (1) ヨハネ15・9-17  
(2) ヨハネ17・11b, 17-23

#### 4 公会議あるいは教会会議のため・默想会あるいは司牧集会のため

##### 旧約聖書

申命記30・10-14

##### 新約聖書

フィリピ2・1-4

##### 答唱詩編

詩編19・8, 9, 10, 11

アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) 詩編133・1  
(2) ヨハネ16・13a; 14・26d  
福音朗誦  
(1) マタイ18・15-20  
(2) マルコ6・30-34  
(3) ヨハネ14・23-29

#### 5 司祭のため

##### 旧約聖書

- (1) イザヤ61・1-3a  
(2) エレミヤ1・4-9

##### 新約聖書

- (1) 一コリント11・23-26  
(2) ニコリント4・1-2, 5-7  
(3) ニコリント5・14-20  
(4) エフェソ4・1-7, 11-13  
(5) コロサイ1・24-29  
(6) 一テサロニケ2・2b-8

##### 答唱詩編

- (1) 詩編16・1-2a+5, 7-8, 11  
(2) 詩編19・2-3, 4-5, 6-7  
(3) 詩編27・1, 4, 5, 8-9b, 9c-11  
(4) 詩編84・3, 4, 5, 6a+8a, 11  
(5) 詩編110・1, 2, 3, 4

アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) マタイ28・19a, 20b  
(2) ヨハネ10・14  
(3) ヨハネ12・26  
(4) ヨハネ15・9  
(5) ヨハネ15・16参照

##### 福音朗誦

- (1) マタイ20・20-28  
(2) マタイ28・16-20  
(3) ルカ10・1-9  
(4) ルカ22・24-30  
(5) ヨハネ10・11-16

- (6) ヨハネ15・9-17  
(7) ヨハネ21・15-17

#### 6 教会の奉仕者のため

##### 新約聖書

- (1) 一コリント9・16-19, 22-23  
(2) 一コリント12・3b-7, 12-13  
(3) エフェソ4・1-7, 11-13  
(4) コロサイ1・24-29  
(5) ニテモテ4・1-5

##### 答唱詩編

- (1) 詩編19・8, 9, 10, 11  
(2) 詩編34・2-3, 4-5, 6-7, 8-9, 10-11  
(3) 詩編96・1-2a, 2b-3, 7-8a, 10  
アーレルヤ唱(詠唱)  
(1) マタイ28・19a, 20b  
(2) ヨハネ15・16参照  
(3) 一コリント1・23-24

##### 福音朗誦

- (1) マタイ20・20-28  
(2) マルコ16・15-20  
(3) ルカ10・1-9

#### 7 修道者のため

##### 旧約聖書

- (1) 列王記上19・4-9a, 11-15a  
(2) 雅歌8・6-7  
(3) イザヤ61・9-11  
(4) ホセア2・16, 21-22

##### 新約聖書

- (1) 使徒言行録2・42-47  
(2) 一コリント1・22-31  
(3) 一コリント7・25-35  
(4) フィリピ2・1-4  
(5) ペトロ1・3-9  
(6) 黙示録3・14b, 20-22

##### 答唱詩編

- (1) 詩編18・9, 10, 11  
(2) 詩編27・1, 2, 3, 5  
(3) 詩編45・11-12, 14-15, 16-17  
(4) 詩編112・1-2, 3-4, 5-6, 7-8, 9  
(5) 詩編123・1-2a, 2bcd  
(6) 詩編148・1-2, 11-13ab, 13c-14

アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) マタイ5・6  
(2) マタイ11・25参照  
(3) ヨハネ8・31b-32  
(4) ヨハネ14・23

**第二朗読(新約聖書)**

(1) 一コリント10・16-21

(2) ヘブライ13・8-15

**アレルヤ唱(詠唱)**

(1) エゼキエル37・27

(2) ヨハネ4・23, 24参照

(3) ヘブライ13・8

**福音朗誦**

(1) マタイ5・23-24

(2) ヨハネ4・19-24

(3) ヨハネ12・31-36a

**3 カリスとバテナの祝福**

**新約聖書**

(1) 一コリント10・10-22

(2) 一コリント11・23-26

**答唱詩編**

(1) 詩編16・5+8, 9-10, 11

(2) 詩編22・1-3a, 3b-4, 5, 6

**アレルヤ唱(詠唱)**

(1) ヨハネ6・56

(2) ヨハネ6・57

**福音朗誦**

(1) マタイ20・20-28

(2) マルコ14・12-16, 22-26

**種々の機会のミサ**

**I 教会**

**1 教会のため**

**旧約聖書**

(1) イザヤ56・1, 6-7

(2) イザヤ60・1-6

(3) エゼキエル34・11-16

(4) ホセア2・16b, 17b, 21-22

(5) ゼファニヤ3・14-18a

**新約聖書**

(1) 使徒言行録2・42-47

(2) 一コリント3・9c-11, 16-17

(3) 一コリント12・3b-7, 12-13

(4) エフェソ1・3-14

(5) エフェソ2・19-22

(6) 一ペトロ2・4-9

(7) 黙示録7・2-4, 9-14

(8) 黙示録21・1-5a

(9) 黙示録21・9b-14

**答唱詩編**

(1) 詩編19・2-3, 4-5, 6-7

(2) 詩編25・4-5ab, 6-7, 8-9, 10, 14

(3) 詩編27・1, 2, 3, 5

(4) 詩編67・2-3, 5, 7-8

(5) 詩編96・1-2a, 2b-3, 7-8a, 9-10a

(6) 詩編98・1, 2-3ab, 3c-4, 5-6

(7) 詩編110・1, 2, 3, 4

(8) 詩編117・1, 2

(9) 詩編123・1, 2

**アレルヤ唱(詠唱)**

(1) 詩編133・1

(2) マタイ16・18

(3) マタイ28・19a, 20b

(4) ヨハネ10・11

(5) ヨハネ10・14

(6) ヨハネ15・4a, 5b

**福音朗誦**

(1) マタイ16・13-19

(2) マタイ18・15-20

(3) マタイ28・16-20

(4) ヨハネ15・1-8

(5) ヨハネ17・11b, 17-23

(6) ヨハネ21・15-17

**2 教皇・司教のため(とくに選出と叙階の記念日)**

牧者共通(110ページ参照)の中からふさわしいものを選ぶ。

**3 教皇あるいは司教の選出のため**

**旧約聖書**

イザヤ61・1-3a

**新約聖書**

(1) エフェソ4・11-16

(2) ヘブライ5・1-10

**答唱詩編**

詩編89・4-5, 21-22, 25+27

**アレルヤ唱(詠唱)**

ヨハネ10・11

**福音朗誦**

## VIII 奉獻式・修道誓願式

### 旧約聖書

- (1) 創世記12・1-4a
- (2) サムエル上3・1-10
- (3) 列王記上19・4-9a, 11-15a
- (4) 列王記上19・16b, 19-21
- (5) 雅歌2・8-14
- (6) 雅歌8・6-7
- (7) イザヤ44・1-5
- (8) イザヤ61・9-11
- (9) エレミヤ31・31-37
- (10) ホセア2・16, 21-22

### 新約聖書

- (1) 使徒言行録2・42-47
- (2) 使徒言行録4・32-35
- (3) ローマ6・3-11
- (4) ローマ12・1-13
- (5) 一コリント1・22-31
- (6) 一コリント7・25-35
- (7) エフェソ1・3-14
- (8) フィリピ2・1-4
- (9) フィリピ3・8-14
- (10) コロサイ3・1-4
- (11) コロサイ3・12-17
- (12) 一テサロニケ4・1-3, 7-12
- (13) 一ペトロ1・3-9
- (14) 一ヨハネ4・7-16
- (15) 黙示録3・14b, 20-22
- (16) 默示録22・12-14, 16-17, 20

### 答唱詩編

- (1) 詩編24・1-2, 3-4ab, 5-6
- (2) 詩編27・1, 4, 5, 8b-9abc, 9d+11
- (3) 詩編33・2-3, 4-5, 11-12, 13-14, 18-19, 20-21
- (4) 詩編34・2-3, 4-5, 6-7, 8-9
- (5) 詩編40・2+4ab, 7-8a, 8b-9, 10, 12
- (6) 詩編45・11-12, 14-15, 16-17
- (7) 詩編63・2, 3-4, 5-6, 8-9
- (8) 詩編84・3, 4, 5+8a, 11, 12
- (9) 詩編100・2, 3, 4, 5

### アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) 詩編132・1
- (2) マタイ11・25参照
- (3) ルカ11・28
- (4) ヨハネ13・34
- (5) ヨハネ15・5
- (6) 二コリント8・9
- (7) ガラテヤ6・14
- (8) フィリピ3・8-9

### 福音朗読

- (1) マタイ5・1-12a
- (2) マタイ11・25-30
- (3) マタイ16・24-27
- (4) マタイ19・3-12
- (5) マタイ19・16-26
- (6) マタイ25・1-13
- (7) マルコ3・31-35
- (8) マルコ10・24b-30
- (9) ルカ1・26-38
- (10) ルカ9・57-62
- (11) ルカ10・38-42
- (12) ルカ11・27-28
- (13) ヨハネ12・24-26
- (14) ヨハネ15・1-8
- (15) ヨハネ15・9-17
- (16) ヨハネ17・20-26

## IX 教会堂あるいは祭壇の聖別あるいは祝福

### 1 教会堂の奉獻

#### 第一朗読

ネヘミヤ8・2-4a, 5-6, 8-10

#### 答唱詩編

詩編19・8-9, 10, 15

#### 第二朗読

教会獻堂記念共通(111ページ)を参照。復活節には默示録21・1-5a、あるいは同21・9b-14を選ぶことができる。

アーレルヤ唱(詠唱)

教会獻堂記念共通(111ページ)を参照。

#### 福音朗読

教会獻堂記念共通(111ページ)を参照。

### 2 祭壇の奉獻

#### 第一朗読(旧約聖書)

- (1) 創世記28・11-18
- (2) ヨシュア8・30-35
- (3) 一マカバイ4・52-59

[復活節中に旧約聖書の代わりに]

- (1) 使徒言行録2・42-47
- (2) 默示録8・3-4

#### 答唱詩編

- (1) 詩編84・3, 4, 5+10, 11
- (2) 詩編95・1-2, 3-5, 6-7
- (3) 詩編118・15-16, 19-20, 22-23, 27
- (4) 詩編119・129, 130, 133, 135, 144
- (5) 詩編122・1-2, 3-4, 8-9

- (2) 一コリント11・23-26  
 (3) 黙示録3・14b, 20-22  
 (4) 黙示録22・17, 20-21  
**答唱詩編**  
 (1) 詩編23・1-3, 4, 5, 6  
 (2) 詩編34・2-3, 4-5, 6-7, 10-11  
 (3) 詩編42・2, 3, 5bcd; 43・3, 4, 5  
 (4) 詩編116・12-13, 15+16bc, 17-18  
 (5) 詩編145・10+14, 15-16, 16-18  
**アレルヤ唱(詠唱)**  
 (1) ヨハネ6・51  
 (2) ヨハネ6・54  
 (3) ヨハネ10・9  
 (4) ヨハネ11・25; 14・6  
**福音朗読**  
 (1) ヨハネ6・41-51  
 (2) ヨハネ6・51-58

## VI 結婚式

### 旧約聖書

- (1) 創世記1・26-28, 31a  
 (2) 創世記2・18-24  
 (3) 創世記24・48-51, 58-67  
 (4) 雅歌2・8-10, 14, 16a; 8・6-7a  
 (5) エレミヤ31・31-32a, 33-34a  
 (6) トビト7・6-14  
 (7) トビト8・4b-8  
 (8) シラ26・1-4, 13-16

### 新約聖書

- (1) ローマ8・31b-35, 37-39  
 (2) ローマ12・1-2, 9-18  
     または ローマ12・1-2, 9-13  
 (3) 一コリント6・13c-15a, 17-20  
 (4) 一コリント12・31～13・8a  
 (5) エフェソ5・2a, 21-33  
     または エフェソ5・2a, 25-32  
 (6) コロサイ3・12-17  
 (7) 一ペトロ3・1-9  
 (8) 一ヨハネ3・18-24  
 (9) 一ヨハネ4・7-12  
 (10) 默示録19・1, 5-9a

### 答唱詩編

- (1) 詩編33・12+18, 20-21, 22  
 (2) 詩編34・2-3, 4-5, 6-7, 8-9  
 (3) 詩編103・1-2, 8+13, 17-18a  
 (4) 詩編112・1-2, 3-4, 5-7a, 7bc-8, 9  
 (5) 詩編128・1-2, 3, 4-5  
 (6) 詩編145・8-9, 10+15, 17-18

- (7) 詩編148・1-2, 3-4, 9-10, 11-13, 13c-14a  
**アレルヤ唱(詠唱)**  
 (1) 一ヨハネ4・7b  
 (2) 一ヨハネ4・8b+11  
 (3) 一ヨハネ4・12  
 (4) 一ヨハネ4・16  
**福音朗読**  
 (1) マタイ5・1-12a  
 (2) マタイ5・13-16  
 (3) マタイ7・21, 24-29  
     または マタイ7・21, 24-25  
 (4) マタイ19・3-6  
 (5) マタイ22・35-40  
 (6) マルコ10・6-9  
 (7) ヨハネ2・1-11  
 (8) ヨハネ15・9-12  
 (9) ヨハネ15・12-16  
 (10) ヨハネ17・20-26  
     または ヨハネ17・20-23

結婚記念日のミサのためには上記の結婚式と同じものを用いる。感謝のためのミサの朗読(94ページ参照)を用いることもできる。

## VII 大修道院長祝福式

### 旧約聖書

- (1) 箴言2・1-9  
 (2) 箴言4・7-13

### 新約聖書

- (1) 使徒言行録2・42-47  
 (2) エフェソ4・1-6  
 (3) コロサイ3・12-17  
 (4) ヘブライ13・1-2, 7-8, 17-18  
 (5) 一ペトロ5・1-4

### 答唱詩編

- (1) 詩編1・1-2, 3, 4+6  
 (2) 詩編34・2-3, 4-5, 10-11, 12-13  
 (3) 詩編92・2-3, 5-6, 13-14, 15-16

### アレルヤ唱(詠唱)

- (1) マタイ23・9b, 10b  
 (2) コロサイ3・15

### 福音朗読

- (1) マタイ23・8-12  
 (2) ルカ12・35-44  
 (3) ルカ22・24-27

- (1) マルコ14・12-16, 22-26
- (2) ルカ9・11b-17
- (3) ルカ24・13-35
- (4) ヨハネ6・1-15
- (5) ヨハネ6・24-35
- (6) ヨハネ6・41-51
- (7) ヨハネ6・51-59
- (8) ヨハネ21・1-14

## V 病者と死に直面する人のための秘跡

### 1 病者の塗油

#### 旧約聖書

- (1) 列王記上19・1-8
- (2) ヨブ3・1-3, 11-17, 20-23
- (3) ヨブ7・1-4, 6-11
- (4) ヨブ7・12-21(臨終の人に)
- (5) ヨブ19・23-27a
- (6) イザヤ35・1-10
- (7) イザヤ52・13~53・12
- (8) イザヤ61・1-3a
- (9) 知恵9・9-11, 13-18

#### 新約聖書(復活節中に)

- (1) 使徒言行録3・1-10
- (2) 使徒言行録3・11-16
- (3) 使徒言行録4・8-12
- (4) 使徒言行録13・32-39

#### 新約聖書(他の季節に)

- (1) ローマ8・14-17
  - (2) ローマ8・18-27
  - (3) ローマ8・31b-35, 37-39
  - (4) 一コリント1・18-25
  - (5) 一コリント12・12-22, 24b-27(臨終の人に)
  - (6) 一コリント15・12-20
  - (7) ニコリント4・16-18(臨終の人に)
  - (8) ニコリント5・1, 6-10
  - (9) ガラテヤ4・12-19
  - (10) フィリピ2・25-30
  - (11) コロサイ1・22-29
  - (12) ヘブライ4・14-16; 5・7-9
  - (13) ヤコブ5・13-16
  - (14) 一ペトロ1・3-9
  - (15) 一ヨハネ3・1-2
  - (16) 黙示録21・1-7(臨終の人に)
  - (17) 黙示録22・17, 20-21
- 答唱詩編
- (1) イザヤ38・10, 11, 12abcd, 16
  - (2) 詩編6・2-4a, 4b-6, 9-10

- (3) 詩編25・4bc-5ab, 6-7bc, 8-9, 10+14, 15-16
- (4) 詩編27・1, 4, 5, 7-8a, 8b-9ab, 9cd-10
- (5) 詩編34・2-3, 4-5, 6-7, 10-11, 12-13, 17+19
- (6) 詩編42・3, 5bcd; 43・3, 4
- (7) 詩編63・2-3, 4-6, 7-9
- (8) 詩編71・1-2, 5-6ab, 8-9, 14-15ab
- (9) 詩編86・1-2, 3-4, 5-6, 11, 12-13, 15-16ab
- (10) 詩編90・2, 3-4, 5-6, 9-10ab, 10cd+12, 14+16
- (11) 詩編102・2-3, 24-25, 26-28, 19-21
- (12) 詩編103・1-2, 3-4, 11-12, 13-14, 15-16, 17-18
- (13) 詩編123・1-2a, 2bcd
- (14) 詩編143・1-2, 5-6, 10

#### アーレルヤ唱(詠唱)

- (1) 詩編34・22
- (2) マタイ5・4
- (3) マタイ8・17
- (4) マタイ11・28
- (5) ニコリント1・3b-4a
- (6) エフェソ1・3
- (7) ヤコブ1-12

#### 福音朗誦

- (1) マタイ5・1-12a
- (2) マタイ8・1-4
- (3) マタイ8・5-17  
または マタイ8・5-13, 14-17
- (4) マタイ11・25-30
- (5) マタイ15・29-31
- (6) マタイ25・31-40
- (7) マルコ2・1-12
- (8) マルコ4・35-41
- (9) マルコ10・46-52
- (10) マルコ16・15-20
- (11) ルカ7・18b-23
- (12) ルカ10・5-6, 8-9
- (13) ルカ10・25-37
- (14) ルカ11・5-13
- (15) ルカ12・35-44
- (16) ルカ18・9-14
- (17) ヨハネ6・35-40
- (18) ヨハネ6・53-58
- (19) ヨハネ9・1-7
- (20) ヨハネ10・11-18

### 2 臨終の聖体拝領

#### 旧約聖書

- (1) 列王記上19・4-8
- (2) ヨブ19・23-27a

#### 新約聖書

- (1) 一コリント10・16-17

- (5) ルカ10・1-9
- (6) ルカ12・35-44
- (7) ルカ22・14-20, 24-30
- (8) ヨハネ10・11-16
- (9) ヨハネ12・24-26
- (10) ヨハネ15・9-17
- (11) ヨハネ17・6, 14-19
- (12) ヨハネ20・19-23
- (13) ヨハネ21・15-17

### III 助祭・司祭候補者認定式

#### 旧約聖書

- (1) 申命記1・9-14
- (2) イザヤ6・1-2a, 3-8
- (3) エレミヤ1・4-9
- (4) シラ39・1b, 5-8

#### 新約聖書

- (1) 使徒言行録14・21-23
- (2) 一コリント9・16-19, 22-23
- (3) 一コリント12・4-11
- (4) ニテモテ3・10-12, 14-15

#### 答唱詩編

- (1) 詩編16・1-2a+5, 7-8, 11
- (2) 詩編24・1-2, 3-4ab, 5-6
- (3) 詩編98・1, 2-3ab, 3c-4, 5-6

#### アーレヤ唱(詠唱)

- (1) マルコ1・17
- (2) ルカ4・18
- (3) ヨハネ12・26

#### 福音朗読

- (1) マタイ9・35-38
- (2) マルコ1・14-20
- (3) ルカ5・1-11
- (4) ヨハネ1・35-42
- (5) ヨハネ1・45-51

### IV 奉仕者選任式

#### 1 朗読奉仕者選任式

##### 旧約聖書

- (1) 申命記6・3-9
- (2) 申命記30・10-14
- (3) ネヘミヤ8・2-4a, 5-6, 8-10
- (4) イザヤ55・10-11

##### 新約聖書

- (1) 一コリント2・1-5

- (2) ニテモテ3・14-17
  - (3) ニテモテ4・1-5
  - (4) ヘブライ4・12-13
  - (5) ヨハネ1・1-4
- 答唱詩編
- (1) 詩編19・8, 9, 10, 11
  - (2) 詩編119・9, 10, 11, 12
  - (3) 詩編147・15-16, 17-18, 19-20
- アーレヤ唱(詠唱)
- (1) ルカ4・18参照
  - (2) ヨハネ6・63c, 68c
  - (3) 使徒言行録16・14b参照
  - (4) 種は神のことば、まく人はキリスト。キリストを見いだす人は永遠に生きる。

#### 福音朗読

- (1) マタイ5・14-19
- (2) マルコ1・35-39
- (3) ルカ4・16-21
- (4) ルカ24・44-48
- (5) ヨハネ7・14-18

### 2 祭壇奉仕者選任式

##### 旧約聖書

- (1) 創世記14・18-20
- (2) 出エジプト16・2-4, 12-15
- (3) 出エジプト24・3-8
- (4) 申命記8・2-3, 14b-16a
- (5) 列王記上19・4-8
- (6) 箴言9・1-6

##### 新約聖書

- (1) 使徒言行録2・42-47
- (2) 使徒言行録10・34a, 37-43
- (3) 一コリント10・16-17
- (4) 一コリント11・23-26
- (5) ヘブライ9・11-15

#### 答唱詩編

- (1) 詩編23・1-3a, 3b-4, 5, 6
- (2) 詩編34・2-3, 4-5, 6-7, 8-9, 10-11
- (3) 詩編78・3+4bc, 23-24, 25, 54
- (4) 詩編110・1, 2, 3, 4
- (5) 詩編116・12-13, 15+16bc, 17-18
- (6) 詩編145・10-11, 15-16, 17-18
- (7) 詩編147・12-13, 14-15, 19-20

#### アーレヤ唱(詠唱)

- (1) ヨハネ6・35
- (2) ヨハネ6・51
- (3) ヨハネ6・56
- (4) ヨハネ6・57

#### 福音朗読

## 4 堅信式

### 旧約聖書

- (1) イザヤ11・1-4a
- (2) イザヤ42・1-3
- (3) イザヤ61・1-3a, 6a, 8b-9
- (4) エゼキエル36・24-28
- (5) ヨエル2・23a, 26~3・1-3a

### 新約聖書

- (1) 使徒言行録1・3-8
- (2) 使徒言行録2・1-6, 14, 22b-23, 32-33
- (3) 使徒言行録8・1, 4, 14-17
- (4) 使徒言行録10・1, 33-34a, 37-44
- (5) 使徒言行録19・1b-6a
- (6) ローマ5・1-2, 5-8
- (7) ローマ8・14-17
- (8) ローマ8・26-27
- (9) 一コリント12・4-13
- (10) ガラテヤ5・16-17, 22-23a, 24-25
- (11) エフェソ1・3a, 4a, 13-19a
- (12) エフェソ4・1-6

### 答唱詩編

- (1) 詩編22・23-24, 26-27, 28+31-32
- (2) 詩編23・1-3, 4, 5, 6
- (3) 詩編96・1-2a, 2b-3, 9-10a, 11-12
- (4) 詩編104・1ab+24, 27-28, 30-31, 33-34
- (5) 詩編117・1, 2
- (6) 詩編145・2-3, 4-5, 8-9, 10-11, 15-16, 21

### アレルヤ唱(詠唱)

- (1) ヨハネ14・16
- (2) ヨハネ15・26b, 27a
- (3) ヨハネ16・13a; 14・26d
- (4) 黙示録1・5a, 6a
- (5) 聖靈来てください。信じる人の心を満たし、あなたの愛の火を燃やしてください。

### 福音朗読

- (1) マタイ5・1-12a
- (2) マタイ16・24-27
- (3) マタイ25・14-30
- (4) マルコ1・9-11
- (5) ルカ4・16-22a
- (6) ルカ8・4-10a, 11b-15
- (7) ルカ10・21-24
- (8) ヨハネ7・37b-39
- (9) ヨハネ14・15-17
- (10) ヨハネ14・23-26
- (11) ヨハネ15・18-21, 26-27
- (12) ヨハネ16・5-7, 12-13a

## 5 子どもの初聖体

朗読はその全部あるいは一部を、当日のミサ、復活徹夜祭以外に行われるキリスト教入信式(107ページ参照)、聖体の信心ミサ(92ページ参照)から選ぶことができる。

## II 叙階式

### 旧約聖書

- (1) 民数記3・5-9(助祭)
- (2) 民数記11・11b-12, 14-17, 24-25a(司祭)
- (3) イザヤ61・1-3a(司教・司祭)
- (4) エレミヤ1・4-9

### 新約聖書

- (1) 使徒言行録6・1-7b(助祭)
- (2) 使徒言行録8・26-40(助祭)
- (3) 使徒言行録10・37-43
- (4) 使徒言行録20・17-18a, 28-32, 36(司教・司祭)
- (5) ローマ12・4-8
- (6) ニコリント4・1-2, 5-7
- (7) ニコリント5・14-20
- (8) エフェソ4・1-7, 11-13
- (9) 一テモテ3・8-10, 12-13(助祭)
- (10) 一テモテ4・12-16  
または 一テモテ4・12b-16(司教)
- (11) 二テモテ1・6-14(司教)
- (12) ヘブライ5・1-10
- (13) 一ペトロ4・7b-11
- (14) 一ペトロ5・1-4

### 答唱詩編

- (1) 詩編23・1-3, 4, 5, 6
- (2) 詩編84・3-4, 5, 11
- (3) 詩編89・21-22, 25+27
- (4) 詩編96・1-2a, 2b-3, 10
- (5) 詩編100・2, 3, 4, 5
- (6) 詩編110・1, 2, 3, 4
- (7) 詩編116・12-13, 17-18
- (8) 詩編117・1, 2

### アレルヤ唱(詠唱)

- (1) マタイ28・19a-20b
- (2) ルカ4・18
- (3) ヨハネ10・14
- (4) ヨハネ15・15b

### 福音朗読

- (1) マタイ5・13-16
- (2) マタイ9・35-38
- (3) マタイ10・1-5a
- (4) マタイ20・25-28

- (6) 詩編42・2-3; 43・3, 4  
 (7) 詩編51・3-4, 8-9, 12-13, 14+17  
 (8) 詩編63・2, 3-4, 5-6, 8-9  
 (9) 詩編66・1-3a, 5-6, 8-9, 16-17  
 (10) 詩編89・3-4, 16-17, 21-22, 25+27  
 (11) 詩編126・1-2ab, 2cd-3, 4-5, 6  
**アレルヤ唱(詠唱)**  
 (1) マルコ16・15  
 (2) ヨハネ3・16  
 (3) ヨハネ8・12  
 (4) ヨハネ14・6  
 (5) エフェソ4・5-6a  
 (6) コロサイ2・12参照  
 (7) コロサイ3・1  
 (8) ニテモテ1・10参照  
 (9) 一ペトロ2・9  
**福音朗誦**  
 (1) マタイ16・24-27  
 (2) マタイ28・18-20  
 (3) マルコ1・9-11  
 (4) マルコ10・13-16  
 (5) マルコ16・15-16, 19-20  
 (6) ルカ24・44-53  
 (7) ヨハネ1・1-5, 9-14, 16-18  
 (8) ヨハネ1・29-34  
 (9) ヨハネ3・1-6  
 (10) ヨハネ3・16-21  
 (11) ヨハネ12・44-50  
 (12) ヨハネ15・1-11
- 2 幼児洗礼式**
- 旧約聖書**
- (1) 出エジプト17・3-7  
 (2) エゼキエル36・24-28  
 (3) エゼキエル47・1-9, 12
- 新約聖書**
- (1) ローマ6・3-5  
 (2) ローマ8・28-32  
 (3) 一コリント12・12-13  
 (4) ガラテヤ3・26-28  
 (5) エフェソ4・1-6  
 (6) 一ペトロ2・4-5, 9-10
- 答唱詩編**
- (1) 詩編23・1-3, 4, 5, 6  
 (2) 詩編27・1, 4, 8b-9abc, 13-14  
 (3) 詩編34・2-3, 6-7, 8-9, 14-15, 16-17, 18-19
- アレルヤ唱(詠唱)**
- (1) ヨハネ3・16  
 (2) ヨハネ8・12
- (3) ヨハネ14・6  
 (4) エフェソ4・5-6a  
 (5) ニテモテ1・10参照  
 (6) 一ペトロ2・9  
**福音朗誦**
- (1) マタイ22・35-40  
 (2) マタイ28・18-20  
 (3) マルコ1・9-11  
 (4) マルコ10・13-16  
 (5) マルコ12・28b-34  
 または マルコ12・28b-31  
 (6) ヨハネ3・1-6  
 (7) ヨハネ4・5-14  
 (8) ヨハネ6・44-47  
 (9) ヨハネ7・37b-39a  
 (10) ヨハネ9・1-7  
 (11) ヨハネ15・1-11  
 (12) ヨハネ19・31-35
- 3 カトリック教会以外で洗礼を受けた人をカトリック教会に受け入れる式**
- 各朗誦、答唱詩編、アレルヤ唱(詠唱)はその全部あるいは一部を、当日のミサ、あるいはキリスト者の一致のためのミサ(98ページ参照)、復活徹夜祭以外に行われるキリスト教入信式(107ページ参照)、あるいは以下の中から選ぶことができる。
- 新約聖書**
- (1) ローマ8・28-39  
 (2) 一コリント12・31～13・13  
 (3) エフェソ1・3-14  
 (4) エフェソ4・1-7, 11-13  
 (5) フィリピ4・4-8  
 (6) 一テサロニケ5・16-24
- 答唱詩編**
- (1) 詩編27・1, 4, 8b-9abc, 13-14  
 (2) 詩編42・2-3; 43・3, 4  
 (3) 詩編61・2-3a, 3bc-4, 5-6, 9  
 (4) 詩編63・2, 3-4, 5-6, 8-9  
 (5) 詩編65・2-3a, 3b-4, 5, 6  
 (6) 詩編121・1-2, 3-4, 5-6, 7-8
- 福音朗誦**
- (1) マタイ5・2-12a  
 (2) マタイ5・13-16  
 (3) マタイ11・25-30  
 (4) ヨハネ3・16-21  
 (5) ヨハネ14・15-23, 26-27  
 (6) ヨハネ15・1-6

## I キリスト教入信の秘跡

### 1 求道期と成人の入信の秘跡

#### ■ 入門式 ■

##### 第一朗読

創世記12・1-4a

##### 答唱詩編

詩編33・4-5, 12-13, 18-19, 20+22

アレルヤ唱(詠唱)

ヨハネ1・41+17b

##### 福音朗読

ヨハネ1・35-42

#### ■ 洗礼志願式 ■

四旬節第1主日に行う場合、その日の朗読を用いることができる。四旬節第1主日以外に行う場合、その日の朗読が適当でないなら、四旬節第1主日に配分されているものの中から、あるいは他の適当なものの中から朗読を選ぶ。

#### ■ 洗礼志願者のための典礼 ■

洗礼志願者のための典礼は四旬節第3、第4、第5主日に行われる。A年の朗読と歌を用いる。

#### ■ 信条の授与 ■

##### 第一朗読

申命記6・1-7

##### 答唱詩編

詩編19・8, 9, 10, 11

##### 第二朗読

(1) ローマ10・8-13

(2) 一コリント15・1-8

または 一コリント15・1-4

アレルヤ唱(詠唱)

ヨハネ3・16

##### 福音朗読

(1) マタイ16・13-18

(2) ヨハネ12・44-50

他のふさわしい箇所を選ぶこともできる。

#### ■ 主の祈りの授与 ■

##### 第一朗読

ホセア11・1, 3-4, 8c-9

##### 答唱詩編

(1) 詩編23・1-3, 4, 5, 6

(2) 詩編103・1-2, 8+10, 11-12, 13+18

## 第二朗読

(1) ローマ8・14-17, 26-27

(2) ガラテヤ4・4-7

アレルヤ唱(詠唱)

ローマ8・15

##### 福音朗読

マタイ6・9-13

他のふさわしい箇所を選ぶこともできる。

#### ■ 復活徹夜祭に行われる洗礼式 ■

復活徹夜祭のための朗読の中から、とくに出エジプト記(第3朗読)、イザヤ55章(第5朗読)、エゼキエル36章(第7朗読)を用いる。

#### ■ 復活徹夜祭以外に行われるキリスト教入信式 ■

##### 旧約聖書

(1) 創世記15・1-6, 18a

(2) 創世記17・1-8

(3) 創世記35・1-4, 6-7a

(4) 申命記30・15-20

(5) ヨシュア24・1-2a, 15-17, 18b-25a

(6) 列王記下5・9-15a

(7) イザヤ44・1-3

(8) エレミヤ31・31-34

(9) エゼキエル36・24-28

あるいは、復活徹夜祭で用いる旧約聖書の朗読。

##### 新約聖書

(1) 使徒言行録2・14a, 36-40a, 41-42

(2) 使徒言行録8・26-38

(3) ローマ6・3-11

または ローマ6・3-4, 8-11

(4) ローマ8・28-32, 35, 37-39

(5) 一コリント12・12-13

(6) ガラテヤ3・26-28

(7) エフェソ1・3-10, 13-14

(8) エフェソ4・1-6

(9) コロサイ3・9b-17

(10) テトス3・4-7

(11) ヘブライ10・22-25

(12) 一ペトロ2・4-5, 9-10

(13) 黙示録19・1, 5-9a

##### 答唱詩編

(1) 詩編8・4-5, 6-7, 8-9

(2) 詩編23・1-3, 4, 5, 6

(3) 詩編27・1, 4, 8b-9abc, 13-14

(4) 詩編32・1-2, 5, 11

(5) 詩編34・2-3, 6-7, 8-9, 14-15, 16-17, 18-19

- (18) シラ26・1-4, 13-16  
 [復活節中に旧約聖書の代わりに]  
 (1) 使徒言行録4・32-35(修道者)  
 (2) 黙示録3・14b, 20-22  
 (3) 黙示録19・1, 5-9a  
 (4) 默示録21・5-7  
**答唱詩編**  
 (1) 詩編1・1-2, 3, 4+6  
 (2) 詩編15・2-3ab, 3cd-4ab, 5  
 (3) 詩編16・1-2a+5, 7-8, 11  
 (4) 詩編23・1-3, 4, 5, 6  
 (5) 詩編34・2-3, 4-5, 6-7, 8-9, 10-11  
 (6) 詩編103・1-2, 3-4, 8-9, 13-14, 17-18a  
 (7) 詩編112・1-2, 3-4, 5-7a, 7b-8, 9  
 (8) 詩編128・1-2, 3, 4-5  
 (9) 詩編131・1, 2, 3  
**第二朗誦(新約聖書)**  
 (1) ローマ8・26-30  
 (2) 一コリント1・26-31  
 (3) 一コリント12・31～13・13  
 　または 一コリント13・4-13  
 (4) 二コリント10・17～11・2  
 (5) ガラテヤ2・19-20  
 (6) ガラテヤ6・14-16  
 (7) エフェソ3・14-19  
 (8) エフェソ6・10-13, 18  
 (9) フィリピ3・8-14  
 (10) フィリピ4・4-9  
 (11) コロサイ3・12-17  
 (12) 一テモテ5・3-10(やもめ)  
 (13) ヤコブ2・14-17  
 (14) 一ペトロ3・1-9  
 (15) 一ペトロ4・7b-11  
 (16) 一ヨハネ3・14-18(社会福祉に尽くした人)  
 (17) 一ヨハネ4・7-16  
 (18) 一ヨハネ5・1-5  
**アレルヤ唱(詠唱)**  
 (1) マタイ5・3  
 (2) マタイ5・6  
 (3) マタイ5・8
- (4) マタイ11・25参照  
 (5) マタイ11・28  
 (6) マタイ23・11, 12b  
 (7) ルカ21・36  
 (8) ヨハネ8・12  
 (9) ヨハネ8・31b-32  
 (10) ヨハネ13・34  
 (11) ヨハネ14・23  
 (12) ヨハネ15・4a, 5b  
 (13) ヨハネ15・9b, 5b  
**福音朗誦**  
 (1) マタイ5・1-12a  
 (2) マタイ5・13-16  
 (3) マタイ7・21-27  
 (4) マタイ11・25-30  
 (5) マタイ13・44-46  
 (6) マタイ16・24-27  
 (7) マタイ18・1-5  
 (8) マタイ19・3-12(修道者)  
 (9) マタイ19・27-29  
 (10) マタイ22・34-40  
 (11) マタイ25・1-13  
 (12) マタイ25・14-30  
 　または マタイ25・14-23  
 (13) マタイ25・31-46  
 　または マタイ25・31-40(社会福祉に尽くした人)  
 (14) マルコ3・31-35  
 (15) マルコ9・34-37(教育に尽くした人)  
 (16) マルコ10・13-16(教育に尽くした人)  
 (17) マルコ10・17-30  
 　または マルコ10・17-27(修道者)  
 (18) ルカ6・27-38  
 (19) ルカ9・57-62(修道者)  
 (20) ルカ10・38-42  
 (21) ルカ12・32-34(修道者)  
 (22) ルカ12・35-40  
 (23) ルカ14・25-33(修道者)  
 (24) ヨハネ15・1-8  
 (25) ヨハネ15・9-17  
 (26) ヨハネ17・20-26

- (5) ヨハネ10・14
- (6) ヨハネ15・5
- (7) ヨハネ15・15b
- (8) ニコリント5・19

#### 福音朗読

- (1) マタイ9・35-38
- (2) マタイ16・13-19(教皇)
- (3) マタイ23・8-12
- (4) マタイ28・16-20(宣教師)
- (5) マルコ1・14-20
- (6) マルコ16・15-20(宣教師)
- (7) ルカ5・1-11(宣教師)
- (8) ルカ10・1-9
- (9) ルカ22・24-30
- (10) ヨハネ10・11-16
- (11) ヨハネ15・9-17
- (12) ヨハネ21・15-17(教皇)

## 5 教会博士

#### 第一朗読(旧約聖書)

- (1) 列王記上3・11-14
- (2) 知恵7・7-10, 15-16
- (3) シラ15・1-6
- (4) シラ39・6-11

[復活節中に旧約聖書の代わりに]

- (1) 使徒言行録2・14a, 22-24, 32-36
- (2) 使徒言行録13・26-33

#### 答唱詩編

- (1) 詩編19・8, 9, 10, 11
- (2) 詩編37・3-4, 5-6, 30-31
- (3) 詩編119・9, 10, 11, 12, 13, 14

#### 第二朗読(新約聖書)

- (1) 一コリント1・18-25
- (2) 一コリント2・1-10a
- (3) 一コリント2・10b-16
- (4) エフェソ3・8-12
- (5) エフェソ4・1-7, 11-13
- (6) ニテモテ1・13-14; 2・1-3
- (7) ニテモテ4・1-5

#### アレルヤ唱(詠唱)

- (1) マタイ5・16
- (2) マタイ23・9b, 10b
- (3) ヨハネ6・63c, 68c
- (4) ヨハネ15・5
- (5) 使徒言行録16・14b参照
- (6) 一コリント1・18
- (7) 一コリント2・7
- (8) 種は神のことば、まく人はキリスト。キリストを見いだす人は永遠に生きる。

#### 福音朗読

- (1) マタイ5・13-19
- (2) マタイ7・21-29
- (3) マタイ13・47-52
- (4) マタイ23・8-12
- (5) マルコ4・1-10, 13-20  
または マルコ4・1-9
- (6) ルカ6・43-45

## 6 おとめ

#### 第一朗読(旧約聖書)

- (1) 雅歌8・6-7
- (2) ホセア2・16b, 17b, 21-22  
[復活節中に旧約聖書の代わりに]
- (1) 黙示録19・1, 5-9a
- (2) 默示録21・1-5a

#### 答唱詩編

- (1) 詩編45・11-12, 14-15, 16-17
- (2) 詩編148・1-2, 11-13a, 13c-14

#### 第二朗読(新約聖書)

- (1) 一コリント7・25-35
- (2) ニコリント10・17~11・2

#### アレルヤ唱(詠唱)

ヨハネ14・23

#### 福音朗読

- (1) マタイ19・3-12
- (2) マタイ25・1-13
- (3) ルカ10・38-42

## 7 聖人・聖女

#### 第一朗読(旧約聖書)

- (1) 創世記12・1-4a
- (2) レビ19・1-2, 17-18
- (3) 申命記6・3-9
- (4) 申命記10・8-9(修道者)
- (5) 列王記上19・4-9a, 11-15a(修道者)
- (6) 列王記上19・16b, 19-21(修道者)
- (7) 箴言31・10-13, 19-20, 30-31
- (8) イザヤ58・6-11(社会福祉に尽くした人)
- (9) エレミヤ20・7-9
- (10) ミカ6・6-8
- (11) ゼファニヤ2・3; 3・12-13
- (12) トビト8・4b-8
- (13) トビト12・6-13(社会福祉に尽くした人)
- (14) ユディト8・2-8(やもめ)
- (15) エステル(ギ)C・1-7, 10
- (16) シラ2・7-13
- (17) シラ3・17-24

- (5) ルカ1・39-47
- (6) ルカ2・1-14
- (7) ルカ2・15b-19
- (8) ルカ2・27-35
- (9) ルカ2・41-52
- (10) ルカ11・27-28
- (11) ヨハネ2・1-11
- (12) ヨハネ19・25-27

### 3 殉教者

#### 第一朗読(旧約聖書)

- (1) 歴代誌下24・18-22
- (2) ニマカバイ6・18, 21, 24-31
- (3) ニマカバイ7・1-2, 9-14
- (4) ニマカバイ7・1, 20-23, 27b-29
- (5) 知恵3・1-9
- (6) シラ51・1-8

[復活節中に旧約聖書の代わりに]

- (1) 使徒言行録7・55-60
  - (2) 黙示録7・9-17
  - (3) 黙示録12・10-12a
  - (4) 默示録21・5-7
- 答唱詩編
- (1) 詩編31・3cd-4, 6+8ab, 16bc+17
  - (2) 詩編34・2-3, 4-5, 6-7, 8-9
  - (3) 詩編124・2-3, 4-5, 7b-8
  - (4) 詩編126・1-2ab, 2cd-3, 4-5, 6

#### 第二朗読(新約聖書)

- (1) ローマ5・1-5
  - (2) ローマ8・31b-39
  - (3) ニコリント4・7-15
  - (4) ニコリント6・4-10
  - (5) ニテモテ2・8-13; 3・10-12
  - (6) ヘブライ10・32-36
  - (7) ヤコブ1・2-4, 12
  - (8) 一ペトロ3・14-17
  - (9) 一ペトロ4・12-19
  - (10) 一ヨハネ5・1-5
- アレルヤ唱(詠唱)
- (1) マタイ5・10
  - (2) ヨハネ17・19
  - (3) ニコリント1・3b-4a
  - (4) ヤコブ1・12
  - (5) 一ペトロ4・14
  - (6) あなたを神とほめたたえ、万物の主とあがめる。けだかい殉教者の群れもあなたをたたえて歌う。

#### 福音朗誦

- (1) マタイ10・17-22
- (2) マタイ10・28-33

- (3) マタイ10・34-39
- (4) ルカ9・23-26
- (5) ヨハネ12・24-26
- (6) ヨハネ15・18-21
- (7) ヨハネ17・11b-19

### 4 牧者

#### 第一朗読(旧約聖書)

- (1) 出エジプト32・7-14
- (2) 申命記10・8-9
- (3) サムエル上16・1b, 6-13a
- (4) イザヤ6・1-8
- (5) イザヤ52・7-10(宣教師)
- (6) イザヤ61・1-3a
- (7) エレミヤ1・4-9
- (8) エゼキエル3・16-21
- (9) エゼキエル34・11-16

[復活節中に旧約聖書の代わりに]

- (1) 使徒言行録13・46-49(宣教師)
  - (2) 使徒言行録20・17-18a, 28-32, 36
  - (3) 使徒言行録26・19-23(宣教師)
- 答唱詩編
- (1) 詩編16・1-2a+5, 7-8, 11
  - (2) 詩編23・1-3, 4, 5, 6
  - (3) 詩編40・2+4ab, 7-8a, 8b-9, 10
  - (4) 詩編89・2-3, 4-5, 21-22, 25+27
  - (5) 詩編96・1-2a, 2b-3, 7-8a, 10
  - (6) 詩編106・19-20, 21-22, 23
  - (7) 詩編110・1, 2, 3, 4
  - (8) 詩編117・1, 2

#### 第二朗読(新約聖書)

- (1) ローマ12・3-13
  - (2) 一コリント1・18-25(宣教師)
  - (3) 一コリント4・1-5
  - (4) 一コリント9・16-19, 22-23
  - (5) ニコリント3・1-6a
  - (6) ニコリント4・1-2, 5-7
  - (7) ニコリント5・14-20
  - (8) エフェソ4・1-7, 11-13
  - (9) コロサイ1・24-29
  - (10) 一テサロニケ2・2b-8
  - (11) ニテモテ1・13-14; 2・1-3
  - (12) ニテモテ4・1-5
  - (13) 一ペトロ5・1-4
- アレルヤ唱(詠唱)
- (1) マタイ23・9b, 10b
  - (2) マタイ28・19a, 20b
  - (3) マルコ1・17
  - (4) ルカ4・18

## 聖人の記念(共通)・他の儀式を伴うミサ・種々の機会のミサ・ 信心ミサ・死者のためのミサの聖書朗読箇所等一覧

### 聖人の記念(共通)

#### 1 教会献堂記念

##### 第一朗読(旧約聖書)

- (1) 列王記上8・22-23, 27-30
- (2) 歴代誌下5・6-10, 13~6・2
- (3) イザヤ56・1, 6-7
- (4) エゼキエル43・1-2, 4-7a
- (5) エゼキエル47・1-2, 8-9, 12

[復活節中に旧約聖書の代わりに]

- (1) 使徒言行録7・44-50
- (2) 黙示録21・1-5a
- (3) 默示録21・9b-14

##### 答唱詩編

- (1) 歴代誌上29・10, 11, 12
- (2) 詩編46・2-3, 5-6, 8-9
- (3) 詩編84・3, 4, 5+10, 11
- (4) 詩編95・1-2, 3-5, 6-7
- (5) 詩編122・1-2, 3-4, 8-9

##### 第二朗読(新約聖書)

- (1) 一コリント3・9c-11, 16-17
- (2) エフェソ2・19-22
- (3) ヘブライ12・18-19, 22-24
- (4) 一ペトロ2・4-9

##### アレルヤ唱(詠唱)

- (1) ニコリント7・16
- (2) イザヤ66・1
- (3) エゼキエル37・27
- (4) マタイ7・8参照
- (5) マタイ16・18

##### 福音朗読

- (1) マタイ16・13-19
- (2) ルカ19・1-10
- (3) ヨハネ2・13-22
- (4) ヨハネ4・19-24

#### 2 聖母マリア

##### 第一朗読(旧約聖書)

- (1) 創世記3・9-15, 20
- (2) 創世記12・1-7

- (3) サムエル下7・1-5, 8b-11, 16

- (4) 歴代誌上15・3-4, 15-16; 16・1-2

- (5) 箴言8・22-31

- (6) シラ24・1, 3-4, 8-12, 19-21

- (7) イザヤ7・10-14; 8・10c

- (8) イザヤ9・1-6

- (9) イザヤ61・9-11

- (10) ミカ5・1-4a

- (11) ゼカリヤ2・14-17

[復活節中に旧約聖書の代わりに]

- (1) 使徒言行録1・12-14
- (2) 默示録11・19a; 12・1-6, 10ab
- (3) 默示録21・1-5a

##### 答唱詩編

- (1) サムエル上2・1, 4-5, 6-7, 8abcd

- (2) 詩編45・11-12, 14-15, 16-17

- (3) 詩編113・1-2, 3-4, 5-6, 7-8

- (4) ユディト13・18bcde, 19

- (5) ルカ1・46-47, 48-49, 50-51, 52-53, 54-55

##### 第二朗読(新約聖書)

- (1) ローマ5・12, 17-19

- (2) ローマ8・28-30

- (3) ガラテヤ4・4-7

- (4) エフェソ1・3-6, 11-12

##### アレルヤ唱(詠唱)

- (1) ルカ1・28参照

- (2) ルカ1・45参照

- (3) ルカ2・19参照

- (4) ルカ11・28

- (5) しあわせなかた、おとめマリア、あなたはあらゆる  
贊美にふさわしい。正義の太陽であるわたしたち  
の主キリストはあなたからお生まれになった。

- (6) しあわせなかた、マリア、あなたは主の十字架のも  
とでともに苦しみ、殉教の勝利を得られた。

##### 福音朗読

- (1) マタイ1・1-16, 18-23  
または マタイ1・18-23

- (2) マタイ2・13-15, 19-23

- (3) マタイ12・46-50

- (4) ルカ1・26-28

2・8-11	聖ポリカルボ(2.23)		教会のため
3・1-6, 14-22	年間第33火曜日(II)	21・1a, 3-5a	洗礼を受けた幼子の葬儀
3・14b, 20-22	聖ヨハネ一世(5.18)	21・1-7	病者の塗油(臨終の人に)
	聖人・聖女共通	21・1-5a, 6b-7	地震のとき・雨を願って・晴天を願って・嵐や台風のとき・困難のとき
	臨終の聖体拝領		葬儀
	奉獻式・修道誓願式		聖ジェオルジオ(4.23)
	修道者のため	21・5-7	殉教者共通
	イエスのみ心(信心)		聖人・聖女共通
4・1-11	年間第33水曜日(II)	21・9b-14	聖バルトロマイ(8.24)
5・1-10	年間第33木曜日(II)		教会献堂記念共通
5・6-12	十字架(信心)		教会堂の奉獻
	イエスのみ心(信心)		教会のため
5・11-14	復活節第3主日(C)	21・10-14, 22-23	復活節第6主日(C)
7・2-4, 9-14	諸聖人(11.1)	22・1-7	年間第34土曜日(II)
	教会のため	22・12-14, 16-17, 20	復活節第7主日(C)(日本ではC年復活節第6主日に任意で朗誦)
7・9-14	聖体(信心)	22・17, 20-21	奉獻式・修道誓願式
	イエスの御血(信心)		病者の塗油
7・9-17	聖ネレオ 聖アキレオ(5.12)		臨終の聖体拝領
	殉教者共通		
7・9-10, 14b-17	迫害されるキリスト者のため		
7・9-10, 15-17	洗礼を受けた幼子の葬儀		
7・9, 14b-17	復活節第4主日(C)		
8・3-4	祭壇の奉獻		
10・8-11	年間第33金曜日(II)		
11・4-12	年間第33土曜日(II)		
11・19a; 12・1-6, 10ab	聖母の被昇天(8.15)		
	聖母マリア共通		
12・7-12a	聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル(9.29)		
12・10-12a	聖スタニスラオ(4.11)		
	殉教者共通		
14・1-3, 4b-5	年間第34月曜日(II)		
14・13	葬儀		
14・14-19	年間第34火曜日(II)		
15・1-4	年間第34水曜日(II)		
18・1-2, 21-23; 19・1-3, 9a	年間第34木曜日(II)		
19・1, 5-9a	聖パンクラチオ(5.12)		
	おとめ共通		
	聖人・聖女共通		
	復活徹夜祭以外のときの入信式		
	結婚式		
20・1-4, 11~21・2	年間第34金曜日(II)		
20・11~21・1	葬儀		
21・1-5a	復活節第5主日(C)		
	聖マリア教会の献堂(8.5)		
	教会献堂記念共通		
	聖母マリア共通		
	おとめ共通		
	教会堂の奉獻		

4・12-19	聖ヨハネ・フィッシャー 聖トマス・モア(6.22) 聖ポンチアノ 聖ヒッポリト(8.13) 殉教者共通	3・18-24	親戚や友人のため 復活節第5主日(B) 結婚式
4・13-16	復活節第7主日(A)(日本ではA年復活節第6主日に任意で朗読)	3・22~4・6 4・7-10	公現後月曜日 公現後火曜日 復活節第6主日(B)
5・1-4	聖ファビアノ(1.20) 聖ペトロの使徒座(2.22) 聖カリスト一世(10.14) 聖クレメンス一世(11.23) 牧者共通 叙階式 大修道院長祝福式	4・7-12 4・7-16	結婚式 イエスのみ心(A) 聖マルタ(7.29) 聖アウグスチヌス(8.28) 聖人・聖女共通 奉獻式・修道誓願式 イエスのみ心(信心)
5・5b-14	聖マルコ(4.25)	4・9-15 4・11-16	キリスト者の一致のため 復活節第7主日(B)(日本ではB年復活節第6主日に任意で朗読) 公現後水曜日 公現後木曜日
<b>ペトロの手紙二</b>		4・11-18 4・19~5・4	聖チリオ(エルサレム)(3.18) 聖アタナシオ(5.2) 聖アロイジオ・ゴンザガ(6.21) 聖エウセビオ(ペルチェリ)(8.2)
1・2-7	年間第9月曜日(II)	5・1-5	殉教者共通
1・16-19	主の変容(8.6)		聖人・聖女共通
3・8-14	待降節第2主日(B)		復活節第2主日(B)
3・12-15a, 17-18	年間第9火曜日(II)		主の洗礼(B)
<b>ヨハネの手紙一</b>		5・4-8	聖体(信心)
1・1-4	聖ヨハネ(12.27) 朗誦奉仕者選任式	5・1-6	イエスの御血(信心)
1・5~2・2	聖カタリナ(シェナ)(4.29) 幼子殉教者(12.28) 罪のゆるしを願って	5・1-9	1月6日
2・1-5	和解のため	5・4-8	公現後金曜日
2・1-5a	復活節第3主日(B)	5・5-13	公現後土曜日
2・3-11	12月29日(主の降誕第5日)	5・14-21	1月7日
2・12-17	12月30日(主の降誕第6日)		
2・18-21	12月31日(主の降誕第7日)		
2・18-25	聖ヒラリオ(1.13)		
2・22-28	1月2日		
2・29~3・6	1月3日		
3・1-2	復活節第4主日(B) 病者の塗油 葬儀		
3・1-3	諸聖人(11.1)		
3・1-2, 21-24	聖家族(C)		
3・7-10	1月4日		
3・11-21	1月5日		
3・14-16	葬儀		
3・14-18	聖ヨハネ・ア・デオ(3.8) 聖エリザベト(ポルトガル)(7.4) 聖カミロ(レリス)(7.14) 聖マキシミリアノ・マリア・コレベ(8.14) 聖エリザベト(ハンガリー)(11.17) 聖人・聖女共通(社会福祉) 愛を願って・一致を深めるため	1・1-4; 2・1-5a 1・5-8	年間第32金曜日(II) 年間第32土曜日(II)
<b>ヨハネの手紙二</b>			
<b>ヨハネの手紙三</b>			
<b>ユダの手紙</b>		17, 20b-25	年間第8土曜日(II)
<b>ヨハネの黙示録</b>			
1・1-4; 2・1-5a 1・5-8		1・1-4; 2・1-5a 1・5-8	年間第33月曜日(II) 聖木曜日・聖香油 王であるキリスト(B) 十字架(信心) 聖体(信心) イエスの御血(信心)
1・9-11a, 12-13, 17-19			復活節第2主日(C)

10・5-10	待降節第4主日( C )		平和と正義のため
10・11-18	年間第3水曜日( I )	3・16～4・3	年間第25主日( B )
10・11-14, 18	年間第33主日( B )	4・1-10	年間第7火曜日( II )
10・12-23	永遠の大祭司キリスト(信心)		祖国・政治に携わる人・国際的会合・
10・19-25	年間第3木曜日( I )		国家元首・諸民族の発展のため
10・22-25	復活徹夜祭以外のときの入信式		戦争・紛争のとき
10・32-36	聖ヤヌアリオ(9, 19)	4・13-15	年の始め
	殉教者共通	4・13-17	年間第7水曜日( II )
10・32-39	年間第3金曜日( I )	5・1-6	年間第26主日( B )
11・1-7	年間第6土曜日( I )		年間第7木曜日( II )
11・1-2, 8-12	年間第19主日( C )*	5・7-10	待降節第3主日( A )
11・1-2, 8-19	年間第19主日( C )	5・7-8, 16c-18	種まきのとき
	年間第3土曜日( I )	5・9-12	年間第7金曜日( II )
11・8, 11-12, 17-19	聖家族( B )	5・13-16	病者の塗油
11・13-16	難民のため		病者のため
11・32-40	年間第4月曜日( I )	5・13-20	年間第7土曜日( II )
12・1-4	年間第20主日( C )		
	年間第4火曜日( I )		<b>ペトロの手紙—</b>
12・2-13	迫害されるキリスト者のため	1・3-9	復活節第2主日( A )
12・4-7, 11-15	年間第4水曜日( I )		年間第8月曜日( II )
12・5-7, 11-13	年間第21主日( C )		病者の塗油
12・18-19, 21-24	年間第4木曜日( I )		奉獻式・修道誓願式
12・18-19, 22-24	教会獻堂記念共通		修道者のため
	聖体(信心)		迫害されるキリスト者のため
	イエスの御血(信心)		神のいづくしみ(信心)
12・18-19, 22-24a	年間第22主日( C )	1・8-12	洗礼者聖ヨハネの誕生前晚(6.24)
13・1-8	年間第4金曜日( I )	1・10-16	年間第8火曜日( II )
13・1-3, 14-16	難民のため	1・17-21	復活節第3主日( A )
13・1-2, 7-8, 17-18	大修道院長祝福式		聖体(信心)
13・8-15	祭壇の奉獻		イエスの御血(信心)
13・15-17, 20-21	年間第4土曜日( I )	1・18-25 2・2-5, 9-12 2・4-9	年間第8水曜日( II ) 年間第8木曜日( II ) 復活節第5主日( A )
<b>ヤコブの手紙</b>			教会獻堂記念共通
1・1-11	年間第6月曜日( II )		教会のため
1・2-4, 12	殉教者共通		信徒のため
	地震のとき・雨を願って・晴天を願って・嵐や台風のとき・困難のとき	2・4-10 2・4-5, 9-10	復活徹夜祭以外のときの入信式
1・12-18	年間第6火曜日( II )		幼児洗礼式
1・17-18, 21b-22, 27	年間第22主日( B )	2・20b-25	復活節第4主日( A )
1・19-27	年間第6水曜日( II )	3・1-9	聖人・聖女共通
2・1-5	年間第23主日( B )		結婚式
2・1-9	年間第6木曜日( II )	3・14-17	聖セバスチアノ(1.20)
2・14-17	聖ヨハネ(ケンティ)(12.23)		殉教者共通
	聖人・聖女共通	3・15-18	復活節第6主日( A )
2・14-18	年間第24主日( B )	3・18-22	四旬節第1主日( B )
2・14-24, 26	年間第6金曜日( II )	4・7-13	年間第8金曜日( II )
3・1-10	年間第6土曜日( II )	4・7b-11	聖アンジェラ・メリチ(1.27)
3・13-18	年間第7月曜日( II )		聖パトリック(3.17)
	祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため		聖人・聖女共通 叙階式

4・12b-16	叙階式(司教)	2・1-8, 11-14	年間第32火曜日(II)
5・3-10	聖人・聖女共通(やもめ)	2・11-14	主の降誕夜半
6・2c-12	年間第24金曜日(I)	2・11-14; 3・4-7	主の洗礼(C)
6・6-11, 17-19	祖国・政治に携わる人・国際的会合・國家元首・諸民族の発展のため 収穫の感謝	3・1-7	年間第32水曜日(II)
6・11-16	年間第26主日(C)	3・4-7	主の降誕早朝 復活徹夜祭以外のときの入信式
6・13-16	年間第24土曜日(I)		
<b>テモテへの手紙二</b>			
1・1-8	聖テモテ 聖テトス(1.26)		
1・1-3, 6-12	年間第9水曜日(II)		
1・6-14	叙階式(司教)	1・1-6	主の降誕日中
1・6-8, 13-14	年間第27主日(C)		年間第1月曜日(I)
1・8b-10	四旬節第2主日(A)	2・5-12	年間第1火曜日(I)
1・13-14; 2・1-3	聖トゥリビオ(モンゴロベホ)(3.23) 聖ヨハネ・バプティスタ(ラ・サー ル)(4.7) 聖アントニオ・マリア・ザカリア(7.5) 聖ヨハネ(ダマスコ)(12.4) 牧者共通 教会博士共通	2・9-11	年間第27主日(B)
2・8-13	年間第28主日(C) 葬儀	2・14-18	年間第1水曜日(I) 主の奉獻(2.2)
2・8-13; 3・10-12	聖マルチノ一世(4.13) 聖トマス・ベケット(12.29) 殉教者共通	3・7-14	年間第1木曜日(I)
2・8-15	年間第9木曜日(II)	4・1-5, 11	年間第1金曜日(I)
2・22b-26	聖イレネオ(6.28)	4・12-13	年間第28主日(B) 朗誦奉仕者選任式
3・10-12, 14-15	助祭・司祭候補者認定式	4・12-16	年間第1土曜日(I)
3・10-17	年間第9金曜日(II)	4・14-16	年間第29主日(B)
3・14-17	聖ヒエロニモ(9.30) 朗誦奉仕者選任式	4・14-16; 5・7-9	聖金曜日・主の受難 病者の塗油
3・14~4・2	年間第29主日(C)	5・1-6	年間第30主日(B)
4・1-5	聖ペトロ・ダミアノ(2.21) 聖ビンセンチオ・フェレル(4.5) 聖チリオ(アレキサンドリア)(6.27) 聖ペトロ・カニジオ(12.21) 牧者共通 教会博士共通 朗誦奉仕者選任式	5・1-10	年間第2月曜日(I) 叙階式
4・1-8	教会の奉仕者のため	5・7-9	教皇・司教の選出のため
4・6-8, 16-18	年間第9土曜日(II)		司祭・修道生活への召命のため
4・6-8, 17-18	年間第30主日(C)		(司祭への召命)
4・10-17a	聖ペトロ 聖パウロ(6.29) 聖ルカ(10.18)	6・10-20	四旬節第5主日(B)
<b>テトスへの手紙</b>		7・1-3, 15-17	悲しみの聖母(9.15)
1・1-5	聖テモテ 聖テトス(1.26)	7・23-28	十字架(信心)
1・1-9	年間第32月曜日(II)	7・25~8・6	年間第2火曜日(I)
		8・6-13	年間第2水曜日(I)
		9・2-3, 11-14	年間第2木曜日(I)
		9・11-15	年間第2金曜日(I)
		9・15, 24-28	年間第2土曜日(I)
		9・24-28	キリストの聖体(B)
		9・24-28; 10・19-23	祭壇奉仕者選任式
		10・1-10	聖体(信心)
		10・4-10	イエスの御血(信心)
			年間第3月曜日(I)
			年間第32主日(B)
			主の昇天(C)
			年間第3火曜日(I)
			神のお告げ(3.25)

3・20～4・1	四旬節第2主日(C)*	テサロニケの信徒への手紙一
4・4・7	待降節第3主日(C)	1・1-5b 年間第29主日(A)
4・4・8	カトリック教会以外で洗礼を受けた人を受け入れる式	1・1-5, 8b-10 年間第21月曜日(I)
4・4・9	聖ヨハネ・ボスコ(1, 31) 聖フィリポ・ネリ(5, 26) 聖マルチノ・デ・ポレス(11, 3) 聖人・聖女共通	1・5c-10 年間第30主日(A) 2・1-8 年間第21火曜日(I) 2・2b-8 聖アウグスチヌス(カンタベリー)(5, 27) 聖ピオ十世(8, 21) 牧者共通
4・6・9	年間第27主日(A) 平和と正義のため	司祭のため 年間第31主日(A)
4・10・19	年間第31土曜日(II)	年間第21水曜日(I)
4・12・14, 19-20	年間第28主日(A)	年間第21木曜日(I) 待降節第1主日(C) 年間第21金曜日(I)
コロサイの信徒への手紙		奉獻式・修道誓願式 労働の祝福
1・1-8	年間第22水曜日(I)	4・1-3, 7-12 年間第21土曜日(I)
1・9-14	年間第22木曜日(I)	4・1b-2, 9-12 年間第32主日(A)*
1・12-20	王であるキリスト(C)	4・9-11 年間第32主日(A)
1・15-20	年間第15主日(C)	4・13-14 年間第22月曜日(I)
	年間第22金曜日(I)	4・13-18 葬儀
1・21-23	年間第22土曜日(I)	4・13-14, 18 洗礼を受けた幼子の葬儀
1・22-29	病者の塗油	5・1-6 年間第33主日(A)
1・24-28	年間第16主日(C)	5・1-6, 9-11 年間第22火曜日(I)
1・24-29	聖フアレス(シグマリングン)(4, 24) 牧者共通 司祭のため 教会の奉仕者のため	5・16-24 待降節第3主日(B) カトリック教会以外で洗礼を受けた人を受け入れる式
1・24～2・3	年間第23月曜日(I)	テサロニケの信徒への手紙二
2・6-15	年間第23火曜日(I)	1・1-5, 11b-12 年間第21月曜日(II)
2・12-14	年間第17主日(C)	1・11～2・2 年間第31主日(C)
3・1-4	復活主日の中 奉獻式・修道誓願式	2・1-3a, 14-17 年間第21火曜日(II)
3・1-11	年間第23水曜日(I)	2・16～3・5 年間第32主日(C)
3・1-5, 9-11	年間第18主日(C)	3・6-12, 16 労働の祝福
3・9b-17	復活徹夜祭以外のときの入信式 キリスト者の一致のため 祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため	3・6-10, 16-18 年間第21水曜日(II)
3・12-15	平和と正義のため 敵対する人のため	3・7-12 年間第33主日(C)
3・12-17	年間第23木曜日(I) 聖エフレム(6, 9) 聖人・聖女共通 結婚式 大修道院長祝福式 奉獻式・修道誓願式 感謝のため イエスのみ名(信心)	テモテへの手紙一
3・12-21	聖家族	1・1-2, 12-14 年間第23金曜日(I)
3・14-15, 17, 23-24	労働者聖ヨセフ(5, 1)	1・12-17 年間第24主日(C)
		1・15-17 年間第23土曜日(I)
		2・1-8 年間第25主日(C)
		2・5-8 年間第24月曜日(I)
		3・1-13 福音宣教のため
		3・8-10, 12-13 キリスト者の一致のため
		3・14-16 年間第24火曜日(I)
		4・12-16 叙階式(助祭)
		年間第24木曜日(I)
		叙階式(司教)

	聖シモン 聖ユダ(10.28)		戦争・紛争のとき
	教会献堂記念共通	4・32～5・8	年間第30月曜日(II)
	教会のため	5・2a, 21-33	結婚式
	キリスト者の一致のため	5・2a, 25-32	結婚式*
3・2, 3b, 5-6	主の公現	5・8-14	四旬節第4主日(A)
3・2-12	年間第29水曜日(II)	5・15-20	年間第20主日(B)
	福音宣教のため	5・21-32	年間第21主日(B)
3・8-12	聖フランシスコ・サレジオ(1.24)	5・21-33	年間第30火曜日(II)
	聖ペトロ・クリソロゴ(7.30)	6・1-9	年間第30水曜日(II)
	聖アンブロジオ(12.7)	6・10-13, 18	聖アントニオ(1.17)
	教会博士共通		聖人・聖女共通
	イエスのみ心(信心)	6・10-20	年間第30木曜日(II)
3・8-12, 14-19	イエスのみ心(B)		
3・14-19	聖アンセルモ(4.21)		
	聖ボナベントゥラ(7.15)	1・1-11	年間第30金曜日(II)
	聖ヨハネ・ユード(8.19)	1・4-6, 8-11	待降節第2主日(C)
	聖マルガリタ・マリア・アラコ(10.16)	1・8-11	イエスのみ心(信心)
	聖ゲルトルード(11.16)	1・18b-26	年間第30土曜日(II)
	聖人・聖女共通	1・20c-24, 27a	年間第25主日(A)
	イエスのみ心(信心)	1・27-30	迫害されるキリスト者のため
3・14-21	年間第29木曜日(II)	2・1-4	年間第31月曜日(II)
4・1-6	年間第17主日(B)		奉獻式・修道誓願式
	年間第29金曜日(II)		公会議・教会会議・默想会・司牧集会
	復活徹夜祭以外のときの入信式		修道者のため
	幼児洗礼式	2・1-5	年間第26主日(A)*
	堅信式	2・1-11	年間第26主日(A)
	大修道院長祝福式	2・1-13	キリスト者の一致のため
	信徒のため	2・5-11	年間第31火曜日(II)
	キリスト者の一致のため	2・6-11	受難の主日ミサ
4・1-13	主の昇天(B)		十字架称賛(9.14)
4・1-7, 11-13	主の昇天(B)*		十字架(信心)
	聖バジリオ 聖グレゴリオ(ナジアンズ)(1.2)		イエスのみ名(信心)
	聖ヨハネ・クリゾストモ(9.13)	2・12-18	年間第31水曜日(II)
	聖マタイ(9.21)	2・25-30	病者の塗油
	聖ヨサファト(11.12)	3・3-8a	年間第31木曜日(II)
	牧者共通	3・8-14	四旬節第5主日(C)
	教会博士共通		聖カシミロ(3.4)
	カトリック教会以外で洗礼を受けた人の受け入れの式		聖フランシスコ(パオラ)(4.2)
	叙階式		聖ロムアルド(6.19)
	司祭のため		聖クララ(8.11)
	教会の奉仕者のため		聖ブルーノ(10.6)
4・7-16	年間第29土曜日(II)		聖人・聖女共通
4・11-16	教皇・司教の選出のため		奉獻式・修道誓願式
4・17, 20-24	年間第18主日(B)		司祭・修道生活への召命のため
4・30-5・2	年間第19主日(B)	3・17～4・1	十字架(信心)
	キリスト者の一致のため		四旬節第2主日(C)
	祖国・政治に携わる人・国際的会合・国家元首・諸民族の発展のため		年間第31金曜日(II)
		3・20-21	聖イグナチオ(アンチオケ)(10.17)
			葬儀

	叙階式	3・22-29	年間第27土曜日(II)
	司祭のため	3・26-28	復活徹夜祭以外のときの入信式
	司祭・修道生活への召命のため (司祭への召命)	3・26-29	幼児洗礼式
5・14-21	年間第10土曜日(I)	4・4-7	年間第12主日(C)
5・17-21	四旬節第4主日(C)		神の母聖マリア(1.1)
5・17~6・2	和解のため		聖母マリア共通
5・20~6・2	灰の水曜日		主の祈りの授与
6・1-10	年間第11月曜日(I)	4・12-19	マリアのみ名(信心)
6・4-10	聖アダルベルト(4.23)	4・22-24, 26-27, 31~5・1	病者の塗油
	聖マルチエリノ 聖ペトロ(6.2)		年間第28月曜日(II)
	聖ディオニジオと同志殉教者(10.9)	5・1-6	年間第28火曜日(II)
	殉教者共通	5・1, 13-18	年間第13主日(C)
8・1-9	年間第11火曜日(I)	5・16-25	聖霊降臨当日(B)
8・1-5, 9-15	祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため 飢饉のとき・飢えに苦しむ人のため	5・16-17, 22-23a, 24-25	堅信式
	年間第13主日(B)	5・17-26	祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため
8・7, 9, 13-15	聖パウリノ(ノラ)(6.22)		戦争・紛争のとき
8・9-15	聖ラウレンチオ(8.10)	5・18-25	年間第28水曜日(II)
9・6-10	年間第11水曜日(I)	6・14-16	聖人・聖女共通
9・6-11	祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため	6・14-18	年間第14主日(C)
9・6-15	飢饉のとき・飢えに苦しむ人のため		聖フランシスコ(アシジ)(10.4)
	種まきのとき		
9・8-11	聖ローザ(リマ)(8.23)		
10・17~11・2	聖ルチア(12.13)		
	おとめ共通		
	聖人・聖女共通		
11・1-11	年間第11木曜日(I)	1・3-10	
11・18, 21b-30	年間第11金曜日(I)	1・3-5	年間第28木曜日(II)
12・1-10	年間第11土曜日(I)	1・3-6, 11-12	洗礼を受けた幼子の葬儀
12・7b-10	年間第14主日(B)		無原罪の聖マaria(12.8)
	病者のため		聖母マaria共通
13・11-13	三位一体(A)		マariaのみ名(信心)
			年間第15主日(B)*
			イエスのみ心(信心)
		1・3-14	年間第15主日(B)
			カトリック教会以外で洗礼を受 けた人を受け入れる式
			奉獻式・修道誓願式
			教会のため
			信徒のため
			感謝のため
			復活徹夜祭以外のときの入信式
1・1-2, 6-10	年間第9主日(C)	1・3-10, 13-14	降誕後第2主日(日本では主の 公現を祝うので朗誦しない)
1・6-12	年間第27月曜日(II)	1・3-6, 15-18	堅信式
1・11-19	年間第10主日(C)		年間第28金曜日(II)
1・11-20	聖ペトロ 聖パウロ前晩(6.29)	1・3a, 4a, 13-19a	年間第28土曜日(II)
1・13-24	年間第27火曜日(II)	1・11-14	主の昇天
2・1-2, 7-14	年間第27水曜日(II)	1・15-23	年間第29月曜日(II)
2・16, 19-21	年間第11主日(C)	1・17-23	四旬節第4主日(B)
2・19-20	日本二十六聖人殉教者(2.5)	2・1-10	年間第29火曜日(II)
	聖ビルジッタ(7.23)	2・4-10	年間第16主日(B)
	日本二百五福者殉教者(9.10)	2・12-22	十字架(信心)
	聖人・聖女共通	2・13-18	聖トマ(7.3)
3・1-5	年間第27木曜日(II)		
3・7-14	年間第27金曜日(II)	2・19-22	

9・16-19, 22b-27	教会の奉仕者のため 年間第23金曜日(II)	15・3-8, 11 15・12-20	年間第5主日(C)* 年間第24金曜日(II)
10・1-6, 10-12	四旬節第3主日(C)		病者の塗油
10・10-22	カリスとパテナの祝福	15・12, 16-20	年間第6主日(C)
10・14-22	年間第23土曜日(II)	15・20-23	葬儀*
10・16-17	キリストの聖体(A) 祭壇奉仕者選任式 臨終の聖体拝領 聖体(信心)	15・20-27a 15・20-24a, 25-28 15・20-26, 28 15・35-37, 42-49 15・45-49 15・51-57 15・54-57 15・54-58	洗礼を受けた幼子の葬儀 聖母の被昇天(8. 15) 葬儀 王であるキリスト(A) 年間第24土曜日(II) 年間第7主日(C) 葬儀 聖母の被昇天前晚(8. 15) 年間第8主日(C)
10・16-21	祭壇の奉獻		
10・31~11・1	年間第6主日(B)		
聖イグナチオ(ヨヨラ)(7. 31)			
11・17-26, 33	年間第24月曜日(II)		
11・23-26	聖木曜日・主の晩さん キリストの聖体(C) 祭壇奉仕者選任式 臨終の聖体拝領 カリスとパテナの祝福 司祭のため 聖体(信心)		
12・3b-7, 12-13	聖靈降臨当日 教会のため 教会の奉仕者のため 信徒のため	3・1-6a 3・1b-6 3・4-11 3・15~4・1, 3-6 4・1-2, 5-7	年間第10月曜日(I) 年間第7主日(B) 年間第10火曜日(I) 牧者共通 年間第8主日(B) 年間第10水曜日(I) 年間第10木曜日(I) 聖イシドロ(4. 4) 聖ラウレンチオ(プリンディジ)(7. 21) 聖グレゴリオ一世(9. 3) 聖ヨハネ・レオナルディ(10. 9)
12・4-11	年間第2主日(C) 助祭・司祭候補者認定式		
12・4-13	堅信式		
12・12-13	復活徹夜祭以外のときの入信式 幼児洗礼式		牧者共通 叙階式
12・12-14, 27	年間第3主日(C)*		司祭のため
12・12-22, 24b-27	病者の塗油(臨終の人に)	4・6-11	年間第9主日(B)
12・12-30	年間第3主日(C)	4・7-15	年間第10金曜日(I)
12・12-14, 27-31a	年間第24火曜日(II)		聖ビンセンチオ(1. 22)
12・31~13・8a	結婚式		聖ヤコブ(7. 25)
12・31~13・13	年間第4主日(C) 年間第24水曜日(II) 聖ヨセフ・カラサンス(8. 25) 聖人・聖女共通		聖コルネリオ・聖チプリアノ(9. 16) 聖ヨハネ・ブレーブー・聖イザーク ジョーグと同志殉教者(10. 19) 殉教者共通
13・4-13	カトリック教会以外で洗礼を受 けた人を受け入れる式 愛を願って・一致を深めるため・ 親戚や友人のため 年間第4主日(C)* 聖ヨセフ・カラサンス(8. 25)* 聖人・聖女共通*	4・10-18 4・13~5・1 4・14~5・1 4・16-18 5・1, 6-10	病者のため 年間第10主日(B) 葬儀 病者の塗油(臨終の人に) 病者の塗油
15・1-4	信条の授与*	5・6-10	年間第11主日(B)
15・1-8	聖フィリポ・聖ヤコブ(5. 3) 信条の授与	5・14-17	年間第12主日(B) 聖マリア(マグダラ)(7. 22)
15・1-11	年間第5主日(C) 年間第24木曜日(II)	5・14-20	聖ライムンド(ペニヤフォル)(1. 7) 聖ヨハネ(カペストラノ)(10. 23) 牧者共通

10・9・18	聖アンデレ(11.30) 福音宣教のため	1・22・25 1・22・31	四旬節第3主日(B) 奉獻式・修道誓願式 修道者のため
11・1・2a, 11・12, 25・29	年間第30土曜日(I)	1・26・31	年間第4主日(A) 年間第21土曜日(II)
11・13・15, 29・32	年間第20主日(A)		聖アグネス(1.21)
11・29・36	年間第31月曜日(I)		聖アガタ(2.6)
11・33・36	年間第21主日(A)		聖ビンセンチオ・ア・パウロ(9.27)
12・1・2	年間第22主日(A)		聖人・聖女共通
12・1・13	奉獻式・修道誓願式 信徒のため	2・1・5	年間第5主日(A) 年間第22月曜日(II)
12・1・2, 9・13	結婚式*		朗誦奉仕者選任式
12・1・2, 9・18	結婚式	2・1・10a	聖ドミニコ(8.8)
12・3・13	聖カロロ・ボロメオ(11.4) 牧者共通 愛を願って・一致を深めるため・ 親戚や友人のため		聖ヨハネ(十字架の)(12.14)
12・4・8	叙階式	2・6・10	教会博士共通
12・5・16a	年間第31火曜日(I)	2・10b・16	年間第6主日(A) 年間第22火曜日(II)
12・9・16b	聖母の訪問(5.31) 難民のため		聖ベダ(5.25)
13・8・10	年間第23主日(A) 年間第31水曜日(I)	3・1・9	教会博士共通
13・11・14a	待降節第1主日(A)	3・6・10	年間第22水曜日(II)
14・7・9	年間第24主日(A) 洗礼を受けた幼子の葬儀	3・9c・11, 16・17	収穫の感謝
14・7・12	年間第31木曜日(I)	3・16・23	ラテラン教会の献堂(11.9)
14・7・9, 10c・12	よい死を願って 葬儀	3・18・23 4・1・5	教会献堂記念共通 教会のため
15・4・9	待降節第2主日(A)		年間第7主日(A)
15・14・21	年間第31金曜日(I)		年間第22木曜日(II)
16・3・9, 16, 22・27	年間第31土曜日(I)		年間第8主日(A)
16・25・27	待降節第4主日(B)	4・6b・15 5・1・8 5・6b・8	年間第22金曜日(II) 聖ピオ五世(4.30) 牧者共通
<b>コリントの信徒への手紙一</b>		6・1・11 6・13c・15a, 17・20	年間第22土曜日(II) 年間第23月曜日(II)
1・1・3	年間第2主日(A) イエスのみ名(信心)		復活主日日中
1・1・9	年間第21木曜日(II)		年間第23火曜日(II)
1・3・9	待降節第1主日(B) 感謝のため		年間第2主日(B)
1・10・13	キリスト者の一致のため	7・25・31	聖マリア・ゴレッティ(7.6)
1・10・13, 17	年間第3主日(A)	7・25・35	結婚式
1・17・25	年間第21金曜日(II)		年間第23水曜日(II)
1・18・25	聖ペトロ・シャネル(4.28) 聖ルイ・マリー・グリニヨン・ド・ モンフォール(4.28)	7・29・31	聖マリア・マグダレナ(パッジ)(5.25)
	聖ユスチノ(6.1) 聖パウロ(十字架の)(10.19)	7・32・35 8・1b・7, 11・13	おとめ共通
	牧者共通(宣教師) 教会博士共通	9・16・19, 22・23	奉獻式・修道誓願式
	病者の塗油		修道者のため
	十字架(信心)		年間第3主日(B)
			年の始め
			年間第4主日(B)
			年間第23木曜日(II)
			年間第5主日(B)
			聖フランシスコ・ザビエル(12.3)
			牧者共通
			助祭・司祭候補者認定式

20・28-38	復活節第7水曜日	6・19-23	年間第29木曜日(I)
22・3-16	聖パウロの回心(1.25)	7・18-25a	年間第29金曜日(I)
22・30;23・6-11	復活節第7木曜日	8・1-4	聖アルフォンソ(リゴリ)(8.1)
25・13-21	復活節第7金曜日	8・1-11	年間第29土曜日(I)
26・19-23	聖ボニファチオ(6.5)	8・8-11	四旬節第5主日(A)
	牧者共通(宣教師)	8・8-17	聖靈降臨当日(C)
28・7-10	病者のため	8・9, 11-13	年間第14主日(A)
28・11-16, 30-31	聖ペトロ教会と聖パウロ教会の 献堂(11.18)	8・12-17	年間第30月曜日(I)
28・16-20, 30-31	復活節第7土曜日	8・14-17	三位一体(B)
<b>ローマの信徒への手紙</b>			
1・1-7	待降節第4主日(A)	8・14-23	堅信式
	年間第28月曜日(I)	8・14-17, 26-27	病者の塗油
1・16-25	年間第28火曜日(I)	8・18-23	葬儀
2・1-11	年間第28水曜日(I)	8・18-25	主の祈りの授与
3・21-25a, 28	年間第9主日(A)	8・18-27	年間第15主日(A)
3・21-30a	年間第28木曜日(I)	8・18-30	年間第30火曜日(I)
4・1-8	年間第28金曜日(I)		病者の塗油
4・13, 16-18	年間第28土曜日(I)		祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため
4・13, 16-18, 22	聖ヨセフ(3.19)	8・22-27	地震のとき・雨を願って・晴天を願 って・嵐や台風のとき・困難のとき
4・18-25	年間第10主日(A)	8・26-27	聖靈降臨前夜
4・20-25	年間第29月曜日(I)	8・26-27	聖テレジア(イエスの)(10.15)
5・1-5	三位一体(C)	8・26-30	年間第16主日(A)
	聖ラジオ(2.3)		堅信式
	殉教者共通		年間第30水曜日(I)
5・1-2, 5-8	四旬節第3主日(A)		聖母のしもべ会七聖人(2.17)
	堅信式	8・28-30	聖人・聖女共通
5・5-11	イエスのみ心(信心)		年間第17主日(A)
	葬儀		聖マリアの誕生(9.8)
5・5b-11	イエスのみ心(C)	8・28-32	聖母マリア共通
5・6-11	年間第11主日(A)	8・28-39	幼児洗礼式
5・12-15	年間第12主日(A)		カトリック教会以外で洗礼を受 けた人を受け入れる式
5・12-19	四旬節第1主日(A)	8・28-32, 35, 37-39	復活徹夜祭以外のときの入信
5・12, 17-19	四旬節第1主日(A)*	8・31b-34	四旬節第2主日(B)
	聖母マリア共通	8・31b-39	年間第30木曜日(I)
5・12, 15b, 17-19, 20b-21	年間第29火曜日(I)		聖ペソレベトゥア 聖フェリチタス(3.7)
5・17-21	葬儀		ローマ教会最初の殉教者たち(6.30)
6・2-14	罪のゆるしを願って		殉教者共通
6・2-4, 12-14	信徒のため		信徒のため
6・3-5	幼児洗礼式		地震のとき・雨を願って・晴天を願 って・嵐や台風のとき・困難のとき
6・3-9	葬儀		病者の塗油
6・3-4, 8-9	葬儀*	8・31b-35, 37-39	結婚式
	洗礼を受けた幼子の葬儀		葬儀
6・3-11	復活徹夜祭		年間第18主日(A)
	復活徹夜祭以外のときの入信式	8・35, 37-39	年間第19主日(A)
	奉獻式・修道誓願式	9・1-5	年間第30金曜日(I)
6・3-4, 8-11	年間第13主日(A)		四旬節第1主日(C)
	復活徹夜祭以外のときの入信式*	10・8-13	信条の授与
6・12-18	年間第29水曜日(I)		

聖ペトロ 聖パウロ前晩(6.29)	10・34-43	十字架(信心)
病者の塗油		葬儀
イエスのみ名(信心)	10・34-36, 42-43	葬儀*
3・11-16 病者の塗油	10・34a, 37-43	復活主日日中
3・11-26 復活の木曜日		祭壇奉仕者選任式
3・13-15, 17-19 復活節第3主日(B)		聖体(信心)
和解のため	10・37-43	叙階式
4・1-12 復活の金曜日	11・1-18	復活節第4月曜日
4・1-5, 18-21 迫害されるキリスト者のため	11・19-26	復活節第4火曜日
4・8-12 復活節第4主日(B)		福音宣教のため
聖ペルナルディノ(シエナ)(5.20)	11・21b-26; 13・1-3	聖バルナバ(6.11)
病者の塗油	11・27-30	祖国・政治に携わる人・国際的会合・
イエスのみ名(信心)		国家元首・諸民族の発展のため
4・13-21 復活の土曜日		飢餓のとき・飢えに苦しむ人のため
4・23-31 復活節第2月曜日	12・1-11	聖ペトロ 聖パウロ(6.29)
迫害されるキリスト者のため	12・24~13・5a	復活節第4水曜日
4・32-35 復活節第2主日(B)	13・13-25	復活節第4木曜日
聖ペトロ・ユリア・エイマール(8.2)	13・14, 43-52	復活節第4主日(C)
聖人・聖女共通(修道者)	13・16-17, 22-25	主の降誕前晩
奉獻式・修道誓願式	13・22-26	洗礼者聖ヨハネの誕生(6.24)
4・32-37 復活節第2火曜日	13・26-33	復活節第4金曜日
5・12-16 復活節第2主日(C)		教会博士共通
5・17-26 復活節第2水曜日		十字架(信心)
5・27-33 復活節第2木曜日	13・32-39	病者の塗油
5・27b-32, 40b-41 復活節第3主日(C)	13・44-52	復活節第4土曜日
5・27b-32, 40b-42 迫害されるキリスト者のため	13・46-49	聖チリオ 聖メトジオ(2.14)
イエスのみ名(信心)		牧者共通(宣教師)
5・34-42 復活節第2金曜日		福音宣教のため
6・1-7 復活節第5主日(A)	14・5-18	復活節第5月曜日
復活節第2土曜日	14・19-28	復活節第5火曜日
6・1-7b 叙階式(助祭)	14・21-23	助祭・司祭候補者認定式
6・8-15 復活節第3月曜日	14・21b-27	復活節第5主日(C)
6・8-10; 7・54-60 聖ステファノ(12.26)	15・1-6	復活節第5水曜日
7・44-50 教会献堂記念共通	15・1-2, 22-29	復活節第6主日(C)
7・51~8・1a 復活節第3火曜日	15・7-21	復活節第5木曜日
7・55-60 弑教者共通	15・22-31	復活節第5金曜日
敵対する人のため	16・1-10	復活節第5土曜日
8・1b-8 復活節第3水曜日	16・11-15	復活節第6月曜日
8・1, 4, 14-17 堅信式	16・22-34	復活節第6火曜日
8・5-8, 14-17 復活節第6主日(A)	17・15, 22~18・1	復活節第6水曜日
8・26-38 復活徹夜祭以外のときの入信式	18・1-8	復活節第6木曜日
8・26-40 復活節第3木曜日	18・9-18	復活節第6金曜日
叙階式(助祭)	18・23-28	復活節第6土曜日
9・1-20 復活節第3金曜日	19・1b-6a	堅信式
9・1-22 聖パウロの回心(1.25)	19・1-8	復活節第7月曜日
9・26-31 復活節第5主日(B)	20・17-27	復活節第7火曜日
9・31-42 復活節第3土曜日	20・17-18a, 28-32, 36	聖グレゴリオ七世(5.25) 聖ダマソ一世(12.11)
10・1, 33-34a, 37-44 堅信式		牧者共通
10・25-26, 34-35, 44-48 復活節第6主日(B)		叙階式(司教・司祭)
10・34-38 主の洗礼		

16・20-23a	復活節第6金曜日	20・1-2, 11-18	聖マリア(マグダラ)(7.22)
16・23b-28	復活節第6土曜日	20・2-8	聖ヨハネ(12.27)
16・29-33	復活節第7曜日	20・11-18	復活の火曜日
17・1-11a	復活節第7主日(A)(日本ではA年復活節第6主日に任意で朗読)	20・19-23	聖靈降臨当日 叙階式 平和と正義のため
	復活節第7火曜日 キリスト者の一致のため	20・19-31	復活節第2主日
17・6, 14-19	叙階式	20・24-29	聖トマ(7.3)
17・11b-19	復活節第7主日(B)(日本ではB年復活節第6主日に任意で朗読)	21・1-14	復活の金曜日 復活節第3主日(C)* 祭壇奉仕者選任式 聖体(信心)
	復活節第7水曜日 聖タニスラオ(4.11)	21・1-19	復活節第3主日(C)
	聖マルチエリノ 聖ペトロ(6.2)	21・15-17	聖ファビアノ(1.20) 聖ビオ五世(4.30) 聖ビオ十世(8.21) 牧者共通(教皇)
	聖コルネリオ 聖チプリアノ(9.16)		
	殉教者共通		
	キリスト者の一致のため		
	迫害されるキリスト者のため		
17・11b, 17-23	教会のため		叙階式
	教皇・司教の選出のため		教会のため
	福音宣教のため		司祭のため
17・20-23	結婚式*	21・15-19	復活節第7金曜日
17・20-26	復活節第7主日(C)(日本ではC年復活節第6主日に任意で朗読)	21・20-25	聖ペトロ 聖パウロ前晩(6.29) 復活節第7土曜日
	復活節第7木曜日 聖フィデリス(ジグマリンゲン)(4.24)		
	聖フィリポ・ネリ(5.26)		
	聖イレネオ(6.28)		
	聖ペルナルド(8.20)		
	聖ヨサフアト(11.12)		
	聖人・聖女共通		
	結婚式		
	奉獻式・修道誓願式	1・15-17, 20-26	
	キリスト者の一致のため	2・1-11	
	イエスのみ心(信心)		
17・24-26	葬儀	2・1-6, 14, 22b-23, 32-33	主の昇天 堅信式
18・1~19・42	聖金曜日・主の受難	2・14, 22-33	福音宣教のため
18・33b-37	王であるキリスト(B)		ロザリオの聖母(10.7)
19・17-18, 25-39	葬儀		聖母マリア共通
19・25-27	悲しみの聖母(9.15)		教会の母聖マリア(信心)
	聖母マリア共通	2・12-14	
	教会の母聖マリア(信心)		聖マチア(5.14)
19・25-30	洗礼を受けた幼子の葬儀	1・15-17, 20-26	聖靈降臨当日
	洗礼を受けていない幼子の葬儀	2・1-11	信徒のため
19・28-37	十字架(信心)	2・1-6, 14, 22b-23, 32-33	堅信式
19・31-35	幼児洗礼式	2・14, 22-33	復活の火曜日
19・31-37	イエスのみ心(B)	2・14a, 22-24, 32-36	復活節第3主日(A)
	聖体(信心)	2・14a, 36-41	教会博士共通
	イエスの御血(信心)	2・14a, 36-40a, 41-42	復活節第4主日(A)
	イエスのみ心(信心)	2・36-41	復活徹夜祭以外のときの入信式
20・1-9	復活主日日中	2・42-47	復活節第2主日(A)
			祭壇奉仕者選任式
			大修道院長祝福式
			奉獻式・修道誓願式
			祭壇の奉獻
			教会のため
			修道者のため
			聖体(信心)
		3・1-10	復活の水曜日

12・23・28	葬儀		教会のため
12・24・26	聖アダルベルト(4.23) 聖マリア・ゴレッティ(7.6) 聖ラウレンチオ(8.10) 聖ヤヌアリオ(9.19) 聖トマス西と十五殉教者(9.28) 聖イグナチオ(アンチオケ)(10.17)	15・1-11	修道者のため 信徒のため 病者のため イエスのみ心(信心) 復活徹夜祭以外のときの入信式
	殉教者共通	15・9-11	幼児洗礼式 復活節第5木曜日
	叙階式	15・9-12	結婚式
	奉獻式・修道誓願式		祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため
12・31-36a	祭壇の奉獻 十字架(信心)		戦争・紛争のとき
12・44-50	復活節第4水曜日 信条の授与	15・9-14 15・9-17	神のいくしみ(信心) 復活節第6主日(B)
	復活徹夜祭以外のときの入信式		聖フランシスコ・サレジオ(1.24)
13・1-15	聖木曜日・主の晩さん キリスト者の一致のため		聖カシミロ(3.4) 聖マチア(5.14)
13・16-20	復活節第4木曜日		聖カミロ(レリス)(7.14)
13・21-33, 36-38	受難の火曜日		聖マルガリタ(スコットランド)(11.16)
13・31-33a, 34-35	復活節第5主日(C)		聖ダマソ一世(12.11)
14・1-6	復活節第4金曜日 葬儀		牧者共通
14・1-12	復活節第5主日(A)		聖人・聖女共通
14・6-14	聖フィリボ 聖ヤコブ(5.3) イエスのみ名(信心)		叙階式
14・7-14	復活節第4土曜日		奉獻式・修道誓願式
14・15-17	堅信式		教皇・司教の選出のため
14・15-21	復活節第6主日(A)		司祭のため
14・15-16, 23b-26	聖靈降臨当日(C)		司祭・修道生活への召命のため
14・15-23, 26-27	カトリック教会以外で洗礼を受けた人を受け入れる式	15・12-16	感謝のため
14・21-26	復活節第5月曜日	15・12-17	イエスのみ心(信心)
14・23-26	堅信式		聖マキシリアノ・マリア・コレベ(8.14)
14・23-29	復活節第6主日(C) 公会議・教会会議・默想会・司牧集会 平和と正義のため	15・18-21	結婚式 復活節第5金曜日 愛を願って・一致を深めるため・ 親戚や友人のため
14・27-31a	復活節第5火曜日		復活節第5土曜日
15・1-6	カトリック教会以外で洗礼を受けた人を受け入れる式		聖ポリカルボ(2.23)
15・1-8	復活節第5主日(B) 復活節第5水曜日 聖ペトロ・ダミアノ(2.21) 聖チリロ(エルサレム)(3.18) 聖ビルジッタ(7.23) 聖ペトロ・ユリアノ・エイマール(8.2) 聖テレジア(イエスの)(10.15) 聖ゲルトルード(11.16) 聖人・聖女共通 奉獻式・修道誓願式	15・18-21, 26-27 15・18-21, 26~16・4 15・26~16・4a 15・26-27; 16・12-15 16・5-11 16・5-7, 12-13a 16・12-15 16・16-20 16・20-22	聖マルチノ一世(4.13) 聖ポンチアノ 聖ヒッポリト(8.13) 殉教者共通 信徒のため 堅信式 迫害されるキリスト者のため 復活節第6月曜日 聖靈降臨当日(B) 復活節第6火曜日 三位一体(C) 復活節第6水曜日 復活節第6木曜日 感謝のため

	カトリック教会以外で洗礼を受けた人を受け入れる式	7・14-18	朗読奉仕者選任式
3・22-30	公現後土曜日	7・37-39	聖靈降臨前晩
3・31-36	復活節第2木曜日	7・37b-39a	幼児洗礼式
4・5-14	幼児洗礼式	7・40-53	堅信式
4・5-42	四旬節第3主日(A)	8・1-11	四旬節第4土曜日
	四旬節第3週任意ミサ		四旬節第5主日(C)
4・5-15, 19b-26, 39a, 40-42	四旬節第3主日(A)*	8・12-20	四旬節第5月曜日
4・19-24	教会献堂記念共通	8・21-30	四旬節第5年曜日(8・1-11をC)
	祭壇の奉獻	8・31-42	四旬節第5火曜日
4・43-54	四旬節第4曜日	8・51-59	四旬節第5水曜日
5・1-3a, 5-16	四旬節第4火曜日	9・1-7	四旬節第5木曜日
5・17-30	四旬節第4水曜日		幼児洗礼式
5・24-29	葬儀		病者の塗油
5・31-47	四旬節第4木曜日	9・1, 6-9, 13-17, 34-38	四旬節第4主日(A)*
5・33-36	待降節第3金曜日	9・1-41	四旬節第4主日(A)
6・1-15	年間第17主日(B)		四旬節第4週任意ミサ
	復活節第2金曜日	10・1-10	復活節第4主日(A)
	祭壇奉仕者選任式		復活節第4月曜日
	聖体(信心)	10・11-16	聖アダルベルト(4, 23)
6・16-21	復活節第2土曜日		聖ボニファチオ(6, 5)
6・22-29	復活節第3月曜日		聖カロロ・ボロメオ(11, 4)
6・24-35	年間第18主日(B)		聖アンブロジオ(12, 7)
	祭壇奉仕者選任式		牧者共通
	聖体(信心)		叙階式
6・30-35	復活節第3火曜日		司祭のため
6・35-40	復活節第3水曜日		キリスト者の一致のため
	病者の塗油	10・11-18	復活節第4主日(B)
6・37-39	洗礼を受けた幼子の葬儀*		復活節第4月曜日(10・1-10をA)
6・37-40	葬儀		年復活節第4主日に読んだとき)
6・41-51	洗礼を受けた幼子の葬儀		病者の塗油
	年間第19主日(B)	10・22-30	イエスのみ心(信心)
	祭壇奉仕者選任式	10・27-30	復活節第4火曜日
	臨終の聖体拝領	10・31-42	復活節第4主日(C)
	聖体(信心)	11・1-45	四旬節第5金曜日
6・44-47	幼児洗礼式		四旬節第5主日(A)
6・44-51	復活節第3木曜日		四旬節第5週任意ミサ
6・51-58	キリストの聖体(A)	11・3-7, 17, 20-27, 33b-45	四旬節第5主日(A)*
	年間第20主日(B)	11・17-27	葬儀
	臨終の聖体拝領	11・19-27	聖マルタ(7, 29)
	聖体(信心)	11・21-27	葬儀*
	葬儀	11・32-38, 40	洗礼を受けた幼子の葬儀
	洗礼を受けた幼子の葬儀	11・32-45	葬儀
6・51-59	祭壇奉仕者選任式	11・45-52	キリスト者の一致のため
6・52-59	復活節第3金曜日		福音宣教のため
6・53-58	病者の塗油	11・45-56	四旬節第5土曜日
6・60-69	年間第21主日(B)	12・1-11	受難の月曜日
	復活節第3土曜日	12・12-16	受難の主日・枝の行列(B)
7・1-2, 10, 25-30	四旬節第4金曜日	12・20-33	四旬節第5主日(B)
		12・23-26	葬儀*

教会献堂記念共通		復活節第3主日(B)
19・11・28 年間第33水曜日	24・44・48	十字架(信心)
19・28・40 受難の主日・枝の行列(C)	24・44・53	朗誦奉仕者選任式
19・41・44 年間第33木曜日		復活徹夜祭以外のときの入信式
19・45・48 年間第33金曜日		福音宣教のため
20・27・38 年間第32主日(C)	24・46・48	罪のゆるしを願って
20・27, 34・38 年間第32主日(C)*	24・46・53	主の昇天(C)
20・27・40 年間第33土曜日		
21・1・4 年間第34月曜日		
21・5・11 年間第34火曜日		
21・5・19 年間第33主日(C)		ヨハネによる福音書
21・12・19 年間第34水曜日		1・1・5, 9・14 主の降誕日中*
21・20・28 年間第34木曜日	1・1・18	降誕後第2主日*(日本では主の公現を祝うので朗誦しない)
21・25・28, 34・36 待降節第1主日(C)		主の降誕日中
21・29・33 年間第34金曜日		降誕後第2主日(日本では主の公現を祝うので朗誦しない)
21・34・36 年間第34土曜日		12月31日(主の降誕第7日)
22・14・20 よい死を願って	1・1・5, 9・14, 16・18	復活徹夜祭以外のときの入信式
22・14・20, 24・30 永遠の大祭司キリスト(信心)	1・6・8, 19・28	待降節第3主日(B)
22・14~23・56 叙階式	1・19・28	1月2日
22・24・27 受難の主日ミサ(C)	1・29・34	1月3日
22・24・30 大修道院長祝福式		年間第2主日(A)
聖ヨハネ一世(5, 18)		復活徹夜祭以外のときの入信式
聖グレゴリオ一世(9, 3)	1・35・42	1月4日
聖カリスト一世(10, 14)		年間第2主日(B)
牧者共通		入門式
司祭のため		助祭・司祭候補者認定式
祖国・政治に携わる人・国際的会合・		司祭・修道生活への召命のため*
国家元首・諸民族の発展のため		司祭・修道生活への召命のため
22・39・43 病者のため	1・35・51	1月5日
22・39・44 聖体(信心)	1・43・51	聖バルトロマイ(8, 24)
イエスの御血(信心)	1・45・51	助祭・司祭候補者認定式
23・1・49 受難の主日ミサ(C)*	1・47・51	聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラ
23・33, 39・43 葬儀		ファエル(9, 29)
23・33・34, 39・46 十字架(信心)	2・1・11	1月7日
23・35・43 王であるキリスト(C)		年間第2主日(C)
23・39・46 よい死を願って		ルルドの聖母(2, 11)
23・44・46, 50, 52・53 葬儀*		聖母マリア共通
23・44・46, 50, 52・53;		結婚式
24・1・6a 葬儀	2・13・22	ラテラン教会の献堂(11, 9)
24・1・12 復活徹夜祭(C)		教会献堂記念共通
24・1・12 復活主日日中(C)	2・13・25	四旬節第3主日(B)
24・13・35 復活主日夜刻	3・1・6	復活徹夜祭以外のときの入信式
復活の水曜日		幼児洗礼式
復活節第3主日(A)	3・1・8	復活節第2月曜日
祭壇奉仕者選任式	3・7a, 8・15	復活節第2火曜日
聖体(信心)	3・13・17	十字架称賛(9, 14)
葬儀	3・14・21	四旬節第4主日(B)
24・13・16, 28・35 聖体(信心)*	3・16・18	三位一体(A)
葬儀*	3・16・21	復活節第2水曜日
24・35・48 復活の木曜日		復活徹夜祭以外のときの入信式

11・27-28	年間第27土曜日 聖マリア教会の献堂(8.5) 聖母の被昇天前晩(8.15) 聖母マリア共通 奉獻式・修道誓願式		14・15-24 14・25-33	祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため 飢饉のとき・飢えに苦しむ人のため 年間第31火曜日 年間第23主日(C) 年間第31水曜日 聖ノルベルト(6.6) 聖ロムアルド(6.19) 聖イグナチオ(ヨロ) (7.31) 聖ヨハネ(十字架の) (12.14) 聖人・聖女共通(修道者) 司祭・修道生活への召命のため
11・29-32	四旬節第1水曜日 年間第28曜日			15・1-10
11・37-41	年間第28火曜日			15・1-32
11・42-46	年間第28水曜日			15・1-3, 11-32
11・47-54	年間第28木曜日			
12・1-7	年間第28金曜日			
12・8-12	年間第28土曜日			
12・13-21	年間第18主日(C) 年間第29曜日			
12・15-21	祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため 収穫の感謝			
12・32-34	聖フランシスコ(パオラ)(4.2) 聖パウリノ(ノラ)(6.22) 聖カエタノ(8.7) 聖人・聖女共通(修道者)			
12・32-48	年間第19主日(C)	15・3-7		イエスのみ心(信心)
12・35-38	年間第29火曜日	16・1-8		年間第24主日(C)
12・35-40	年間第19主日(C)*	16・1-13		四旬節第2土曜日
	聖ライムンド(ペニャフォル)(1.7)	16・9-15		四旬節第4主日(C)
	聖ビンセンチオ・フェレル(4.5)	16・10-13		和解のため
	聖人・聖女共通	16・19-31		罪のゆるしを願って
	祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため			イエスのみ心(信心)
	年の始め			イエスのみ心(C)
	よい死を願って			年間第31金曜日
	葬儀			年間第25主日(C)
12・35-44	叙階式	17・1-6		年間第31土曜日
	病者の塗油	17・5-10		年間第25主日(C)*
	大修道院長祝福式	17・7-10		年間第26主日(C)
12・39-48	年間第29曜日	17・11-19		四旬節第2木曜日
12・49-53	年間第20主日(C)			祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため
	年間第29木曜日			飢饉のとき・飢えに苦しむ人のため
12・54-59	年間第29金曜日	17・20-25		年間第32曜日
13・1-9	四旬節第3主日(C)	17・26-37		年間第27主日(C)
	年間第29土曜日	18・1-8		年間第32火曜日
13・10-17	年間第30曜日			年間第28主日(C)
13・18-21	年間第30火曜日			年間第32水曜日
13・22-30	年間第21主日(C)			収穫の感謝
	年間第30水曜日			感謝のため
13・31-35	年間第30木曜日	18・9-14		年間第32土曜日
14・1-6	年間第30金曜日			地震のとき・雨を願って・晴天を願 って・嵐や台風のとき・困難のとき
14・1, 7-11	年間第30土曜日	18・35-43		年間第30主日(C)
14・1, 7-14	年間第22主日(C)	19・1-10		四旬節第3土曜日
14・12-14	年間第31曜日			病者の塗油

6・17, 20-26	聖シモン 聖ユダ(10.28) 年間第6主日(C)	9・43b-45 9・46-50	年間第25土曜日 年間第26曜日
6・20-26	年間第23水曜日	9・49-56	キリスト者の一致のため
6・27-38	年間第7主日(C) 年間第23木曜日	9・51-56 9・51-62 9・57-62	年間第26火曜日 年間第13主日(C) 年間第26水曜日
	聖エリザベト(ハンガリー)(11.17) 聖ヨハネ(ケンティ)(12.23) 聖人・聖女共通 敵対する人のため		聖ペルナルディノ(シエナ)(5.20) 聖ドミニコ(8.8) 聖ブルーノ(10.6) 聖ヨハネ(カペストラノ)(10.23) 聖コロンバン(11.23) 聖人・聖女共通(修道者) 奉獻式・修道誓願式
6・36-38	四旬節第2月曜日	10・1-9	司祭・修道生活への召命のため
6・39-42	年間第23金曜日		年間第14主日(C)*
6・39-45	年間第8主日(C)		聖テモテ 聖テトス(1.26)
6・43-45	聖イシドロ(4.4) 聖エフレム(6.9) 聖ペトロ・クリソロゴ(7.30) 教会博士共通		聖チリオ 聖メトジオ(2.14)
6・43-49	年間第23土曜日		聖アントニオ(パドバ)(6.13)
7・1-10	年間第9主日(C)		聖ルカ(10.18)
7・11-17	年間第24月曜日 年間第10主日(C)		聖ニコラオ(12.6)
	年間第24火曜日		牧者共通
	聖モニカ(8.27) 葬儀		叙階式
7・18b-23	待降節第3水曜日 病者の塗油	10・1-12	司祭のため
7・24-30	待降節第3木曜日	10・1-12, 17-20	教会の奉仕者のため
7・31-35	年間第24水曜日	10・5-6, 8-9	年間第26木曜日
7・36-50	年間第11主日(C)* 年間第24木曜日	10・13-16 10・17-24	年間第14主日(C)
	罪のゆるしを願って		病者の塗油
7・36~8・3	年間第11主日(C)	10・21-24	年間第26土曜日
8・1-3	年間第24金曜日		感謝のため
8・4-15	年間第24土曜日	10・25-37	待降節第1火曜日
8・4-10a, 11b-15	堅信式		堅信式
8・16-18	年間第25月曜日		年間第15主日(C)
8・19-21	年間第25火曜日		年間第27月曜日
9・1-6	年間第25水曜日	10・38-42	病者の塗油
9・7-9	年間第25木曜日		難民のため
9・11b-17	キリストの聖体(C) 祭壇奉仕者選任式 聖体(信心)		年間第16主日(C)
			年間第27火曜日
9・18-22	年間第25金曜日		聖スコラスチカ(2.10)
9・18-24	年間第12主日(C)		聖マルタ(7.29)
9・22-25	灰の式後木曜日		おとめ共通
9・23-26	聖アガタ(2.6) 聖ジェオルジオ(4.23) 聖アンデレ金と同志殉教者(9.20) 殉教者共通	11・1-4 11・1-13 11・5-13	聖人・聖女共通 奉獻式・修道誓願式 修道者のため
9・28b-36	四旬節第2主日(C) 主の変容(8.6)(C)	11・14-23 11・15-26	年間第27水曜日 年間第17主日(C) 年間第27木曜日 病者の塗油
			四旬節第3木曜日 年間第27金曜日

	カリスとパテナの祝福	1・57-66, 80	洗礼者聖ヨハネの誕生(6. 24)
	聖体(信心)	1・67-79	12月24日
	イエスの御血(信心)	2・1-14	主の降誕夜半
14・32-41	十字架(信心)	2・15-20	聖母マリア共通
14・55-65	十字架(信心)	2・15b-19	主の降誕早朝
15・1-15	十字架(信心)	2・16-21	聖母マリア共通
15・1-39	受難の主日ミサ(B)*	2・16-21	神の母聖マリア(1, 1)
15・16-20	十字架(信心)	2・22-32	イエスのみ名(信心)
	聖体(信心)	2・22-35	主の奉獻(2. 2)*
	イエスの御血(信心)	2・22-40	12月29日(主の降誕第5日)
15・33-39	葬儀*	2・22-40	聖家族(B)
15・33-46	洗礼を受けていない幼子の葬儀	2・27-35	主の奉獻(2. 2)
15・33-39; 16・1-6	十字架(信心)	2・27-35	聖家族(B)*
	葬儀	2・33-35	聖母マリア共通
16・1-7	復活徹夜祭(B)	2・36-40	悲しみの聖母(9, 15)
	復活主日日中(B)	2・41-51	12月30日(主の降誕第6日)
16・9-15	復活の土曜日	2・41-51a	聖母のみ心
16・15-18	聖パウロの回心(1. 25)	2・41-52	聖ヨセフ(3, 19)
16・15-20	主の昇天(B)	3・1-6	聖家族(C)
	聖プラジオ(2, 3)	3・7-18	聖母マリア共通
	聖マルコ(4. 25)	3・10-18	待降節第2主日(C)
	聖フランシスコ・ザビエル(12. 3)	3・15-16, 21-22	和解のため
	牧者共通(宣教師)	3・23-38	待降節第3主日(C)
	病者の塗油	3・23, 31-34, 36, 38	主の洗礼(C)
	教会の奉仕者のため	4・1-13	1月6日
	福音宣教のため	4・14-22a	1月6日*
	病者のため	4・16-21	四旬節第1主日(C)
16・15-16, 19-20	復活徹夜祭以外のときの入信式	4・16-22a	公現後木曜日
		4・16-30	聖木曜日・聖香油
		4・21-30	朗誦奉仕者選任式
		4・24-30	堅信式
1・1-4; 4・14-21	年間第3主日(C)	4・31-37	年間第22月曜日
1・5-17	洗礼者聖ヨハネの誕生前晚(6. 24)	4・38-44	年間第4主日(C)
1・5-25	12月19日	5・1-11	四旬節第3月曜日
1・26-38	待降節第4主日(B)	5・12-16	年間第22火曜日
	12月20日	5・17-26	年間第22水曜日
	神のお告げ(3. 25)	5・27-32	年間第5主日(C)
	天の元后聖マリア(8. 22)	5・33-39	年間第22木曜日
	ロザリオの聖母(10. 7)	6・1-5	聖パトリック(3. 17)
	無原罪の聖マリア(12. 8)	6・6-11	聖ヨハネ・レオナルディ(10. 9)
	聖母マリア共通	6・12-19	牧者共通(宣教師)
	奉獻式・修道誓願式		助祭・司祭候補者認定式
1・39-45	待降節第4主日(C)		司祭・修道生活への召命のため
	12月21日		公現後金曜日
1・39-47	聖母マリア共通		待降節第2月曜日
	マリアのみ名(信心)		灰の式後土曜日
1・39-55	感謝のため		年間第22金曜日
1・39-56	聖母の訪問(5. 31)		年間第22土曜日
	聖母の被昇天(8. 15)		年間第23月曜日
1・46-56	12月22日		年間第23火曜日
1・57-66	12月23日		

4・21-25	年間第3木曜日	9・38-40	年間第7水曜日
4・26-29	種まきのとき	9・38-43, 45, 47-48	年間第26主日(B)
4・26-34	年間第11主日(B)	9・41-50	年間第7木曜日
	年間第3金曜日	10・1-12	年間第7金曜日
4・35-41	年間第12主日(B)	10・2-12	年間第27主日(B)*
	年間第3土曜日	10・2-16	年間第27主日(B)
	病者の塗油	10・6-9	結婚式
	地震のとき・雨を願って・晴天を願って・嵐や台風のとき・困難のとき	10・13-16	年間第7土曜日
5・1-20	年間第4月曜日		聖アントニオ・マリア・ザカリヤ(7.5)
5・18-20	感謝のため		聖人・聖女共通(教育)
5・21-43	年間第13主日(B)		復活徹夜祭以外のときの入信式
	年間第4火曜日	10・17-27	幼児洗礼式
5・21-24, 35b-43	年間第13主日(B)*		年間第28主日(B)*
6・1-6	年間第14主日(B)		年間第8月曜日
	年間第4水曜日		聖ヒエロニモ・エミリアニ(2.8)*
6・7-13	年間第15主日(B)		聖人・聖女共通(修道者)*
	年間第4木曜日	10・17-30	司祭・修道生活への召命のため
6・14-29	年間第4金曜日		年間第28主日(B)
6・17-29	洗礼者聖ヨハネの殉教(8.29)		聖ヒエロニモ・エミリアニ(2.8)
6・30-34	年間第16主日(B)		聖人・聖女共通(修道者)
	年間第4土曜日	10・24b-30	奉獻式・修道誓願式
	公会議・教会会議・黙想会・司牧集会	10・28-30	司祭・修道生活への召命のため
6・34-44	公現後火曜日	10・28-31	年間第8火曜日
	飢餓のとき・飢えに苦しむ人のため	10・32-45	年間第8水曜日
6・45-52	公現後水曜日	10・35-45	年間第29主日(B)
6・53-56	年間第5月曜日	10・42-45	年間第29主日(B)*
7・1-13	年間第5火曜日	10・46-52	年間第30主日(B)
7・1-8, 14-15, 21-23	年間第22主日(B)	11・1-10	年間第8木曜日
7・14-23	年間第5水曜日	11・11-26	病者の塗油
7・24-30	年間第5木曜日	11・27-33	受難の主日・枝の行列(B)
7・31-37	年間第23主日(B)	12・1-12	年間第8金曜日
	年間第5金曜日		年間第8土曜日
8・1-10	年間第5土曜日	12・13-17	年間第9月曜日
8・11-13	年間第6月曜日	12・18-27	十字架(信心)
8・14-21	年間第6火曜日	12・28b-31	年間第9火曜日
8・22-26	年間第6水曜日	12・28b-34	年間第9水曜日
8・27-33	年間第6木曜日		幼児洗礼式*
8・27-35	年間第24主日(B)		四旬節第3金曜日
8・31-34	十字架(信心)		年間第31主日(B)
8・34~9・1	年間第6金曜日	12・35-37	年間第9木曜日
9・2-10	四旬節第2主日(B)	12・38-44	年間第32主日(B)
	主の変容(8.6)(B)		年間第9土曜日
9・2-13	年間第6土曜日	12・41-44	年間第32主日(B)*
9・14-29	年間第7月曜日	13・24-32	年間第33主日(B)
9・30-37	年間第25主日(B)	13・33-37	待降節第1主日(B)
	年間第7火曜日	14・1~15・47	受難の主日ミサ(B)
9・34-37	聖アンジェラ・メリチ(1.27)	14・12-16, 22-26	キリストの聖体(B)
	聖人・聖女共通(教育)		祭壇奉仕者選任式

	堅信式		幼児洗礼式
	信徒のため		堅信式
	祖国・政治に携わる人・国際的会合・		四旬節第1主日(B)
	国家元首・諸民族の発展のため		年間第3主日(B)
	労働の祝福		年間第1月曜日
25・31-40	聖ヨハネ・ア・デオ(3.8)	1・12-15	聖アンスガリオ(2.3)
	聖エリザベト(ボルトガル)(7.4)*	1・14-20	聖ペトロ・シャネル(4.28)
	聖ペトロ・クラベル(9.9)		聖ルイ・マリー・グリニヨン・ド・
	聖マルチノ(ツール)(11.11)		モンフォール(4.28)
	聖人・聖女共通(社会福祉)		聖アントニオ・マリア・クラレ(10.24)
	病者の塗油		牧者共通
25・31-46	王であるキリスト(A)	1・21-28	助祭・司祭候補者認定式
	四旬節第1月曜日		年間第4主日(B)
	聖エリザベト(ボルトガル)(7.4)		年間第1火曜日
	聖人・聖女共通	1・29-39	年間第5主日(B)
	祖国・政治に携わる人・国際的会合・		年間第1木曜日
	国家元首・諸民族の発展のため	1・35-39	朗誦奉仕者選任式
	飢餓のとき・飢えに苦しむ人のため	1・40-45	年間第6主日(B)
	難民のため		年間第1木曜日
	自由を奪われた人・投獄された人のため	2・1-12	年間第7主日(B)
	葬儀		年間第1金曜日
26・14-25	受難の水曜日		病者の塗油
26・14～27・66	受難の主日ミサ(A)	2・13-17	年間第1土曜日
26・47-56	十字架(信心)*	2・18-22	年間第8主日(B)
27・11-54	受難の主日ミサ(A)*		年間第2月曜日
27・33-50	十字架(信心)	2・23-28	年間第9主日(B)*
28・1-10	復活徹夜祭(A)		年間第2火曜日
	復活主日日中(A)	2・23～3・6	年間第9主日(B)
28・8-15	復活の月曜日	3・1-6	年間第2水曜日
28・16-20	主の昇天(A)	3・7-12	年間第2木曜日
	三位一体(B)	3・13-19	年間第2金曜日
	日本二十六聖人殉教者(2.5)	3・20-21	年間第2土曜日
	聖ルイ・マリー・グリニヨン・ド・	3・20-35	年間第10主日(B)
	モンフォール(4.28)	3・22-30	年間第3月曜日
	日本二百五福者殉教者(9.10)	3・31-35	年間第3火曜日
	聖ヨハネ・ブレーフ 聖イザーク・		聖マリア・マグダレナ(パジ)(5.25)
	ジョーグと同志殉教者(10.19)		聖ヨハンナ・フランシスカ・ド・
	牧者共通(宣教師)		シャンタル(8.12)
	教会のため		聖ヘドビッヒ(10.16)
	司祭のため		聖人・聖女共通
	福音宣教のため		奉獻式・修道誓願式
28・18-20	復活徹夜祭以外のときの入信式		修道者のため
	幼児洗礼式	4・1-9	信徒のため
			聖ヨハネ・クリゾストモ(9.13)*
			教会博士共通*
マルコによる福音書			信徒のため
1・1-8	待降節第2主日(B)	4・1-20	年間第3水曜日
1・1-8, 14-15	罪のゆるしを願って	4・1-10, 13-20	聖ラウレンティオ(プリンディジ)(7.21)
1・7-11	主の洗礼(B)		聖ヨハネ・クリゾストモ(9.13)
	1月6日		教会博士共通
1・9-11	復活徹夜祭以外のときの入信式		

17・22-27	年間第19月曜日	21・33-43, 45-46	四旬節第2金曜日
18・1-5	聖ヨハネ・ボスコ(1.31) 聖ヨハネ・バプティスタ(ラ・サー ル)(4.7) 聖ヨセフ・カラサンス(8.25) 聖テレジア(幼いイエスの)(10.1) 聖人・聖女共通	22・1-10 22・1-14 22・15-21 22・34-40	年間第28主日(A)* 年間第28主日(A) 年間第20木曜日 年間第29主日(A) 祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため 年間第30主日(A) 年間第20金曜日
18・1-5, 10 18・1-5, 10, 12-14 18・12-14 18・15-20	守護の天使(10.2) 年間第19火曜日 待降節第2火曜日 年間第23主日(A) 年間第19水曜日 教会のため 公会議・教会会議・默想会・司牧 集会 愛を願って・一致を深めるため・ 親戚や友人のため	22・35-40	聖フランシスカ(ローマ)(3.9) 聖アロイジオ・ゴンザガ(6.21) 聖ルイ(8.25) 聖マルチノ・デ・ポレス(11.3) 聖人・聖女共通 幼児洗礼式 結婚式
18・19-22 18・21-35	キリスト者の一致のため 年間第24主日(A)	23・1-12	年間第31主日(A) 四旬節第2火曜日
18・21~19・1 19・3-6 19・3-12	四旬節第3火曜日 年間第19木曜日 結婚式 年間第19金曜日 おとめ共通 聖人・聖女共通(修道者) 奉獻式・修道誓願式 修道者のため	23・8-12	年間第20土曜日 聖バジリオ 聖グレゴリオ(ナジ アンズ)(1.2) 聖トマス・アクィナス(1.28) 聖ボナベントゥラ(7.15) 聖アウグスチヌス(8.28) 牧者共通 教会博士共通 大修道院長祝福式
19・13-15 19・16-22 19・16-26	年間第19土曜日 年間第20月曜日 聖アントニオ(1.17)	23・13-22 23・23-26 23・27-32	年間第21月曜日 年間第21火曜日 年間第21水曜日
19・23-30 19・27-29	奉獻式・修道誓願式 年間第20火曜日 聖母のもべ会七聖人(2.17) 聖ベネディクト(7.11) 聖クララ(8.11) 聖人・聖女共通	24・4-13 24・37-44 24・42-51 25・1-13	ローマ教会最初の殉教者たち(6.30) 待降節第1主日(A) 年間第21木曜日 年間第32主日(A) 年間第21金曜日 聖セシリ亞(11.22)
20・1-16	年間第25主日(A) 年間第20水曜日	25・14-15, 19-21	聖ルチア(12.13) おとめ共通
20・17-28 20・20-28	四旬節第2水曜日 聖ヤコブ(7.25) カリスとパテナの祝福 司祭のため 教会の奉仕者のため	25・14-23	聖人・聖女共通 奉獻式・修道誓願式 よい死を願って 葬儀
20・25-28	神のいつくしみ(信心) 受難の主日・枝の行列(A)	25・14-30	年間第33主日(A)* 聖ステファノ(ハンガリー)(8.16)* 聖人・聖女共通*
21・1-11 21・23-27 21・28-32	待降節第3月曜日 年間第26主日(A) 待降節第3火曜日 年間第27主日(A)		年間第33主日(A) 年間第21土曜日 聖ステファノ(ハンガリー)(8.16) 聖ヨハネ(ダマスコ)(12.4) 聖人・聖女共通
21・33-43			

10・37-42	年間第13主日(A)		聖人・聖女共通
11・2-11	待降節第3主日(A)	13・44-52	年間第17主日(A)
11・11-15	待降節第2木曜日	13・47-52	聖ヒエロニモ(9.30)
11・16-19	待降節第2金曜日		聖アルベルト(11.15)
11・20-24	年間第15火曜日		教会博士共通
11・25-27	年間第15水曜日	13・47-53	年間第17木曜日
11・25-30	年間第14主日(A)	13・54-58	年間第17金曜日
	イエスのみ心(A)		労働者聖ヨセフ(5.1)
	聖カタリナ(シエナ)(4.29)	14・1-12	年間第17土曜日
	聖パンクラチオ(5.12)	14・13-21	年間第18主日(A)
	聖ヨハネ・ユード(8.19)		年間第18月曜日
	聖フランシスコ(アシジ)(10.4)	14・22-33	年間第19主日(A)
	聖マルガリタ・マリア・アラコク(10.16)		聖ペトロ教会と聖パウロ教会の 歎堂(11.18)
	聖人・聖女共通		年間第18月曜日(14・13-21をA 年年間第18主日に読んだとき)
	カトリック教会以外で洗礼を受 けた人を受け入れる式	14・22-36	年間第18火曜日
	病者の塗油		年間第18火曜日(14・22-36をA 年年間第18月曜日に読んだと き)
	奉獻式・修道誓願式	15・1-2, 10-14	年間第20主日(A)
	修道者のため		年間第18水曜日
	感謝のため		病者の塗油
	イエスのみ心(信心)	15・21-28	待降節第1水曜日
	葬儀		信条の授与
	洗礼を受けた幼子の葬儀	15・29-31	聖ペトロの使徒座(2.22)
	洗礼を受けていない幼子の葬儀	15・29-37	聖グレゴリオ七世(5.25)
11・28-30	待降節第2水曜日	16・13-18	聖ペトロ 聖パウロ(6.29)
	年間第15木曜日	16・13-19	聖レオ一世(11.10)
12・1-8	年間第15金曜日		聖クレメンス一世(11.23)
12・14-21	年間第15土曜日		聖シルベストロ一世(12.31)
12・38-42	年間第16月曜日		教会献堂記念共通
12・46-50	年間第16火曜日		牧者共通(教皇)
	カルメル山の聖母(7.16)		教会のため
	聖マリアの奉獻(11.21)		年間第21主日(A)
	聖母マリア共通		年間第18木曜日
13・1-9	年間第15主日(A)*	16・13-20	年間第22主日(A)
	年間第16水曜日	16・13-23	聖パウロ(十字架の)(10.19)
	種まきのとき		聖トマス・ベケット(12.29)
13・1-23	年間第15主日(A)	16・21-27	聖人・聖女共通
13・10-17	年間第16木曜日	16・24-27	復活徹夜祭以外のときの入信式
13・16-17	聖マリアの両親聖ヨアキムと聖 アンナ(7.26)		堅信式
13・18-23	年間第16金曜日		奉獻式・修道誓願式
13・24-30	年間第16主日(A)*		修道者のため
	年間第16土曜日		信徒のため
13・24-43	年間第16主日(A)	16・24-28	年間第18金曜日
13・31-35	年間第17月曜日		四旬節第2主日(A)
13・36-43	年間第17火曜日		主の変容(8.6)(A)
13・44-46	年間第17主日(A)*	17・1-9	待降節第2土曜日
	年間第17水曜日	17・10-13	年間第18土曜日
	聖アグネス(1.21)		
	聖ローヴィ(リマ)(8.23)	17・14-20	

	戦争・紛争のとき	8・14-17	病者の塗油*
5・20-26	四旬節第1金曜日	8・18-22	病者のため
	年間第10木曜日	8・23-27	年間第13月曜日
5・20-22a, 27-28, 33- 34a, 37	年間第6主日(A)*	8・28-34	年間第13水曜日
5・23-24	祭壇の奉獻	9・1-8	年間第13木曜日
5・27-32	年間第10金曜日	9・9-13	罪のゆるしを願って
5・33-37	年間第10土曜日	9・14-15	年間第10主日(A)
5・38-42	年間第11月曜日	9・14-17	年間第13金曜日
5・38-48	年間第7主日(A) 祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため 平和と正義のため 敵対する人のため	9・18-26 9・27-31	聖マタイ(9, 21) 灰の式後金曜日 年間第13土曜日 年間第14月曜日 待降節第1金曜日
5・43-48	四旬節第1土曜日 年間第11火曜日	9・32-38 9・35-38	年間第14火曜日 聖トゥリビオ(モンゴロベホ)(3, 23) 聖アウグスチヌス(カンタベリー)(5, 27) 聖ビンセンチオ・ア・パウロ(9, 27)
6・1-6, 16-18	灰の水曜日 年間第11水曜日		牧者共通 叙階式
6・7-15	四旬節第1火曜日 年間第11木曜日		助祭・司祭候補者認定式 司祭・修道生活への召命のため
6・9-13	主の祈りの授与	9・35~10・1	聖ヨハネ・マリア・ビアンネ(8, 4)
6・19-23	年間第11金曜日	9・35~10・1, 5a, 6-8	待降節第1土曜日
6・24-34	年間第8主日(A) 年間第11土曜日	9・36~10・8	年間第11主日(A)
6・31-34	年の始め 労働の祝福	10・1-5a	叙階式
7・1-5	年間第12月曜日	10・1-7	年間第14水曜日
7・6, 12-14	年間第12火曜日	10・7-13	聖バルナバ(6, 11)
7・7-11	地震のとき・雨を願って・晴天を願 って・嵐や台風のとき・困難のとき 感謝のため	10・7-15 10・16-23 10・17-22	年間第14木曜日 年間第14金曜日 聖ビンセンチオ(1, 22)
7・7-12	四旬節第1木曜日		聖ネレオ 聖アキレオ(5, 12)
7・15-20	年間第12水曜日		聖アンデレ・ジョン・ラクと同志
7・21, 24-25	結婚式*		殉教者(11, 24)
7・21, 24-27	待降節第1木曜日		聖ステファノ(12, 26)
7・21, 24-29	結婚式		殉教者共通
7・21-27	年間第9主日(A) 聖ハインリッヒ(7, 13)	10・22-25a	迫害されるキリスト者のため
	聖人・聖女共通	10・24-33	聖アナシオ(5, 2)
7・21-29	年間第12木曜日 聖アンセルモ(4, 21)	10・26-33	年間第14土曜日
	聖ベダ(5, 25)	10・28-33	年間第12主日(A)
	聖ロベルト・ベラルミノ(9, 17)		迫害されるキリスト者のため
	教会博士共通		聖セバスチアノ(1, 20)
8・1-4	年間第12金曜日 病者の塗油	10・34-39	聖シスト二世と同志殉教者(8, 7)
8・5-11	待降節第1月曜日		聖コスマ 聖ダミアノ(9, 26)
8・5-13	病者の塗油*		殉教者共通
8・5-17	年間第12土曜日 病者の塗油	10・34~11・1	聖ペレペトウア 聖フェリチタス(3, 7)
			聖ヨハネ・フィッシャー 聖トマス・ モア(6, 22)
			殉教者共通
			年間第15月曜日

42・15-25	年間第8木曜日(Ⅰ)	3・9-15, 32~4・4	復活徹夜祭
44・1, 9-13	年間第8金曜日(Ⅰ)	4・5-12, 27-29	年間第26土曜日(Ⅰ)
44・1, 10-15	聖マリアの両親聖ヨアキムと聖 アンナ(7.26)	5・1-9	待降節第2主日(C)
47・2-11	年間第4金曜日(Ⅱ)		<b>ダニエル書補遺</b>
48・1-4, 9-11	待降節第2土曜日	2, 11-20	アザルヤの祈りと三人の若者の賛歌
48・1-14	年間第11木曜日(Ⅱ)		四旬節第3火曜日
50・22-24	感謝のため		迫害されるキリスト者のため
51・1-8	殉教者共通		地震のとき・雨を願って・晴天を願
51・8-12	イエスのみ名(信心)		って・嵐や台風のとき・困難のとき
51・12-20	年間第8土曜日(Ⅰ)		
<b>パルク書</b>			<b>ダニエル書補遺・スザンナ</b>
1・15b-22	年間第26金曜日(Ⅰ)	1-9, 15-17, 19-30, 33-62 41c-62	四旬節第5月曜日 四旬節第5月曜日*

## 新約聖書

### マタイによる福音書

1・1-17	12月17日
1・1-16, 18-23	聖マリアの誕生(9.8) 聖母マリア共通
1・1-25	主の降誕前晩
1・16, 18-21, 24a	聖ヨセフ(3.19)
1・18-23	聖マリアの誕生(9.8)* 聖母マリア共通*
1・18-24	待降節第4主日(A)
	12月18日
1・18-25	主の降誕前晩* イエスのみ名(信心)
2・1-12	主の公現
2・13-18	幼子殉教者(12.28)
2・13-15, 19-23	聖家族(A) 聖母マリア共通
	難民のため
3・1-12	待降節第2主日(A)
3・13-17	主の洗礼(A)
4・1-11	四旬節第1主日(A)
4・12-17	年間第3主日(A)*
4・12-17, 23-25	公現後月曜日
4・12-23	年間第3主日(A)
4・18-22	聖アンデレ(11.30)
5・1-12	年間第10月曜日
5・1-12a	年間第4主日(A)
	聖カロロ・ルワンガと同志殉教者(6.3)
	聖エウセビオ(ペルチェリ)(8.2)
	諸聖人(11.1)
	聖人・聖女共通
	堅信式
	病者の塗油

### 結婚式

5・2-12a	奉獻式・修道誓願式
5・13-16	信徒のため 迫害されるキリスト者のため 祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため 平和と正義のため 和解のため 葬儀
	カトリック教会以外で洗礼を受 けた人を受け入れる式
5・13-19	年間第5主日(A) 年間第10火曜日 聖ディオニジオと同志殉教者 (10.9) 聖人・聖女共通 カトリック教会以外で洗礼を受 けた人を受け入れる式
	叙階式
	結婚式
5・14-19	聖ヒラリオ(1.13) 聖ユスチノ(6.1)
5・17-19	聖チリオ(アレキサンドリア)(6.27) 聖アルフォンソ(リゴリ)(8.1)
5・17-37	聖ペトロ・カニジオ(12.21) 教会博士共通
5・20-24	朗誦奉仕者選任式 四旬節第3水曜日 年間第10水曜日 年間第6主日(A) 祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため

11・5-17	年間第9金曜日(I)	3・1-6, 9	葬儀
12・1, 5-15, 20	年間第9土曜日(I)	4・7-15	葬儀*
12・6-13	聖人・聖女共通(社会福祉)	6・1-11	葬儀
12・6-14a	聖ヒエロニモ・エミリアニ(2, 8)	6・12-16	年間第32水曜日(I)
<b>ユディト記</b>		7・7-11	年間第32主日(A)
8・2-8	聖人・聖女共通(やもめ)	7・7-10, 15-16	年間第28主日(B)
<b>エステル記(ギリシア語)</b>		7・22b~8・1	聖トマス・アクイナス(1, 28)
C・1-4, 8-10	迫害されるキリスト者のため 祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため 地震のとき・雨を願って・晴天を願 って・嵐や台風のとき・困難のとき	9・9-11, 13-18	教会博士共通 病者の塗油
C・1-7, 10	聖人・聖女共通	9・13-18	年間第23主日(C)
C・12, 14-16, 23-25	四旬節第1木曜日	11・22~12・2	年間第31主日(C)
		12・13, 16-19	年間第16主日(A)
		13・1-9	年間第32金曜日(I)
		18・6-9	年間第19主日(C)
		18・14-16; 19・6-9	年間第32土曜日(I)
<b>マカバイ記一</b>			
1・10-15, 41-43, 54-57, 62-64	年間第33月曜日(I)	シラ書(集会の書)	年間第7月曜日(I)
2・15-30	年間第33木曜日(I)	1・1-10	年間第7火曜日(I)
2・49-52, 57-64	迫害されるキリスト者のため	2・1-11	聖カエタノ(8, 7)
4・36-37, 52-59	年間第33金曜日(I)	2・7-13	聖人・聖女共通
4・52-59	祭壇の奉獻	3・2-6, 12-14	聖家族
6・1-13	年間第33土曜日(I)	3・17-24	聖人・聖女共通
		3・17-18, 20, 28-29	年間第22主日(C)
		4・11-19	年間第7水曜日(I)
		5・1-8	年間第7木曜日(I)
		6・5-17	年間第7金曜日(I)
		15・1-6	聖ペルナルド(8, 20)
		15・15-20	聖アルベルト(11, 15)
		17・1-15	教会博士共通
7・1, 20-23, 27b-29	殉教者共通	17・24-29	年間第6主日(A)
7・1, 20-31	年間第33水曜日(I)	24・1-2, 8-12	年間第7土曜日(I)
12・43-46	葬儀	24・1・3-4, 8-12, 19-21	年間第8月曜日(I)
		26・1-4, 13-16	降誕後第2主日(日本では主の 公現を祝うので朗誦しない)
<b>知恵の書</b>			聖母マリア共通
1・1-7	年間第32月曜日(I)		聖モニカ(8, 27)
1・13-15; 2・23-24	年間第13主日(B)		聖ヘドビッヒ(10, 16)
2・1a, 12-22	四旬節第4金曜日		聖人・聖女共通
	十字架(信心)		結婚式
2・12, 17-20	年間第25主日(B)	27・4-7	年間第8主日(C)
2・23~3・9	年間第32火曜日(I)	27・30~28・7	年間第24主日(A)
3・1-9	聖シスト二世と同志殉教者(8, 7)	35・1-12	年間第8火曜日(I)
	聖アンデレ金と同志殉教者(9, 20)	35・15b-17, 20-22a	年間第30主日(C)
	聖コスマ 聖ダミアノ(9, 26)	36・1-2, 5-6, 13-22	年間第8水曜日(I)
	聖アンデレ・ジュン・ラクと同志 殉教者(11, 24)	39・1b, 5-8	助祭・司祭候補者認定式
	殉教者共通	39・6-11	聖レオ一世(11, 10)
			教会博士共通

2・21-24, 26-27	罪のゆるしを願って 収穫の感謝	ナホム書 2・1, 3; 3・1-3, 6-7	年間第18金曜日(II)
2・23a, 26~3・3a	堅信式	ハバクク書 1・2-3; 2・2-4	年間第27主日(C)
3・1-5	聖靈降臨前晩	1・12~2・4	年間第18土曜日(II)
3・1b-5	信徒のため		
4・12-21	年間第27土曜日(1)		
<b>アモス書</b>			
2・6-10, 13-16	年間第13月曜日(II)	ゼファニヤ書 2・3; 3・12-13	年間第4主日(A)
3・1-8; 4・11-12	年間第13火曜日(II)		聖人・聖女共通
5・4, 14-15, 21-24	和解のため	3・1-2, 9-13	待降節第3火曜日
5・14-15, 21-24	年間第13水曜日(II)	3・14-15	感謝のため
6・1a, 4-7	年間第26主日(C)	3・14-17	待降節第3主日(C)
7・10-17	年間第13木曜日(II)	12月21日	
7・12-15	年間第15主日(B)	3・14-18	聖母の訪問(5.31)
8・4-7	年間第25主日(C)	3・14-18a	教会のため
8・4-6, 9-12	年間第13金曜日(II)	3・16-20	キリスト者の一致のため
9・11-15	年間第13土曜日(II)		
<b>ヨナ書</b>			
1・1~2・1, 11	年間第27月曜日(1)	ハガイ書 1・1-8	年間第25木曜日(I)
3・1-10	四旬節第1水曜日	1・15b~2・9	年間第25金曜日(I)
	年間第27火曜日(1)		
	罪のゆるしを願って		
3・1-5, 10	年間第3主日(B)	ゼカリヤ書 2・5-9, 14-15a	年間第25土曜日(I)
3・10~4・11	福音宣教のため	2・14-17	カルメル山の聖母(7.16)
4・1-11	年間第27水曜日(1)		聖マリアの奉獻(11.21)
<b>ミカ書</b>			
2・1-5	年間第15土曜日(II)		聖母マリア共通
4・1-4	戦争・紛争のとき	8・1-8	年間第26月曜日(I)
5・1-4a	待降節第4主日(C)	8・20-23	年間第26火曜日(I)
	聖マリアの誕生(9.8)		福音宣教のため
	聖母マリア共通	9・9-10	年間第14主日(A)
6・1-4, 6-8	年間第16月曜日(II)	12・10-11; 13・1	戦争・紛争のとき
6・6-8	聖ハイインリッヒ(7.13)	12・10-11; 13・6-7	年間第12主日(C)
	聖人・聖女共通		十字架(信心)
7・7-9	四旬節第4週任意ミサ		
7・14-15, 18-20	四旬節第2土曜日	マラキ書 1・14b~2・2b, 8-10	年間第31主日(A)
	年間第16火曜日(II)	3・1-4	主の奉獻(2.2)
		3・1-4, 23-24	12月23日
		3・13-20a	年間第27木曜日(I)
		3・19-20a	年間第33主日(C)

## 旧約聖書統編

トビト記	6・10-11; 7・1, 9-17;
1・3; 2・1b-8	8・4-9a
2・9-14	年間第9木曜日(I)
3・1-11a, 16-17a	7・6-14
	結婚式
	8・4b-8
	聖人・聖女共通
	結婚式

	復活徹夜祭以外のときの入信式	聖霊降臨前晩
	和解のため	四旬節第5主日(A)
31・31-37	奉獻式・修道誓願式	キリスト者の一致のため
33・14-16	待降節第1主日(C)	四旬節第5土曜日
38・4-6, 8-10	年間第20主日(C)	年間第20土曜日(II)
		教会献堂記念共通
		四旬節第4火曜日
		幼児洗礼式
哀歌		ラテラン教会の献堂(11.9)
2・2, 10-14, 18-19	年間第12土曜日(II)	教会献堂記念共通
3・17-26	地震のとき・雨を願って・晴天を願って・嵐や台風のとき・困難のとき	
	葬儀	
3・22-26	洗礼を受けた幼子の葬儀	
	洗礼を受けていない幼子の葬儀	
		<b>ダニエル書</b>
		1・1-6, 8-20 年間第34月曜日(I)
		2・31-45 年間第34火曜日(I)
		3・14-20, 24-25, 28 四旬節第5水曜日
		5・1-6, 13-14, 16-17, 23-28 年間第34水曜日(I)
		6・12-28 年間第34木曜日(I)
		7・2-14 年間第34金曜日(I)
		7・9-10, 13-14 主の変容(8.6)
		聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル(9.29)
		7・13-14 王であるキリスト(B)
		7・15-27 年間第34土曜日(I)
		9・4b-10 四旬節第2月曜日
		12・1-3 年間第33主日(B)
		葬儀
		<b>ホセア書</b>
		2・16, 17b-18, 21-22 年間第14月曜日(II)
		2・16, 21-22 奉獻式・修道誓願式
		修道者のため
		2・16b, 17b, 21-22 年間第8主日(B)
		聖セシリア(11.22)
		おとめ共通
		教会のため
		6・1-6 四旬節第3土曜日
		6・3-6 年間第10主日(A)
		8・4-7, 11-13 年間第14火曜日(II)
		10・1-3, 7-8, 12 年間第14水曜日(II)
		11・1-4, 8c-9 年間第14木曜日(II)
		11・1, 3-4, 8c-9 イエスのみ心(B)
		主の祈りの授与
		イエスのみ心(信心)
34・11-12, 15-17	王であるキリスト(A)	四旬節第3金曜日
36・16-17a, 18-28	復活徹夜祭	年間第14金曜日(II)
36・23-28	年間第20木曜日(II)	
36・24-28	復活徹夜祭以外のときの入信式	
	幼児洗礼式	
	堅信式	
	信徒のため	
	キリスト者の一致のため	
37・1-14	年間第20金曜日(II)	<b>ヨエル書</b>
		1・13-15; 2・1-2 年間第27金曜日(I)
		2・12-18 灰の水曜日

	病者の塗油	62・1-5	主の降誕前晩
	十字架(信心)		年間第2主日(C)
	永遠の大祭司キリスト(信心)		主の降誕早朝
53・1-5, 10-11	病者のため	63・7-9	感謝のため
53・10-11	年間第29主日(B)	63・16b-17, 19b; 64・2b-7	待降節第1主日(B)
54・1-10	待降節第3木曜日	65・17-21	四旬節第4月曜日
54・5-14	復活徹夜祭	66・10-14c	年間第14主日(C)
55・1-3	年間第18主日(A)		ルルドの聖母(2, 11)
55・1-3, 6-9	和解のため		聖テレジア(幼いイエスの)(10, 1)
55・1-11	主の洗礼(B)	66・18-21	年間第21主日(C)
	復活徹夜祭		
55・6-9	年間第25主日(A)		
	罪のゆるしを願って		
55・6-13	種まきのとき	1・1, 4-10	年間第16水曜日(II)
55・10-11	年間第15主日(A)	1・4-9	牧者共通
	四旬節第1火曜日		叙階式
	朗読奉仕者選任式		助祭・司祭候補者認定式
56・1, 6-7	年間第20主日(A)		司祭のため
	教会献堂記念共通		司祭・修道生活への召命のため
	教会のため	1・4-10	洗礼者聖ヨハネの誕生前晚(6, 24)
	福音宣教のため	1・4-5, 17-19	年間第4主日(C)
56・1-3a, 6-8	待降節第3金曜日	1・17-19	洗礼者聖ヨハネの殉教(8, 29)
57・15-19	平和と正義のため	2・1-3, 7-8, 12-13	年間第16木曜日(II)
58・1-9a	灰の式後金曜日	3・14-17	年間第16金曜日(II)
58・6-11	聖ルイ(8, 25)	7・1-11	年間第16土曜日(II)
	聖ペトロ・クラベル(9, 9)	7・23-28	四旬節第3木曜日
	聖マルガリタ(スコットランド)(11, 16)	11・18-20	四旬節第4土曜日
	聖人・聖女共通(社会福祉)	13・1-11	年間第17月曜日(II)
	祖国・政治に携わる人・国際的会合・	14・17b-22	年間第17火曜日(II)
	国家元首・諸民族の発展のため	15・10, 16-21	年間第17水曜日(II)
	飢饉のとき・飢えに苦しむ人のため	17・5-8	年間第6主日(C)
58・7-10	年間第5主日(A)	17・5-10	四旬節第2木曜日
58・9b-14	灰の式後土曜日	18・1-6	年間第17木曜日(II)
60・1-6	主の公現	18・18-20	四旬節第2水曜日
	教会のため	20・7-9	年間第22主日(A)
	福音宣教のため		聖人・聖女共通
61・1-3a	聖アントニオ(パドバ)(6, 13)	20・10-13	司祭・修道生活への召命のため
	聖マルチノ(ツール)(11, 11)		四旬節第5金曜日
	牧者共通		年間第12主日(A)
	叙階式(司教・司祭)	23・1-6	年間第16主日(B)
	病者の塗油	23・5-8	12月18日
	教皇・司教の選出のため	26・1-9	年間第17金曜日(II)
	司祭のため	26・11-16, 24	年間第17土曜日(II)
	聖木曜日・聖香油	28・1-17	年間第18月曜日(II)
61・1-3a, 6a, 8b-9	堅信式	30・1-2, 12-15, 18-22	年間第18火曜日(II)
61・1-2a, 10-11	待降節第3主日(B)	31・1-4	イエスのみ心(信心)
61・9-11	聖母のみ心	31・1-7	年間第18水曜日(II)
	聖母マリア共通	31・7-9	年間第30主日(B)
	奉獻式・修道誓願式	31・31-32a, 33-34a	結婚式
	修道者のため	31・31-34	四旬節第5主日(B)
			年間第18木曜日(II)

コヘレトの言葉	シャンタル(8.12) 聖人・聖女共通	25・6a, 7-9 25・6-10a	葬儀 洗礼を受けた幼子の葬儀 年間第28主日(A)
1・2-11	年間第25木曜日(II)	26・1-6	待降節第1水曜日 よい死を願って
1・2・2-21-23	年間第18主日(C)	26・7-9, 12, 16-19	待降節第1木曜日 年間第15木曜日(II)
3・1-11	年間第25金曜日(II)	29・17-24	待降節第1金曜日
11・9~12・8	年間第25土曜日(II)	30・19-21, 23-26	待降節第1土曜日
雅歌		32・15-18	祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため
2・8-14	12月21日 奉獻式・修道誓願式	35・1-10	平和と正義のため
2・8-10, 14, 16a; 8・6-7a	結婚式	35・1-6a, 10	待降節第2月曜日
3・1-4a	聖マリア(マグダラ)(7.22)	35・4-7a	病者の塗油
8・6-7	聖スコラスチカ(2.10) おとめ共通	38・1-6, 21-22, 7-8	待降節第3主日(A) 年間第23主日(B)
	奉獻式・修道誓願式	40・1-11	年間第15金曜日(II)
	修道者のため	40・1-5, 9-11	待降節第2火曜日 待降節第2主日(B)
イザヤ書			主の洗礼(C)
1・10-17	年間第15月曜日(II)	40・25-31	待降節第2水曜日
1・10, 16-20	四旬節第2火曜日	41・8-10, 13-14	迫害されるキリスト者のため
2・1-5	待降節第1主日(A)	41・13-20	待降節第2木曜日
	待降節第1月曜日	42・1-3	堅信式
	福音宣教のため	42・1-7	受難の月曜日
4・2-6	待降節第1月曜日(任意)	42・1-4, 6-7	主の洗礼
5・1-7	年間第27主日(A)	43・16-21	四旬節第5主日(C)
6・1-8	年間第14土曜日(II)	43・18-19, 21-22, 24b-25	年間第7主日(B)
	聖ニコラオ(12.6)	44・1-3	復活徹夜祭以外のときの入信式
	牧者共通	44・1-5	奉獻式・修道誓願式
6・1-2a, 3-8	年間第5主日(C)	45・1, 4-6	年間第29主日(A)
	助祭・司祭候補者認定式	45・6b-8, 18, 21b-25	待降節第3水曜日
6・1, 6-8	司祭・修道生活への召命のため	48・17-19	待降節第2金曜日
7・1-9	年間第15火曜日(II)	49・1-6	受難の火曜日
7・10-14	待降節第4主日(A)	12月20日	洗礼者聖ヨハネの誕生(6.24)
		49・3-5, 6	年間第2主日(A)
7・10-14; 8・10c	神のお告げ(3.25)	49・8-15	四旬節第4水曜日
	聖母マリア共通	49・13-15	イエスのみ心(信心)
8・23b~9・3	年間第3主日(A)	49・14-15	年間第8主日(A)
9・1-6	主の降誕夜半	50・4-7	受難の主日ミサ
	天の元后聖マリア(8.22)	50・4-9a	受難の水曜日
	聖母マリア共通	50・5-9a	敵対する人のため
	平和と正義のため	52・7-10	十字架(信心)
9・1-3, 5-6	主の降誕夜半*	50・5-9a	年間第24主日(B)
10・5-7, 13-16	年間第15水曜日(II)	52・7-10	主の降誕日中
11・1-4a	堅信式		聖アンスガリオ(2.3)
11・1-10	待降節第2主日(A)		聖アントニオ・マリア・クラレ(10.24)
	待降節第1火曜日		聖コロンバン(11.23)
22・19-23	年間第21主日(A)		牧者共通(宣教師)
25・6a, 7-8b	洗礼を受けていない幼子の葬儀	52・13~53・12	聖金曜日・主の受難

11・4-13	年間第5木曜日(II)	24・17-25	年間第11土曜日(II)
11・29-32; 12・19	年間第5金曜日(II)	24・18-22	殉教者共通
12・26-32; 13・33-34	年間第5土曜日(II)	36・14-16, 19-23	四旬節第4主日(B)
17・1-6	年間第10月曜日(II)		
17・7-16	年間第10火曜日(II)		
17・10-16	年間第32主日(B)		
17・17-24	年間第10主日(C)		
18・20-39	年間第10水曜日(II)		
18・41-46	年間第10木曜日(II)		
19・1-8	病者の塗油		
19・4-8	年間第19主日(B)		
	祭壇奉仕者選任式		
	臨終の聖体拝領		
	聖体(信心)		
19・4-9a, 11-15a	聖人・聖女共通(修道者)		
	奉獻式・修道誓願式		
	修道者のため		
19・9a, 11-13a	年間第19主日(A)	2・1-8	年間第26水曜日(I)
19・9a, 11-16	年間第10金曜日(II)	8・1-4a, 5-6, 7b-12	年間第26木曜日(I)
19・16b, 19-21	年間第13主日(C)	8・2-4a, 5-6, 8-10	年間第3主日(C)
	聖人・聖女共通(修道者)		朗誦奉仕者選任式
	奉獻式・修道誓願式		教会堂の奉獻
	修道者のため		
19・19-21	年間第10土曜日(II)		
21・1-16	年間第11月曜日(II)		
21・17-29	年間第11火曜日(II)		
<b>列王記下</b>			
2・1, 6-14	年間第11水曜日(II)	ヨブ記	
4・8-11, 14-16a	年間第13主日(A)	1・6-22	年間第26月曜日(II)
4・18b-21, 32-37	四旬節第5週任意ミサ	3・1-3, 11-17, 20-23	年間第26火曜日(II)
4・42-44	年間第17主日(B)		病者の塗油
5・1-15a	四旬節第3月曜日	7・1-4, 6-7	年間第5主日(B)
5・9-15a	復活徹夜祭以外のときの入信式	7・1-4, 6-11	病者の塗油
5・14-17	年間第28主日(C)	7・12-21	病者の塗油(臨終の人に)
11・1-4, 9-18, 20	年間第11金曜日(II)	9・1-12, 14-16	年間第26水曜日(II)
17・5-8, 13-15a, 18	年間第12月曜日(II)	19・1, 23-27a	葬儀
19・9b-11, 14-21, 31-		19・21-27	年間第26木曜日(II)
35a, 36	年間第12火曜日(II)	19・23-27a	病者の塗油
20・1-6	病者のため		臨終の聖体拝領
22・8-13; 23・1-3	年間第12水曜日(II)	31・16-20, 24-25, 31-32	祖国・政治に携わる人・国際的会合・
24・8-17	年間第12木曜日(II)		国家元首・諸民族の発展のため
25・1-12	年間第12金曜日(II)		飢餓のとき・飢えに苦しむ人のため
<b>歴代誌上</b>		38・1, 8-11	年間第12主日(B)
15・3-4, 15-16; 16・1-2	聖母の被昇天前晚(8.15)	38・1, 12-21; 40・3-5	年間第26金曜日(II)
	聖母マリア共通	42・1-3, 5-6, 12-17	年間第26土曜日(II)
<b>歴代誌下</b>			
5・6-10, 13-6・2	教会献堂記念共通		
<b>箴言</b>			
2・1-9		2・1-9	聖ベネディクト(7.11)
			大修道院長祝福式
		3・27-34	年間第25月曜日(II)
		4・7-13	大修道院長祝福式
		8・22-31	三位一体(C)
		9・1-6	聖母マリア共通
			年間第20主日(B)
			祭壇奉仕者選任式
			聖体(信心)
		21・1-6, 10-13	年間第25火曜日(II)
		30・5-9	年間第25水曜日(II)
		31・10-13, 19-20, 30-31	年間第33主日(A)
			聖フランシスカ(ローマ)(3.9)
			聖ヨハンナ・フランシスカ・ド・

8・2・3, 14b-16a	キリストの聖体(A) 祭壇奉仕者選任式 聖体(信心)	3・1-10 3・1-10, 19-20 3・3b-10, 19 4・1b-11 8・4-7, 10-22a 9・1-4, 17-19; 10・1 15・16-23 16・1-13 16・1b, 6-13a 16・1b, 6-7, 10-13a 17・32-33, 37, 40-51 18・6-9; 19・1-7 24・3-21 26・2, 7-9, 12-13, 22-23 26・4-10 26・16-19 30・1-4 30・10-14	奉獻式・修道誓願式 司祭・修道生活への召命のため 年間第1水曜日(II) 年間第2主日(B) 年間第1木曜日(II) 年間第1金曜日(II) 年間第1土曜日(II) 年間第2月曜日(II) 年間第2火曜日(II) 牧者共通 四旬節第4主日(A) 年間第2水曜日(II) 年間第2木曜日(II) 年間第2金曜日(II) 年間第7主日(C) 敵対する人のため
8・7-18	収穫の感謝	3・3b-10, 19	年間第2火曜日(II)
10・8-9	牧者共通	4・1b-11	年間第1木曜日(II)
10・12-22	聖人・聖女共通(修道者) 年間第19月曜日(I)	8・4-7, 10-22a 9・1-4, 17-19; 10・1 15・16-23	年間第1金曜日(II) 年間第1土曜日(II)
10・17-19	イエスのみ心(信心) 難民のため	16・1-13	年間第2月曜日(II)
11・18, 26-28, 32	年間第9主日(A)	16・1b, 6-13a	牧者共通
18・15-20	年間第4主日(B)	16・1b, 6-7, 10-13a	四旬節第4主日(A)
24・17-22	飢餓のとき・飢えに苦しむ人のため 難民のため	17・32-33, 37, 40-51 18・6-9; 19・1-7	年間第2水曜日(II) 年間第2木曜日(II)
26・4-10	四旬節第1主日(C)	24・3-21	年間第2金曜日(II)
26・16-19	四旬節第1土曜日	26・2, 7-9, 12-13, 22-23	年間第7主日(C)
30・1-4	キリスト者の一致のため		敵対する人のため
30・10-14	年間第15主日(C) 朗読奉仕者選任式 公会議・教会会議・默想会・司牧 集会のため		
30・15-20	灰の式後木曜日 復活徹夜祭以外のときの入信式	5・1-3 5・1-7, 10 6・12b-15, 17-19 7・1-5, 8b-11, 16 7・1-5, 8b-12, 14a, 16	王であるキリスト(C) 年間第3月曜日(II) 年間第3火曜日(II) 待降節第4主日(B)* 聖母マリア共通 待降節第4主日(B) 12月24日
31・1-8	年間第19火曜日(I)	7・4-5a, 12-14a, 16	聖ヨセフ(3.19)
34・1-12	年間第19水曜日(I)	7・4-17 7・18-19, 24-29 11・1-4a, 4c-10a, 13-17 12・1-7a, 10-17 12・7-10, 13 15・13-14, 30; 16・5-13a 18・9-10, 14b, 24-25a, 30~19・3	年間第3水曜日(II) 年間第3木曜日(II) 年間第3金曜日(II) 年間第3土曜日(II) 年間第11主日(C) 年間第4月曜日(II) 12月24日
ヨシュア記		24・2, 9-17	年間第4水曜日(II)
3・7-10a, 11, 13-17	年間第19木曜日(I)		
5・9a, 10-12	四旬節第4主日(C)		
8・30-35	祭壇の奉獻		
24・1-13	年間第19金曜日(I)		
24・1-2a, 15-17, 18b	年間第21主日(B)		
24・1-2a, 15-17, 18b-25a	復活徹夜祭以外のときの入信式		
24・14-29	年間第19土曜日(I)		
士師記			
2・11-19	年間第20月曜日(I)		
6・11-24a	年間第20火曜日(I)		
9・6-15	年間第20水曜日(I)		
11・29-39a	年間第20木曜日(I)		
13・2-7, 24-25	12月19日		
ルツ記			
1・1, 3-6, 14b-16, 22	年間第20金曜日(I)		
2・1-3, 8-11; 4・13-17	年間第20土曜日(I)		
サムエル記上			
1・1-8	年間第1月曜日(II)		
1・9-20	年間第1火曜日(II)		
1・20-22, 24-28	聖家族(C)	8・41-43	年間第9主日(C)
1・24-28	12月22日	8・55-61	感謝のため
		10・1-10	年間第5水曜日(II)

32・23-33	年間第14火曜日(1)	32・7-11, 13-14	年間第24主日(C)
35・1-4, 6-7a	復活徹夜祭以外のときの入信式	32・15-24, 30-34	年間第17月曜日(1)
37・3-4, 12-13a, 17b-28	四旬節第2金曜日	33・7-11; 34・5b-9, 28	年間第17火曜日(1)
41・55-57, 42・5-7a, 17-24a	年間第14水曜日(1)	34・4b-6, 8-9	三位一体(A) イエスのみ心(信心)
44・18-21a, 23b-29; 45・1-5	年間第14木曜日(1)	34・29-35	年間第17水曜日(1)
46・1-7, 28-30	年間第14金曜日(1)	40・16-21, 34-38	年間第17木曜日(1)
49・1-2, 8-10	12月17日		
49・29-33; 50・15-26a	年間第14土曜日(1)		
<b>出エジプト記</b>			
1・8-14, 22	年間第15月曜日(1)	13・1-2, 44-46	年間第6主日(B)(日本では創世記3・16-19に変更)
2・1-15a	年間第15火曜日(1)	19・1-2, 11-18	四旬節第1月曜日
3・1-6, 9-12	年間第15水曜日(1)	19・1-2, 17-18	年間第7主日(A) 聖人・聖女共通
3・1-8a, 13-15	司祭・修道生活への召命のため 四旬節第3主日(C)	23・1, 4-11, 15-16, 27, 34b-37	年間第17金曜日(1)
3・11-15	イエスのみ名(信心)	25・1, 8-17	年間第17土曜日(1)
3・13-20	年間第15木曜日(1)		
11・10~12・14	年間第15金曜日(1)		
12・1-8, 11-14	聖木曜日・主の晩さん 十字架(信心)		
12・21-27	聖体(信心) イエスの御血(信心)		
12・37-42	年間第15土曜日(1)		
14・5-18	年間第16月曜日(1)		
14・15~15・1a	復活徹夜祭		
14・21~15・1a	年間第16火曜日(1)		
16・1-5, 9-15	年間第16水曜日(1)		
16・2-4, 12-15	年間第18主日(B) 祭壇奉仕者選任式 聖体(信心)		
17・1-7	四旬節第3週の任意ミサ		
17・3-7	四旬節第3主日(A) 幼児洗礼式		
17・8-13	年間第29主日(C)		
19・1-2, 9-11, 16-20b	年間第16木曜日(1)		
19・2-6a	年間第11主日(A)		
19・3-8a, 16-20b	聖靈降臨前晚		
20・1-17	四旬節第3主日(B) 年間第16金曜日(1)		
20・1-3, 7-8, 12-17	四旬節第3主日(B)*		
22・20-26	年間第30主日(A)		
23・20-23	守護の天使(10, 2)		
24・3-8	キリストの聖体(B) 年間第16土曜日(1)		
	祭壇奉仕者選任式 聖体(信心)		
	イエスの御血(信心)		
32・7-14	四旬節第4木曜日 牧者共通	6・4-13 7・6-11	三位一体(B) 年間第9主日(B) 信条の授与 年間第31主日(B) 聖ステファノ(ハンガリー)(8, 16) 聖人・聖女共通 朗読奉仕者選任式 年間第18土曜日(1) イエスのみ心(A) イエスのみ心(信心)

## 聖書朗読箇所索引

### 凡例

- 聖人名の後の( )内は月日を示す。(3.25)=3月25日
- 各書の書名、および章・節の指示は『聖書 新共同訳』(日本聖書協会発行)に従う。
- 記号・略号
  - (A)=A年 (B)=B年 (C)=C年 (I)=第一年 (II)=第二年
  - (信心)=信心ミサ
- \*=長短二種類の本文が指示されている場合の短い朗読。

### 旧約聖書

#### 創世記

1・1-19	年間第5月曜日(I)
1・1, 26-31a	復活徹夜祭*
1・1~2・2	復活徹夜祭
1・11-12	種まきのとき
1・14-18	年の始め
1・20~2・4a	年間第5火曜日(I)
1・26-28, 31a	結婚式
1・26~2・3	労働者聖ヨセフ(5.1) 祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため 労働の祝福
2・4b-9, 15	祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため 労働の祝福
2・4b-9, 15-17	年間第5水曜日(I)
2・7-9; 3・1-7	四旬節第1主日(A)
2・18-24	年間第27主日(B) 結婚式
2・18-25	年間第5木曜日(I)
3・1-8	年間第5金曜日(I)
3・9-15	年間第10主日(B)
3・9-15, 20	無原罪の聖マリア(12.8) 聖母マリア共通 教会の母聖マリア(信心)
3・9-24	年間第5土曜日(I)
3・16-19	年間第6主日(B)(日本固有)
4・1-15, 25	年間第6月曜日(I)
4・3-10	祖国・政治に携わる人・国際的会合・ 国家元首・諸民族の発展のため 戦争・紛争のとき
6・5-8; 7・1-5, 10	年間第6火曜日(I)
8・6-13, 20-22	年間第6水曜日(I)
9・1-13	年間第6木曜日(I)
9・8-15	四旬節第1主日(B)
11・1-9	年間第6金曜日(I)

12・1-4a	聖靈降臨前晩 四旬節第2主日(A) 聖人・聖女共通 入門式 奉獻式・修道誓願式 司祭・修道生活への召命のため 聖母マリア共通 年間第12月曜日(I) 年間第12火曜日(I) キリストの聖体(C) 祭壇奉仕者選任式 聖体(信心) 復活徹夜祭以外のときの入信式 年間第12水曜日(I) 聖家族(B) 四旬節第2主日(C) 年間第12木曜日(I) 年間第12木曜日(I)* 復活徹夜祭以外のときの入信式 年間第12金曜日(I) 四旬節第5木曜日 年間第16主日(C) 年間第12土曜日(I) 年間第13月曜日(I) 年間第17主日(C) 年間第13火曜日(I) 年間第13水曜日(I) 復活徹夜祭 年間第13木曜日(I) 年間第13金曜日(I) 結婚式 年間第13土曜日(I) 年間第14月曜日(I) 祭壇の奉獻
12・1-7	年間第1-6, 18a
12・1-9	15・1-12, 17-18
13・2-5, 18	15・1-6; 21-1-3
14・18-20	15・5-12, 17-18
15・1-6, 18a	16・1-12, 15-16
15・1-12, 17-18	16・6b-12, 15-16
15・1-6; 21-1-3	17・1-8
15・5-12, 17-18	17・1, 9-10, 15-22
16・1-12, 15-16	17・3-9
16・6b-12, 15-16	18・1-10a
17・1-8	18・1-15
17・1, 9-10, 15-22	18・16-33
17・3-9	18・20-32
18・1-10a	19・15-29
18・1-15	21・5, 8-20
18・16-33	22・1-18
18・20-32	22・1-2, 9a, 10-13, 15-18
19・15-29	22・1-19
21・5, 8-20	23・1-4, 19; 24・1-8, 62-67
22・1-18	24・48-51, 58-67
22・1-2, 9a, 10-13, 15-18	27・1-5, 15-29
22・1-19	28・10-22
23・1-4, 19; 24・1-8, 62-67	28・11-18

<p>14, 15, 80, 84, 87, 89, 注(9)</p> <p>▶聖書朗誦</p> <p>朗読箇所 <i>Lectio</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>55, 60, 69③, 83, 87-89, 92, 104-107, 115, 124</li> <li>▶箇所、聖書の箇所、聖書本文</li> </ul> <p>朗読箇所 <i>Locus lectionum</i></p> <p>98</p> <p>朗読箇所 <i>Textus</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>75, 80-82, 85, 98, 124</li> <li>▶箇所、聖書の箇所、聖書本文</li> </ul> <p>朗読箇所 <i>Textus lectionum</i></p> <p>67, 72</p> <p>朗読箇所の選択と配分 <i>Selectio et ordo lectionum</i></p> <p>60, 64-77</p> <p>朗読系列 <i>Series lectionum</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>65, 70, 94</li> <li>▶系列</li> </ul> <p>朗読者 <i>Lector</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・態度 14</li> <li>・朗読福音書を奉持 17</li> <li>・朗読の終わりの結びのことば 18, 125</li> <li>・朗読台 34</li> <li>・不在のとき 49</li> <li>・選任されていない者 52</li> <li>・服装 54</li> <li>・養成 55, 56</li> <li>▶朗読奉仕者</li> </ul> <p>朗読書 <i>Liber lectionum</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読福音書と区別 36</li> </ul> <p>朗読聖書 <i>Lectionarium</i></p> <p>40, 58, 61, 62, 83, 112, 113, 118</p> <p>朗読聖書 <i>Liber lectionum</i></p> <p>35-37</p> <p>朗読相互の関係 <i>Relatio inter lectiones/ Nexus inter lectiones</i></p> <p>106, 123</p> <p>▶主題句、主題の調和</p> <p>朗読台 <i>Ambo</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聖書朗誦 16, 17, 54</li> <li>・答唱詩編 22</li> <li>・説教 26</li> <li>・共同祈願の意向 31</li> <li>・意義、目的 32-34</li> </ul> <p>朗読の間の歌 <i>Cantus inter lectiones</i></p> <p>11, 56</p> <p>▶アーレルヤ、歌、詠唱、答唱詩編、福音朗誦前の応唱、福音朗誦前の唱句</p>	<p>朗読の終わり <i>Finis lectionis</i></p> <p>17, 18, 125</p> <p>▶結びのことば</p> <p>朗読の中心主題 <i>Praecipuum thema lectionis</i></p> <p>123</p> <p>▶主題句</p> <p>朗読の配列 <i>Ordinatio lectionum</i></p> <p>73</p> <p>朗読配分 <i>Ordo lectionum</i></p> <p>1, 39</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司牧上の目的 58-63</li> <li>・作成の原則 64-77</li> <li>・使用する際の原則 78-91</li> <li>・概要、構造 92-110</li> <li>・適応 112</li> <li>▶配分、ミサの朗読配分</li> </ul> <p>朗読福音書 <i>Liber Evangeliorum/Evangeliarium</i></p> <p>17, 36</p> <p>▶福音書、福音朗誦のための本、朗読書、朗読聖書</p> <p>朗読奉仕者 <i>Lector</i></p> <p>49, 51-55</p> <p>▶朗読者</p> <p>ローマ典礼 <i>Liturgia Romana</i></p> <p>77</p> <p>ローマ典礼様式 <i>Ritus Romanus</i></p> <p>59, 62, 67</p> <p>ローマの伝統 <i>Traditio Romana</i></p> <p>▶伝統</p> <p>「ローマ・ミサ典礼書」<i>Missale Romanum</i></p> <p>58, 61</p> <p>「ローマ・ミサ典礼書の総則」<i>Institutio generalis Missalis Romani</i></p> <p>78</p>
--	---

#### 日本の教会への適応

司教協議会が認可し、ローマ使徒座の認証を得たもの

福音朗誦の結び 17, 18

朗誦後の応唱 125

<p>や</p> <p>訳文 Versio 119 ▶国語訳</p> <p>役割 Munus ・神の民 8 ・司式者 38-43 ・聖書朗読 49 ・助祭 50 ・朗読奉仕者 51 ・朗読者(選任されていない) 52 ・固有の祭服 54 ・詩編唱者 56 ▶役務、務め</p> <p>ゆ</p> <p>夕刻のミサ Missa vespertina ・復活主日 99</p> <p>夕べのミサ Missa vespertina ・主の晩さんの木曜日 99</p> <p>よ</p> <p>よい牧者(記事) Bonus Pastor 100 用意する Praeparare/Parari ・神のことばに対する応答 28 ・神のことばの食卓とキリストのことばの食卓 32 ・神のことばを聞くこと 48 ▶準備、準備する</p> <p>八日間 Octava ・降誕 95 ・復活 101</p> <p>八日間中の主日 Dominica infra octavam ・降誕 95</p> <p>八日目 Octava ・降誕 95</p> <p>用語 Vocabula ・神のことばを示す 2</p> <p>養成 Formatio ・朗読者 55 ・詩編歌唱者 56 ▶準備</p> <p>預言 Prophetia 93, 122</p>	<p>預言書 Liber propheticus ・朗誦配分から省かれたごく短いもの 110</p> <p>預言書 Propheta 122</p> <p>預言書の Propheticus 95, 122</p> <p>四年目ごと Quarto quoque anno 66② ▶三年周期</p> <p>ら</p> <p>ラザロの復活(記事) Lazari resurrectio 97, 98</p> <p>欄外 Margo ・章と節の指示 119</p> <p>り</p> <p>臨時に任命 Temporanea deputatio ・朗読者 51</p> <p>る</p> <p>ルカの年 Annus legendi Lucam ▶三年周期、C年</p> <p>れ</p> <p>靈的共通善 Commune bonum spiritale 78, 88</p> <p>靈的生活 Spiritalis vita 45, 83 ▶教会生活、キリスト教生活</p> <p>靈的善 Bonum spiritale 83</p> <p>礼拝 Adoratio/Cultus/Obsequium 4, 6, 8, 10, 44</p> <p>礼拝行為 Cultus actus 10</p> <p>歴史書 Textus historicus 110</p> <p>ろ</p> <p>ろうそく Cereus ・福音朗読 17</p> <p>朗誦 Lectio</p>
---	---

ヘブライ語(原文) Hebraicus (Textus originalis)

119

▶ 原文

変更する Immutare/Mutare

120, 124

▶ 改変

編集方法 Dispositio

- ・朗読聖書 113

ほ

奉獻、奉獻する Oblatio/Offerre

10, 44, 99

奉仕者 Minister

- ・福音朗読 17
- ・共同祈願 30
- ・朗読台 33, 34
- ・神の現存 35
- ・ことばの典礼における役割 49, 51
- ・聖書の箇所の選択 78
- ・朗読の終わりの応唱 125

冒頭句 Incipit

124

補佐の務め Officium adiuvandi

- ・朗読奉仕者 51

補助資料 Subsidium

37

本 Liber

35, 36, 113, 114

- ▶ 福音書、福音朗読のための本、朗読書、朗読聖書、朗読福音書

翻訳する Transferre

112

▶ 国語訳

ま

交わり Communio

41

マタイの年 Annus legendi Matthaeum

- ▶ A年、三年周期

招きのことば Monitio

- ・共同祈願(前文) 43

守るべき祝日 Festum de pracepto

- ・説教 25

マルコの年 Annus legendi Marcum

- ▶ 三年周期、B年

み

ミサ Missa

25, 32, 50, 53, 62, 66①, 67, 69①, 79, 83, 85,  
90, 95, 97, 98, 106, 112, 118, 123

▶ ミサの祭儀

ミサの祭儀 Missae celebratio

1, 10, 12, 16, 24, 25, 29, 44, 45, 48, 49, 51, 54,  
63, 注(9)

ミサの典礼聖歌 Ordo cantus Missae

▶ 『オルド・カントゥス・ミセ』

ミサの奉獻 Missae sacrificium

24

ミサの朗讀聖書 Lectionarium Missae

▶ 朗讀聖書

ミサの朗讀配分 Ordo lectionum Missae

1, 21, 45, 60, 61, 63, 64

▶ 朗讀配分

む

結びの祈り Conclusionis oratio

- ・共同祈願(後文) 43

結びのことば Conclusio

- ・朗讀の終わり 17, 18

▶ 朗讀の終わり

め

メシア Messia

▶ 救い主

メシア預言 Vaticinia messianica

94

目に見えるしるし Sacramentum

41

も

黙想、默想する Meditatio/Meditare

8, 21, 22, 24, 28, 37, 48, 62, 注(96)

木曜日 Feria quinta

- ・待降節第二週 94

- ・主の晩さん 99

福音 *Evangelium*  
 17, 47, 49, 63, 67, 71, 79, 90, 94–99, 101, 105,  
 109, 121  
 福音記者 *Evangelista*  
 102  
 福音書 *Evangelium*  
 66①, 69①, 84②③, 96, 105, 109  
 ▶朗読福音書  
 福音書 *Liber Evangeliorum*  
 17  
 ▶朗読福音書  
 福音の告知 *Evangelii nuntius*  
 68  
 • ことばの典礼の頂点 36  
 • 助祭の役割 50  
 福音の宣布者 *Evangelii praecones*  
 63  
 福音朗読 *Lectio evangelica*  
 17, 69④, 102, 106  
 福音朗読 *Lectio Evangelii*  
 • ことばの典礼の頂点 13  
 • 準継続朗読 67  
 • 朗読配分の概要  
     待降節 93, 94  
     降誕節 95, 96  
     四旬節 97, 98  
     聖なる過越の三日間と復活節 99–102  
     年間主日 105  
 福音朗読のための本 *Liber pro Evangeliiis*  
 113  
 ▶福音書、朗読福音書  
 福音朗読前の応唱 *Acclamatio ante Evangelium*  
 17, 23, 40, 90, 91  
 ▶アレルヤ、詠唱、応唱、福音朗読前の唱句  
 福音朗読前の唱句(詠唱) *Versus ante Evangelium*  
 23, 71, 90, 91  
 ▶詠唱、応唱、福音朗読前の応唱  
 服装 *Habitus*  
 • 朗読者 54  
 二つの食卓 *Utraque mensa*  
 10  
 ▶神のことばの食卓、キリストのからだの  
     食卓、食卓  
 復活 *Resurrectio*

- キリスト 44, 97, 99
- ラザロ 97, 98
- 復活祭 *Pascha*  
 99  
 ▶復活節  
 復活賛歌 *Praeconium paschale*  
 • 朗誦台の使用 33  
 復活節 *Tempus paschale*  
 • 説教 25  
 • 朗誦配分の目的 60  
 • 朗誦配分作成の原則  
     主日・祝祭日 67  
     週日 69①③  
 • ヨハネ福音書 74  
 • 聖人の祝祭 84②③  
 • 朗誦配分の概要  
     復活主日 99  
     主日 100  
     週日 101  
     昇天と聖靈降臨 102  
     使徒書 107  
 復活徹夜祭 *Vigilia paschalis*  
 99  
 復活の告知 *Nuntius Resurrectionis*  
 99  
 復活の色彩 *Indole paschale*  
 101  
 復活の日 *Pascha*  
 102  
 復活の八日間 *Octava Paschae*  
 ▶八日間  
 復活の朗読 *Lectio paschale*  
 101  
 部分教会 *Ecclesia particularis*  
 59  
 部類 *Ordo*  
 • 聖人 70②, 83, 89  
 文学 *Litteraria*  
 76  
 文化圏 *Cultura*  
 21  
 分冊 *Volumina*  
 113  
 文体 *Stilus*  
 77  
 文脈 *Contextus*  
 55, 124

難問 Quaestio difficilis

- ・節の省略 77

## に

日中のミサ Missa in die

- ・復活祭 99
- ・聖霊降臨 102
- 二年周期 Duplex cyclus
  - ・年間週日の第一朗読 69④
  - ▶隔年、奇数の年、偶数の年
- 二年周期の Pro duabus annis
  - ・年間週日の朗読配分 110
- 任意に Ad libitum
  - ・聖人の祝祭用の朗読 70②, 71
  - ・朗読箇所の選択 81
  - ・四旬節第三、四、五週のミサ 98
  - ・復活主日夕刻のミサの福音 99
  - ・聖霊降臨 102
  - ・朗読聖書の編集方法 113
  - ・朗読箇所の解説 117
  - ▶選択

任意のミサ Missa ad libitum

- ・四旬節第三、四、五週 98

認可された Probatus

- ・聖書 14

認証 Confirmatio

- ・使徒座 112

## ね

年間 Per annum

- ・朗読配分作成の原理 66-69
- ・朗読配分の概要
  - 聖書の箇所の配列と選択 103, 104
  - 主日の朗読 105-107
  - 主の祭日 108
  - 週日 109, 110

年間主日 Dominica per annum

- ・朗読配分の概要
  - 第一主日 104①
  - 第二主日 104②, 105
  - 第三主日 105
  - 第十六主日(B年) 105
  - 第三十四主日 108
  - 使徒書の配分 107

## の

のべ伝える、のべ伝えること Proclamare/

Proclamatio

- ・神のことば 7, 47, 注(9)
- ・福音 17
- ▶告げ知らせる

## は

灰の水曜日 Feria quarta Cinerum

104

配分 Ordo

60

▶ミサの朗読配分、朗読配分

拝領、拝領する Perceptio/Percipere

10, 44

省く箇所 Partes omittendae

- ・週日用朗読配分 82

パンの増加(記事) Multiplicatio panum  
105

## ひ

B年(マルコの年) Annus B (Annus legendi

Marcum)

97, 100, 105, 107, 注(102)

▶三年周期

秘義 Mysterium

- ・救いの秘義 4, 79
- ・感謝の秘義 10
- ・信仰の秘義 24
- ・ミサで祝われる 45, 83
- ・受肉の秘義 95
- ・主の洗礼の秘義 95
- ・受難の秘義 98
- ▶キリストの秘義、過越秘義

秘跡 Sacramentum

3, 10, 44, 98, 99

被選司教 Electus

36

批判学 Critica

76

表題 Inscriptio

120, 121

表題 Titulus

- ・福音朗誦 17

- ・信者 44-48
- ▶役務、役割

て

定句 Formula

- ・変更、省略 124
- ▶冒頭句

定式文 Formula

- ・信条 29

適応 Accomodatio

- ・朗誦配分 59, 112
- ・適応された Aptata
- ・解説 15

弟子たちの足を洗うキリスト(記事) Christus discipulorum pedes lavans

99

伝統 Traditio

- ・旧約聖書と新約聖書 13
- ・典礼 36, 49, 74, 77
- ・典礼様式 59, 95
- ・神のことばの使用 68

伝統的な使い方 Traditus usus

- ・聖書の書名 122

典礼 Liturgia/Sacra Liturgia

3, 4, 6, 7, 10, 19, 47-49, 57, 58, 74, 77, 119

典礼儀式 Ritus liturgicus

51

典礼季節 Tempus liturgicum

21, 23, 64, 66③, 74, 78

▶季節

「典礼憲章」 Constitutio liturgica

24

▶第二バチカン公会議

典礼行為 Actio liturgica

1, 4, 6, 9, 35, 61, 68, 99

典礼祭儀 Celebratio liturgica

1, 3-7

▶祭儀

典礼式文 Liturgicus textus

24

典礼集会 Coetus liturgicus

52, 111

▶集会

典礼書 Liber liturgicus

120

典礼注記 Rubrica

29

典礼に関する養成 Institutio liturgica

55

典礼の伝統 Traditio liturgica

▶伝統

典礼様式 Familia liturgica

▶伝統

典礼用の Ad usum liturgicum

- ・国語訳 111

典礼暦年 Annus liturgicus

24, 60, 92, 105, 109, 110

と

動作 Actio/Gestus

6, 35

東西両典礼の伝統 Utraque traditio liturgica Occidentis nempe et Orientis

▶伝統

答唱 Responsum

89

答唱句 Responsum

19-21, 40

答唱形式 Modus responsorialis

20, 21, 56

▶詩編の歌い方、答唱詩編

答唱詩編 Psalmus responsorius

- ・ことばの典礼の主要な部分 11

- ・意義、目的 19-22, 89

- ・場所 33

- ・司式者の裁量の自由 40

▶詩編

導入のことば Introductoryia verba

- ・冒頭句 124

特殊の権限 Facultas particularis

- ・特定の集会のためのミサにおける朗誦 63

特殊暦 Calendarium particulare

84②

特別な理由 Peculiaris ratio

83

整える Disponere

- ・神のことばを聞く心構え 47

整える Ordinare

- ・ことばの典礼 51

な

難解な聖書の箇所 Textus difficiliores

76, 107

選任された Institutus  
・朗誦奉仕者 51, 54  
選任を受けていない Non institutus  
・朗誦奉仕者 52, 55  
前晩 Vigilia  
・主の降誕 95  
・聖霊降臨 102  
▶徹夜祭  
前晩の祈り Primae Vespere  
・待降節第一主日 103  
前晩のミサ Missa quae vespere  
102  
洗礼 Baptisma  
7, 69②, 99  
洗礼志願者 Catechumenus  
97  
洗礼者ヨハネ(記事) Ioannes Baptista  
93, 94

## そ

装飾する Decorare  
・朗誦台 33  
装飾する Ornor  
・朗誦福音書 36

## た

待降節 Tempus Adventus  
・説教 25  
・朗誦配分の目的 60  
・朗誦配分作成の原則  
　　主日・祝祭日 67  
　　週日 69③  
・イザヤ書 74  
・朗誦配分の概要  
　　主日 93  
　　週日 94  
題材 Argumentum  
・四旬節の教説 97, 98  
立つ Stare  
▶起立する  
第二バチカン公会議 Concilium Vaticanum  
Secundum  
1, 24, 58, 59  
他の儀式を伴うミサ Missa ritualis  
・朗誦箇所の選択 63, 78, 87  
・朗誦配分の原則 65, 72

・儀式書の指示 85  
・禁じられている場合 88  
・答唱詩編の選択 89  
民 Populus  
7, 44, 45  
嘆願の祈り Petitio  
30  
▶共同祈願  
單唱形式 Modus directus  
20, 56  
▶詩編の歌い方、答唱詩編  
段落 Stichus  
・詩ではない箇所の印刷 115

## ち

知恵文学 Libri sapientiales  
・聖書の書名 122  
仲介者 Mediator  
・神と人類との 6  
聴衆 Audientes  
・福音朗誦前後の応唱 17  
・神の現存を想起 35  
・聖人の祝祭の朗誦箇所の選択 83  
長短二種類の本文 Longior et brevior forma  
・相当長い箇所の場合 75  
・選択基準 80  
・印刷の方法 116  
沈黙 Silentium  
・意義 28  
・共同祈願 31  
・朗誦の終わり 125  
沈黙のうちに Secreto  
17

## つ

告げ知らせる Annuntiare  
・キリストの秘義 5  
・神のことば 7, 10, 33, 38, 47  
・神の契約 10  
・神のわざ 24  
・キリストの過越秘義 24  
・死と復活 44  
・主のしもべ 99  
▶のべ伝える  
務め Officium  
・神の民 8

<p><b>聖書全体</b> Scripturae omnes/Scripturae totius us 3, 5, 10</p> <p><b>聖書に関する養成</b> Biblica institutio 55</p> <p><b>聖書の箇所</b> Textus ▶ 箇所、聖書本文</p> <p><b>聖書のことば</b> Verbum Scripturae sacrae 24</p> <p><b>聖書の使用</b> Usus sacrae Scripturae 1</p> <p><b>聖書本文</b> Textus 15, 39, 48, 77, 80, 117, 119, 124 ▶ 箇所、聖書の箇所、朗読箇所</p> <p><b>聖書本文相互の調和と関連</b> Convenientia et connoxio inter varios textus 39 ▶ 主題の調和</p> <p><b>聖書朗読</b> Lectio biblicae ・意義、構造、目的 11-18, 59, 74 ・役割 49, 51, 52 ▶ 朗読</p> <p><b>聖書朗読</b> Lectio sacrae Scripturae 注(6)</p> <p><b>聖人</b> Sanctus 63, 70②, 83, 89</p> <p><b>聖人共通の部</b> Communia Sanctorum 70②, 72, 83, 84①, 87, 89 ▶ 聖人の祝祭</p> <p><b>聖人固有の部</b> Proprium 84① ▶ 固有の部</p> <p><b>聖人と聖女</b> Sancti et Sanctae 83</p> <p><b>聖人の祝祭</b> Celebratio Sanctorum ・朗読配分作成の原則 65, 70, 71 ・朗読配分を使用する際の原則 83, 84 ・選択の自由 63, 78</p> <p><b>聖人の祝祭用の朗読</b> Lectiones pro celeb rationibus Sanctorum 70, 71</p> <p><b>聖人の部</b> Sanctorale ・朗読聖書 113</p> <p><b>聖性一般</b> Sanctitas in genere 70</p> <p><b>聖体</b> Eucharistia/Eucharisticum mysterium um 10</p>	<p><b>聖なる過越の三日間</b> Sacram Triduum paschale 99</p> <p><b>聖なる夜(復活徹夜祭)</b> Nox sancta 99</p> <p><b>聖ヨハネ(祝日)</b> S. Ioannes 96</p> <p><b>生来の盲人(記事)</b> Caecus natus 97, 98</p> <p><b>聖靈</b> Spiritus Sanctus 2-4, 6, 7, 9, 12, 28, 41, 47, 102</p> <p><b>聖靈降臨(祭日)</b> Pentecostes 102, 103, 104③</p> <p><b>説教</b> Homilia ・ことばの典礼の構成要素 11 ・意義、目的 24-27, 29, 注(7) ・場所 33 ・司式者の役割 38, 41, 43 ・信者の務め 45 ・助祭の役割 50 ・主日の説教 68 ・長短二種類の聖書本文の選択 80</p> <p><b>説教(イエスの)</b> Sermo ・最後の晩さんの後 100, 101 ・いのちのパンについて 105 ・終末について 109</p> <p><b>節の省略</b> Omissio versiculorum ▶ 省略</p> <p><b>説明</b> Enodatio/Explanatio/Explicatio/ Expositio 24, 58, 60, 80 ▶ 解説</p> <p><b>説明や注意</b> Explicationes et admonitiones 57 ▶ 解説</p> <p><b>宣教</b> Praedicatio 10, 24, 105</p> <p><b>前日の晩に行われるミサ</b> Missa quae ves pere diei praecedentis celebratur 25 ▶ 前晩のミサ</p> <p><b>先唱する</b> Inchoare 23, 56</p> <p><b>選択</b> Electio/Optio&gt;Selectio 19, 59, 60, 63, 71, 78-80, 83, 87, 89, 106 ▶ 委任する、選ぶ、裁量の自由、自由、任意に <b>選択と配列</b> Electio et dispositio 64</p>
--	--

▶共同祈願  
信者の共同体 Communitas fidelium  
24  
信者の参加 Fidelium participatio  
▶参加  
信者の集会 Fidelium coetus  
3, 7, 9, 23, 30, 57, 65  
▶会衆、集会  
信者の務め Officium fidelium  
44-48  
▶役務、務め、役割  
信者用の印刷物 Foliolum pro fidelibus  
▶補助資料  
信条 Symbolum  
11, 29  
▶信仰宣言  
信じる者 Credentes  
68  
▶信者  
信心ミサ Missa votiva  
・朗読箇所の選択 63, 78, 86, 87, 89  
・朗読配分の原則 65, 72  
信徒 Laicus  
52, 56  
新約聖書 Novum Testamentum  
・キリストの秘義を告げ知らせる 5  
・旧約聖書との関係 13  
・主題の調和 67  
・復活徹夜祭 99  
・年間週日 110  
・福音朗誦のための本と別に出版 113  
▶旧約聖書  
新約聖書の朗誦 Lectio Novi Testamenti  
▶新約聖書

## す

過越祭の制定(記事) Institutio Paschae  
99  
過越秘義 Mysterium paschale  
10, 24, 61, 66①, 74, 99  
▶秘義  
救い(あがない) Redemptio  
10  
救い Salus  
5, 30, 47, 95  
救いの訪れ Nuntius salutis  
65

救い主(メシア) Messia  
93  
救い主としての使命 Munus messianicum  
98  
救いの計画 Oeconomia salutis  
6  
救いの秘義 Mysterium salutis  
▶秘義  
救いの歴史 Historia salutis  
7, 10, 24, 60, 61, 66①, 97, 99, 110, 注(106)  
救いのわざ Opus salutis/Opus salutiferum  
10, 39

セ

聖家族(祝日) Sancta Familia  
95  
聖歌隊 Schola  
・福音朗誦前の応唱 23  
生活 Vita  
6-8, 9, 47  
▶教会生活、キリスト者の生活  
盛儀の日 Dies sollemnis  
・朗誦台の装飾 33  
聖香油のミサ Missa Chrismatis  
98  
聖週間 Hebdomada sancta  
98  
聖書 Sacra Scriptura  
2, 3, 12, 24, 41, 46-48, 55, 58, 61, 65-67, 71,  
74, 81, 83, 注(6)  
▶神のことば  
聖書以外の朗誦 Lectiones quae biblicae  
non sunt  
12  
聖書解釈 Hermeneutica  
64  
聖書解釈 Interpretandum Scripturas sacras  
3  
聖書からの歌 Cantus ex sacra Scriptura  
desumpti  
12  
聖書贊歌 Canticum biblicalum  
56  
聖書秘義 Exegetica  
58  
▶解釈、解釈学、司牧的な聖書講話

- ・使徒書 107, 注(106)
    - ▶ 継続朗誦
  - 準備、準備する Praeparatio/Praeparare/Parari
    - ・集会 13
    - ・解説 15, 57
    - ・説教 24
    - ・聖書朗誦 37, 52, 51, 111
    - ・実り豊かな交わりに対する信者の心 41
    - ・朗誦者 55
    - ・主の降誕 93, 94
      - ▶ 用意する
  - 準秘跡 Sacramentalia
    - 3
  - 昇階唱 Graduale
    - 19
    - ・詩編唱者の役割 56
      - ▶ 答唱詩編
    - 唱句 Versus
      - ・詩編唱者の役割 56
      - ・聖人の祝祭用の朗誦 71
        - ▶ アレルヤ唱、応唱、福音朗誦前の唱句
  - 昇天(祭日) Ascensio
    - 100, 102
  - 章と節 Capitulum et versus
    - 119
  - 承認する Probare
    - ・教会 29
    - ・司式司祭 57
    - ・司教協議会 111
  - 照明 Illuminatio
    - ・朗誦台 34
  - 省略 Omissio
    - ・節 77
    - ・表題 120
    - ・冒頭句 124
  - 叙階 Ordinatio
    - 8
  - 叙階式 Ordinatio
    - 36
  - 書簡 Epistola
    - ▶ 使徒書
  - 食事の記念 Recordatio convivii
    - 99
  - 食卓 Mensa
    - ・神のことばの 32, 83
    - ・キリストのからだの 32
    - ・二つの 10
- 
- 食物 Cibus
    - ・神のことば 47
  - 緒言(ミサの朗誦配分の) Praenotanda (Ordinis lectionum Missae)
    - 1, 2, 112
  - 諸国民 Gentes
    - 7, 95
  - 助祭 Diaconus
    - ・朗誦福音書を奉持 17
    - ・福音を告げる 17
    - ・共同祈願の意向を述べる 30
    - ・叙階式 36
    - ・解説 42
    - ・朗誦 49, 54
    - ・ことばの典礼における役割 50
    - ・不在のミサ 53
    - ・司祭不在の所で神のことばの祭儀を司会 62
  - 初代教会の生活 Primaevae Ecclesiae vita
    - 100
  - 書名 Nomen libri
    - ・聖書の箇所の指示 122
  - しるし Signum
    - 7, 10, 17, 35, 117
  - 新ウルガタ版 Nova Vulgata editio
    - ・聖書の箇所の指示 119, 122
  - 信仰 Fides
    - 10, 12, 17, 18, 23, 24, 29, 41, 42, 44, 45, 47, 48, 55, 60, 100
  - 信仰宣言 Professio Fidei
    - ・ことばの典礼の構成要素 11
    - ・目的 29
      - ▶ 信条
  - 信仰の基準 Regula fidei
    - 29
      - ▶ 信仰宣言
  - 信仰の神秘 Mysterium fidei
    - 29
  - 信仰の秘義 Fidei mysteria
    - ▶ 秘義
  - 信仰の秘跡 Sacramenta fidei
    - 10
  - 信者 Fideles
    - 3, 6, 8, 17, 19, 25, 30, 32, 34, 38-48, 51, 55, 61, 62, 75-80, 83, 107
  - 信者の意見を聞いた上で Auditis fidelibus
    - 40
  - 信者の祈り Oratio fidelium

- ・朗読配分の原則 65, 72
  - ・答唱詩編 89
  - 主題 Thema
    - ・終末 105
  - 主題句 Titulus
    - ・意義、目的 117, 123
    - ・旧約と新約の一貫性 106
  - 主題の組み合わせ Compositio thematum
    - 68
      - ▶ 主題の調和
  - 主題の調和 Compositio harmonica
    - ・主日・祝祭日用朗読配分 66③, 67
    - ・週日用朗読配分 69
      - ▶ 主題の組み合わせ、聖書本文相互の調和  
と関連、朗読相互の関係
  - 出エジプト(記事) Exodus
    - 99
  - 出現(記事) Apparitio
    - ▶ 主の出現
  - 出版 Editio
    - ・朗読聖書 113
  - 受難(記事) Passio
    - ▶ 主の受難
  - 受難の秘義 Mysterium Passionis
    - ▶ 秘義
  - 受肉の秘義 Mysterium Incarnationis
    - ▶ 秘義
  - 主のエルサレム入城 Domini ingressus in Ierusalem
    - ・受難の主日の枝の行列 97
  - 主の記念祭儀 Memoriale Domini
    - 10, 46
  - 主の顯現 Manifestatio Domini
    - ・降誕節週日の福音 96
    - ・年間主日の初め 105
  - 主の公現(祭日) Epiphania Domini
    - 95, 104①, 105
      - ▶ 公現
  - 主の降誕(祭日) Nativitas Domini
    - ・準備 94
    - ・前晩と三つのミサ 95
    - ・八日間中の主日 95
    - ・八日目 95
    - ・第二主日 95
  - 主の試み(記事) Tentatio Domini
    - 97
  - 主の死と復活 Mors et resurrectio Domini
    - 44
- 
- 主のしもべ(記事) Servus Domini
    - 99
  - 主の出現(記事) Apparitio Domini
    - 99, 100, 101
  - 主の受難(記事) Passio Domini
    - 97, 99, 105
  - 主の受難・枝の主日 Dominica in Palmis de Passione Domini
    - 97
  - 主の受難の金曜日 Feria sexta in Passione Domini
    - 99
  - 主の受肉 Incarnatio Domini
    - 110
      - ▶ 受肉の秘義
  - 主の生涯と宣教 Vita et praedicatio Domini
    - 105
  - 主の説教と祈り Sermo et oratio Domini
    - 100, 101
  - 主の宣教の初め Initium praedicationis Domini
    - 105
  - 主の洗礼(祝日) Baptisma Domini
    - 95, 103, 104①②
  - 主の晩さん Eucharistia
    - 99
  - 主の晩さんの木曜日 Feria quinta in Cena Domini
    - 99
  - 「主の福音をふさわしく…」 “Munda cor meum...”
  - ・福音朗誦 17
  - 主の変容(記事) Transfiguratio Domini
    - 97
  - 主の来臨 Adventus Domini
    - 93
  - 主要な祭儀 Principalis celebratio
    - ▶ 祭儀
  - 殉教者 Martyres
    - 70②, 83
      - ▶ 聖人共通の部
  - 準続続朗誦 Lectio semicontinua
    - ・朗誦配分作成の原則
      - 主日・祝祭日 66③, 67
      - 週日 69
    - ・朗誦配分を使用する際の原則 78, 79
    - ・ヨハネ福音書 98, 101
    - ・共観福音書 105, 注(102)

- 58
- 司牧の面から(司牧的な) *Pastoralis*  
19, 37, 71, 113
- 釈義 *Exegetica*  
76
- 釈義学 *Exegetica studia*  
64
- ▶ 聖書釈義
- 自由 *Facultas*
- ・答唱句の使用 21
  - ・聖書の箇所の選択 78, 81
  - ▶ 裁量の自由、選択
- 集会 *Coeetus*  
13, 14, 25, 62, 63
- ▶ 集まつた会衆、会衆、祭儀集会、信者の集会、典礼集会
- 集会 *Congregatio*  
45
- 習慣 *Consuetudo*
- ・朗誦時の祭服 54
  - ・朗誦時の表題 120
  - ・朗誦の終わりの結びのことば 125
- 習慣 *Mos*  
84③
- 十字架 *Crux*  
97, 108
- 十字架のしるしをする *Se signare*
- ・福音朗誦 17
- 週日 *Feria*
- ・説教 25
  - ・朗誦箇所の系列 65
  - ・朗誦配分作成の原則 65, 69
  - ・朗誦配分を使用する際の原則 81-83
  - ・朗誦配分の概要
    - 待降節 94
    - 降誕節 96
    - 四旬節 98
    - 復活節 101
    - 年間 109, 110
- 週日用朗誦聖書 *Lectionarium feriale*  
83
- ・出版の形態 113
- 週日用朗誦配分 *Ordo lectionum pro feriis*  
69, 82, 110
- 十二月 *December*
- ・十六日 94
  - ・十七日 94
  - ・二十四日 94
- ・二十七日 96
- ・二十九日 96
- ・三十日 96
- ・三十一日 96
- 終末的性格 *Indoles eschatologica*
- ・典礼暦年の終わり 110
- 終末に関する箇所 *Textus eschatologicus*
- ・年間の最後の二週間 104
- 終末に関する説教 *Sermo eschatologicus*
- ・ルカ福音書の箇所 109
- 終末の主題 *Thema eschatologicum*
- ・典礼暦年の終わり 105
- 祝日(祝祭日) *Festum*
- ・説教 25
  - ・朗誦奉仕者の役割 51
  - ・朗誦箇所の系列 65
  - ・朗誦配分作成の原則 65-68, 70①
  - ・朗誦配分を使用する際の原則 78, 82, 84①
    - ③
  - ・朗誦配分の概要
    - 降誕節 95
    - 聖家族 95
    - 主の洗礼 95, 103, 104①②
    - 聖ヨハネ 96
    - 聖なる幼子 96
- 主司式祭 *Celebrans principalis*
- ・説教 24
- 主日 *Dies dominica*
- ・説教 25
  - ・朗誦奉仕者の役割 51
  - ・朗誦箇所の系列 65
  - ・朗誦配分作成の原則 65-68, 76
  - ・朗誦配分を使用する際の原則 78-81
  - ・朗誦配分の概要
    - 待降節 93, 94
    - 降誕節 95
    - 四旬節 97, 98
    - 復活節 100, 101
    - 年間 103-108
  - ・旧約聖書の朗誦 110
- 主日・祝祭日用朗誦配分 *Ordo lectionum pro dominicis et festis*  
65, 66
- 主日用朗誦聖書 *Lectionarium dominicale*
- ・出版の形態 113
- 種々の機会のミサ *Missa pro variis necessitatibus*
- ・朗誦箇所の選択 63, 78, 86, 87

- 司式司祭 Sacerdos celebrans/Celebrans
- ・説教 26
  - ・共同祈願の指導 30
  - ・共同祈願の先導 31
  - ・助祭、他の司祭不在の場合の福音朗読 49
  - ・解説を事前に承認 57
  - ・聖人の祝祭日の朗読の選択 71, 83
  - ・聖書の箇所を選択する自由 78
  - ・答唱詩編の選択 89
- 司式者 Is qui preest
- ・福音朗読者を祝福 17
  - ・説教 24, 38
  - ・朗読配分の構造を熟知 39
  - ・裁量の自由 40
- 司式者 Preses
- ・務め
    - 朗読の解説、説教 38
    - 朗読配分の構造を熟知 39
    - 裁量の自由 40
    - 説教 41
    - 朗読の解説 42
    - 共同祈願 43
- 使者 Nuntius
- ・神のことばの 7
- 死者のためのミサ Missa defunctorum
- 65, 72, 78, 86, 87, 89
- 四旬節 Tempus Quadragesima
- 103, 104②③
  - ・説教 25
  - ・朗読配分の目的 60
  - ・朗読配分作成の原則
    - 主日 67
    - 週日 69②
    - ・ヨハネ福音書 74, 101
    - ・福音朗読前の応唱 91
    - ・朗読配分の概要
      - 主日 97
      - 週日 98
- 詩書 Liber poeticus
- ・朗読配分から省略 110
- 姿勢 Corporis habitus
- ・信者の参加 6
- 使徒座 Sancta Sedes
- 1, 111, 112
- 使徒書(書簡) Apostolus/Epistola
- ・主日・祝祭日 66①, 67
  - ・週日 69①
  - ・聖人の祝祭 71, 84②③
- ・朗読配分の概要
- 待降節主日 93
  - 主の公現 95
  - 四旬節主日 97
  - 復活節 99, 100
  - 主の昇天・聖靈降臨 102
  - 年間主日 107
- ・選択 注(106)
- 使徒書の朗読 Lectio apostolica/Lectio Apostoli
- 使徒書
- 詩編 Psalmus
- ・答唱詩編 19-22, 71, 89
  - ・歌唱者 56, 89
  - ・箇所の指示 119
  - 答唱詩編
- 詩編歌唱 Psallendum
- 56
- 詩編形式の答唱 Responsum psalmodi
- 89
- 詩編唱者 Psalmista
- ・答唱詩編 20, 22
  - ・役割 56
- 詩編の歌い方 Modus cantandi psalmum
- 20, 21
  - 单唱形式、答唱形式
- 詩編の歌唱者 Cantor psalmi
- ・答唱詩編 20
  - ・役割 56
- 司牧活動 Actio pastoralis
- 45
- 司牧者 Pastor/Pastor animarum
- 63, 76, 92, 注(106)
- 司牧者(聖人) Pastores
- 70②, 83
  - 聖人共通の部
- 司牧上の Pastoralis
- ・目的 58, 78
  - ・理由 76, 77, 79, 83
  - ・基準 80
  - ・利益 89
- 司牧上有益 Utilitas pastoralis
- 62, 81, 89
- 司牧的見地 Aspectus pastoralis
- 77
- 司牧的な聖書講話 Exegesis pastoralis
- 注(7)
- 司牧の分野 Res pastoralis

- 祭日 Sollemnitas
- ・聖人の祝祭用の朗読 70①
  - ・難解な聖書の箇所 76
  - ・朗読箇所の選択 78
  - ・週日用朗読配分 82
  - ・聖書朗読の留意点 84①②
  - ・主の降誕 95
  - ・神の母聖マリア 95
  - ・主の公現 95, 105
  - ・主の昇天 102
  - ・聖靈降臨 102
  - ・三位一体 103
  - ・王であるキリスト 103
  - ・イエスのみ心 108
- 祭壇 Altare
- 17
  - ・朗読台との組み合わせ 32
- 祭服 Vestis sacra
- ・朗読台に立つとき 54
- 裁量の自由 Facultas
- ・司式者 40
  - ▶選択
- 索引 Index
- ・聖書の箇所 118, 注(7)
- 座席 Sedes
- ・司式司祭
  - 説教 26
  - 共同祈願の先導 31
- 刷新 Instauratio
- ・典礼祭儀における聖書使用 1, 59
- サマリ亞の婦人(記事) Samaritana
- 97, 98
- 参加、参加する Participatio/Participare
- ・信者の典礼参加 3, 6, 71
  - ・答唱詩編 20
  - ・アレルヤ唱および福音朗読前の唱句 23
  - ・週日のミサ 25
  - ・共同祈願 30, 31
  - ・信者の務め 44, 48
  - ・司牧上有益 62
  - ▶会衆
- 参会者 Adstantes
- ・答唱詩編の選択原則 89
- 参加者 Participans
- ・信仰を養成 44
  - ・朗読箇所の選択 81
  - ・種々の問題や事情に合わせて 86
  - ・靈的共通善 88
- ・主日のミサ 106
- 参考者 Praesentes
- ・説教で全員に心を配る 24
- 三年周期 Cyclus trium annorum
- ・主日・祝祭日用聖書朗読 65, 66②
  - ・復活節主日の第一朗読 100
  - ・コリントの教会への第一の手紙 107
  - ・年間主日の使徒書 107
  - ・主日用朗読聖書の分割 113
  - ▶A年(マタイの年)、B年(マルコの年)、C年(ルカの年)
- 贊美のいけにえ Sacrificium laudis
- 10
- 三位一体(祭日) Sanctissima Trinitas
- 103, 108
- 
- し
- C年(ルカの年) Annus C (Annus legendi Lucam)
- 97, 100, 105, 107, 注(102)
  - ▶三年周期
- 司会する Moderari
- ・司祭不在の所での神のことばの祭儀 62
- 指揮者 Moderator
- ・朗読台に立つのはふさわしくない 33
- 司教 Episcopus
- 62
- 司教協議会 Conferentia Episcopalis
- ・福音前の二つの朗読の選択 79, 84②
  - ・朗読聖書の適応と国語訳 111, 112
- 司教座聖堂 Cathedrale
- ・朗読福音書 36
- 司教叙階式 Episcopalis Ordinatio
- ・朗読福音書 36
- 自己奉獻 Sui ipsius oblatio
- 48
- 司祭 Presbyter
- 17
- 司祭 Sacerdos
- ・ことばの典礼における役割 49
  - ・朗読時の祭服 54
  - ・不在の所 62
  - ・朗読箇所の選択 78, 82, 83
  - ▶司式司祭、司式者
- 指示 Indicatio
- ・聖書の箇所 119-122
  - ・冒頭句 124

- ・典礼祭儀における聖書使用 1
- ・朗読配分作成 64, 73
- ・週日用朗読配分 69
- ・司牧上の利益 89
  - ▶ 原理
- 原文 *Textus originalis*
- ・聖書の箇所の指示 119
- 原理 *Principium*
- ・新しい配分 58
- ・聖書解釈 64
- ・主日・祝祭日用朗読配分 66③
- ・四旬節 69②
  - ▶ 原則

## 二

- 香 *Incensum*
- ・福音朗読 17
- 公現(祭日) *Epiphania*
  - ▶ 主の公現
- 公式にのべる *Exponare*
  - ・神のことば 8
- 構造 *Structura*
  - ・朗読配分 1, 39, 92
  - ・教会堂 32
  - ・朗読台 33
  - ・ことばの典礼 55
  - ・朗読聖書分冊 113
  - ・朗読箇所 115
- 降誕 *Nativitas*
  - ▶ 主の降誕
- 降誕節 *Tempus Nativitatis*
  - ・朗読配分作成の原則
  - ・週日 69③
  - ・イザヤ書の朗読 74
  - ・朗読配分の概要
    - 祭日・祝日・主日 95
    - 週日 96
    - 使徒書の朗読 107
- 国語訳 *Interpretatio popularis*
  - ・司教協議会の承認 111
- 国語訳 *Lingua popularis*
  - ・冒頭句の変更や省略 124
- 国語訳 *Versio popularis*
  - ・主題句 117
  - ・聖書の箇所の指示 119
- 試み *Experimentum*
  - 59

## 呼唱 *Invocatio*

- ・共同祈願の意向の後 31
- 答え *Responsio*
  - ・神のことばに対して 6
  - ・神のことばによる 63
    - ▶ 応答

## 答える *Respondere*

- ・聖霊の働きかけに 3
- ・神のことばに対して
  - 「アーメン」によって 6
  - 共同祈願 30
  - 信者の務め 45
  - 歌によって 48
- ▶ 応答

## 異なった観点 *Diversus aspectus*

- ・同一の聖書の箇所 注(7)
- ことばの祭儀 *Celebratio verbi*
  - ▶ 神のことばの祭儀
- ことばの典礼 *Liturgia verbi*
  - ・要素と儀式 11-31
  - ・ことばの典礼に役立つこと 32-37
  - ・司式者の役割 38-43
  - ・信者の務め 44-48
  - ・種々の役務 49-57
  - ・救いの歴史を想起 61
  - ・準備 78
- 子どもとともにささげるミサ *Missa cum pueris*
- ・説教を行わなければならない 25
- 固有の部 *Proprium*
  - ・聖人の祝祭用の朗読 70①
    - ▶ 聖人固有の部
- 固有の朗読 *Lectio propria*
  - ・週日 82
  - ・聖人の祝祭 83
  - ・一般暦の祭儀 84①

## 三

## 祭儀 *Celebratio*

- 3, 7, 24, 34, 37, 39, 41, 43, 48, 51, 68, 71, 78, 81-83, 84①, 85, 86, 92, 108, 120
  - ▶ 典礼祭儀
- 祭儀集会 *Coetus celebrans*
  - 59
- 祭司 *Sacerdos*
  - 99
- 祭司職 *Sacerdotium*
  - 30

- 8, 24, 46
- ・キリストが用いた方法 3
- ・典礼の中心 5
- ・聖書全体の中心 5
- ・仲介者 6
- ・人となった神のことば 6
- ・キリストに対するあかし 12
- ・血による新しい契約 44
- ・過越秘義 61
- ・救いの歴史の中心 66①
- ・未来の栄光 97
- ・救い主(メシア) 98
- ・復活 99
- ・弟子たちの足を洗う 99
- ・模範 99
- ・キリストの出現 100
- ・父の右に上げられた 102
- ・約束 102
- ・洗礼 105
- キリスト紀元 Computus christianus**
- 注(102)
- キリスト教入信 Initiatio christiana**
- ・四旬節主日の福音朗誦 97
- キリスト者の生活 Vita christiana**
- 47, 48
- ・説教の役割 24, 41
- ▶ 教会生活
- キリスト信者 Christifidelis**
- 7, 45, 47, 48, 60, 92
- ▶ キリストを信じる民
- 「キリストに贊美」 "Laus tibi Christe"
- ・福音朗誦の結びの応唱 17, 18
- キリストのからだの食卓 Mensa Corporis Christi**
- 32
- ▶ 神のことばの食卓、食卓、二つの食卓
- キリストの現存 Praesentia Christi**
- ・ことばの中に 4
- ・教会の宣教において 24
- ・聖体の両形態のもとに 46
- ・神のことばに 46
- キリストのことば Verbum Christi**
- ・神の民を集める 44
- キリストの聖体(祭日) Sacratissimum Corpus et Sanguis Christi**
- 108
- キリストの秘義 Mysterium Christi**
- 3, 5, 24, 39, 47, 63, 68

- 秘義
- キリストを信じる民 Populus christianus**
- 58, 60
- キリスト信者
- 起立する Stare**
- ・福音朗誦 17
  - ・福音朗誦前の応唱 23
  - ・説教 26
  - ・共同祈願 31
- 金曜日 Feria sexta**
- 主の受難の金曜日
- 
- 偶数の年 Annus par
- ・年間週日の朗誦配分 69④
- 二年周期
- 
- け
- 敬意を表す Venerari
- ・朗誦福音書 17
- 啓示の訪れ Nuntius revelatus
- 55
- 使者、救いの訪れ、福音の告知
- 継続朗誦 Lectio continua**
- ・ヨハネの第一の手紙 96
  - 準継続朗誦
- 系列(聖書の箇所の) Series
- 90
- 朗誦系列
- 欠陥 Defectus**
- 59
- 月曜日 Feria secunda**
- ・一月六日直後の主日の翌日 103
  - ・公現の祝われた主日後 104
  - ・四旬節第四週 98
  - ・聖靈降臨後 103, 注(115), (116)
- 権限ある権威者 Auctoritas competens**
- 119, 120, 124
- 言語 Lingua**
- ・朗誦の歌唱 14
  - ・習慣や特性 120
- 獻香をする Turificare**
- ・福音朗誦 17
- 堅信 Confirmatio**
- ・神のことばの使者となる 7
- 原則 Principium**

- 70①, 82, 83, 84③
- 希望 Spes**  
7, 48, 100
- 旧約聖書 Vetus Testamentum**
- ・キリストの秘義を告げ知らせる 5
  - ・新約聖書との関係 13
  - ・主日・祝祭日用朗読配分 66①
  - ・主題の調和 67
  - ・週日用朗読配分 69①
  - ・聖人の祝祭用の朗読 71, 84②③
  - ・朗読配分の概要
    - 待降節主日 93
    - 待降節週日 94
    - 主の公現 95
    - 四旬節主日 97
    - 四旬節週日 98
    - 復活節 99
    - 聖靈降臨前晩 102
    - 年間主日 106
    - 年間週日 110
  - ・福音朗読のための本と別に出版 113
  - ・選択 注(106)
    - ▶新約聖書
- 旧約聖書の朗読 Lectio Veteris Testamenti**
- ▶旧約聖書
- 旧約と新約 Utrumque Testamentum/Vetus et Novum Testamentum**
- ・神のことばを示す用語 注(6)
  - ・一貫性 66①, 106
  - ・年間の週日 110
  - ▶主題の調和
- 教育手段 Pedagogicum instrumentum**
- ・教話の促進 61
- 教育的意義 Ratio didactica**
- 61
- 教役者 Clerus**  
19
- 教会 Ecclesia**
- 3, 5-8, 10, 19, 24, 25, 29, 30, 44, 46, 47, 83, 84  
③, 98, 99, 102, 108
  - ▶集会
- 教会共同体 Communitas ecclesialis**  
56
- 教会生活 Vita Ecclesiae**  
7, 74, 102
- ▶キリスト者の生活
- 教会堂 Aula ecclesiae/Ecclesia**
- ・神のことばを告げ知らせる場所 32
- ・朗読福音書 36
- 共観福音書 Evangelium synopticum/Synoptici**
- ・主の試みと変容の記事 97
  - ・主の復活の告知 99
  - ・年間主日 105, 注(102)
- 教訓のために書かれた物語 Narrationes ad aedificationem scriptae**  
110
- 共通の部 Commune**
- 70①, 83, 90
  - ▶季節の部、聖人共通の部、聖人の祝祭
- 教導 Magisterium**
- ・諸教皇 1
  - ・役務 8
- 共同祈願(信者の祈り) Oratio universalis seu oratio fidelium**
- ・ことばの典礼の構成要素 11
  - ・意義、目的 30, 31
  - ・唱える場所 31
  - ・司式者の務め 43
  - ・助祭の役割 50
  - ・歌唱者か宣教奉仕者 53
  - ▶意向
- 共同司式司祭 Concelebrans**
- ・説教 24
- 共同司式ミサ Concelebratio**
- ・説教 24
- 教養 Institutio**
- ・キリスト教 76
  - ・聖書 76
- 行列 Processio**
- ・朗読福音書 17
  - ・受難の主日(枝の主日) 97
- 教話 Catechesis**
- ・詩編 19
  - ・朗読配分の司牧上の目的 58, 61
  - ・福音前の二つの朗読の選択 79, 注(106)
  - ・四旬節 97, 98
  - ・神のことばの豊かさ 注(7)
- 曲 Cantus**
- ・朗読の歌唱 14
  - ▶歌
- ギリシア語(原文) Graecus (Textus originalis)**  
119
- ▶原文
- キリスト Christus**

- 87, 94, 95, 97-102, 104③, 105, 106, 108, 110,  
115, 116, 118, 119, 123  
 ▶聖書本文、朗読箇所
- 歌唱者 Cantor**
- ・朗誦の終わりの結びのことば 18
  - ・答唱詩編 22
  - ・福音朗誦前の応唱の先唱 23
  - ・朗誦台に立つのはふさわしくない 33
  - ・共同祈願の意向 53
  - ▶詩編歌唱歌者
- 家庭生活 Vita domestica**
- 95
  - ▶聖家族(祝日)
- カナの婚宴(記事) Nuptiae in Cana**
- ・年間第二主日 105
- 神と人との対話 Dialogus inter Deum et homines**
- ・沈黙 28
  - ▶祈り
- 「神に感謝」
- ・朗誦の終わり 125
- 神の現存 Praesentia Dei**
- ・神のことばの朗誦に用いる本 35
- 神のことば Verbum Dei**
- 1-10, 12, 14, 18, 19, 22, 24, 28-30, 32, 33, 35,  
37, 38, 41, 42, 45-48, 54, 63, 65, 68, 83, 106,  
111, 注(6)
  - ▶聖書
- 神のことばの祭儀 Celebratio verbi Dei**
- 注(6), (9)
  - ・司祭不在の所で 62
- 神のことばの食卓 Mensa verbi Dei**
- 32, 83
  - ▶キリストのからだの食卓、食卓、二つの食卓
- 神のことばの朗誦 Lectio verbi Dei**
- 注(6)
- 神の民 Populus Dei**
- 8, 12, 35, 44, 45, 47
- 神の母聖マリア(祭日) Sancta Dei Genitrix Maria**
- 95
- 火曜日 Feria tertia**
- 103, 104①
- 空になった墓(記事) Vacuum Sepulchrum**
- 99
- 感謝の祭儀 Celebratio eucharistica**
- 51, 58
- 感謝の祭儀 Eucharistia**
- 24, 61  
 ▶感謝の典礼、感謝の秘義
- 感謝の典礼 Eucharistia**
- 10, 29
  - ▶感謝の祭儀
- 感謝の典礼 Liturgia eucharistica**
- 24, 30, 43, 48, 55
- 感謝の秘義 Eucharisticum mysterium**
- ▶秘義
- 感謝の奉獻 Eucharistia offertur**
- 10
- 慣習 Consuetudo**
- ・福音朗誦のための本を分冊で出版 113
- 慣用 Usus**
- 59

## き

### 記事 Narratio

- ・主の試みと変容 97
- ・主の受難 97, 105
- ・エマオに行く弟子たちへの出現 99
- ・主の出現 101
- ・パンの増加 105
- ・長い記事 110

### 儀式 Ritus

- ・ことばの典礼 17
- ・福音朗誦前の応唱 23

### 儀式書 Ordo

85

### 基準 Criterium

- ・朗誦箇所の選択 80, 87

### 基準 Norma

- ・説教 24

### 基準 Ratio

- ・週日用朗誦配分 69

### 奇数の年 Annus impar

- ・年間週日の朗誦配分 69④

### ▶二年周期

### 季節 Tempus

62, 66①③, 67-69, 74, 89, 90, 92, 93, 98, 100,

103, 109, 110

### ▶典礼季節

### 季節の部 Proprium de tempore

65, 110

### 記念祭儀 Memoriale

### ▶主の記念祭儀

### 記念日 Memoria

## お

- 応唱、応唱する *Acclamatio/Acclamare*  
・福音朗誦前 17, 40  
・福音朗誦後 17, 18  
・歌によって 48  
・四旬節の福音朗誦前 91  
・朗誦の終わり 125  
▶アレルヤ、歌、福音朗誦前の応唱、福音朗誦前の唱句(詠唱)
- 王であるキリスト(祭日) *D. N. I. C. universorum Rex*  
103  
▶宇宙の王であるキリスト、年間主日
- 応答 *Responsio/Responsum*  
・神のことばに対して  
沈黙によって 28  
信者の務め 44  
生活全体の中で 48  
▶答え、答える
- 幼子殉教者(祝日) *Sancti Innocentes*  
96
- お知らせ *Annuntiatio*  
・拝領祈願の後に説教と区別 27
- おとめ *Virgo*  
70②, 83  
▶聖人
- 『オルド・カントゥス・ミセ(ミサの典礼聖歌)』  
*Ordo cantus Missae*  
14, 78
- 恩恵の会食 *Gratiae convivium*  
・感謝の典礼 10

## か

- 開祭 *Ritus initialis*  
・朗誦福音書を奉持 17
- 解釈 *Interpretatio*  
・新しい 3
- 解釈する *Interpretare*  
・キリストが用いた方法で 3
- 会衆 *Coetus*  
・福音朗誦 17  
・歌 21  
・共同祈願 30  
・聖人の祝祭の朗誦箇所の選択 71  
・靈的共通善 78  
・朗誦箇所の選択 81

## 会衆 *Congregatio*

- ・答唱詩編 20
- 会衆 *Populus*
  - ・福音朗誦 17
  - ・福音朗誦前の応唱 23
  - ・説教 25
  - ・お知らせ 27
  - ・共同祈願 30
  - ・助祭の役割 50
  - ・朗誦の技術的準備 55
  - ・司式する 83
  - ・詩編形式の答唱 89
  - ・朗誦の終わり 125
  - ▶参加、参会者、参加者、参集者、集会
- 会衆の参加するミサ *Missa cum populo*
  - ・朗誦台 16
  - ・朗誦奉仕者 54
- 回心 *Conversio*
  - ・神のことばによる 47
- 回心 *Paenitentia*
  - ・四旬節の特色 69
- 回心について(記事) *De conversione*
  - ・ルカの箇所 97
- 解説 *Monitio*
  - ・朗誦前 15
  - ・答唱詩編 19
  - ・朗誦について 38
  - ・司式者の務め 42
  - ・朗誦箇所 117
  - ▶説明、説明や注意
- 解説者 *Commentator*
  - ・朗誦台上立つのはふさわしくない 33
  - ・聖書朗誦の前 42
  - ・典礼上の役務を果たす 57
- 改変 *Mutatio*
  - ・朗誦箇所の節が続いていない場合 124
  - ▶変更する
- 拡声装置 *Instrumenta technica ad vocem amplificandam*
  - ・朗誦台 34
  - ・準備 55
- 隔年 *Alternus annus*
  - ・年間週日の第一朗誦 69④
  - ▶二年周期
- 箇所 *Pericope*
  - 105, 106, 109, 117, 118
- 箇所(聖書の箇所) *Textus*
  - 58, 65, 66②, 67, 70-72, 74-78, 80, 81, 83, 85-

- ・聖書の箇所 58
- 貫した Organica
- ・教話 79
- 貫性 Unitas
- ・旧約と新約 66①, 106
- 一般基準 Norma generalis 63
- 一般暦 Calendarium generale 84①
- 委任された者 Delegatus
  - ・司祭不在の所で神のことばの祭儀を司会 62
- いのちのパンについての説教 Sermo de pane vitae
  - ・ヨハネ福音書の朗読 105
- 祈り Oratio
  - ・詩編 19
  - ・沈黙 28
  - ・共同祈願 31
  - ・司式者の役割 39
  - ・信者の応答 48
  - ・最後の晩さん後のキリスト 100, 101
    - 祈る、神と人との対話
- 祈り Precatio/Votum 44, 47
- 祈る Orare 17
  - ・共同祈願 30, 31
  - ・信者の務め 44, 48
- 印刷する Imprimere
  - ・歌詞は節に分けて 114
  - ・詩でない箇所も段落に分けて 115
- 印刷の割り付け Dispositio typographica 115
- 印刷物 Folium
  - ・信者用 37

## う

- 歌 Cantus
  - ・朗読の間の歌 11, 56
  - ・聖書からの歌 12
  - ・応唱 17
  - ・答唱詩編 20, 21
  - ・会衆の歌を育てる 21
  - ・福音朗読前 23
  - ・歌の指揮者 33
  - ・歌による応答 48

- ・共同祈願の意向 53
- ・答唱詩編と福音朗読前の応唱 89-91
- ・歌だけを載せた本 114
- ・歌の本文 114
  - 歌唱者、曲、詩編歌唱者、答唱詩編
- 歌う Cantare 44, 56
- ・朗読 14
- ・朗読の終わりの結びのことば 18
- ・答唱詩編 19, 20, 22
- ・福音朗読前 23
- ・共同祈願の呼唱 31
- 歌う Modulor
  - ・共同祈願の意向 53
- 宇宙の王であるキリスト Christus universorum Rex 108
  - 王であるキリスト

## え

- 詠唱 Versus ante Evangelium seu tractus 23, 40, 56, 71
  - 福音朗読前の応唱、福音朗読前の唱句、朗読の間の歌
- A年(マタイの年) Annus A (Annus legendi Matthaeum) 97, 98, 100, 注(102)
  - 三年周期
- 役務 Ministerium
  - ・教導 8
  - ・諸秘跡 10
  - ・説教 41
  - ・朗読 51, 54, 55
  - ・解説者 57
    - 務め、役割
- 枝の主日 Dominica in Palmis
  - 主の受難・枝の主日
- エマオに行く弟子たちへの出現(記事) Apparitio facta discipulis in loco Emmaus pergentibus 99
  - 選ぶ Eligere/Praeferre/Seligere 67, 70, 78, 79, 81, 83, 84③, 87, 90, 92, 94, 95, 97, 98, 102, 106-108, 110, 123
    - 選択

## 事項索引

### 凡例

- ・数字は「緒言」の本文番号
- ・( )内の数字は「緒言」の注番号
- ・▶は関連事項

### あ

- アーメン Amen  
6  
愛 Caritas/Dilectio  
4, 48  
あいさつ Salutatio  
・福音朗読の前  
福音をのべ伝える者が会衆に 17  
信者の集会が主を迎えて 23  
あかし Testificatio/Testimonium  
7, 12, 100  
あがない Redemptio  
▶救い  
新しい契約 Novum Foedus  
6, 10, 44, 45, 97  
集まつた会衆 Coetus congregatus  
・朗読の終わり 18  
・沈黙 28  
・信仰宣言 29  
・共同祈願 31  
・朗読の解説 42  
・朗読箇所の選択 81  
▶会衆、祭儀集会、集会、信者の集会、典礼集会  
アラマイ語(原文) Aramaeus (Textus originalis)  
119  
▶原文  
アレルヤ、アレルヤ唱 Alleluia  
・ことばの典礼の主要な部分 11  
・福音朗読前の応唱 23, 40, 71, 90  
・詩編唱者が先唱 56  
▶福音朗読前の応唱、朗読の間の歌  
アンブロジオ様式 Ambrosiana  
・使徒言行録を復活節に朗読する伝統 74

### い

- イエス(記事) Iesus  
・幼年時代 95, 96  
・命名 95  
・弟子たちに聖靈を授ける 102  
イエスのみ心(祭日) Sacratissimum Cor Iesu  
108  
位階 Ordo  
51  
生き方 Vita et mores  
12  
▶生活  
意向 Intentio  
・共同祈願 31  
・述べる役目 50, 53  
イスパニア様式 Hispanica  
・使徒言行録を復活節に朗読する伝統 74  
泉 Fons  
・救いと生命の 5  
・祈りの 47  
・生命と力の 47  
一月 Ianuarius  
・五日 96  
・六日 103, 104①  
・七日 96  
・十二日 96  
一年周期 Cyclus annualis  
・週日の朗読配分  
　四旬節 69②  
　待降節、降誕節、復活節 69③  
一年の周期 Anni circulus  
・キリストの秘義を想起 3  
一年の周期 Cyclus unicus  
・年間週日の福音朗読 69④  
一覧 Elenchus

事項索引	(1)
聖書朗読箇所索引	(22)
旧約聖書	(22)
旧約聖書続編	(29)
新約聖書	(31)
聖人の記念(共通)・他の儀式を伴うミサ・種々の機会のミサ・ 信心ミサ・死者のためのミサの聖書朗読箇所等一覧	(55)
聖人の記念(共通)	(55)
他の儀式を伴うミサ	(59)
種々の機会のミサ	(66)
信心ミサ	(74)
死者のためのミサ	(77)
付表	(79)
移動主日・祝祭日表(2005年～2020年)	(79)
聖書朗読法一覧	(80)
主日と祝祭日の聖書朗読箇所一覧表	(81)
1 待降節・降誕節の主日と主の祝祭日	(81)
2 四旬節の主日と聖なる過越の三日間	(82)
3 復活節の主日と主の祝祭日	(83)
4 四旬節・年間の主の祝祭日	(84)
5 年間の主日	(85)
6 祝祭日・記念日固有の聖書朗読箇所	(87)
準継続朗読配分一覧表	(89)
1 復活節の主日の第一朗読	(89)
2 復活節の主日の第二朗読	(89)
3 年間の主日の第二朗読	(90)
4 年間の主日の福音朗読	(91)
5 降誕節の週日の第一朗読	(92)
6 復活節の週日の第一朗読	(93)
7 四旬節・復活節の週日の福音朗読	(93)
8 年間の週日の第一朗読	(94)
9 年間の週日の福音朗読	(95)

事前に当協議会事務局に連絡することを条件に、通常の印刷物を読めない、視覚障害者その他の人のために、録音または拡大による複製を許諾する。ただし、営利を目的とするものは除く。なお、点字による複製は著作権法第37条第1項により、いっさい自由である。

## 朗読聖書の緒言

1988年2月10日初版発行  
1998年6月25日改訂版第1刷発行  
2005年4月15日改訂版第2刷発行

■  
編集

日本カトリック典礼委員会

■  
発行所

カトリック中央協議会

135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館内

☎ 03-5632-4411

■  
印刷所

株式会社 精興社

ISBN4-87750-088-X C0016